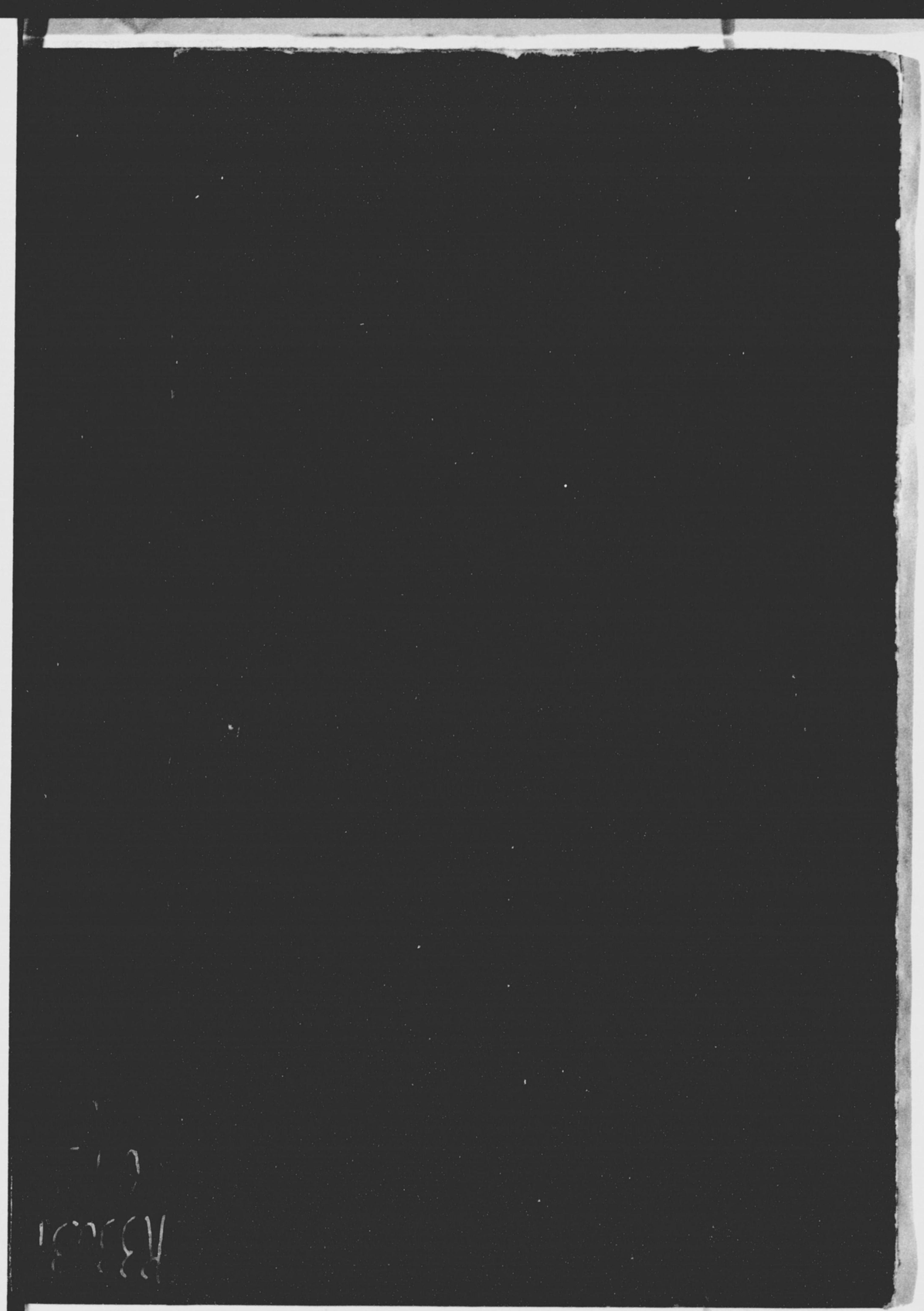

R330.31
073
2(3)

R
330.31
073-2
(3)

經濟學文獻大鑑

第三卷
貨幣金融篇
下
(1919—1935)

大阪商科大學經濟研究所編

628
116

序

曩に第二卷上を刊行してから顧みれば既に一年餘を經過した。豫定では本下卷は昨年中に公刊されてゐるべき筈であつたのだが,編纂上に意外に多くの手數を要した爲めに約半歲を遲れてしまつた。洵に殘念なことである。然しそれは金融といふ部門があまりにも文獻に富んでゐて,其の取捨選擇に思はざる時間と多大の考慮とを要したことに原因するものである。從て出來上つた結果について見ても,其の部門內に於ける色々の立場から之を檢討するならば,或は甚だ不備であるといふ譏を免れ難い所があるかも知れないが,編纂者に於ては最善を盡したのであるから,金融篇としての全體的の見地より,一つには又經濟學文獻大鑑としての全般の釣合上より,斯くの如きも亦止むを得ざるものとして,大方の寬容を請ふ次第である。

そして此の事情は次に刊行せらるべき商工業篇に就いては,更に一層甚しきものあることを,今その編纂過程中に在つて痛感してゐる所である。思へば此の事業が經濟學の全部門に涉る總覽的な文獻蒐集を目的とした爲めに,計畫それ自體に於て當初から敢て困難をおかす嫌あるものであつたかも知れない。

それにも拘らず,編纂の任に當る諸君が常に誠心誠意を以てその任に當り,不休の努力を續けてゐることは,銘記すべき所であると共に,日本學術振興會が本事業に就いての十分なる理解の下に,引續き補助を與へられてゐることに對して,茲にもまた深厚の感謝を捧ぐる次第である。

昭和十二年二月

河田嗣郎

邦文の部

凡　　例

I. 編纂方針

1. 編纂態度の中正と共に，文獻の豐富且つ記載の正確を期した。
2. 收錄範圍は日(支那文を含む)，英，獨，佛，伊語にて記述されたものに制限した。但しロシア語にして題名のみを上記の國語に飜譯せるものは，記入事項の最後に［Russ.］を附した。
3. 收錄種類は單行本，主要雜誌論文，主要經濟學辭典項目，記念論文集，資料其他とし，新聞は特殊のものの外は之を收錄しなかつた。
4. 收錄期間は 1919 年(大正 8 年)以降 1935 年(昭和 10 年)迄とした。
5. 排列方法は日本文(支那文を含む)，歐文を夫々一纏めとし，邦文の部，歐文の部とし，所定の分類基準によつて事項別分類を施し，次で著者名，發行年による排列によつた。
   i. 著者名を缺くものは題名によつた。
   ii. 外國の部に於ては著者名はゴチック體とした。
   iii. 同一箇處に於ける同一著者名，共著者名其他は邦文の部にては「同」を，歐文の部にては「——」を用ひた。
   iv. 邦文の部は日本式ローマ字による，但し支那人は漢音のそれにより，また外國人にして F. V. W. に始まるものは夫々その部に入れた。例へば Fischer は Huisya とせず Fissya とした。
6. 歐文の部の用語は主として英語とした。但し國によりその國語使用を便利とする時はその國の國語を用ひた。例へば記入事項の場合 ed. vol. は Aufl. Bd. ; éd. T. 等の如し。

II. 內　　容

A. 分　　類

1. 分類の二つ以上に亙る文獻は重複さして，夫々の箇處に揭出した。
2. 一般の部には一般理論を扱へるもの及び廣範圍の國々に亙つて論じたものを入れ，各國別の部には夫々當該國に關する文獻を揭げた。

i. インド，カナダ，ニュージーランド其他の英領自治植民地及佛領モロッコ等の如きは一國として獨立して揭出した。

ii. 四ケ國以上に關聯する文獻は各國別とせず一般の部に揭げた。

3. (I, 1)「金融一般，一般」は銀行論，金融資本をも含む。

4. (I, 3)「金融制度」は金融機關一般をも含む。

5. (I, 4, i)「資金」は資本形成をも含む。

6. (II, 3)「資本市場」は株式金融をも含む。

7. (VI, 2, i, A)「商業銀行，一般」は兼營銀行，銀行の破綻，整理をも含む。

8. (VI, 2, i, B)「銀行集中」は支店銀行制度，集團銀行制度，連鎖銀行制度をも含む。

9. (VI, 2, ii)「商業金融，其他の機關」は割引商會，引受商會，ビル・ブローカー等を含む。

10. (XV, 2)「非常金融」は災害對策，恐慌對策，失業對策等の金融を含む。

11. (XVIII, 4)「保險會社」は金融關係のもののみを含む。

12. (XXI)「雜」は人名，文獻目錄，辭典，報告書等を含む。

13. 篇末に事項索引を附し，目次表との對照によつて檢索の便を計つた。

B. 單 行 本

1. 著者名の前に * 印を附し，以て雜誌論文，辭典項目其他と區別した。

2. 雜誌論文の拔刷したものは，邦文の部にては「拔刷」とし，歐文の部に於ては記入事項の最後に [Repr.] を附した。

3. タイプライターにて記されたもの及び謄寫刷りのものは除外した。

4. 記入事項の排列順序は著者名，題名，卷，版次，發行地，發行所，發行年，頁數，型とし，その內叢書に屬するものは該叢書名を最後に記入した。但し記入事項不詳のものは已むを得ず其儘とした。

a. 著 者 名

i. 多人數の共著になるものは，その排列を最初の著者名によつた。

ii. de, von, van 等を有する著者名は劃一的にその最後へ廻した。從つて排列は次に來る姓によつた。

iii. 團體を著者とするものは，題名によつて排列したものもある。

iv. 編者はその直ぐ後に (comp.) 又は (Hrsg.) を附し，著者と區別した。

b. 題名の內本題は全文揭出に努めたが，副題は省略したものもある。

c. 版次の內重版したものは成る可く最近のものを揭げた。尙初版の發行年次の必要なものは記入事項の最後に附記した。

d. 頁數は邦文の部は「頁」を，歐文の部は p. を當て，別に pp. 或は SS. を使用しなかつた。

e. 型は邦文の部は四六倍，菊，四六，三五，袖珍等とし，歐文の部はアラビア數字の肩に ° を附して「折」を示した。

f. Dissertation は [Diss.], [Thèse] を以て之を示した。

C. 內 容 目 次

1. 單行本の內必要と思はれ且つ可能のものについてその主要目次を記載した。

2. 目次を記載した單行本が重複して出る時は，他方の單行本の記入事項の最後に目次をとれる本の所在を [參照 目次：—] として分類記號を附して示した。

3. 目次分類記號は I, 1, i の順に從ひ大體に於て篇，章，節，を表し A, a, aa 等を補助記號とした。

D. 雜 誌 論 文

1. 收錄範圍は經濟問題を取扱ふ內外主要雜誌に限定した。從つて或特殊方面の重要雜誌も割愛の已むなきに至つた。

2. 記入事項の排列順序は執筆者名，題名，論文所載雜誌名，卷，號，論文所要頁數(但し邦文の部は省略，歐文の部も不詳は其儘とした)，發行年とした。

a. 執筆者の取扱は單行本の規定に從つた。但し匿名，變名のものは邦文の部は角括弧に包み，歐文の部は *by* を附し共に論題の後に廻した。

b. 題名の特に長いものは省略したものもある。

c. 雜誌名は邦文の部は全部記入し，歐文の部は簡略にした。完全名は附錄歐文雜誌名一覽表參照。

d. 卷號の內ゴチックアラビア數字は卷を表し，普通アラビア數字は號を示し兩者の間を「–」にて繋いだ。但し歐文の部にては第何年 (Jahrgang, année) をも卷として取扱つたものもある。

i. 卷の代りに號のみを記載したものもある。

ii. 號の代りに發行月，發行日を記入したものもある。

iii. 數號に亙つて繼續せる論文は「/」で之を示し，斷續せるものは「,」で之を示した。

e. 頁數は何頁より何頁に亙る計算なれば，必ずしも嚴密な頁數に一致せず。

3. 排列順序は單行本の夫れに從つた。但し邦文の部にて執筆者を缺くものは各分類項內にて一纏めとし，其項の最後へ廻した。

E. 辭　　典

辭典項目の記入樣式は大體雜誌論文の形式に從ひ，アラビア數字を以て卷を示した。

F. 論文集其他

此種のものに該當するものの論文は大體雜誌論文の形式に從ひ，該單行本を角括弧に包み歐文の部は In : を附した。但し邦文の部は都合上單行本扱ひをなし，何々の內何頁とし該論文の頁數を示した。

G. 索　　引

1. 事項索引は目次表による檢索を補ふものとして附した。從つて必要なる事項は一々所在頁を示す代りに分類記號を以て示した。

2. 人名索引には著者名，編者，團體著者名，執筆者名及び飜譯者名をも包括せしめた。

i. アラビア數字は該著者名の所在頁を示し，角括弧內のアラビア數字は該頁に記載の回數を表す。

ii. 匿名，變名のものは全部一纏めとし，著者名の最後へ廻した。

iii. 邦文の部に於て外國人名の發音は適宜統一した。

編　纂　組　織

1. 編纂は總べて大阪商科大學長兼同經濟研究所長河田嗣郎博士監修の下に行はれ，尙編纂上の一般大綱を決定する機關として，大學教授を一般編纂委員とした。

2. 一般編纂委員は順次刊行する部門の編纂常務機關として部門毎に特別編纂委員を委囑する。當「貨幣金融篇　下」に於ては豫科教授藤原泰，高商部教授楠見一正，大學助教授小泉計太郎，同助手吉田正三，同小泉功，經濟研究所研究員飯田繁，同平實これに當つた。

3. 以上二機關協力の下に編輯者として大學教授藤田敬三，經濟研究所研究員小松幸雄，同山中謙二，同平實，研究所書記黑瀨子治郎其他數名これに當つた。

目　　次

I. 金融一般 1
1. 一　般 1
2. 金融史 9
a. 一　般 9
b. 各國別 9
3. 金融制度 15
a. 一　般 15
b. 各國別 16
4. 資金及信用 30
i. 資　金 30
ii. 信　用 31
5. 金　利 33
a. 一　般 33
b. 各國別 36

II. 金融市場 44
1. 一　般 44
a. 一　般 44
b. 各國別 44
2. 貨幣市場 49
a. 一　般 49
b. 各國別 49
3. 資本市場 51
a. 一　般 51
b. 各國別 53

III. 金融事情及金融恐慌 56
1. 金融事情 56
a. 一　般 56
b. 各國別 57
2. 金融恐慌 75
a. 一　般 75
b. 各國別 76

IV. 金融政策 82
1. 一　般 82
a. 一　般 82
b. 各國別 84
2. 中央銀行政策 87
i. 一　般 87
a. 一　般 87
b. 各國別 88
ii. 割引政策 90
a. 一　般 90
b. 各國別 91
iii. 公開市場政策 93
a. 一　般 93
b. 各國別 93
3. 金融機關政策 93
a. 一　般 93
b. 各國別 94

V. 中央銀行 97
a. 一　般 97
b. 各國別 98

VI. 商業金融 108
1. 一　般 108
a. 一　般 108
b. 各國別 108
2. 機　關 109
i. 商業銀行 109
A. 一　般 109
a. 一　般 109
b. 各國別 111
B. 集　中 123
a. 一　般 123
b. 各國別 124
ii. 其他の機關 127
a. 一　般 127
b. 各國別 127

VII. 工業金融 130
1. 一　般 130
a. 一　般 130
b. 各國別 131
2. 機　關 132
a. 一　般 132
b. 各國別 132

VIII. 農業金融 133
1. 一　般 133
a. 一　般 133
b. 各國別 134

2. 機　關 142
a. 一　般 142
b. 各國別 142

IX. 不動產金融 144
1. 一　般 144
a. 一　般 144
b. 各國別 145
2. 機　關 147
a. 一　般 147
b. 各國別 147
3. 不動產證券制度 148
a. 一　般 148
b. 各國別 149

X. 財團金融及動產金融 151
1. 財產金融 151
a. 一　般 151
b. 各國別 151
2. 動產金融 151
a. 一　般 151
b. 各國別 152

XI. 會社金融 153
a. 一　般 153
b. 各國別 154

XII. 貯蓄及貯蓄機關 155
1. 貯　蓄 155
2. 貯蓄銀行 156
a. 一　般 156
b. 各國別 157
3. 郵便貯金 159
a. 一　般 159
b. 各國別 160
4. 大藏省預金部 162

XIII. 庶民金融及消費者金融 165
1. 庶民金融一般 165
a. 一　般 165
b. 各國別 166
2. 信用組合 168
a. 一　般 168
b. 各國別 170
3. 無盡講及無盡會社 178
4. 勞働者銀行 184
a. 一　般 184
b. 各國別 185
5. 質屋及貸金業者 186
i. 質　屋 186
a. 一　般 186
b. 各國別 186
ii. 貸金業者 188
a. 一　般 188
b. 各國別 188
6. 中小商工業金融 189
a. 一　般 189
b. 各國別 189
7. 消費者金融 194
a. 一　般 194
b. 各國別 194
8. 雜 195
i. 商業銀行の小額金融 195
a. 一　般 195
b. 各國別 195
ii. 小口貸付會社 195
iii. モリス・プラン銀行 195
iv. 簡易保險積立金運用 196
v. 其　他 196

XIV. 國際金融 197
1. 一　般 197
a 一，般 197
b. 各國別 199
2. 貿易金融 201
a. 一　般 201
b. 各國別 203
3. 國際銀行 205
4. 國際投資及國際資本移動 206
a. 一　般 206
b. 各國別 209
5. 戰債及賠償金 227
i. 一　般 227
ii. 戰　債 229
a. 一　般 229
b. 各國別 230
iii. 賠　償 231
a. 一　般 231
b. 各國別 232

XV. 戰時金融及非常金融 235
1. 戰時金融 235
a. 一　般 235
b. 各國別 235

2. 非常金融 235
a. 一　般 235
b. 各國別 236

XVI. 其他の金融 241
1. 建築金融 241
a. 一　般 241
b. 各國別 241
2. 船舶金融 241
a. 一　般 241
b. 各國別 242
3. 植民地金融 242
a. 一　般 242
b. 各國別 243
4. 各種產業金融 246
a. 一　般 246
b. 各國別 247

XVII. 銀行經營 251
1. 一　般 251
2. 銀行使用人及內部組織 256
3. 受信業務 258
i. 一　般 258
ii. 預　金 259
iii. 小切手 265
iv. 預金者保護制度 266
4. 授信業務 267
i. 一　般 267
ii. 貸　出 267
iii. 割　引 272
iv. 證券放資 273
v. 信用調查 274
vi. 信用保險 275
vii. 擔保問題 275
5 支拂準備 277
6. 手形引受業務 278
7. 內國爲替業務 279
8. 支拂取引 282
9. 手形交換制度及振替制度 282
i. 手形交換制度 282
ii. 振替制度 284
10. 附隨業務 284
11. 銀行會計 285
12. 雜 294

XVIII. 信託會社，金融會社及保險會社 299
1. 信託會社 299
a. 一　般 299
b. 各國別 307
2. 投資信託 316
a. 一　般 316
b. 各國別 317
3. 金融會社 319
a. 一　般 319
b. 各國別 319
4. 保險會社 320
a. 一　般 320
b. 各國別 321

XIX. 金融關係法規 324
1. 一　般 324
2. 銀行關係法規 324
3. 信託法規 332
4. 無盡法規 336
5. 利息法規 338
6. 擔保法規 338
7. 手形及小切手法規 341
8. 雜 344

XX. 金融關係統計 348

XXI. 雜 350

I. 金融一般

1. 一般

天野 綠山　フォード氏の銀行及事業觀（銀行研究 3-1）昭 2

青木 誠一　金融，金融市場及金融機關（銀行研究 4-1）大 12

青木　茂　銀行の本質に就て（銀行論叢 9-1）昭 2

*青木 孝義　銀行要論 東京 三友社 昭 10 343 頁 菊

*青木 得三　銀行論 3 版 東京 巖松堂 昭 6 449 頁 菊

I. 緒論 1. 銀行の意義 2. 銀行の沿革
II. 銀行經營論 3. 銀行業務の分類 4. 預金業務 5. 振替業務 6. 爲替 7. 貸付及割引
III. 銀行政策論 8. 銀行の種類 9. 發券銀行 10. 不動產銀行 11. 庶民銀行 12. 信託會社 13. 爲替銀行 14. 證券銀行 15. 殖民銀行

荒木 秀一　銀行の本質は何か（大阪銀行通信錄 356）昭 2

有澤 廣巳　戰爭と銀行（中央公論 49-10）昭 9

*淺香 末起　銀行論 東京 寶文館 昭 1 315 頁 菊

淺野 正一　金融資本の優越性—A. Sultansade への反批判（社會科學 6-1）昭 5

馬　寅初　財政と金融の科學的觀察（滿蒙 9-2）昭 3

バウエル　金融資本の成立〔ヒルファーディングの〕（社會思想 3-5）大 13

*ダグラス　金融信用論 岩村忍譯 東京 春陽堂 昭 5 190 頁 四六〔ダグラス派經濟學全集 1〕

江口 行雄　アメリカ金融資本とラテンアメリカ（銀行研究 17-5/6）昭 4

*遠藤 麟太郎　金融と銀行〔通俗經濟講座—日本評論社 上卷 1 輯の內 10 頁〕大 14

グレン，ジー・マン　銀行論講義（銀行論叢 12-6；13-1/4）昭 4

ハブロイツチ，ミハエル　金融資本時代への展開 I. E 生譯（我觀 76）昭 4

橋爪 明男　一つの銀行理論（經濟學論集 2-3）大 13

*橋爪 明男　銀行讀本 東京 日本評論社 昭 10 388 頁 菊

1. 中央銀行 2. 普通銀行 3. 貯蓄銀行 4. 特殊銀行

*同　金融論 東京 改造社 昭 10 232 頁 四六〔現代金融經濟全集 1〕

*服部 文四郎　銀行原論 東京 同文館 大 12 菊〔大 3 1042 頁〕

*同　貨幣及銀行原理 東京 明善社 昭 4 525 頁 菊

*同　貨幣及銀行原理〔銀行信託講座—斯文書院 1/3, 5/8, 11 の內 231 頁〕昭 4/6

*同　貨幣，銀行及爲替論 6 版 東京 明善社 昭 10 605 頁 菊

I. 貨幣〔省略〕
II. 銀行 1 銀行の起原及沿革 2. 銀行の意義 3. 銀行の效用竝に其の地位 4. 銀行の研究 5. 銀行の種類 6. 銀行の業務竝に其の經營上の原則 7. 資本金及び積立金 8. 預金 9. 兌換銀行券の發行 10. 債券の發行 11. 割引 12. 貸付 13. 附隨的業務
III. 爲替〔省略〕
附錄 法規 索引

林　要　ヒルファディング金融資本論（經濟往來 6-7）昭 6

同　金融資本論〔名著物語〕（經濟往來 6-6/7）昭 6

同　世界幣制の改革と金融資本の將來（自由通商 6-7）昭 8

檜 六郎　金融寡頭政治と利權（改造 13-9）昭 6

平野 清　最近米國に於ける銀行論の新著（銀行研究 4-1）大 12

*ヒルファディング　金融資本論 合本 2 版 林要譯 京都 弘文堂 昭 3 778 頁 菊

I. 貨幣と信用 1—4.（省略）5. 銀行と產業信用 6. 利子率
II. 資本の動員 擬制資本 7. 株式會社 8. 有價證券取引所 9. 商品取引所 10. 銀行資本と銀行利得
III. 金融資本と自由競爭の制限 11. 利潤率均等化の障害とこの障害の克服 12. カルテルとトラスト 13. 資本主義的獨占と商業 14. 資本主義的獨占と銀行 資本の金融資本化 15. 資本主義的獨占の價格決定 金融資本の史的傾向
IV. 金融資本と恐慌 16. 恐慌の一般條件 17. 恐慌の原因 18. 景氣の經過上に於ける信用關係 19. 沈滯期における貨幣資本と生產資本 20. 恐慌の性質上に於ける變化 カルテルと恐慌
V. 金融資本と經濟政策 21. 貿易政策上に於ける轉向 22. 資本の輸出と經濟領域上の競爭 23. 金融資本と諸階級 24. 勞働協約のための鬪爭 25. プロレタリアートと帝國主義

*ヒルファディング 金論 金融資本論 林要譯 東京 改造社 昭4 724頁 菊半〔改造文庫第一部 43〕

*同　金融資本論 林要譯 東京 平凡社 昭6 645頁 四六〔社會思想全集 15〕

*堀江歸一 銀行論 增訂改版 東京 同文館 大11 658頁 菊
1. 總論 2. 預金 3. 割引 4. 貸付 5. 支拂準備金 6. 紙幣並に銀行券 7. 合衆國國立銀行並に聯邦準備金銀行 8. 英蘭銀行並に蘇格蘭銀行 9. 獨逸帝國銀行 10. 佛蘭西銀行 11. 中央銀行に關する一般的觀察 12. 銀行の資本金積立金並に組織 13. 銀行の監督檢査 14. 我國の銀行制度 15. 金融の特殊機關 16. 外國爲替 17. 恐慌

同　金融及び金融機關 (銀行通信錄 452/53, 456/58) 大 12/13

*同　金融及金融機關 東京 東京銀行集會所 大 13 237頁 菊〔銀行叢書 2〕

*同　貨幣, 銀行, 外國爲替 2巻 東京 改造社 昭1 上 372頁 下 501頁 菊

*同　金融經濟一斑 東京 大鐙閣 昭1 227頁 四六
1. 緒言 2. 銀行と金融取引 3. 金融市場の組成分子 4. 國庫と金融市場 5. 金融市場の金利歩合 6. 各種金利歩合の關係 7. 金融季節 8. 恐慌の發生と金融 9. 金融市場と日本銀行 10. 日本銀行の金利政策 11. 通貨並に貨幣制度と金融 12. 我國金融機關の改善 i. 特殊銀行に關する問題 ii. 普通銀行に關する問題

*同　金融と恐慌 東京 大鐙閣 昭2 375頁 四六
1. 緒言 2. 銀行と金融取引 3. 金融市場の組成分子 4. 國庫と金融市場 5. 金融市場の金利歩合 6. 各種金利歩合の關係 7. 金融季節 8. 恐慌の發生と金融 9. 恐慌對策の實例 10. 金融市場と日本銀行 11. 日本銀行の金利政策 12. 通貨並に貨幣制度と金融 13. 我國金融機關の改善 14. 銀行利率と市場利率の關係 15—16. 昭和2年のパニックと其對策

*同　貨幣及金融 上卷 東京 改造社 昭4 409頁 四六〔堀江歸一全集 2〕
I. 貨幣〔省略〕
II. 銀行. 外國爲替 1. 銀行の本質並に職務 i. 交換と信用 ii. 信用の種類 iii. 銀行の職務 2. 銀行の受信的業務 i. 預金 ii. 小切手制度 iii. 支拂準備金 3. 銀行券 i. 銀行券の本質 ii. 銀行券の二要件 iii. 銀行券の發行法 iv. 銀行券發行法に關する學說 v. 中央銀行 4. 銀行の授信的業務 i. 割引 ii. 割引手形 iii. 手形仲買業 iv. 貸付 v. 擔保品 vi. 割引貸付歩合 vii. 信用調査 5. 銀行の組織 i. 銀行組織に於ける形態 ii. 大銀行支店制度 iii. 兼營銀行制度 iv. 特殊銀行制度 v. 貯蓄銀行 6. 諸國の銀行制度 (上) i. 英蘭銀行並に英國銀行制度 ii. 佛蘭西銀行 iii. 獨逸銀行制度 7. 諸國の銀行制度 (下) i. 合衆國の銀行制度 ii. 日本の銀行制度 8. 外國爲替 i. 爲替手形と其需要供給 ii. 爲替相場 iii. 爲替相場と手形の信用並に期限 iv. 爲替相場の恢復
III. ダンバー氏銀行論 1. 原著者の傳記 2. 學說 i. 緒論 ii. 割引預金並に紙幣發行 iii. 銀行の取引並に計算 iv. 小切手制度 v. 銀行紙幣 vi. 銀行の債務償還 vii. 聯合準備法 viii. 佛蘭西銀行 ix. 米國國立銀行制度 x. 英蘭銀行 xi. 獨逸帝國銀行 3. 批評

*堀江歸一 貨幣及金融 下卷 東京 改造社 昭4 1142頁 四六〔堀江歸一全集 3〕
I. 海外金融市場 1. 金融市場略說 2. 倫敦金融市場 3. 倫敦株式取引所 4. 紐育金融市場 5. 歐洲大陸金融市場の概觀 i. 獨逸帝國銀行の制限外發行法 ii. 獨逸銀行業の趨勢 iii. 墺地利匈牙利の預金制度 iv. 佛蘭西銀行營業上の特徴
II. 中央銀行と金融市場 總論 1. 中央銀行の特質 2. 中央銀行の職分 各論 1. 英蘭銀行 2. 獨逸帝國銀行 3. 佛蘭西銀行 4. 日本銀行
III. 金融及金融機關 1. 恐慌 2. 金利 3. 物價 4. 公債 5. 銀行 i. 普通銀行 ii. 特殊銀行 6. 世界大戰と財政
IV. 金融と恐慌 1. 緒言 2. 銀行と金融取引 3. 金融市場の組成分子 4. 國庫と金融市場 5. 金融市場の金利歩合 6. 各種金利歩合の關係 7. 金融季節 8. 恐慌の發生と金融 9. 恐慌對策の實例 10. 金融市場と日本銀行 11. 日本銀行の金利政策 12. 通貨並に貨幣制度と金融 13. 我國金融機關の改善 i. 特殊銀行に關する問題 ii. 普通銀行に關する問題 14. 銀行利率と市場利率との關係 15—16. 昭和二年のパニックと其對策
V. 金貨本位制の興廢〔省略〕
VI. 英國預金銀行論 1. 英國に於ける銀行業の發達 2. 英國銀行の地位並に職分 3—5. 預金銀行の營業狀態 6. 銀行以外の金融機關

細井安次郎 松崎教授著「銀行及金融」(銀行研究 5-3) 大 12

*細矢祐治 復興經濟 財政及金融 東京 文雅堂 大13 302頁 四六

*同　金融及信託 上卷 金融 東京 嚴文堂 大13 584頁 菊
1. 我國に於ける船舶金融 2. 信託讓渡と動產金融 3. 金融機關としての信託會社 4. 本邦水產金融問題 5. 工場抵當及財團金融設論 6. 銀行預金と信託預金 7. 銀行經營主義の將來と金融政策 8. 保證業務と引受業務 9. 普通銀行の經營方針と銀行政策 10. 我金融界に於ける諸問題

*澤澤甲子男 銀行と金融 東京 二松堂 大14 162頁 四六

藤原泰 金融經濟理論の趨ふところ (財政經濟時報 20-1) 昭8

池田了實 金融中心時代 (企業經營 3-3) 昭5

*池田成彬・大矢知昇 銀行〔社會經濟體系一日本評論社 17 の內 66頁〕 昭3

*池田成彬・大矢知昇 銀行〔現代產業叢書—日本評論社 2巻 金融保險編の內 106頁〕 昭4
1. 緒論 2. 普通銀行 3. 振替及び手形交換制度 4. 營業資金 5. 支拂準備金 6. 銀行の集中 7. 銀行の監督及び檢査 8. 發券銀行 9. 特殊金融機關

*猪俣津南雄 金融資本論 普及1版 東京 希望閣 昭2 402頁 四六
I. 貨幣, 資本, 信用 1. 貨幣 2. 資本 3. 信用 4. 銀行と產業企業
II. 金融資本 5. 會社企業と株式資本 6. 會社財政と信用 7. 銀行利潤と銀行資本 8. 獨占 9. 金融資本の成立 10. 金融資本の歷史的傾向
III. 金融資本の政策 11. 貿易政策 12. 資本輸出 13. 金融資本と諸階級 14. 金融資本の勞働政策 15. 結論

*同　金融資本論 60版 東京 改造社 昭5 418頁 菊半〔改造文庫 第一部 21〕

*同　金融資本と帝國主義〔經濟學全集—改造社 26の內 206頁〕 昭4
I. 槪說 1. 資本主義の矛盾と其展開 2. 金融資本と帝國主義
II. 金融資本 1. 銀行資本と其集積 i. 資本と信用 ii. 銀行機能の發展と銀行資本の集積 2. 會社企業と銀行 i. 貨幣資本家としての株主 ii. 發起利得の成立 iii. 資本の動員 iv. 株式會社發達の意義 v. 銀行の優越 3. 集積に於ける新傾向 i. 所有の集積の新源泉 ii. 資本家的支配の集中 iii. 銀行資本增大の意義 4. 獨占 i. 獨占の成立 ii. 獨占と銀行 iii. 獨占の諸形態 5. 金融資本の成立 i. 金融資本と金融寡頭支配 ii. 金融資本の歷史的傾向
III. 帝國主義〔省略〕

*同　日本の獨占資本主義—特に金融資本の恐慌對策 東京 南北書院 昭6 342頁 菊

同　金融資本の恐慌對策—恐慌深化の見透しの一つ (改造 13-6) 昭6

同　金融資本と國家資本主義 (改造 13-10) 昭6

石卷良夫 金融資本の統制組織 (銀行研究 17-6) 昭4

一谷藤一郎 リカアドオ金融理論の根本思想 (研究と資料 1-1) 昭6

岩村忍 金融資本と信用と云ふ二つの言葉に就いて (ポリコン研究 1) 昭5

岩野晃次郎 財政と金融 (金融大辭典 II 卷 5頁) 昭9

*岩崎博 最近の貨幣金融學說 2版 東京 文雅堂 昭2 352頁 四六〔銀行講座〕
1. 貨幣數量說 i. 緒言 ii. フイッシャ教授の「新貨幣數量說」 iii. 貨幣數量說に對する批評 2. 戰後の爲替學說 i. 緒言 ii. カッセル教授の「購買力平價說」 iii. 購買力平價說に對する批評 iv. ケインヅ氏の爲替評價說 3. 金本位停止論 i. 緒言 ii. キーンス氏の「管理通貨說」 iii. 管理通貨說に對する反對論 4. 金本位復歸論 i. 緒言 ii. ホートレー氏の「金爲替本位論」 iii. カッセル教授の「金本位復歸論」 iv. グレゴリー氏の「金本位復歸論」 5. 通貨政策の歸趨 i. 緒言 ii. 通貨膨脹論 iii. 通貨收縮論 iv. 通貨安定論 6. 景氣循環論 i. 緒論 ii. ミッチェル氏の「景氣循環說」 7. 國際銀行論 i. 緒言 ii. ヴァンダーリップ氏の「國際銀行論」 iii. ギブソン氏の「國際發券銀行論」 8. 銀行及信用國有論 i. 銀行國有論 ii. ロック氏の「信用國有論」

岩崎勳 景氣循環と銀行 (銀行論叢 6-6) 大15

*井關孝雄 金融の常識 東京 千倉書房 昭6 308頁 四六

*飯島幡司 金融經濟論 3版 東京 寶文館 大8 351頁 菊
緒言
1. 資金の調達 i. 資金調達の効果 ii. 銀行資金の源泉 2. 預金通貨 i. 相互的債務の原理 ii. 預金通貨造出の制限 iii. 現代金融組織の基礎 3. 通貨と物價 4. 金利の原利 i. 金利の決定 ii. 通貨の增減と金利 iii. 金利と株式相場 iv. 金利と放資の選擇 v. 預金の利息 5. 金利政策 i. 恐慌 ii. 金利の調節 6. 資金の國際的移動 i. 國際金融の發展 ii. 資金移動の原理 iii. 國際放資と國際貿易 7. 支拂の均衡 i. 國際貸借の原因 ii. 戰亂と日本の國際貸借 8. 外國爲替 9. 正貨政策 10. 分業銀行主義と兼營銀行主義

*同　金融經濟講義 東京 寶文館 大11 400頁 菊
緒言
1. 通貨の需要供給關係 2. 資金の調達 3. 銀行通貨の構成 4. 金融組織に於ける正貨の職能 5. 通貨と物價 6. 金利の原理 7. 景氣の循環と金利の調節 8. 資金の國際的移動 9. 支拂の均衡 10. 外國爲替 11. 正貨政策 12. 分業銀行主義と兼營銀行主義

神戶正雄 信託會社と銀行 (時事經濟問題 8) 大12

同　物價と爲替と金融 (時事經濟問題 54) 昭2

春日井薰 銀行の兼業主義と專業主義 (經濟及商業 1-2/4) 大11

同　金融資本主義勃興の側面觀稿 (明大商學論叢 3-4/6) 昭3

同　銀行主義學說 (Banking Principle) の發達 (明大商學論叢 5-3/5) 昭3/4

*同　貨幣及金融原理 東京 文雅堂 昭8 445頁 菊
I. 貨幣理論〔省略〕
II. 貨幣制度〔省略〕
III. 金融原理 1. 金融經濟 2. 金融組織 3. 金融機關 4. 金融市場 5. 金融政策

同　金融の機構原理 (金融知識 3-4) 昭9

同　金融の使命と貨幣信權の動搖 (銀行研究 28-3) 昭10

片沼精二　金融資本の發展（法文論叢 3-2）昭 4

勝田貞次　財界循環と金融の法則（銀行研究 3-4）大 11

同　銀行の本質と金融組織の變遷（銀行論叢 5-5）大 14

同　財界指導と金融作用（銀行研究 9-1）大 14

*同　金融と景氣〔銀行信託講座—斯文書院 1, 3, 12 の內 163 頁〕昭 4/6

*カウツキー　金融資本と恐慌 2 版　笠信太郎譯　東京　叢文閣　昭 3　88 頁　四六〔社會科學叢書〕

川島溝治郎　新貨幣の觀念と金融（金融研究 3-1）昭 1

河津邁　金融問題或問（金融研究 2-1）大 14

*金原賢一郎　金融の話　東京　立命館出版部　昭 9　146 頁　四六

*岸谷梧郎　銀行新讀本　東京　言海書房　昭 10　397 頁　四六

北山富久二郎　銀行（金融大辭典 1 卷 5 頁）昭 9

顧季高　貨幣物價與金融（銀行週報 761）民 21

小林新　金融學說の變轉記（ダイヤモンド 12-19）大 13

*同　金融經濟講義　東京　泰文社　昭 1

*同　金融經濟大綱　東京　泰文社　昭 9　附錄 196 頁　菊

I. 貨幣篇　1.金融經濟機構論 2—6.〔省略〕
II. 銀行篇　7. 銀行業の意義並に動向 8. 銀行の資金獲得 9. 銀行の短期資金放出 10. 銀行の長期資金放出 11. 銀行の資金移轉 12. 金融機構の統制指導
附錄 i. 金融關係法規 ii. 金融統計

*小島精一　日本金融資本論　東京　千倉書房　昭 4　430 頁　菊

1. 序說　2. 金融業 i. 銀行業 ii. 信託業 iii. 保險業 3. 炭礦業 4. 石油業 5. 電力（電燈）業 6. 鋼工業（鋼鐵業，製鋼業及び鋼加工業） 7. 纖維業 8. セメント工業 9. 機械製造及び造船業 10. 人造肥料 11. 新興化學工業 12. 製紙（洋紙）業

同　金融資本の躍進（中央公論 44-4）昭 4

小島昌太郎　產業合理化に於ける金融業者の地位（經營と經濟 1-6）昭 6

*同　金融機構論　附：我國に於けるインフレーション 2 版　東京　雄風館　昭 9　272 頁　菊〔企業金融論講義序論〕

緒言　1. 金融の意義 2. 金融機關及び金融市場 3. 普通銀行とその業務 4. 特殊銀行とその業務 5. 通貨の意義とその態樣 6. 通貨の膨脹と收縮 7. 現金通貨と預金通貨 8. 金融の本體たる購買力
附錄　我が國に於けるインフレーション　1. 我國に於けるインフレーションの特質 2. 我國に於けるインフレーションの經過

*小島昌太郎　金融動態論　東京　有斐閣　昭 10　468 頁　菊

1. 經濟と金融との基本的關係 2. 金融機關の意義と種類 3. 日本銀行の機能とその業務 4. 普通銀行とその業務 5. 特別銀行の種類とその業務 6. 金融市場の意義とその態樣 7. 通貨の意義とその態樣 8. 通貨の流通とその經路 9. 現金通貨の膨脹收縮と小賣商業の隆替 10. 預金通貨の膨脹收縮と手形交換機構 11. 潛在通貨の膨脹收縮と手形交換機構 12. 預金の種別的轉換と通貨の形態的轉換 13. 預金の積極性と消極性 14. 預金の種類に關する異說 15. 通貨，金融及び購買力　附錄　公債政策の金融に及ぼす影響

*栗栖赳夫　一般金融の知識　東京　非凡閣　昭 9　215 頁　新四六〔萬有知識文庫〕

黒川芳藏　銀行の社會的考察（同志社論叢 18）大 14

*同　金融論 上卷　京都　凡進社　昭 8　94 頁　菊

串本友三郎　獨逸に於ける銀行論の二名篇と其著者（銀行研究 4-7）大 12

同　フランスに於ける新刊銀行論書（銀行研究 6-3）大 13

同　近世銀行のサン・シモン主義的起原（銀行論叢 17-4）昭 6

*牧野輝智　金融論　東京　日本評論社 5 版　昭 8　372 頁〔現代經濟學全集 14〕

I. 總論　1. 事業と資金 2. 金融の意義 3. 金融と投資と信用 4. 金融の種々相
II. 金融機關　1. 概說 2. 中央銀行 3. 其他の特殊銀行 4. 普通銀行 5. 貯蓄銀行 6. 信託會社 7. 信用組合 8. 大藏省預金部 9. 保險會社 10. 株式取引所
III. 金融の種類　1. 產業金融 2. 工業金融 3. 農業金融 4. 不動產金融 5. 國際金融 6. 殖民金融及び中小產業者金融
IV. 金融市場　1. 金融市場の意義 2. 金融市場の構成及び種別 3. 中央銀行と普通銀行との關係 4. コール市場 5. 紐育の金融市場 6. 倫敦の金融市場
V. 資金　1. 概說 2. 資金の運用 3. 金融現象の變動 4. 資金の調節 5. 中央銀行の發券機能
VI. 金利　1. 金利の意義 2. 金利の決定 3. 利子存在の合理的根據 4. 金利の種類 5. 預金利率の協定 6. 金利の變動と正貨の出入
VII. 金融政策　1. 概說 2. 銀行合同問題 3. 發券制度の問題 4. 金利政策 5. 事業資金の問題 6. 中小業者金融難の問題
VIII. 英國の金融機構　1. 英國の金融組織 2. 英蘭銀行 3. 普通銀行 4. 植民地銀行及び外國銀行 5. 手形引受商會（マーチャント・バンカース） 6. 手形仲買人及び割引會社
IX. 米國の金融機構　1. 概說 2. 聯邦準備制度 3. 聯邦準備銀行の業務 4. 國立銀行及び州立銀行 5. 信託會社 6. 聯邦農地貸付制度 7. 個人銀行

*マクラウド　銀行概論 3 版　奥田勳譯　大 13

增井光藏　飯島幡司：金融經濟講義（國民經濟雜誌 33-2）大 11

同　高島佐一郎：金融經濟の諸問題（國民經濟雜誌 34-21）大 12

*マーシャル，アルフレッド　貨幣信用と商業 油谷十二譯 東京 大 14 354 頁 菊〔中外文化協會定期刊行書 11〕

I. 貨幣〔省略〕
II. 營業信用　1. 資本に對する市場の發展 2. 株式資本の所用 3. 英國銀行の發達 4. 株式取引所
III. 國際貿易〔省略〕
IV. 產業，營業及び信用の變動〔省略〕

*同　貨幣信用及商業　松本金次郎譯　東京　自彊館　昭 2　643 頁　菊

松岡松平　抵當證券法の役割と金融資本の發展（法曹公論 35-4）昭 6

松島喜作　平易なる銀行論（銀行研究 4-6）大 12

*松崎壽　銀行及金融研究　東京　文雅堂　大 11　255 頁　四六

1. 銀行券の特質と其發行政策 2. 我國の在外正貨問題 3. 金輸出解禁の效果如何 4. 滿洲に於ける中央銀行の設立 5. 現時の外國爲替相場 6. 我國銀行と貿易金融 7. 國際信用設定策としての「ター・ミューテン」案 8. ヴァンダーリップ氏の國際銀行案 9. 米國に於ける對外放資機關の發達 10. 優先株の種類と其運用

*同　金融，金融市場及金融機關（商業及經濟研究 26）大 11

*同　特殊銀行論　東京　文雅堂　大 12　176 頁　四六〔近世商業經濟叢書〕

1. 特殊銀行と普通銀行 2. 發券銀行（日本銀行） 3. 爲替銀行（橫濱正金銀行） 4. 不動產銀行（日本勸業銀行，農工銀行，北海道拓殖銀行） 5. 證券銀行（日本興業銀行） 6. 植民地銀行（臺灣銀行，朝鮮銀行） 7. 庶民銀行（貯蓄銀行，信用組合，產業組合中央金庫） 8. 特殊銀行の改善問題 i. 日銀の獨立問題 ii. 勸銀農銀の合併問題 iii. 勸銀興銀の合併問題 iv. 滿蒙銀行問題

*同　貨幣と金融 3 版　東京　寶文館　大 13　346 頁　菊〔1 版 大 9〕

I. 貨幣〔省略〕
II. 金融　1. 金融界の諸問題 2. 標準利率と中央銀行の割引政策 3. 我國普通銀行の工業金融 4. 我國銀行と手形引受業務 5. 佛國の動產銀行 6. 英米兩國の信託會社 7. 金融機關 i. 我國銀行業の改善と擴張 ii. 信託業法案管見 iii. 泡沫會社防止の一策

*同　銀行概論　東京　文雅堂　昭 1　359 頁　四六〔銀行講座〕

1. 緒論 2. 各種銀行の特質 3. 銀行の營業資金 4. 銀行の集中 5. 銀行と類似機關との關係 6. 銀行の保護及監督

同　金融（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

*松崎壽　金融資本主義（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

同　銀行及金融 普及版　東京　文雅堂　昭 8　556頁　菊〔1 版 大 12〕

I. 總論　1. 緒言 2. 銀行に關する概念
II. 受信的業務　1. 銀行券の發行 2. 預金 3. 債券の發行 4. 資本金及積立金
III 授信的業務　1. 手形割引 2. 貸付
IV. 爲替及附隨業務　1. 爲替 2. 附隨業務
V. 銀行の組織，經營並監督　1. 銀行の組織 2. 銀行の經營 3. 銀行の監督 4. 附論

*同　銀行及金融市場　東京　文雅堂　昭 8　595 頁　菊

I. 我國銀行及び金融改善問題　1. 普通銀行制定改善の根本問題 2. 普通銀行の兼信業務 3. 金融恐慌と日本銀行 4. 日本銀行の市場統制力問題 5. 現時の金利安問題 6. 最近の金融硬化とその原因 7. 不動產金融の若干問題 8. 外資輸入抑制の可否
II. 金融諸法規　1. 金融法規改善整理の必要 2. 金融恐慌と新銀行法 3. 新銀行法及び同法施行細則の概括的批判 4. 無盡業法改正案批判 5. 新制定の金融法規批判
III. 庶民金融の諸問題　1. 下層階級保護と庶民金融政策 2. 中小商工業者の金融問題 3. 中小商工業金融と債務保證，信用保險並に動產抵當設定論 4. 貯蓄銀行の市營問題 5. 小額金融に對する保護制度
IV. 各國金融市場組織　1. 一社會主義者の英國金融組織觀 2. 英國銀行と國際金融業務 3. 英國金融覇權の失墜と世界經濟 4. 米國銀行業の營業化 5. 獨逸の金融恐慌とその教訓 6. 瑞典の金融市場組織 7. 滿洲國の通貨政策
V. 金本位制離脫及びその將來　1. 金解禁後一年の回顧 2. 金輸出再禁止論を排す 3. 金輸出再禁止後の財界 4. 金本位制離脫後の爲替相場 5. 通貨制度の將來

三木昇一　金融寡頭政治下の農村（農政研究 6-12）昭 2

光山祐次郎　銀行の本質に就きて（銀行研究 1-3）大 10

宮川實　金融資本（經濟學辭典 II 卷 3 頁）昭 6

*森喜一　日本金融資本政治の解剖　東京　白揚社　昭 6　315 頁　四六

同　產業統制と金融資本（中央公論 46-9）昭 6

森廣藏　若干の金融問題に就て（銀行通信錄 584）昭 9

*森川太郎　金融機構と物價平準—金融論講義 上　大阪　甲文堂　昭 7　231 頁　菊

1. 總說　i. 貨幣經濟 ii.貨幣流通の定型 iii. 社會的金融機構 2. 貨幣の創出（金融機構その一） i. 預金貨幣の創出 ii. 支拂交通の機構 iii. 貨幣の節減 iv. 貨幣數量の制約 3. 物價（貨幣現象 その一） i. 貨幣數量と物價 ii. 物價變動の過程（インフレーション及びディフレーション） iii. 物價變動の作用 4. 資本の形成（金融機構 その二） i. 貯蓄と投資 ii. 資本の形成及び循環 iii. 貯蓄の機構 iv. 投資の機構

*同　金融經濟總論　大阪　甲文堂　昭 9　502 頁　菊

1. 總說 2. 貨幣の創出（金融機構 その一） 3. 物價（貨幣現象 その一） 4. 資本の形成（金融機構 その二） 5. 金利（貨幣現象 その二） 6. 產業流通と金融流通 7. 景氣循環と金融機構

森川太郎 金 融（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

向井鹿松 金融資本綱の組織（三田學會雜誌 **20**-3）昭 1

同 金融資本綱の健實性（三田學會雜誌 **20**-4）昭 1

宗藤圭三 金融信用—ダグラス信用分析を根基とする新「金融經濟學」（同志社論叢 24）昭 2

武藤長蔵 再び銀行なる名辭の由來に就て（國民經濟雜誌 **26**-6；**27**-1/4；**28**-1）大 8/9

*內藤 章 銀行論 東京 佐藤出版部 大 9 439 頁 菊

緒言
I. 總論 1. 銀行の概念 2. 銀行の發展
II. 銀行の業務 1. 資金借入業務 2. 資金貸出業務 3. 其他の業務
III. 銀行の組織 1. 銀行の集中 2. 經營の擴張 3. 經濟的效果
IV. 銀行の經營 1. 經營資金 2. 資金の運用 3. 支拂準備金
V. 銀行の監督
VI. 銀行制度 1. 英國 2. 北米合衆國 3. 獨逸 4. 佛國 5. 日本

中村孝也 元祿享保前後に於ける金融論（經濟及商業 **3**-8/9）大 13

中村光次 銀行とは何ぞや（銀行論叢 **2**-2）大 13

中西仁三 貨幣及銀行兩主義の貨幣理論と銀行券發行制度（經濟研究 **2**-2）大 14

*奈良縣警察部 銀行の話 昭 6〔警察叢書 2〕

*棗田藤吉 銀行講話 東京 大阪屋號 昭 6 320 頁 四六

1. 總論 2. 普通銀行の組織 3. 普通銀行の設立及資本金 4. 預金 5. 貸出 6. 放資 7. 爲替 8. 代金取立 9. 保護預 10. 地金銀及證券委託賣買 11. 手形引受業務 12. 擔保附社債信託 13. 信託業 14. 結語

ニアリング, フリマーン 米國金融資本の發達（社會思想 **6**-6）昭 2

*西川喜一 財政金融と關稅制度 上海 大 14〔支那經濟綜覽 2〕

*西野喜與作 金融の見方 東京 日本評論社 大 13 346 頁 三六〔通俗財政經濟大系 6〕

丹羽順二 銀行の國民經濟的性質（中央銀行會通信錄 375）昭 9

*野田兵一 經濟常識 銀行の話 東京 昭 2

野村證券調査部 金融組織合理化の目標（野村經濟週報 317）昭 4

野崎龍七 金融資本家の求むるもの（經濟 **1**-5）昭 9

大淵彰三 アンリ・セー「高度資本主義」の時代に於ける金融資本主義の役割に就て（經濟商業論纂 3）昭 7

*織本利 金融論 東京 清水書店 昭 3 345 頁 四六〔通俗近代經濟叢書 6〕

1. 資金 2. 資金の蓄積と管理 3. 金融資金 4. 資金の用途 5. 信用 6. 金融經濟の成長 7. 金融の統制 8. 金利

*大島 謜 保險, 銀行, 信託早解り 東京 大衆經濟社 昭 9 290 頁 四六

*太田哲三 貨幣銀行論 東京 角田書店 大 12

*太田黑敏男 銀行金融の知識 東京 非凡閣 昭 9 249 頁 新四六〔萬有知識文庫〕

*同 銀行金融の實際〔實用經濟講座—非凡閣 1 の內 75 頁〕昭 9

越智昌三 銀行と通貨創設（經濟研究 **3**-3）昭 1

*レイ, ジョージ 銀行と其顧客 中島庚譯 東京 文雅堂 大 9 318 頁

*リカアドオ リカアドオ貨幣銀行論集 小畑茂夫譯 東京 同文館 昭 6 433 頁 菊

I.「金の價格」を論じた三つの書簡
II. 地金委員會の報告に對するボウズンキット氏の直際的批評に答ふ 1.—4.〔省略〕 5. 英蘭銀行は銀行券の流通を强制する力を有しないといふ命題を證明せんとするボウズンキット氏の議論につきての考察 6. 通貨料の諸原理につきての諸觀察 7. 英蘭銀行の流通は地方銀行のそれを左右することの命題に對するボウズンキット氏の反對論につきての考察 8. ボウズンキット氏の意見—數年に亘る財貨の缺乏と課稅とが物價騰貴の唯一の原因にして流通の過剩は何等その原因にあらずといふにつきての考察 9. 現金支拂再始は禁害を生ずべしといふボウズンキット氏の意見につきての考察
III. 經濟的にして且つ安定なる通貨のための諸提案, 並に英蘭銀行の利潤を公衆及び英蘭銀行の株主と關係して論じたる批評 1. 流通媒介物について〔價値の〕均等性の原因が善の本義である 2. 本位貨物の使用—それに對する反對論につきての考察 3. 本位その不完全性本位以下に達する變動を許しておきながらしかもこれと相殺すべき, 本位以上に達する變動を許さない場合並にその諸效果—本位との一致は紙幣の原則である 4. イギリス通貨をして出來るだけ完全にならしめる方法 5. 幾多の商業上の不都合を生ずる惰性—その救治策の提案 6. 銀行の公共的勞務は過分なる報酬を受けておる—その對策の提案 7. 銀行の利潤並に積立金—それらの誤れる使用—提案せられたる對策

坂本三善 日本金融資本の特質に就て—向坂氏の「日本資本主義分析に於ける方法論」批判（歷史科學 **4**-12）昭 10

*佐野善作・高垣寅次郎 銀行論 東京 三省堂 昭 5 298 頁 菊

緒論 i. 銀行の職能及業態 ii. 銀行資金の構成及集散 iii. 銀行の業務及種類 iv. 銀行の組織及經營 v. 銀行の效用 vi. 商業銀行 1. 資本金 i. 銀行の資本金の性質 ii. 資本金の預金及貸出額に對する比例 iii. 積立金 iv. 資本金及積立金に關する法制 v. 株式金額 2. 預金 i. 預金の發展 ii. 預金の種類 iii. 當座預金の官能 iv. 預金振替及手形交換 v. 支拂準備金 vi. 混合準備制及分離準備制 3. 貸出 i. 手形割引及貸付 ii. 貸出の效用 iii. 貸出の種類 iv. 貸出の注意 v. 貸出の方法 vi. 金利歩合 4. 爲替 i. 銀行爲替業務の效用及種類 ii. 國際貸借 iii. 外國爲替手形の種類 iv. 外國爲替相場 v. 外國爲替矯正策 vi. 外國爲替の實務 5. 放資 i. 放資の危險及必要 ii. 放資物件の優劣 iii. 掛繋 6. 銀行附隨の業務 i 保護預 ii. 代金取立 iii. 證券受託賣買 iv. 信託業務 v. 證券發行事務の取扱及引受發行業務 vi 手形引受業務

佐多忠隆 金融資本の典型（經濟往來 **8**-10）昭 8

同 我國金融資本の特殊性（改造 **15**-11）昭 8

佐藤貢 金融問題より見たる生產と配給の提携（砂糖經濟 **1**-2）昭 6

世界經濟批判會 イギリス金融資本の解剖（中央公論 **6**-12）昭 6

瀨戶健助 大銀行制と金融資本の勢力（大阪銀行通信錄 372）昭 3

*斯波武 金融亡國論 東京 一元社 昭 7 590 頁 四六

*澁木直一 實際銀行論 2 版 東京 同文館 大 14 237 頁 菊

志立鐵次郎 金融物價貨銀貿易考察（財政經濟時報 **8**-9）大 10

下垣正秋 金融資本の產業統制（大阪銀行通信錄 393, 395）昭 5

新庄博 英國に於ける銀行理念の變遷（國民經濟雜誌 **59**-5）昭 10

*左右田喜一郎 社會主義論者の貨幣及銀行觀〔左右田喜一郎全集 1 の內 18 頁〕昭 6

*杉 程次郎 最近銀行論 改訂 7 版 東京 有非閣 昭 6 308 頁 菊〔大 11 359 頁〕

I. 研究 1. 金融, 金融市場及金融機關 2. 金融季節概論 3. 證券銀行と貿易銀行 4. 我國銀行經營の根本問題 5. 我國銀行政策の缺陷 6. 銀行券の特質と其發行政策 7. 滿阿に於ける中央銀行の設立 8. 英蘭銀行の發行制度改善問題 9. 米國に於ける割引政策の重要問題 10. 預金の保護に關する米國の制度 11. レドニー, ウエップの銀行國有論 12. 財團金融と日本勸業銀行 13. 我國の貯蓄銀行問題 14. 瑞典の金融政策 15. 我國の在外正貨問題 16. 恐慌の原因と其對策としての金融政策
II. 時論 1. 金輸出解禁の效果如何 2. 現時の金利引下問題 3. 金利引下論の誤謬 4. 金利引下に關する諸說を評す 5. 爲替政策の根本問題 6. 輸出振興策と貿易金融 7. 米國の對外放資問題 8. 國際信用設定策としてのター・ミューラン案 9. ヴァンダーリップの國際銀行案

*住友銀行編 住友銀行三十年史 東京 大 15 242 頁 菊

鈴木茂三郎 金融資本の電力支配（我觀 79）昭 5

鈴木茂三郎 金融財閥資本の「獨占」と「恐慌」（中央公論 **46**-3）昭 6

同 滿蒙新國家と日本の金融資本（改造 **14**-5）昭 7

同 日本財閥論 東京 改造社 昭 9 453 頁 四六

*朱彬元 貨幣銀行學 民 20

多田喜一 銀行の本質（銀行研究 **7**-3/4）大 13

同 近代的銀行機能と經濟社會（經濟研究 **3**-2）昭 1

*田口卯吉 金融 東京 鼎軒田口卯吉全集刊行會 昭 2 561 頁 菊〔田口卯吉全集 7〕

I. 貨幣制度論 1. 幣制の紊亂 2. 兌換制度の創設 3. 貨幣本位論 4. 兌換制度運用論 5. 支那及朝鮮の幣制問題
II. 銀行制度論 1. 國立銀行 2. 中央銀行 3. 日本興業銀行その他特殊銀行 4. 普通銀行
III. 金融問題 1. 紙幣整理の時代 2. 兌換創始の時代 3. 日清戰爭の時代 4. 日露戰爭の時代

*高垣寅次郎 銀行論 東京 日本評論社 3 版 昭 6 406 頁 菊〔現代經濟學全集 12〕

緒論 經濟社會に於ける金融の意義 i. 金融作用發達の前提としての企業の發達 ii. 證券制度發達の金融上の意義 iii. 企業結合作用としての金融 iv. 金融機關としての銀行の意義 1. 銀行業務とその資金 i. 銀行業務の種別 ii. 銀行資金の基礎 2. 資金の收集 i. 外來資金の種別 ii. 支拂決算制度 iii. 支拂準備 3. 資金の造出 i. 銀行券の貨幣的性質 ii. 通貨主義と銀行主義 iii. 兌換券發行機關 iv. 銀行券發行準備 v. 發行制度の最近の傾向 vi. 振替預金の創設 4. 設備資金の調達 i. 證券の置換 ii. 證券の發行方法 iii. 銀行債券の發行 iv. 銀行の證券放資並に證券業務 5. 經營資金の調達 i. 手形割引及び貸付 ii. 短期通知貸金 iii. 手形の賣買機關 iv. 手形引受 v. 帳簿債券の割引 vi. 小額保證貸付 vii. 貸出政策 6. 其他の銀行業務 i. 爲替 ii. 代金取立 iii. 保護預 結語

*高木繁太 金融と經營 東京 大 8

*高橋龜吉 金融の基礎知識 東京 東洋經濟新報社 昭 1 402 頁 菊

1. 一國の資金 2. 資金の蓄積と管理 3. 金融資金及其需給 4. 信用の職能と其の機構 5. 金融經濟の發達 6. 金融の統制 7. 資本主義的金融の統制 8. 金融の科學的統制 9. 金利

同 日本經濟の改善點と金融資本確立の程度（經濟往來 **5**-12）昭 5

*同 日本金融論 東京 東洋經濟出版部 昭 6 682 頁 菊〔參照 目次：I, 3, b〕

*同 實踐金融論 東京 千倉書房 昭 9 618 頁 菊

1. 金融通貨の一般論と其の實際 2. 金本位離脫期の我金融政策の實際 3. インフレーションの理論と實際

4. 金利政策と我國金利水準の問題 5. 金融操作の新形式としての通貨價値切下策の研究 6. 金本位離脱下の爲替問題 7. 恐慌其の他の金融經濟諸問題

高橋正雄 金融資本の法律學—經濟學の立場から (經濟往來 6-11) 昭 6

高宮誠 銀行と貨幣との關係 (金融研究 2-9) 大 14

高島佐一郎 銀行論序說—若干時論に關說されたる(國民經濟雜誌 29-2) 大 14

同 若干時論に關說されたる銀行論序說 (國民經濟雜誌 39-2) 大 14

*同 金融經濟の諸問題 改訂增補 7 版 東京 寶文館 昭 2 600 頁 菊〔3 版 大 12 657 頁〕

*同 新貨幣金融論 東京 千倉書房 昭 9 316 頁 菊

I. 主張 1. 統制經濟と統制金融への機構上の缺陷 2. ブロック經濟と管理通貨の必然と限界 3. 計畫經濟遂行下の弗, 磅, 圓の動きの相對性 4. 米國金政策の矛盾と我國の適正對策 5. 弗の安定と非常準備と世界景氣 6. 國際政局上の二警戒點—英米佛露接近の現實と日獨親和の眞說 7. 米露接近の經濟的意味と我國への影響 8. 大所得大財產への增稅の必然性 9. 三大國に見られた金の挿話とその教訓

II. 時論 〔省略〕

III. 叙述 〔省略〕

同 最近の財政論金融論主流の瞥見 (東洋經濟新報 1636) 昭 10

同 高垣寅次郎:「銀行論」讀後とその吟味 (國民經濟雜誌 50-4) 昭 6

*高山藤次郎 銀行讀本 東京 日本評論社 昭 10 213 頁 菊

竹島富三郎 景氣の變動と金融機構との關係 (銀行研究 21-5) 昭 6

*田中金司 貨幣論, 銀行論 〔經濟學全集—改造社 7 の內 130 頁〕 昭 4

1—4. 〔省略〕 5. 信用の作用と銀行の本質 6. 銀行券發行制度 7. 支拂準備金の組織 8. 支拂交通の機構 9. 割引市場の構成 10. 中央銀行の市場統制

*丹後愛二郎 銀行論 東京 中央書房 昭 10 396 頁 菊

谷口福太郎 金融と思惑 (銀行研究 11-1) 昭 1

谷口彌五郎 金融資本主義雜考 (我等 7-3) 大 14

淡中政治 金融資本主義の法律的本質—抵當制度の發達より見たる考察 (銀行研究 20-1) 昭 6

東郷實 金融資本本位政策と農村の貧困 (我觀 79) 昭 5

豐崎稔 景氣惡化と金融資本の政策 (大阪銀行通信錄 407) 昭 6

張素民 貨幣與銀行的關係 (學藝 11-10) 民 21

*ウキザース, ハートリ 實際金融講話 鴻原義務譯 東京 白揚社 大 14 301 頁 四六

山田幸太郎 金融資本の現狀 (金融研究 2-2) 大 14

*山崎覺次郎 貨幣銀行問題一班 改訂增補 4 版 東京 有斐閣 大 9 629 頁 菊〔1 版 大 1〕

1. 貨幣研究上の重要觀念 2. 貨幣の價値 3. 金地金の價格騰貴 4. 價値の單位 5. 貨幣の對外價値と其維持策 6. 自由鑄造の制度 7. グレシャムの法則 8. 明治三十年貨幣法改正の結果に關する謬見 9. 貨幣の價値を測節せんとするフィシャー敎授の考案 10. 金貨の流通せざる金本位國 11. 歐洲交戰國に於ける金貨蓄藏と兌換停止 12. 金本位制の將來 13. 中央銀行の正貨準備 14. 日露中央銀行の制限外發行 15. 宏圖銀行券の存在 16. 小額紙幣 17. 信用制度と貨幣の節約 18. 銀行の本質 19. 銀行利率と市場利率 20. 日本銀行營業年限の延長 21. 手形交換高 22. 社會問題の調査方法たる「アンケート」 23. 「物價」なる語 24. 歐洲戰亂と貨幣制度

*同 金融論 東京 統計局 大 12〔國勢院統計講習會講演錄の內〕

*同 通貨, 金融, 外國爲替 大 12〔外國爲替に關する講演速記錄〕

*同 銀行論 改訂 12 版 東京 有斐閣 昭 5 190 頁 菊

1. 緒論 2. 銀行券の發行 3. 預金 4. 債券の發行 5. 手形の割引 6. 貸付 7. 爲替

*同 金本位の作用, 特に金融との關係 東京 啓明會 昭 7 61 頁 菊〔46 回講演集〕

吉田五郎 金解禁と金融資本の進出 (ダイヤモンド 19-1) 昭 6

吉田寬 "A Treaties on Money" に現はれたるケーンズの金融理論に就いて (三田學會雜誌 26-4) 昭 7

*同 ケーンズ金融理論概說 東京 高原書店 昭 8 351 頁 菊

*同 ケーンズ金融理論と管理通貨 東京 森山書店 昭 9 376 頁 菊

ドイツ金融資本の解剖 (中央公論 48-5) 昭 8

本邦に於ける株式資本の分散と金融資本の發展 (財界研究 4-2) 昭 3

本邦に於ける金融資本的集中の展望 (財界研究 7-4) 昭 4

貨幣銀行學序 (農織公報 25) 民 19

貨幣組織或は金融上より見たる生產と消費の不均衡の原因及び結果 (京都經濟時報 40) 昭 8

金融及金融市場の要件 (大阪銀行通信錄 325) 大 13

金融資本獨裁と勞働黨內閣の沒落 (批判 2-8) 昭 6

金融資本の事業制覇と主要產業統制法改正問題 (金融知識 4-4) 昭 9

金融資本制覇過程に於ける我が國民經濟の展望 (財界研究 8-1) 昭 5

金融資本と產業資本との協働 (財界研究 9-2) 昭 5

マーシャルの貨幣信用及貿易論 (商業及經濟研究 32) 大 12

2. 金融史

a. 一般

江頭恒治 ロスチャイルド家 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

*ホップソン 世界銀行史談 岩田耕作譯 大阪藤本ビルブローカー銀行 昭 1 110 頁〔非賣〕

細矢祐治 信託經濟の起源發達概況 (明大商學論叢 11-4) 昭 7

池田榮 ユダヤ人 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

猪谷善一 奈翁戰爭後の財政金融問題 (企業と社會 9) 昭 1

*春日井薰 貨幣金融及物價の史的研究—近世英國金融史論 東京 文雅堂 昭 2 430 頁 菊

1. 緒論 2. 十八世紀末に於ける英國金融狀態 i. 貨幣制度 ii. 英蘭銀行 iii. 一般銀行と金融 iv. 英國の財政 v. 物價の傾向と國民生活 3. 戰爭と紙幣の兌換停止 4. 不換紙幣 5. Bullion Report と其前後 6. 平和恢復と戰後の金融 7. 紙幣兌換の再開 金本位復歸 8. 投資と投機及び恐慌 9. 中央銀行と一國產業 10. 財界景氣の循環と投機 後記 附錄 貯蓄銀行の起原及發達

加藤和根 證券市場機關銀行と其發達 (銀行研究 25-1) 昭 8

謙益 世界銀行史略 (錢業月報 7-8) 民 16

北川實 銀行業の起源發達合同批判 (中央銀行會通信錄 272) 大 14

吳文炳 信託の歷史と事業 (市町村雜誌 457) 昭 7

串本友三郎 近世銀行のサンシモン主義的起源 (銀行論叢 17-3/4) 昭 6

同 振替銀行 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

町田義一郎 銀行史 (金融大辭典 1 卷 8 頁) 昭 9

三浦恒夫 高利貸資本の發展〔中世に於ける商業〕 (歷史科學 2-8) 昭 8

西村勝太郎 銀行史談 (關西大學學報 87/88) 昭 6

西野入愛一 ロスチャイルド (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

大山敷太郎 フッガー家 (經濟學辭典 V 卷 1 頁 昭 7

柴謙太郎 投銀とは何, 海上貸附か, コンメンダ投資か (經濟史研究 45/46) 昭 8

高野忠雄 希臘時代の金融業に就て (銀行論叢 5-3) 大 14

高山潔 「バークレース銀行史」を讀む (銀行研究 12-4) 昭 2

山口正太郎 中世寺院法と銀行業 (銀行研究 8-1) 大 14

同 メジチ家 (經濟學辭典 V 卷 2頁) 昭 7

山岡重知 各國に於ける銀行發達の概況 (經濟集志 8-1/2) 昭 10

世界大戰直後の銀行破綻回顧 (金融三曆 5-11) 昭 9

b. 各國別

日本

上田藤十郎 兩替天秤役銀 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

*明石照男 明治銀行史 東京 改造社 昭 10 272 頁 四六〔現代金融經濟全集 33〕

安藝國雄 明治政府の銀行政策 (企業と社會 10) 昭 2

馬場鍈一 不動產金融發達史 (經濟知識 11-5) 昭 9

ブラッター, ハーバート・エム 米人の見たる我國銀行業の發達 (銀行通信錄 536) 昭 5

*第百七銀行 第百七銀行史 大 13

*第一銀行 第一銀行五十年小史 (長谷井千代松編) 東京 同行 大 15 148 頁

*第三十八銀行 第三十八銀行五十年誌 昭 3

江頭恒治 金錢延賣買會所 (金融大辭典 1 卷 2 頁) 昭 9

同 棄捐 (金融大辭典 I 卷 3 頁) 昭 9

同 大名貸 (金融大辭典 II 卷 4 頁) 昭 9

江頭恒治 錢屋取引組 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9

同 札差 (金融大辭典 III 卷 3 頁) 昭 9

遠藤正男 福岡藩の櫨蠟取引と銀會所諸札 (經濟史研究 25) 昭 6

遠藤佐々喜 松好貞夫: 日本兩替金融史論を味ふ (社會經濟史學 2-11) 昭 7

同 江戸時代の公金爲替制度に於ける御爲替組の發達眞相 (社會經濟史學 4-6) 昭 9

濱村正三郎 農村に於ける幕末期の獻金及御用金に就いて (經濟史研究 11-2) 昭 9

同 入替兩替 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同 親兩替 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同 辻 商 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 錢兩替 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 本兩替 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

同 兩 替 (金融大辭典 III 卷 3 頁) 昭 9

同 脇兩替 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

*原 傳 赤穗藩の備荒貯蓄制度 昭 8 菊〔京都帝國大學農學部農林經濟研究室パンフレット 14〕

林 春隆 大阪の兩替屋 (上方 35) 昭 8

*彦根高商調査課 近江商人と金融 昭 7

*同 尾州家名目金 近江商人の金融力 昭 8

土方久徴 金融發達史 (經濟知識 12-1) 昭 9

土方成美 明治初年の官營と金融 (經濟學論集 4-4) 昭 1

*北海道拓殖銀行 北海道拓殖銀行二十年史 同銀行 大 9

*同 北海道金融史 同銀行 大 11

*本位田祥男 十九世紀末以前の金融と英蘭銀行の設立〔山崎教授還暦祝賀記念論文集 金融篇の内〕 昭 4

本庄榮治郎 德川時代の金融引渡概說 (經濟史研究 9/10) 昭 5

同 明治初年御用金の負擔者に就て (經濟論叢 33-2) 昭 6

本庄榮治郎 金飛脚 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同 金融史 (本邦明治以前の) (金融大辭典 I 卷 5 頁) 昭 9

同 御用金 (金融大辭典 II 卷 3 頁) 昭 9

同 出 舉 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同 ・松好貞夫 日本金融史 (經濟學辭典 IV 卷 3 頁) 昭 6

堀江保藏 鳥取藩の鐵類江戸直送と境融通會所 (經濟史研究 41) 昭 8

*兵庫縣農工銀行 兵庫縣農工銀行三十年誌 昭 4

飯田照夫 王朝時代に於ける農業信用制度及農民救濟と出舉 (經濟集誌 3-1) 昭 5

猪坂直一 德政の變遷 (帝國農會報 22-8) 昭 7

井上貞藏 明治初期の貨幣及金融 (日本法政新誌 24-3) 昭 2

*石橋湛山 日本金融史〔經濟學全集—改造社 31 の内 64 頁〕 昭 5

石井健吾 普通銀行發達史 (經濟知識 12-1) 昭 9

*石澤久五郎 本邦銀行發達史 東京 同文館 大9 620 頁 菊

I. 第一期 國立銀行制度の移植及びその隆盛時代 1. 爲替會社の異聞 2. 紙幣銷却問題と國立銀行制度の移植及び其の發達 3. 普通銀行の萌芽及び橫濱正金銀行の創立
II. 第二期 兌換制度確立の時代 4. 紙幣政策と中央銀行設立の理由 5. 日本銀行の創立と不換紙幣の整理 6. 兌換制度の確立及び其後に於ける諸銀行 7. 創業期に於ける橫濱正金銀行
III. 第三期 金本位制度と銀行制度の革新及びその擴張時代 8. 金本位制の採用及び國立銀行の處分問題 9. 國立銀行より普通銀行へ 貯蓄銀行の分立 10. 日本銀行及び橫濱正金銀行の發達 11. 日本勸業銀行及び農工銀行の創立 12. 北海道拓殖銀行, 臺灣銀行及び日本興業銀行の創立
IV. 第四期 銀行制度の整頓及び資力充實の時代 13. 普通銀行の發展及び貯蓄銀行 (上) 14. 同 (下) 15. 資力充實期に於ける日本銀行 16. 橫濱正金銀行の擴張 17. 日本勸業銀行の發展 18. 農工銀行の發達 19. 北海道拓殖銀行の發展 20. 日本興業銀行の頓挫 21. 朝鮮銀行の設立及び其の由來 22. 臺灣銀行の活躍
V. 總括 23. 本邦銀行業發展の總括的觀察

同 我國金融機關の發生及び其の發達 (金融研究 2-7/8) 大 14

同 明治維新以前に於ける金融機關の發達 (統計學雜誌 495) 昭 2

同 本邦銀行發達前史 (銀行研究 25-3/4) 昭 8

石澤久五郎 金融恐慌史 (我が國の) (金融大辭典 I 卷 12 頁) 昭 9

伊東秀之助 貯蓄銀行發達史 (經濟知識 11-5) 昭 9

金澤理康 明治初期に於ける消費貸借法の變遷 (早稻田法學 10) 昭 5

菅野和太郎 國立銀行に就て一株式會社發生史上より觀たる (彦根高商論叢 6) 昭 4

同 明治初年の大阪爲替會社に就て (經濟論叢 28-2) 昭 4

同 大阪爲替會社の業務 (經濟論叢 28-3/4) 昭 4

*同 國立銀行〔明治維新經濟史研究—改造社の内 35 頁〕 昭 5

*同 通商會社, 爲替會社〔明治維新經濟史研究—改造社の内 193 頁〕 昭 5

同 明治初年の彦根融通會社に就いて (經濟史研究 3) 昭 5

同 我國に於ける證券市場の發生 (經濟史研究 12) 昭 5

同 爲替會社 (經濟學辭典 I 卷 2 頁) 昭 5

同 國立銀行 (經濟學辭典 II 卷 2 頁) 昭 6

同 近江商人と地方金融 (經濟論叢 33-3) 昭 6

同 紀州家名目金 (經濟論叢 34-3) 昭 7

*同 大阪通商會社及大阪爲替會社〔明治大正大阪市史 5 の内〕 昭 8

同 尾州家名目金—近江商人の金融力 (經濟史研究 41) 昭 8

同 我國に於ける手形流通に就きて (經濟史研究 45/7) 昭 8

同 預り手形 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同 國立銀行 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同 鴻池家 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同 住友家 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

加藤繁太郎 元老院會議筆記兩替營業規則 (銀行通信錄 596) 昭 10

同 元老院會議筆記, 日本銀行條例 (銀行通信錄 597) 昭 10

吉川秀造 明治政府の貸附金 (經濟論叢 29-4/6; 30-2) 昭 4/5

吉川秀造 熊野三山貸附金に就いて (經濟史研究 3) 昭 5

*木村恒夫 銀行其の他金融業の發達 東京 岩波書店 昭 8 27 頁 菊〔日本資本主義發達史講座 第 2 部 資本主義發達史〕

北山富久二郎 銀行史 (本邦の) (金融大辭典 I 卷 10 頁) 昭 9

小林平左衞門 明治前期の地券制度と農地金融 (帝國農會報 18-7/10) 昭 3

幸田成友 天保十四年の御用金につき (商學研究 5-2) 大 14

小早川欣吾 我國中世に於ける動產質 (社會經濟史學 2-9/10) 昭 7/8

*栗栖赳夫 日本金融經濟史の研究 東京 清水書店 昭 2 252 頁 菊

I. 日本經濟史の研究 1. 上古時代に於ける經濟狀態 2. 中古時代に於ける經濟狀態 3. 中世時代に於ける經濟狀態 4. 近世時代に於ける經濟狀態 5. 中古の救貧時代 6. 周防岩國川尻に於ける新田開發 7. 中古に於ける役身折酬及奴隸賣買の法 8. 古代に於ける貧富雜考 9. 大內氏の商工業雜考 10. 室町幕府の諸稅雜考
II. 日本金融制度史の研究 1. 出舉の制度 (救窮的農民金融) 2. 質及抵當の制度 3. 無盡又は賴母子の制度 4. 兩替商の研究 5. 札差商の研究

黒羽兵治郎 維新以後に於ける大阪の金錢貸付業 (經濟時報 5-5) 昭 8

串田萬藏 金融業發達史 (經濟知識 11-5) 昭 9

增井光藏 明治年代に於ける金融組織の發展 (國民經濟雜誌 37-3/5) 大 13

松好貞夫 銀目廢止と大阪の財界 (經濟史研究 3) 昭 5

同 德川時代の商業金融 (經濟史研究 26) 昭 6

*同 日本兩替金融史論 東京 文藝春秋社 昭 7 473 頁 菊

1. 緒論 i. 研究の對象 ii. 研究の範圍 iii. 研究の方法 2. 商業資本と兩替商金融 i. 概論 ii. 大阪の經濟的地位 iii. 大阪商人の融資 iv. 兩替商金融の形態 3. 兩替商金融の發達 i. 幣制の變遷と兩替商金融 ii. 兩替資本の發展 iii. 兩替商の經營 4. 兩替商金融の組織 i. 概論 ii. 大阪の商業取引 iii. 取引支拂の形式 iv. 兩替商の金融組織 v. 兩替商相互間の融通 vi. 商業信用の保全 5. 大名貸と兩替商金融 i. 概論 ii. 大名貸の組織 iii. 大名貸の累積と資本の運轉 iv. 兩替商金融との關係 6. 江戸大阪間の爲替關係 i. 概論 ii. 上方江戸間の公金爲替 iii. 江戸大阪間の一般爲替 iv. 毛綿江戸積商人の爲替の協定 v. 貨幣の現送 7. 金銀貨の對立と經濟生活 i. 概論 ii. 德川時代貨幣制度の概要 iii. 江戸及び大阪の貨幣本位 iv. 金銀貨の對立と經濟關係 v. 信用の膨脹と貨幣經濟 8. 兩替商金融の統制 i. 德川幕府の統制 ii. 本兩替商株仲間

iii. 金相場會所 9. 資本主義と兩替商金融 i. 概論 ii. 御用金政策と兩替商金融 iii. 幕末の商社と兩替商金融 iv. 明治維新と兩替商金融 10. 結論 i. 全幅の要旨 ii. 兩替商と銀行

松好貞夫 兩替（經濟學辭典 V 卷 3 頁）昭 7

同 維新當時に於ける大阪の商業金融制度（經濟史研究 27）昭 7

同 德川時代に於ける江戸大阪間の金銀貸對立に就て（經濟史研究 28）昭 7

同 大名貸と兩替商（經濟史研究 30）昭 7

同 江戸大阪間の爲替取組に就いて（經濟史研究 33）昭 7

同 國立銀行の金融形態について（經濟史研究 56）昭 9

*三井銀行 三井銀行五十年史 昭 1 98 頁 附錄 19 頁 菊

三井高維 江戸に於ける兩替仲間の變遷と其特性（經濟史研究 21/22）昭 6

*同 編 校註 兩替年代記一原編 東京 岩波書店 昭 8 816 頁 附錄 88 頁 四六倍

1. 目錄年代見出しの項目 2. 年序 3. 金銀圖譜 4. 總說 5. 年代記 附錄 1. 兩替年代記編纂引用書目 2. 內容類別索引

*同 編 新校 兩替年代記關鍵一考證篇 東京 岩波書店 昭 8 362 頁 附錄 73 頁 圖表 16 四六倍

1. 江戸兩替仲間の發達 2. 江戸兩替仲間の特質 3. 兩替屋營業用器具の實驗的解說 4. 江戸時代の幣制提要 5. 貨幣相場研究の豫備知識 7. 江戸時代の貨幣相場の歷史的特殊研究 8. 江戸を中心とする三都の金銀錢相場の年表（八種） 9. 江戸を中心とする三都の金銀錢相場の研究圖表（拾六種）

*同 編 新校 兩替年代記關鍵一資料篇 東京 岩波書店 昭 8 816 頁 附錄 73 頁 四六倍

1. 江戸の兩替仲間名簿 2. 江戸本兩替仲間の規定書類 3. 江戸諸兩替仲間の規定書類 4. 江戸總兩替屋の仲間株法規 5. 江戸兩替屋研究文獻 6. 兩替屋の營業用具の研究資料 7. 貨幣相場研究の參考資料 8. 貨幣年表參考 9. 附表 江戸町奉行年表

毛利英於菟 明治維新の通貨と信用とに就て（經濟研究 3-3）昭 1

中山太郎 特殊の借金と證文（歷史地理 65-1）昭 10

*日本銀行調査局 日本銀行沿革組織及業務一班 昭 7

*日本勸業銀行 日本勸業銀行三十年志（豐田久和保編）東京 同行 昭 2 300 頁 菊

*日本興業銀行調査課 日本興業銀行最近十年史 東京 同行 昭 9 163 頁 菊

野村兼太郎 大名貸について：その實例（三田學會雜誌 29-2）昭 10

野村重臣 大阪に於ける藏屋敷に就いて（同志社論叢 40）昭 8

*野村順之助 日本金融資本發達史 東京 共生閣 昭 8 329 頁 菊

1. 緒論 2. 金融史上に於ける明治維新の役割 3. 過渡期の金融制度 4. 兌換制下に於ける金融制度の整頓 5. 金融活動の擴大 6. 金融活動の成熟

*岡田純夫 本邦銀行史〔銀行信託講座—斯文書院 1, 6, 9, 10 の內〕昭 4/5

*同 本邦銀行金融變動史 東京 斯文書院 昭 6 253 頁 菊

大森研造 石澤氏の「本邦銀行發達史」を讀む（經濟論叢 2-6）大 10

大野榮一郎 我國に於ける手形交換所の發生（經濟史研究 44）昭 8

*大島唯史 日本金融資本發達史 東京 大衆經濟社 昭 7 319 頁 菊

大山敷太郎 地方的なる幕末の上納金（經濟史研究 38）昭 7

關山直太郎 十人兩替考（經濟史研究 6, 8）昭 5

澁澤榮一 我國に於ける銀行創設の回顧（銀行通信錄 506）昭 3

汐見三郎 財政金融十年史（經濟往來 10-5）昭 10

白井規短雄 「準備時代」に於ける日本の近代的金融機關（上）—日本金融機關發達史研究の一節（信託協會會報 9-4）昭 10

相田二郎 金錢の融通から見た奈良朝の經師等の生活（歷史地理 42-2/3）大 12

菅吉男 室町時代の質屋（庶民金融 7-10/13, 8-1/5）昭 6/7

*杉本正幸 全國農工銀行發達史 改訂增補 4 版 東京 全國農工銀行發達史發行所 昭 3 992 頁 附錄 161 頁 菊〔1 版 大 13〕

I. 總論 1. 農工銀行設立前 2. 全國農工銀行の設立 3. 農工銀行制度の變化 4. 國家の補助 5. 農工銀行營業の發達 6. 農業改造合併問題の由來及其の經過 7. 不動產銀行案問題の由來及び其の經過 8. 全國農工銀行最近の發達

II. 各論 1. 全國農工銀行同盟會 2. 東京府農工銀行 3. 神奈川縣農工銀行 4. 埼玉農工銀行 5. 茨城農工銀行 6. 長野農工銀行 7. 群馬縣農工銀行 8. 栃木縣農工銀行 9. 福島縣農工銀行 10. 宮城縣農工銀行 11. 岩手縣農工銀行 12. 大阪農工銀行 13. 兵庫縣農工銀行 14. 奈良縣農工銀行 15. 三重縣農工銀行 16. 愛知縣農工銀行 17. 滋賀縣農工銀行 18. 澁岐農工銀行 19. 岡山縣農工銀行 20. 廣島縣農工銀行 21. 阿波農工銀行 22. 愛媛縣農工銀行 23. 宮崎縣農工銀行 24. 大分縣農工銀行 25. 長崎縣農工銀行 26. 鹿兒島縣農工銀行 27. 全國農工銀行經費者

附錄 農工銀行法規

朱鼎 十年來日本銀行業之變遷（銀行週報 725）民 20

*臺灣銀行 臺灣銀行二十年誌 大 8 458 頁

高橋龜吉 明治維新當時のモラトリユム（經濟史研究 4）昭 5

*高橋眞一 京都金融史 京都 同人 大 14

高山金一 武士階級の世襲財產の剝奪と金融資本化した金錄公債制（我觀 50）昭 2

高柳眞三 仙臺藩の買物奉公（法學 2-1/2, 4）昭 8

武田長太郎 大阪に於ける貯蓄機關の濫觴に就て（經濟史研究 35）昭 7

瀧川政次郎 奈良時代の德政（法學新報 42-7）昭 7

田北學 The Development of Banking in Japan（研究資料彙報 4-4）昭 4

*瀧澤直七 殖大 日本金融史論 3 版 東京 有斐閣 大 9 1012 頁 菊

*遞信省貯金局 郵便爲替制度沿革史料 昭 4

寺尾宏二 金商人（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 金持（銀持）（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 替錢（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

同 切賃（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同 土倉（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同 賬貸（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同 德政（金融大辭典 II 卷 5 頁）昭 9

*東洋經濟新報社編 金融六十年史 東京 同社 大 14 630 頁 菊〔東洋經濟叢書 1〕

I. 緒論 1. 維新前後に於ける經濟上の變動 2. 舞臺の概說

II. 金融機關の創設及其整頓 1. 明治幣制の創設 2. 銀行業の創設 3. 發券銀行の統一, 預金銀行の發展 4. 特殊機關の興起 5. 金本位制の實施 6. 銀行の保護監督

III. 金融機關の發達 1. 總說 2. 金本位實施前に於ける金融機關の發達 3. 金本位實施後第一期金融機關の發達 4. 金本位實施後第二期金融機關の發達 5. 金本位實施後第三期金融機關の發達

IV. 財界の變動と金融 1. 總說 2. 兌換實施前に於ける金融 3. 兌換實施後に於ける金融 4. 日清戰時及戰後の金融 5. 日露戰後の金融 6. 世界戰中戰後の金融

V. 金利の變遷 1. 兌換開始前の金利 2. 兌換開始後日清戰前の金利 3. 日清戰時戰後の金利 4. 日露戰時戰後の金利 5. 世界戰中戰後の金利

*朝鮮銀行 朝鮮銀行二十五年史（澁谷禮治）昭 10 276 頁 菊

*朝鮮金融組合協會 朝鮮金融組合史 京城 昭 4 747 頁

*朝鮮殖產銀行 朝鮮殖產銀行十年志 昭 3 217 頁

仲廉 五十年來日本之金融（銀行週報 483/84）民 16

*鵜野久吾 日本金融發達史 東京 經濟情報社 大 14

渡邊庸一郎 報德社（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

八木澤善次 明治初期の不動產金融問題とペ・マイエットの土地抵當貸借所案（農業經濟研究 11-3）昭 10

同 明治初期の不動產金融運動としての大日本勸農義社（經濟史研究 14-1）昭 10

山岡重知 外人の觀た日本の銀行概史（經濟集志 4-1）昭 6

銑薇元 日本金融史（錢業月報 11-12）民 20

結城豐太郎 金融業發達史（經濟知識 11-5）昭 9

柚木重三 質（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

爲替の下落, 郵便貯金の減少, 我國の銀行合同, 佛國の國際收支（國勢グラフ 2-1）昭 8

國立銀行創設時代の回顧（金融三曆 6-2）昭 10

明治銀行史論〔青淵先生〕（龍門雜誌 463/75）昭 2

明治維新以前に於ける金融機關（銀行通信錄 497）昭 2

明治年代に於ける金融景氣の回顧（中外財界 2-21）昭 2

大阪銀行集會所の沿革（大阪銀行通信錄 377）昭 4

質屋と其沿革（金融三曆 4-8）昭 8

重要銀行會社四十年史（東洋經濟新報 1628）昭 9

アメリカ合衆國

糸川成章　合衆國各地に於ける第一國立銀行に就て（龍門雜誌 490）昭 4

松野賢吾　植民地ヴァヂニヤに於ける銀行の濫觴並に其後の發展（長崎高商研究館彙報 19-3）昭 7

奥田勳　米國銀行制度史論（銀行論叢 1-4/6；2-2/4, 6；3-1）大 12/13

同　米國國立銀行制度史論（銀行論叢 3-1）大 13

同　聯邦準備制度史論（銀行論叢 5-6）大 14

*同　米國銀行制度發達史 2 版 東京 内外出版株式會社 昭 4 794 頁 菊

*ベリン，イー・テイ　米國信託會社發達史 河田正義譯 東京 帝國地方行政學會 大 11 237 頁

靜如　美國金融制度小史（銀行週報 725/28）民 20

白井規矩雄　1920 年代に於ける米國銀行業發展様相に關する若干の資料（信託協會會報 8-4）昭 9

スタイナー　米國に於ける銀行信用制度の發達（東洋經濟新報 1054/55）大 12

米國銀行業發展様相に對する若干の考察（銀行通信錄 584）昭 9

米國金融恐慌史〔M S 生〕（大阪銀行通信錄 429/33）昭 8

米國「チエース・ナシヨナル」銀行の發達（銀行通信錄 531）昭 5

英米獨に於ける銀行發達大勢（藤本銀行週報 168）大 8

ドイツ

美濃部亮吉「デイスコント・ゲゼルシヤフト」の歷史（經濟學論集 7-1）昭 3

住吉四郎　獨逸に於ける銀行及信用組織發達の概要（銀行論叢 1-1/3）大 12

英米獨に於ける銀行發達大勢（藤本銀行週報 168）大 8

フランス

クラピト，ピエル　ナポレオンと佛蘭西銀行（財政經濟時報 17-9）昭 5

中西寅雄　クレディー・モビリエーの設立と歷史（經濟學論集 6-1）昭 2

イギリス

*アンドレアデス，エー　英蘭銀行史論 町田義一郎譯 東京 日本評論社 昭 7 636 頁 菊

江口行雄　イギリス投資信託の史的發展（國民經濟雜誌 49-6）昭 5

一谷藤一郎　英蘭銀行の成立及び發展過程に就て（經濟論叢 28-4/5）昭 4

同　1797 年の恐慌と英蘭銀行の兌換停止（經濟史研究 6, 8）昭 5

同　金融統制の一原理として觀たるピール銀行法（研究と資料 2）昭 7

*金田近二　英國に於ける Moneyed interest の發達と英蘭銀行の創立〔神戸高商創立二十五周年紀念論文集の内〕昭 4

春日井薫　英蘭銀行の創立（明大商學論叢 4-2）昭 3

町田義一郎　1797 年の金融恐慌と Bank Restrication Act の制定（三田學會雜誌 24-3）昭 4

二宮丁三　英國貨幣金融發達史概說（山口商學雜誌 15/16）昭 9/10

野村兼太郎　英國に於ける銀行業の發生（史學 8-4）昭 4

同　英蘭銀行設立の由來（三田評論 377）昭 4

*奥田勳　英國金融市場論 大阪 銀行問題研究會 昭 2 276 頁 菊

同　英國に於ける株式組織銀行の勃興（銀行研究 8-5）昭 2

同　英國金融市場の濫觴（銀行論叢 8-2）昭 2

同　英蘭銀行の起原及發達と初期の個人銀行業者（銀行論叢 8-2/3）昭 2

同　1844 年の銀行特許條例と其後の恐慌並に株式組織銀行の勃興（銀行論叢 8-4）昭 2

同　株式組織銀行の勃興（銀行論叢 8-5）昭 2

同　株式組織銀行の勃興と英國金融市場の樞軸としての英蘭銀行（銀行論叢 9-2/3）昭 2

竹中龍雄　近世英國金融史（企業と社會 17）昭 2

*山下宇一　英蘭銀行生成史の一側面〔經濟學研究一東京商大 福田德三博士追憶論文集の内 32 頁〕昭 8

英米獨に於ける銀行發達大勢（藤本銀行週報 168）大 8

英國銀行業發達小史（大阪銀行通信錄 309）大 12

過去百年間に於ける英蘭銀行金利變動の跡〔H・A〕（中央銀行會通信錄 275）昭 1

イタリー

銀行問題研究會調査部　世界最古の銀行—ナポリ銀行（銀行論叢 20-1）昭 8

十龜盛次　中世伊太利銀行業の回顧（大阪銀行通信錄 443）昭 9

山口正太郎　十三世紀伊太利に於ける寺院と金融（經濟史研究 2）昭 4

オランダ

堀江保蔵　アムステルダム銀行（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

三浦實　アムステルダム銀行（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

ロシア

平實　露西亞銀行制度の變遷に就て（銀行論叢 23-5）昭 9

田中九一　ロシヤに於ける銀行の發達（金融研究 3-1）昭 1

支那

*濱田峰太郎　中國最近金融史 東京 東洋經濟新報社 昭 10 490 頁 四六

加藤繁　飛錢（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

小林高四郎　宋代地券攷（社會經濟史學 2-10）昭 8

武藤長蔵　銀行會館なる名辭が二百年前支那に存せし事實の發見（商業と經濟 2/3）大 12

同　前號所載拙稿「銀行會館なる名辭が約二百年前支那に存せし事實の發見」訂正增補（商業と經濟 4）大 12

*周葆鑾　中華銀行史 民 8

滙豐銀行沿革考（國際通商時報 12）大同 3

スウェーデン

五十嵐喬　ヘックシャー：瑞典銀行史（經濟商業論纂 9）昭 10

3. 金融制度

a. 一　般

青木茂　企業資金の分野と金融機關の分業（銀行論叢 9-1）昭 2

淺野研眞　ルイ，ブランの民主的信用組織論（無盡通信 7-3/5）昭 7

*ダグラス，シー・エイチ　信用機關の社會化 岩村忍譯 東京 中央公論社 昭 4 163 頁 四六

フロシンガーム　金融業者と公共事業の新組織（インヴェストメント 3-1）大 15

嚴雙　中央銀行之進展與銀制度之將來（東方雜誌 30-14）民 22

*堀江歸一　金融及金融機關 東京 東京銀行集會所 大 13 237 頁 菊〔銀行叢書 2〕

同　金融及金融機關（銀行通信錄 452/53, 456/58）大 12/13

藤原泰　金融補助機關（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

同　金融機關（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

出井盛之　信用制度と社會運動（社會政策時報 43）大 13

神戸秀雄　銀行制度論の一齣（銀行研究 18-6）昭 5

春日井薫　自由銀行主義の主張（明大商學論叢 5-6；6-1）昭 4

同　株式銀行（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同　個人銀行（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

勝田貞次　景氣變動緩和策と金融組織（銀行研究 7-4）大 13

勝田貞次 銀行の本質と金融組織の歸趨（銀行論叢 5-5） 大 14

*北崎進 歐米銀行制度〔銀行信託講座—斯文書院 1/2, 10 の內〕 昭 4/5

*マッケンヂー，ケンネス 英米獨佛最近の銀行事情 伊知地軍司譯 東京 淺野書店 昭 7 238 頁 四六

英國篇 1. 英國銀行 2. 英國個人銀行 3. 英國株式銀行 4. 銀行條合の影響 5. 金融街—倫敦 6. 貯蓄銀行 7. 農業金融 8. 最近銀行界の動き

スコットランド篇 1. 初期の光り 2. 個人銀行の生れ出る頃 3. 株式銀行の出現 4. 通貨條合 5. かうして銀行制度は確立した 6. 貯蓄銀行 7. 農業金融

愛爾蘭篇 1. 銀行發芽期 2. 個人銀行の出現 3. 愛爾蘭銀行 4. 愛爾の株式銀行 5. 銀行業務の種類 6. 銀行法と通貨法 7. 愛爾の貯蓄銀行 8. 農業金融

佛蘭西篇 1. 銀行の起源 2. 法律による銀行の出現 3. ケッス．エスコント（割引銀行） 4. アッシュニアー紙幣 5. ラ．ケッス．ド．コント．ターラン 6. 佛蘭西銀行 7. 株式銀行 8. 個人銀行 9. 不動產銀行 10. 佛蘭西に於ける外國銀行 11. 銀行カルテル 12. 郵便貯金 13. 巴里手形交換所 14. 戰後の躍進

獨逸篇 1. 緒言 2. ライヒス銀行 3. 獨逸金融界の總まくり 4. 大戰後の反撥

米國篇 1. 自由銀行時代 2. 國立銀行時代 3. 聯邦準備銀行時代 4. 米國金融界は語る 5. 聯邦農地金融法 6. 米國銀行の特異性 7. 米國銀行界の昨今 8. 米國金融戰線に活躍する第一線銀行

增田義一 金融機關の獨立を尊重せよ （貿易 27-2） 昭 2

松野淸次郎 歐洲に於ける銀行制度（商業及經濟研究 16/7） 大 8/9

森川太郎 金融機關（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

中谷實 信用及信用組織 （經濟論叢 31-4） 昭 5

同 貨幣量と銀行制度 （經濟論叢 39-6） 昭 9

西村勝太郎 銀行制度と破綻に就て （銀行研究 16-3） 昭 4

*沖中恒幸 金融機關の綜合的研究 東京 巖松堂 大 14 483 頁 菊

1. 緒論 2. 資金調達法としての會社組織 3. 諸信用證券 4. 下級證券の資劃 5. 高級證券の資劃 6. 外國投資トラスト 7. 株式取引所と資金調達 8. 信託會社と近代金融組織 9. 貯蓄機關の機能 10. 商業銀行業務の分解 11. 商業銀行の外國貿易金融 12. 商業手形仲買店と割引會社 13. 商業銀行制度 14. 商業銀行と景氣の蓄發 15. 聯邦準備銀行制度 16. 日本銀行 17. 農業資金の調達

奥田勳 南米銀行業の概論 （銀行論叢 7-3） 昭 1

同 南米重要諸國の金融機關（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9

大森繁治 社會問題解決策としての金融機關（銀行論叢 3-5/6；4-1/5） 大 13/14

*尾崎敬義 殖民地銀行及海外銀行を中心とする特殊銀行制度の研究 大 12

瀨戶健助 最近に於ける各國私營銀行組織の概況 （銀行研究 18-5） 昭 5

志賀志那人 金融社會化論 （社會事業研究 18-9） 昭 5

田川大吉郎 ファッショ來と銀行 （經濟往來 7-8） 昭 7

竹島冨三郎 景氣の變動と金融機構との關係（銀行研究 21-5） 昭 6

同 勞働交換銀行 （金融大辭典 III 卷 2 頁） 昭 9

田中鐵三郎 經濟界と金融機關 （經濟研究 1-1） 大 10

丹後愛二郎 個人銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

渡邊佐平 信用制度の發達 （經濟志林 9-3） 昭 10

山本安次郎 小島昌太郎：金融機構論（法と經濟 2-2） 昭 9

山岡重知 各國に於ける銀行發達の概況（經濟集志 8-12） 昭 10

*安田銀行 銀行の種類と其機能—中央と地方との金融關係，農業金融特に棉花の生產分配に對する金融 昭 5

フランク・ロック氏の貨幣銀行組織改造論（大阪銀行通信錄 279） 大 9

貨幣銀行組織改造論 （大阪銀行通信錄 279） 大 9

各國銀行制度概說 （商工月報 6-3/10） 昭 5

各國銀行制度の話 （政治經濟時論 7-12） 昭 7

社會信用制度の實施 （東洋經濟新報 1673） 昭 10

ショウの新銀行制度論〔A. O 生〕（大阪銀行通信錄 401/03） 昭 6

b. 各 國 別

日 本

*靑木得三 特殊金融機關論 東京 改造社 昭 10 233 頁 四六〔現代金融經濟全集 20〕

アーレン 日本の銀行業と財政（龍門雜誌 487/89） 昭 4

淺野信一 金融制度改善と預金者保護問題（銀行研究 11-3） 昭 1

馬場鍈一 金融機關の合理化に就て（經濟往來 5-11） 昭 5

濱口雄幸 金融制度の整備と國際貸借の改善（東京工場懇話會會報 28） 昭 1

同 金融制度の整備と國際貸借の改善に就て （銀行通信錄 484） 昭 1

*長谷川光太郎 日本金融網の話 東京 千倉書房 昭 10 309 頁 四六

橘爪明男 日本銀行制度改革論（經濟研究 3-3） 昭 1

服部文四郎 我が金融經濟と國際金融 （銀行通信錄 538/41） 昭 5

平野淸 本邦貨幣銀行制度管見 （銀行研究 2-5） 大 11

同 特殊銀行整理の目標（エコノミスト 3-15） 大 14

土方成美 我國金融の歷史的變遷に就て（經濟學論集 8-1） 昭 4

堀江歸一 我國銀行制度の改善 （太陽 27-1） 大 10

同 特殊銀行解放の必要 （銀行研究 3-3） 大 11

同 特殊銀行の不始末を如何にする（エコノミスト 1-3） 大 12

同 財政と金融の改善 （エコノミスト 3-8） 大 14

同 銀行制度の改善 （ユコノミスト 4-8/9） 昭 1

同 特殊銀行の政黨化 （公民講座 27） 昭 2

細矢祐治 一般金融經濟と金錢信託政策（銀行研究 8-3） 大 14

*同 金融制度改善問題 東京 文雅堂 昭 2 387 頁 四六〔銀行講座〕

同 我金融制度と中小產業資金の問題（銀行研究 14-8） 昭 3

藤城敬二 金融制度改善の根本目標（財政經濟時報 15-11） 昭 3

飯淵敬太郎 日本信用體系分析論稿 （經濟評論 2-5, 7/8, 12） 昭 10

池上市藏 金融制度調查會への期待（企業と社會 6） 昭 1

猪俣津南雄 巨大銀行の制覇（改造 13-8） 昭 6

井上辰九郎 金融制度改善と比例準備制創設（我觀 39） 昭 1

同 日本銀行制度の沿革に就て（エコノミスト 10-9） 昭 7

井上準之助 日本の金融制度改正に就て（大阪銀行通信錄 346） 昭 1

石卷良夫 金融制度調查會の設置に就て（外交時報 518；銀行研究 11-1） 昭 1

同 金融改善問題と輿論（銀行研究 13-1） 昭 2

石澤久五郎 我國銀行業の鳥瞰的考察（金融研究 1-3；2-1） 大 13/14

岩本岩男 銀行制度と不況（中央銀行會通信錄 370） 昭 9

岩崎博 新銀行法と支拂準備制度の確立（銀行研究 14-1） 昭 3

各務鎌吉 金融制度改善と產業會の善導（東京工場懇話會會報 28） 昭 1

神戶正雄 我國銀行界の病幣 （時事經濟問題 33） 大 14

同 金融制度改革の問題（時事經濟問題 51） 昭 1

神田鐳藏 金融制度改善に關聯して（銀行論叢 8-2） 昭 2

勝田貞次 我國金融界發達の諸條件（大阪銀行通信錄 345, 347, 350） 昭 1

同 金融制度改善問題（大阪銀行通信錄 351） 昭 1

河津暹 金融機關と事業會社との特殊關係（東京經濟雜誌 2078） 大 10

同 銀行制度改正問題 （經濟學論集 5-1） 昭 1

梶原仲治 特殊銀行整理の標準（エコノミスト 1-1） 大 12

*經濟攻究會 金融制度改善案 昭 3 48 頁

*金融制度研究會 長期金融制度私案 東京 同會 昭 2 32 頁 菊

同 長期金融制度改善案（大阪銀行通信錄 355） 昭 2

北崎進 金融調查會の難關（中外財界 1-20） 昭 1

小林新 復興問題の參考となすべき米國金融組織（ダイヤモンド 11-28） 大 12

小林丑三郎 金融制度の改善 （明大商學論集 1-3） 昭 1

*栗栖赳夫 日本金融制度發達の研究 啓明社 昭 4 218 頁 菊

草間秀雄 朝鮮に於ける金融機關と其の將來（朝鮮 126） 大 14

串田萬藏 新年を迎へて金融制度改善の促進を望む（銀行通信錄 504） 昭 3

增田義一 金融機關の獨立を侵害する勿れ（實業之日本 30-20） 昭 2

松島喜作 銀行概念明定の必要を論ず（銀行論叢 1-1） 大 12

*松崎壽 特殊銀行論 東京 文雄堂 大12 176頁 四六 〔近世商業經濟叢書〕〔參照 目次：I, 1〕

同 特殊銀行と普通銀行（商業及經濟研究 30） 大12

同 銀行と信託會社との關係（商業及經濟研究 35） 大13

同 銀行制度の改善難 （銀行研究 9-5） 大14

同 特殊銀行の改造（我觀 32） 昭1

同 金融界の合理化（竹原經濟時報 24） 昭4

同 特殊銀行（經濟學辭典 IV 卷 1頁） 昭6

三浦實 金融制度調査會 （金融大辭典 1 卷 3頁） 昭9

同 特別金融制度調査會 （金融大辭典 II 卷 1頁） 昭9

同 特殊銀行（金融大辭典 II 卷 2頁） 昭9

村上浩 地方主義と金融制度 （地方 35-4） 昭2

永島愼之輔 我國銀行制度の發達 （國家試驗 4-8） 昭7

*内藤章 復興資金の調達と金融制度の改善〔東京商大一橋會 復興叢書 II の内〕 大12

中田秀雄 吾國の法律上に於ける銀行（銀行論叢 8-4；9-1） 昭2

南波禮吉 證券銀行を特設せよ（エコノミスト 2-1） 大13

成瀨義春 特殊銀行整理の前提（財政經濟時報 12-15） 大14

*日本經濟聯盟會 我國金融制度改善ニ關スル意見書 昭7

*同 我國金融制度改善ニ關スル意見書 昭8

西原龜三 國利民福に合致する金融制度（東洋經濟新報 1223/24） 昭1

丹羽豐 我觀金融機關 （金融研究 2-2） 大14

野崎龍七 金融制度改善に就いての二三（我觀 75） 昭5

同 機關銀行（金融大辭典 I 卷 1頁） 昭9

同 金融系統（金融大辭典 I 卷 2頁） 昭9

小葉田淳 中世琉球に於ける錢貨の流通に就て（歷史と地理 31-3） 昭9

岡田純夫 金融制度の改善と證券金融（銀行研究 12-4） 昭2

同 恐慌に現れたる金融制度の缺陷（銀行研究 12-6） 昭2

岡野文之助 資金偏在と銀行組織（銀行研究 13-4） 昭2

*大藏省銀行局 金融制度調査會議事速記錄 1/2 昭2

小野英二郎 經濟界の將來と銀行制度の改善（銀行通信錄 423） 大10

*大阪高商銀行業務研究室 金融制度の改善問題（松崎壽） 昭1〔調査報告 13〕

坂本三善 日本金融資本の特質について（歷史科學 4-12） 昭10

阪谷芳郎 財界動搖と金融機關の缺陷（東京經濟雜誌 2063） 大9

*佐々井富一 朝鮮の金融機關 大10〔神戸高商海外旅行調査報告大正九年夏〕

瀨賀弓成 特殊銀行改革問題 （政治經濟評論 98） 昭3

志立鐵次郎 金融機關の民衆化一我金融機關改善案 （財政經濟時報 9-4） 大11

白井規矩雄 日本の金融機關と國家 （金融三屑 6-8） 昭10

白石幸三郎 特殊銀行と普通銀行（經濟知識 14-5） 昭10

左右田誠一 本邦金融組織と當面の銀行政策（銀行研究 4-4） 大12

添田壽一 財界安定策としての金融機關整理（公民講座 36） 昭2

蘇和憲三 日本に於ける銀行改革（中央銀行會通信錄 302） 昭3

杉程次郎 金融機關の整備殊に銀行制度改善問題の要諦（銀行論叢 1-1；法學新報 33-3） 大12

高垣寅次郎 新銀行法施行の效果 （企業と社會 23） 昭3

高橋龜吉 我が金融制度改善の基本眼目と其社會的意義（中央公論 41-12） 昭1

*同 日本金融論 東京 東洋經濟出版部 昭6 642頁 附錄 40頁 菊

1. 我が金融資金の源泉と分布 2. 日本金融支配關と財閥の獨占 3. 我が銀行界に於ける獨占の發展 4. 我國に於ける銀行資金の內容と其運用 5. 信託會社の發展と其金融的地位 6. 保險會社の發展と金融界への進出 7. 預金部の發展と其金融的位置 8. 日本の金融市場 9. 日本の資本市場 10. 金融資本家の產業支配と日本に於ける其現狀 11. 日本銀行の機能とその變化 12. 我金融制度改善の基本眼目 附錄 1. 參考統計表 2. 各章統計索引

高城仙次郎 銀行制度の改善 （金融研究 2-10） 大14

高城仙次郎 銀行制度の改善に就て （銀行研究 11-4） 昭1

高木眞一 銀行制度上の一問題（中央銀行會通信錄 380） 昭9

田中正之 金融制度の根本的改善の急務 （稅 5-7） 昭2

*東京經濟學協會 普通銀行制度の缺陷 （梅田助作） 昭3

*東京商工會議所 中小商工業金融と我國金融機關の現狀 昭4 101頁〔商工調査 20〕

遠山貞一 銀行組織問題管見 （銀行研究 2-1） 大11

*東洋經濟新報社編 日本の金融 5版 東京 同社 昭1 446頁 四六

堤正元 金融制度改善と爲替交換制（大阪銀行通信錄 354） 昭2

浦田武雄 我邦金融資本の趨勢（マルクス主義研究 1-5） 大13

渡邊廣重 我金融の根本的疾患（エコノミスト 2-9） 大13

*山室宗文 我國の金融〔社會經濟體系—日本評論社 4 の內 30頁〕 昭2

同 今後の金融界と證券市場に就て（竹原經濟時報 1） 昭2

山浦護 金融改善問題管見（中央銀行會通信錄 300） 昭3

傳統に累されたる我が金融資本 （東洋經濟新報 1466） 昭6

銀行法案 （大阪銀行通信錄 354） 昭2

銀行家の金融改善態度（東洋經濟新報 1253） 昭2

銀行制度の改革とレシーバー制 （東洋經濟新報 1273/74） 昭2

銀行制度の改革は斷じて根本的なれ（東洋經濟新報 1247） 昭2

銀行制度を改革せよ—大阪三銀行合同の示唆（東洋經濟新報 1565） 昭8

合理化金融機關の設立と議決權信託制（エコノミスト 8-15） 昭5

具體化した銀行業改善（エコノミスト 5-13） 昭2

本邦普通銀行に關する調査—大 15 年 11 月大藏省金融制度調査會決定（內外調査資料 2-11） 昭5

改善さるべき金融制度（エコノミスト 4-10） 昭1

金融界の基礎構成から見た我財界 （財界研究 1-4） 昭1

金融制度改革案 〔S. M. Z.〕 （我觀 13-4） 昭10

金融制度改革の二要點（東洋經濟新報 1032） 大12

金融制度改善問題（太陽 32-7） 昭1

金融制度改善と金利高の原因 （ダイヤモンド 14-22） 昭1

金融制度の病根と其の改善方針 （東洋經濟新報 1243） 昭2

金融制度の合理化—實行可能なる產業合理化政策の若干（東洋經濟新報 1388, 1394） 昭5

金融制度の改善問題（ダイヤモンド 14-20） 昭1

金融制度の缺陷（東洋經濟新報 1043） 大12

金融制度調査會 （大阪銀行通信錄 350/51, 354） 昭1/2

金融制度調査會に望む（東洋經濟新報 1218） 昭1

金融制度調査會組織の三要點（東洋經濟新報 1191） 昭1

金融制度調査臨時委員答申案（大阪銀行通信錄 350） 昭1

金融制度は二大系統に整理せよ （東洋經濟新報 1248/49） 昭2

金融組織を如何に改善すべきか （エコノミスト 1-3） 大12

恐慌後の金融制度改善案 （東洋經濟新報 1265） 昭2

日本經濟聯盟會の金融制度改善建議 （銀行通信錄 557） 昭7

日本商工會議所の金融對策建議 （銀行通信錄 557） 昭7

失望せる銀行制度改革案 （東洋經濟新報 1220） 昭1

特銀及大藏省預金部の研究 （東洋經濟新報 1523） 昭7

特殊銀行改造論（東京經濟雜誌 2125） 大12

特殊銀行の整理を望む （財政經濟時報 11-24） 大13

特殊銀行の重役（ダイヤモンド 13-24） 大14

特殊銀行と普通銀行（商業及經濟研究 30） 大12

長期金融機關の發展とその經濟政策 （財界研究 6-1/2） 昭4

我銀行業の疾患（東洋經濟新報 1063） 大12

我金融經濟と國際金融（銀行通信錄 538） 昭5

財界改革と金融組織改善 （大阪銀行通信錄 323） 大13

アメリカ合衆國

バーヂエス 準備銀行と金融市場（大阪銀行通信錄 371/72） 昭3

ヘイス，ウイリアム アメリカ銀行制度に於ける將來の變化 廣瀨雄一譯 （銀行研究 25-5） 昭8

*藤城敬二 米國銀行業研究 大12

岩井仙吉 聯邦準備制 10 ケ年の回顧（銀行研究 9-6） 大 14

岩崎博 大戰後の聯邦準備銀行の機能（銀行研究 9-5） 大 14

同 米國に於けるグループ・バンキング—銀行組織に一大轉換を齎した新傾向（銀行研究 18-2） 昭 5

神戸秀雄 米國準備銀行制度の諸批判（銀行研究 19-6） 昭 5

柏塚辰雄 聯邦中間信用制度（經濟學辭典 V 卷 3 頁） 昭 7

春日井薫 中期信用機關の意義並に其必要—米國の中期信用銀行制度の研究（明大商學論叢 12-5） 昭 7

*同 米國金融制度の特殊問題 東京 文雅堂 昭 10 225 頁 菊

1. 米國聯邦農地銀行制度 2. 米國の中期信用銀行制度 3. 建築金融としてのレテイ・モーゲーヂ 4. 建築金融組合 5. 米國の庶民金融機關 6. 米國の預金保證制度 7. 米國預金保證制度（續）

勝田貞次 米國銀行組織の根本的精神（銀行研究 4-6） 大 12

同 米國の金融商人と放資機關（銀行研究 4-7） 大 12

同 米國金融組織論（追補）（大阪銀行通信錄 318/19） 大 13

*同 米國金融商組織論 東京 文雅堂 大 14 280 頁 菊

同 米國銀行業研究（金融研究 2-3） 大 14

川上良兒 ストロングの聯邦準備法改正案（銀行論叢 13-3） 昭 4

*ケンメラー 米國聯邦準備銀行要義 大山壽譯 大阪 藤本ビルブローカー銀行 大 11 94 頁 附錄: 12 頁 四六

木原文之助 米國に於ける最近の銀行改善問題（銀行研究 13-2） 昭 2

金原賢之助 W. Radolph Burgess: The Reserve Banks and the Money Market.（三田學會雜誌 22-7） 昭 3

北村廣太郎 米國に於ける放資銀行（銀行論叢 1-6） 大 12

同 米國に於ける金融の諸機關（銀行論叢 2-1） 大 13

小林新 米國聯邦準備制度論（ダイヤモンド 12-14） 大 13

同 聯邦準備制度の苦惱と再建（早稻田商學 10-3/4） 昭 9

小西次郎 米國大平洋岸大都市在留日本人の金融機關（銀行研究 9-5） 大 14

小島精一 米國に於ける獨占運動の展開—米國金融査本論の一節（國家學會雜誌 43-8） 昭 4

小島精一 北米合衆國聯邦準備銀行體制の改革問題—特に通貨政策の統制を中心として（社會政策時報 172） 昭 10

熊田克郎 米國銀行制度理論に於ける根本的變革（大阪銀行通信錄 398） 昭 5

同 轉形期に立てる米國金融制度（銀行研究 20-5） 昭 6

クラムプ 米國銀行の缺點と其の改革方針（外國の新聞と雜誌 285） 昭 8

栗栖赳夫 銀行制度の改善とルーズヴェルト大統領（ダイヤモンド 23-33） 昭 10

草島定太郎 故安田翁と米國準備制度（銀行研究 11-1） 昭 1

松尾藤平 準備銀行と金融市場（銀行論叢 10-6; 11-1/5） 昭 3

松崎壽 百貨店銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

同 米國金融恐慌と聯邦準備銀行（銀行研究 24-4） 昭 8

三浦實 グラス・スティーゴール法（金融大辭典 I 卷 8 頁） 昭 9

同 自由銀行制度（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

同 聯邦準備銀行週報（金融大辭典 III 卷 6 頁） 昭 9

中村三之丞 米國聯邦準備銀行の現在及將來（銀行研究 1-1） 大 10

*日本銀行調査局 紐育諸銀行の系統並に其の產業界との聯繫に關する調査 大 14

*同 米國に於ける金融機關 昭 1

西村勝太郎 米國に於ける國庫金取扱制度の變遷（銀行論叢 21-4） 昭 8

能仁充乎 亞米利加銀行制度改革論（信託協會會報 9-3） 昭 10

大木占城 米國銀行の組織と其の運用（銀行論叢 19-4） 昭 7

奥田勳 米國國立銀行制度の缺陷（銀行論叢 2-6, 3-2/6） 大 13

同 米國舊準備制の缺陷と新準備制の銀行組織及運用（銀行研究 7-1） 大 13

同 聯邦準備制度の創設及組織（銀行論叢 4-1/3, 6; 5-1, 3/4） 大 14

同 米國に於ける銀行國庫關係の革新（銀行研究 10-4） 昭 1

*同 米國聯邦準備銀行制度 2 版 東京 文雅堂 昭 2 396 頁 四六〔銀行講座〕

1. 聯邦準備制度の創設 2. 聯邦準備制度の組織 3. 聯邦準備制度の發展 4. 聯邦準備法制定以前に於ける銀行制度の缺陷 5. 聯邦準備制度の效果

奥田勳 アメリカ銀行制度（經濟學辭典 I 卷 2 頁） 昭 5

同 サッフオーク銀行制度（經濟學辭典 III 卷 1 頁） 昭 6

同 聯邦準備制度（經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7

同 百貨店銀行（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

大藏省理財局 米國聯邦準備條例（財政經濟調査 4-4） 大 12

尾上利治 米國銀行業に關する若干問題（銀行研究 14-7/8; 15-2, 6） 昭 3

大下禎五郎 聯邦準備制度と世界物價の下落（銀行研究 14-3） 昭 3

太田黒敏男 北米合衆國聯邦準備制度（經濟及商業 2-1/2, 4, 7, 10） 大 12

*同 米國銀行制度論 附: 聯邦準備例 2 版 東京 明治堂 238 頁 大 13

同 米國金融制度及び其の政策の再吟味（明大商學論叢 14-5/6; 15-3） 昭 8/9

同 亞米利加の金融機關（金融大辭典 I 卷 5 頁） 昭 9

同 亞米利加聯邦準備銀行制度（金融大辭典 I 卷 7 頁） 昭 9

大山巍 ゼイ・ビー・デイ: 米國の通貨及銀行組織（日本讀書協會會報 125） 昭 6

佐々木吉郎 中期信用機關の意義並に其の必要—米國の中期信用銀行制度の研究（明大商學論叢 12-5） 昭 7

千家恒麿 州法銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

新庄博 アメリカの銀行法改正（國民經濟雜誌 55-4） 昭 8

白井芳太郎 一九三五年の米國銀行法案に對する全米銀行家協會の勸告案（銀行研究 29-1） 昭 10

スタイナー 米國に於ける銀行信用制度の發達（東洋經濟新報 1054/55） 大 12

平實 米國銀行制度の根本的缺陷（銀行論叢 20-5） 昭 8

同 米國聯邦準備制度改革上の若干問題（中央銀行會通信錄 390） 昭 10

高城信次 米國金融恐慌と銀行制度に就て（專賣通信 221） 昭 8

田北學 聯邦準備制度と農業金融（商業論集 2-1） 昭 2

谷田義一 米國聯邦準備制度に於ける加盟數の減少（國民經濟雜誌 45-1/2） 昭 3

鳥居助三 Better Banking under the Federal Reserve System in the United States of America.（商業と經濟 6-2） 昭 1

*ヴァンダーリップ, エフ・エイ アメリカ金融制度改革論 横濱經濟研究所譯 東京 森山書店 昭 10 222 頁 菊

渡邊佐平 ルーズベルトの「緊急銀行法」（世界經濟 2-5） 昭 8

ウイリス, エイチ・ピー 米國銀行制度と政府の勢力（外國の新聞と雜誌 159） 昭 2

山口半兵衞 米國聯邦準備制度梗概（大阪銀行通信錄 296） 大 11

楊先瑨 復興計畫下美國銀行業之現狀的檢討（錢業月報 14-8） 民 23

*横濱正金銀行調査課 米國舊銀行制度の缺點と聯邦準備法（多田守人） 大 10 44 頁〔調査報告 25〕

吉田正三 ウイットレシイ, シー・アール: 米國銀行業とニユー・デール（銀行研究 29-3） 昭 10

*時務研究會 米國の銀行制度改革問題 昭 10

バーヂエス博士の「準備銀行と金融市場」（東洋經濟新報 1352） 昭 4

米國銀行業發展樣相に對する若干の考察（銀行通信錄 584/85） 昭 9

米國銀行制度の缺陷に就て（財界要報 126） 昭 8

米國銀行組織の弱點と最近の銀行狀況（調査月報 23-4） 昭 8

米國金融界に君臨する巨大金融機關（金融三層 4-2） 昭 8

米國金融組織と通貨膨脹（銀行論叢 25-6） 昭 10

米國ナショナル・クレヂット・コーポレイションの設立（海外經濟彙報 11） 昭 6

米國に於ける銀行法改正の意義（金融知識 6-1） 昭 10

米國に於ける金融及投資の調査機關の新設（藤本ビルブローカー銀行週報 240） 大 10

米國の銀行制度改革問題（海外經濟事情 6-11） 昭 8

米國の金融機關（神戸高等高業學校學友會報 144） 大 9

米國の信用制度（金融知識 3-8） 昭 9

米國の巡廻銀行（大阪銀行通信錄 421） 昭 7

米國聯邦準備制度の實績（調査月報 12-8） 大 11

美國銀行制度之改進方案（中央銀行月報 4-5） 民 24

英米獨に於ける銀行發達大勢（藤本ビルブローカー銀行週報 168） 大 8

銀行業と國家統制—最近に於ける米國銀行業の趨勢（銀行通信錄 590） 昭 10

北米合衆國の金融機關（銀行通信錄 502/07） 昭 2/3

北米合衆國聯邦準備制度の發達 （銀行通信錄 409） 大 8

株式投機と聯邦準備銀行（調査月報 **19**-特 3） 昭 4

各國の銀行狀況—米獨佛の部 （大阪銀行通信錄 424/25） 昭 7

聯邦準備制度と信用制度（財界研究 **6**-5） 昭 4

準備銀行と金融市場（東洋經濟新報 1286） 昭 3

アルゼンチン

アルゼンチン國に於ける銀行業 （海外經濟事情 **2**-16） 昭 4

アルゼンチンの財政及び銀行制度に關するオットー・ニーマイヤー氏の改革案概要（海外經濟彙報 6） 昭 8

ベルギー

*東京經濟學協會 ベルギーの銀行制度改正と通貨整理 （梅田助作） 昭 4

義國聯合準備銀行制度述要（銀行月刊 **2**-2） 民 11

歐洲大戰後の白耳義銀行業（銀行通信錄 460） 大 13

ブラジル

山科 禮藏 伯國の植民地と金融機關（貿易 **28**-3） 昭 3

ブラジルの銀行制度と銀行の狀況（東拓月報 **4**-10） 大 12

伯國に於ける銀行分布狀態（通商公報 859） 大 10

ブルガリア

ブルガリ國金融機關及貨幣制度 （海外經濟事情 **3**-14） 昭 5

デンマーク

丁抹に於ける銀行制度（商工月報 **6**-2） 昭 5

ドイツ

*第一銀行調査部 獨逸の銀行改革 東京 昭 10 18 頁 菊〔調査報告 5, 3〕

堀江 歸一 獨逸の金融と中央銀行（エコノミスト **1**-11/12） 大 12

柏塚 辰雄 大戰後に於ける獨逸海外銀行（商業及經濟研究 55） 昭 4

同 獨逸公法的金融機關の發行債券に就て（經濟時報 **2**-10/11） 昭 6

熊田 克郎 獨逸の銀行制度改革に就て（銀行論叢 **24**-3） 昭 10

串本 友三郎 獨逸に於ける銀行と工業との關係（銀行研究 **8**-5） 大 14

同 獨逸に於ける銀行と商業との關係（銀行研究 **8**-6；**9**-2/3） 大 14

*同 最近の獨逸銀行業 大阪 大阪銀行集會所 昭 1 428 頁 四六〔參照目次：III, 1, b〕

同 ドイツ銀行制度（經濟學辭典 IV 卷 2 頁） 昭 6

同 獨逸金融機關（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

楠見 一正 獨逸銀行界の改造とライヒの援助（經濟時報 **4**-2） 昭 7

同 ワーゲマンの獨逸信用制度改革案（經濟時報 **4**-3） 昭 7

同 獨逸經濟救濟と獨逸工業債務銀行の更生（銀行研究 **24**-1） 昭 8

同 獨逸の銀行再整理（銀行研究 **24**-5） 昭 8

同 獨逸恐慌對策と獨逸金割引銀行の活動（經濟時報 **4**-10） 昭 8

同 銀行恐慌と獨逸金融市場の整備（大阪商大經濟研究年報 3） 昭 8

同 獨逸金融機關（七月恐慌後の）（金融大辭典 II 卷 10 頁） 昭 9

*楠見一正・島本融 獨逸金融組織論 東京 有斐閣 昭 10 754 頁 附錄 51 頁 菊〔財政金融研究會紀要 4〕

I. 獨逸の金融恐慌 1. 金融恐慌の原因 2. 金融恐慌の經過 3. 金融恐慌の對策
II. 獨逸の金融組織 1. 金融市場の組織 2. 金融機關の體系 3. 發券銀行論 4. 貯蓄銀行論
III. 獨逸金融組織の變化 1. 金融組織の變化の傾向 2. ライヒスバンク政策の變化 3. ライヒ信用會社と金割引銀行の活動 4. 金融市場特殊機關の設立 5. 信用銀行の整理 6. 貯蓄銀行の改造 7. 信用組合制度の整備 8. 統一地主金融組合法の制定 9. 失業對策と公共事業會社の活動 10. 農業救濟と工業債務銀行の更生
IV. ナチスの金融政策 1. ナチスの政制 2. ナチスの通貨政策 3. ナチスの信用政策 4. ナチスの銀行政策

增井 光藏 獨逸帝國銀行の金券發行制度（國民經濟雜誌 **39**-3） 大 14

松島 喜作 英獨銀行の比較研究 （銀行論叢 **1**-2） 大 12

向井 鹿松 英獨銀行制度の比較研究（三田學會雜誌 **21**-3） 昭 2

中村 三之丞 獨逸銀行物語 （銀行研究 **5**-2） 大 12

中西 賢三 獨逸金融界改善策—附：銀行管理局新設と新銀行條令（大阪銀行通信錄 450） 昭 10

臺田 藤吉 戰時及戰後の獨逸銀行（商業及經濟研究 12/14） 大 7/8

*日本銀行調査局 獨逸信用銀行（宗像書記報）（大正 11 年 5 月） 大 11 16 頁

*同 Die Deutsche Golddiskont Bank（獨逸金割引銀行）概要 大 13

*同 獨逸現下の金融經濟問題 東京同局 昭 10 25 頁 菊〔海外經濟彙報號外 12〕

岡野 文之助 ドイツに於ける公營金融機關（都市問題 **17**-5） 昭 8

奥村 永藏 ワーゲマンの金融改革案を讀む（銀行研究 **22**-6） 昭 7

大森 研造 獨逸レンテン銀行に就て（經濟論叢 **19**-1/2） 大 13

靜 如 譯 最近德國之金融機關與金融市場（銀行週報 770） 民 21

新庄 博 楠見・島本兩氏著「獨逸金融組織論」（國民經濟雜誌 **59**-3） 昭 10

住吉 四郎 獨逸に於ける銀行及信用組織發達の概要（銀行論叢 **1**-1/3） 大 12

平 實 獨逸の金割引銀行に就て（大阪銀行通信錄 420） 昭 7

竹島 富三郎 レンテン銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

豐崎 稔 獨逸恐慌と獨逸銀行制度（大阪銀行通信錄 410） 昭 6

同 最近の獨逸金融機關と金融市場との構成（大阪銀行通信錄 417） 昭 7

ワーゲマン 獨逸の信用制度に關する新法律に就いて（調査月報 **25**-2） 昭 10

獨逸銀行組織全體 〔瀨戸生〕（大阪銀行通信錄 393/94） 昭 5

獨逸引受保證銀行の設立（銀行通信錄 547） 昭 6

ドイツ金融資本の解剖（中央公論 **48**-5） 昭 8

獨逸に於ける金融機關の新設禁止 （滿洲經濟彙纂 10） 昭 9

獨逸の銀行制度改革具體化促進 （海外經濟彙報 5） 昭 9

ドイツの銀行整理內容（海外經濟事情 **5**-18） 昭 7

獨逸レンテン銀行設立事情 （ダイヤモンド **12**-8） 大 13

獨逸信用機構概說（調査月報 **25**-4） 昭10

獨逸有力銀行の引受保證銀行設立 （海外經濟彙報 9） 昭 6

ファン・ディツラー編：公立銀行史及び銀行史に關する文獻（經濟學論集 **4**-6） 昭 9

各國の銀行狀況—米獨佛の部（大阪銀行通信錄 424/25） 昭 7

國家資本の銀行參加—獨逸銀行の整理合同（世界經濟 10） 昭 7

歐洲戰後に於ける獨逸海外銀行の復興狀況（銀行通信錄 498） 昭 2

レンテン銀行の成績（中央銀行會通信錄 254） 大 13

戰後に於ける獨逸銀行組織の全體〔瀨戸生〕（大阪銀行通信錄 393） 昭 5

エチオピア

エチィオピア財政金融の話（金融知識 **6**-4） 昭 10

ギリシア

高橋 誠一郎 希臘に於ける貨幣及び利子學說（三田學會雜誌 **15**-3） 大 10

寺田 四郎 希臘の銀行業（保險銀行通信 284） 大 11

ハンガリー

日本銀行調査局 勾牙利の銀行制度及國立銀行定款〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 **2**-11） 昭 5

フランス

アクゲル，ユージーン・イー 英佛獨銀行制度の比較（銀行通信錄 410；413/14） 大 8/9

藤村 忠 チェミナントの「佛伊の銀行制度」（銀行研究 **9**-1） 大 14

岩本 岩男 佛蘭西の銀行制度（中央銀行會通信錄 374） 昭 9

*春日井 薰 佛蘭西の金融組織 2 版 東京 文雅堂 昭 3 410 頁 四六 〔銀行講座〕

1. 緒論　i. 佛蘭西の一般經濟　ii. 佛蘭西金融組織の沿革概要　iii. 佛蘭西の貨幣及信用證券制度　2. 中央銀行制度　i. 佛蘭西の中央銀行制度の發達　ii. 佛蘭西銀行の組織　iii. 佛蘭西銀行の活動　3. 商業銀行　i. 總說　ii. クレデイ・リヨネイ　iii. ソレエテ・ゼネラール　iv. コントアール・ナレヨナール　v. 第二流商業銀行　4. 地方銀行制度　i. 總說　ii. 各銀行の沿革と最近の狀態　5. 動產金融機關　i. 總說　ii. ペレイルの動產銀行　iii. 其他の動產銀行　iv. 高等銀行　6. 不動產金融機關　i. 總說　ii. 佛蘭西不動產銀行　iii. 不動產銀行の營業　iv. 姉妹銀行　7. 貯蓄銀行　i. 總說　ii. 貯蓄銀行　iii. 郵便貯金制度　8. 特殊金融機關　i. 殖民地金融機關　ii. 國際金融機關　iii. 農民金融機關　iv. 其他の特殊金融機關

金野豐　金の移動と佛國金融制度（大阪銀行通信錄 401）昭 5

松岡孝兒　フランス銀行制度（經濟學辭典 V 卷 4 頁）昭 7

同　フランスの獨立償還金庫に就いて（經濟論叢 **40**-2）昭 10

向井章　印度支那の銀本位制廢止と印度支那銀行の新制度（東亞經濟研究 **14**-2/4）昭 5

新庄博　佛國金融の改善策（國民經濟雜誌 **41**-6）昭 1

同　フランス金融機關（金融大辭典 III 卷 5 頁）昭 9

*朝鮮銀行調査課　佛國の對印度支那政策と印度支那銀行の組織改正に就て　昭 10　80 頁　菊

佛國銀行業雜聞（大阪銀行通信錄 316）大 12

佛國金融一班〔在里昂帝國總領事報告〕（通商公報 989）大 11

各國銀行制度概說—佛蘭西（商工月報 **6**-4）昭 5

イギリス

アクゲル　英佛獨銀行制度の比較（銀行通信錄 410, 413/14）大 8/9

*第一銀行調査部編　英國の銀行制度改革論　昭 10　17 頁　菊

*橋爪明男　英國の株式銀行に就て　東京　東京銀行集會所　昭 5　117 頁　菊〔銀行叢書 13〕

同　英國の株式銀行に就て（銀行通信錄 531/34）昭 5

藤城敬二　英國銀行制度の革新に就て（銀行研究 **2**-6）大 11

市川正義　最近の英國銀行組織概觀（銀行研究 **23**-2）昭 7

岩崎博　英國金融制度調査史論（銀行研究 **23**-3 6）昭 7

*春日井薰　英國の銀行及金融　東京　文雅堂　昭 3　336 頁　菊〔銀行講座〕

1. 總說　i. 英國及び英國人　ii. 英帝國の經濟　iii. 英帝國金融制度の概觀　2. 英蘭銀行　i. 英蘭銀行の沿革と發達　ii. 英蘭銀行の組織　iii. 英蘭銀行の職分と其職務　3. 商業銀行　i. 近世商業銀行の發達　ii. 商業銀行の組織　iii. 商業銀行の業務　iv. ビッグ・ファイブ等　4. 特殊金融と其機關　i. 國際金融と機關　ii. 植民地銀行と企融　iii. 貯蓄銀行　iv. 建築金融組合　5. ロンドン金融市場　附錄　英國銀行の沿革

同　イギリス銀行制度（經濟學辭典 I 卷 3 頁）昭 5

同　カンリッフ委員會（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

同　銀行市營の計畫に就て—バーミンガム市營銀行等の批評（明大商學論叢 **10**-2）昭 6

同　英吉利の金融機關（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

*金融研究會　英國の金融組織と英蘭銀行の機能（井上辰九郎）昭 5　203 頁〔講演集 3〕

小泉計太郎　マックミラン委員會の報告（經濟時報 **3**-9）昭 6

串本友三郎　合理化銀行と產業助成會社の考察に對する批判（竹原經濟時報 42）昭 5

松島喜作　英獨銀行の比較研究（銀行論叢 **1**-2）大 12

松崎壽　一社會主義者の英國金融組織觀（銀行研究 **19**-1）昭 5

三浦實　カンリッフ委員會（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

同　チェンバレン委員會（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　マックミラン委員會（金融大辭典 III 卷 4 頁）昭 9

向井鹿松　英獨銀行制度の比較研究（三田學會雜誌 **21**-3）昭 2

ナッシュ　英國に於ける投資銀行業（中央銀行會通信錄 270/71, 273）大 14

岡本春三　英國の銀行組織（大阪銀行通信錄 368）昭 3

奧田勳　1844 年の銀行特許條例と其後の恐慌並に株式組織銀行の勃興（銀行論叢 **8**-4）昭 2

*高平隆雄　英米の投資銀行と投資證券　東京　改造社　282 頁　昭 4　菊

*瀧口美敏　譯　現代金融論—金融及產業について—マクミラン委員報告　東京　東京書房　昭 8　319 頁　菊〔參照目次：III, 1, b〕

友岡久雄　マックミラン報告に就て（世界經濟 4）昭 6

英佛銀行制度の比較〔エコノミスト誌〕（銀行論叢 **22**-5）昭 9

英國銀行業最近の發達に關するバンカース・マガジンの懸賞論文（英國事情 6）大 10

英國金融產業調查委員會報告（海外經濟彙報 8）昭 6

英國金融產業調查會報告（海外經濟事情 4-40）昭 6

英國金融組織概設（調查月報 **18**-8）昭 3

英國マクミラン〔金融及產業〕委員會報告（東洋經濟新報 1462）昭 6

英國產業合理化に對する金融施設（銀行論叢 **24**-4）昭 10

英國投資銀行の特性（財界研究 **6**-3）昭 4

英領馬來の貨幣制度及金融機關並に爲替事情（臺灣時報 114）昭 4

過去 2 箇年間に於ける英國銀行界回顧（日本興業銀行調查月報）昭 9

マクミラン委員會〔金融及產業審議會〕の報告（愛知の貿易 **3**-8）昭 6

新嘉坡に於ける金融機關（南洋經濟時報 **3**-1）大 10

インド

濱野恭平　印度準備銀行法案の回顧（銀行研究 **16**-5）昭 4

石田勉　印度に於ける準備銀行問題（銀行研究 **16**-1）昭 4

小泉計太郎　印度の歐式銀行に就て（商業及經濟研究 59）昭 6

三浦實　印度貨幣（及び金融）制度調查委員會（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

元吉光大　印度の金融機關（金融大辭典 I 卷 15 頁）昭 9

奧田勳　インド銀行制度（經濟學辭典 I 卷 2 頁）昭 5

*大阪商大銀行業務研究室編　印度の銀行制度（小泉計太郎）神戸ぐろりあ 昭 6　143 頁　菊〔研究室彙報 1〕

インド銀行制度調查委員會（海外經濟事情 **2**-22）昭 4

印度組合銀行制度の大要（東拓月報 **3**-4）大 11

印度通貨及金融制度委員會報告書（調查月報 **16**-12）昭 1

印度中央銀行設立問題に就いて（銀行論叢 **23**-3）昭 9

印度準備銀行設立問題（大阪銀行通信錄 433）昭 8

イタリー

藤村忠　チミナントの佛伊の銀行制度（銀行研究 **9**-1）大 14

小泉計太郎　アインツィッヒ：ファッシスト國家に於ける銀行業（銀行研究 **25**-3）昭 8

町田義一郎　イタリーの金融機關（金融大辭典 I 卷 4 頁）昭 9

松岡孝兒　イタリー銀行制度（經濟學辭典 I 卷 2 頁）昭 5

ファシスト伊太利の銀行業（銀行通信錄 580）昭 9

伊太利金融機關の國營化（世界經濟 **2**-5）昭 8

カナダ

青木一夫　加奈陀銀行制度の概要（銀行論叢 **3**-6; **4**-4）大 13/14

串本友三郎　大英經濟ブロックの構成と加奈陀の經濟及銀行（大阪銀行通信錄 423）昭 7

奧田勳　加奈陀銀行制度の發達（商學評論 **5**-2/4; **6**-1）昭 1/2

同　カナダ銀行制度（經濟學辭典 I 卷 2 頁）昭 5

同　カナダ金融機關（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

平實　加奈陀に於ける銀行制度改革（銀行論叢 **23**-5）昭 9

山口半兵衞　加奈陀銀行制度一班（大阪銀行通信錄 299/301）大 11

山下宇一　カナダ銀行業（研究資料彙報 **10**-1）昭 10

各國銀行制度概說（加奈陀）（商工月報 **6**-5）昭 5

カナダの銀行制度（大阪銀行通信錄 431）昭 8

滿洲國

新木榮吉　滿洲國金融制度（金融大辭典 III 卷 6 頁）昭 9

荒木光太郎　滿洲と新金融組織（東亞 **5**-3）昭 7

有馬馴馬　奉天に於ける滿洲國側金融機關（東亞經濟研究 **19**-2）昭 10

*大連商工會議所　滿洲國金融機關其他に關する法令　昭 8〔滿洲經濟法令集 3〕

榮　厚　滿洲金融界を語る（支那時報 **18**-1) 昭 8

五　元　讚　東三省官銀號の沿革（東三省官銀號經濟月刊 **1**-1) 民 18

濱岡福松　東三省金融整理委員會報告書（滿鐵調査月報 **13**-7) 昭 8

星野直樹　滿洲國之財政金融（上海 921) 昭 9

井村薰雄　滿洲國の財政と金融（滿蒙 **14**-3/5) 昭 8

同　滿洲國金融機關の整備（東亞 **7**-2) 昭 9

伊藤竹之助・黒川福三郎　滿蒙の貨幣制度並に金融（工業 72) 昭 7

*關東軍統治部　日本側滿洲最初の金融制度と幣制 昭 6 〔滿蒙幣制改革參考資料 1〕

*笠原博　滿洲の金融機關と通貨　大連 滿蒙產業研究會 大 11 175 頁

加藤明　滿洲の金融問題（ダイヤモンド **23**-7) 昭 10

川島富丸　東三省に於ける金融制度の改革（東洋 **35**-1) 昭 7

木谷一彥　滿洲金融の今昔物語（滿蒙 **13**-3, 5) 昭 7

同　滿洲の金融を語る一正金銀抗爭の卷（ダイヤモンド **20**-30) 昭 7

小泉計太郎　滿洲開發の基礎的金融（銀行研究 **24**-2) 昭 8

*滿蒙研究會　滿洲に於ける金資と銀資　大連 同會 昭 2 198 頁 四六

*滿洲商業會議所聯合會 滿洲金融改善調査資料 昭 1

*同　滿洲金融制度並に政策改善に關する要請書 昭 2

*滿鐵哈爾賓事務所調査課　哈爾賓に於ける金融機關の現狀（高久肇）大 12 56 頁

*滿鐵庶務部調査課　滿洲に於ける通貨及金融の概要（安盛松之助) 昭 3 75 頁 菊〔パンフレット 54〕

*同　哈爾賓に於ける通貨及金融機關（昭和 4 年調) 昭 4

*同　滿洲に於ける支那銀行の概要（藤井諒) 昭 5 165 頁 菊〔滿鐵調査資料 120〕

*滿鐵總務部　滿洲に於ける支那側金融機關と通貨 大 8 173 頁

*滿鐵長春地方事務所　支那側銀行及其他金融機關調査 昭 7

松崎壽　滿洲國金融制度整備論（銀行研究 **24**-5) 昭 8

南鄕龍晉　滿洲國の貨幣及金融制度に就て（新天地 **12**-6) 昭 7

野間清　滿洲に於ける金融制度の變革と統一（東亞 **6**-12) 昭 8

*大阪工業會滿蒙經濟視察委員　滿洲の貨幣制度並に金融問題，滿洲の關稅問題 昭 7 18 頁 菊〔滿蒙經濟資料 12〕

須藤文吉　滿洲國に於ける錢鈔取引所と鈔票（研究と資料 2) 昭 7

*杉慰重善　滿洲に於ける銀行及金融の概況〔神戸商大商業研究所編 海外旅行調査報告の內〕昭 6

*朝鮮銀行調査課　滿洲國金融機關の將來に就て 昭 10 〔昭 10 調査 35〕

山成喬六　滿洲國の金融と經濟　附：滿洲中央銀行（貿易 **32**-12) 昭 7

同　滿洲國の幣制及金融（外交時報 725) 昭 10

安盛松之助　支那側金融機關と東三省の財界（新天地 **11**-6) 昭 6

*橫濱正金銀行調査課　大連を中心として見たる滿洲の金融，爲替，貿易（關憲行) 昭 2 〔調査報告 66〕

大滿洲國の金融（中外財界 **7**-5/6) 昭 7

哈爾賓に於ける外國銀行の活動狀態（東洋貿易研究 **9**-10) 昭 5

哈大洋僞造と金融保管委員會の成立（露亞時報 146) 昭 6

奉天に於ける外國金融機關の現狀（奉天商工月報 346) 昭 9

奉天に於ける滿洲國側の金融狀態（東洋貿易時報 **8**-18) 昭 7

奉天に於ける支那側金融機關（奉天商工月報 307) 昭 6

間島金融機關の變遷（東京商業會議所月報 **3**-5) 大 11

錦縣城に於ける金融商工機構（滿鐵調査月報 **15**-11) 昭 10

金融及通貨一滿洲國建設の一齣年（東亞 **6**-3) 昭 8

吉林永衡官銀錢號（滿鐵調査月報 **12**-1) 昭 7

吉林省長嶺に於ける金融及通貨（通商公報 618) 大 8

滿蒙幣制改革と金融整備（エコノミスト **10**-7) 昭 7

滿蒙金融答申案〔支那財界近事の一節〕（朝鮮銀行月報 **14**-8) 大 12

滿蒙の金融制度改善案（東洋貿易研究 **11**-1) 昭 6

滿蒙新國家と其の經濟建設一幣制改革の目標と金融機關の整備（エコノミスト **10**-7) 昭 7

滿洲企業金融機關設立問題（調査時報 **6**-10) 昭 1

滿洲金融界の全貌と其の發達過程（滿日調査通報 13) 昭 8

滿洲金融制度改善案（調査時報 **6**-12) 昭 1

滿洲金融制度改善問題（調査時報 **7**-7) 昭 2

滿洲國銀行業の現勢（支那 **26**-10) 昭 10

滿洲國金融の概況（國際特約通信 35) 昭 8

滿洲國政府の銀行法公布（海外經濟彙報 11；銀行通信錄 575) 昭 8

滿洲に於ける日本側金融機關の發達と通貨制度の變遷（日華之貿易 **2**-2) 大 12

滿洲に於ける日本側金融の現狀（滿蒙實業彙報 90) 大 12

滿洲に於ける日本側金融の趨勢（滿蒙實業彙報 66) 大 10

滿洲に於ける支那側金融現狀（滿蒙實業彙報 91) 大 12

滿洲に於ける支那側金融機關と通貨（滿蒙研究彙報 39, 43) 大 8

滿洲の貨幣制度及金融問題（中東半月栞 **3**-23/24) 大同 2

滿洲の金融と朝鮮銀行（東洋經濟新報 485) 昭 7

日滿合辦金融機關の設立計畫（東洋貿易時報 **8**-44) 昭 7

新東北の建設と東三省官銀號（東三省官銀號經濟月刊 **1**-6) 民 18

東三省銀行業之過去及現在（中行月刊 **6**-3) 民 22

東三省銀行の設立と幣制（滿蒙實業彙報 55) 大 9

東三省金融整理委員會報告書（滿鐵調査月報 **12**-11；**13**-17) 昭7/8

長春の支那側金融機關と通貨（長春商工會議所調査彙報 **6**-5/6) 昭 1

南阿聯邦

町田義一郎　南アフリカ聯邦の金融機關（金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭 9

オランダ

江村俊衞　蘭領東印度に於ける金融機關（內外商工時報 **7**-11) 大 9

二宮丁三　蘭領印度の金融制度（東亞經濟研究 **18**-3) 昭 9

各國銀行制度概說〔蘭領東印度〕（商工月報 **6**-8) 昭 5

蘭領印度の銀行一班（大阪銀行通信錄 291) 大 10

パナマ

巴奈馬の金融機關貨幣及度量衡（通商公報 630) 大 8

ポーランド

各國銀行制度概說—波蘭（商工月報 **6**-10) 昭 5

ロシア

銀行問題研究會調査部　ソヴエト露西亞の銀行業（銀行論叢 **19**-3) 昭 7

平野清　勞農露西亞の通貨と銀行業（商業及經濟研究 29/30) 大 12

井關孝雄　サヴエット・ロシヤの現行銀行制度（銀行論叢 **17**-3/4) 昭 6

山本幸兒　カッツェレンバウム：露國の貨幣及銀行（大阪銀行通信錄 367/69 371/72, 374, 380, 411, 427) 昭 6/8

小泉計太郎　ロシア銀行制度（經濟學辭典 V 卷 4 頁) 昭 7

町田義一郎　ソヴェート露西亞の現行制度概要（三田評論 388/89) 昭 4/5

同　サヴェート聯邦の銀行制度（金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

向井鹿松　莫斯科人民銀行に就て（金融研究 **2**-6/8) 大 14

ナグラー，ジー　資本主義下に於ける信用制度とサヴェート・ロシヤにおける信用制度（新興科學の旗のもとに **2**-4) 昭 4

二關壽郎　最近に於ける勞農露國金融機關の概況（橫濱正金銀行調査報告 5) 大 14

大江渉　サヴェート・ロシアに於ける貨幣と金融（社會思想 **8**-2) 昭 4

岡本潤　ソヴェート聯邦に於ける金融機關（經濟集志 **2**-2) 昭 4

奥田唯輔　勞農露國の銀行及貨幣制度（銀行研究 **9**-6) 大 14

*シック，アレキサンダー　ソヴェート信用制度　宮田保郎譯 昭 9 191 頁

平實　露西亞銀行制度の變遷に就て（銀行論叢 **23**-5/6) 昭 9

田中九一　ロシアに於ける銀行の發達（金融研究 **3**-1) 昭 1

谷口吉彥　露國金融制度の變遷（經濟論叢 **22**-2) 昭 1

同　勞農露國に於ける金融制度の復活（經濟論叢 **22**-5) 昭 1

山本幸兒　ソビエト・ロシヤの銀行制度（大阪銀行通信錄 409/10) 昭 6

*横濱正金銀行調査課 最近に於ける勞農露國金融機關の概況（二關壽郎） 大 14〔經濟調査報告 57：哈爾賓支店調査報告 3〕

*同 社會主義サヴエット共和國聯邦商工銀行と聯邦の工業（公門仲譯） 大 14〔調査資料 18：哈爾賓支店調査叢書 5〕

ユーゴフ 蘇聯邦の通貨，銀行及金融（露亞時報 130） 昭 5

共產露國の通貨及金融（東拓月報 5-3） 大 13

露國銀行の現狀 （銀行通信錄 399） 大 8

露國々立銀行狀況（調査月報 12-12） 大 11

勞農本國及極東の金融（エコノミスト 3-4） 大 14

勞農露國の銀行業（ダイヤモンド 14-33） 昭 1

勞農露國の金融（調査時報 3-9） 大 12

勞農露國の通貨及銀行（調査月報 13-3） 大 12

勞農露西亞に於ける銀行業（金融三層 3-8） 昭 7

赤露の銀行業（大阪銀行通信錄 309） 大 12

ソ聯邦の銀行制度（ダイヤモンド 20-37） 昭 7

蘇聯邦の通貨銀行及金融（露亞時報 130） 昭 5

蘇聯邦通貨及信用制度（調査月報 25-11） 昭 10

ソヴィエト聯邦現金振替制度實施と金融制度改革（海外經濟事情 3-29） 昭 5

ソヴィエト聯邦國立銀行及財務部の發券額並長期信用銀行の創設（海外經濟事情 5-29） 昭 7

ルーマニア

日本銀行調査局 羅馬尼の貨幣法及國立銀行〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月） 昭 5

支那

譚 慮 再論外國銀行 （銀行週報 488） 民 16

有末邦造 寧波に於ける金融制度（東亞經濟研究 15-4） 昭 6

*馬 寅初 中華銀行論 第一改版 上海 商務印書館 民 21 352 頁 菊〔中國經濟學社叢書〕

同 我對於中國新式金融業之觀察（銀行週報 797/98） 民 22

同 上海之金融組織及其缺點（復大經濟學期刊 2-1） 民 23

同 中國金融制度之缺點與改革方案（申報月刊 3-1） 民 23

*潘 子豪 中國錢莊概要 上海 華通書局 民 20 294 頁 四六〔華通經濟學叢書〕

*密 藏溥 中國金融論 2 版 上海 黎明書局 民 21 590 頁〔大學叢書 1〕

魏 友棐 銀行與錢莊（錢業月報 11-8） 民 20

同 十年來上海錢莊事業之變遷（錢業月報 13-1；14-11） 民 22

*銀行週報社 中華民國銀行年鑑

吳 石城 天津之銀號（銀行週報 19-16） 民 24

*吳 承禧 中國的銀行 民 23 141 頁

濱田峰太郎 支那近代商業と金融資本（支那 21-7） 昭 5

服部岱三 上海に於ける現下の金融狀勢に就て（綿業時報 3-4） 昭 10

久重福三郎 廢兩改元の實行と金融爲替事情の變革（支那研究 31） 昭 8

*ホール，レイオヴット 支那國立銀行に關する研究 滿鐵庶務部調査課 譯 大 14〔調査資料 31〕

*井村薰雄 支那の金融と通貨 3 版 上海 上海出版協會 大 13 570 頁 菊

1. 信用 i. 現在經濟生活の源流 ii. 票據固有の習慣 iii. 莊票存在の意義 iv. 錢票の由來と特殊の事情 v. 支票の變轉と割咬の得失 vi. 期票及票據取扱の準則 vii. 地方別に觀た票據の種類 viii. 莊票善意所持人と空頭支票 2. 銀行 i. 金融機關の體制 ii. 聯合の趨勢及進展 iii. 資金調達の機能と源泉 iv. 規則的需給と偶發的需給 v. 在庫銀移動及其波及 vi. 資金需求關係の標識 vii. 銀折割頭幣那と景氣の循環 viii. 資金の國際的移動 ix. 銀行券の發行及贖劃制度

*何 孝怡 東北的金融 民 21

權 時 國力民力與金融組織之健全（銀行週報 812） 民 22

貴島巖 間島金融機關の變遷と救濟會の起源（東拓月報 3-5） 大 11

*神戶高等商業商業研究所 上海金融機關一覽 民 9

*滿鐵東亞經濟調査局 上海の金融機關 昭 2〔經濟資料 13, 9〕

中川喜久彥 上海金融資本の支那支配に就いて（上海 916/17） 昭 9

中島權 支那銀行制度（經濟學辭典 III 卷 3 頁） 昭 6

王 維騏 由歐美銀行業與實業之關係設到我國銀行今後應克之新途徑（東方雜誌 31-20） 民 23

王 逸辛 廢兩改元後錢業前途之展望（錢業月報 12-11） 民 21

王 宗培 中國金融業之新動態及其批評（申報月刊 3-7, 9；4-5） 民 23

リー，エフ・イー 支那の銀行制度（ダイヤモンド 20-33） 昭 7

李 蔭南 中國新式銀行之現勢（銀行週報 19-28） 民 24

*李 權時・趙 渭人 上海之錢莊 2 版 上海 東南書店 昭 5 126 頁〔經濟叢書〕

陸 思安 支那の平民銀行（支那研究彙錄 57） 大 9

龍 銀行錢莊業務同異之辯（錢業月報 7-6） 民 16

*酒井忠道 北京に於ける銀行 大 13 218 頁 菊

*施 伯珩 錢莊學 民 20 120 頁

施 健吾 最近海外市場的動向（商業月報 14-6, 8） 民 23

關 忠治 中華民國新銀行法と錢莊（內外研究 5-1） 昭 7

白羽克夫 中南支の金融機關（大阪市商工時報 22） 大 8

蒼 生 銀行法與金融業（錢業月報 11-6） 民 20

宗 植心 中國銀行界前途之危機及其豫防之方法（銀行月刊 11-7） 民 16

鈴木春雄 上海に於ける金融機關の現勢に就いて（東亞事情研究 5） 昭 4

上海銀行公會 各地支那銀行調査表（上海週報 471） 民 10

上海帝國總領事 上海に於ける通貨及金融機關（通商公報 760） 大 9

章 乃器 金融恐慌中金融制度的演變（東方雜誌 32-13） 民 24

章 植 論華商銀行之資力並評馬寅初氏中國金融制度缺點與其改革方案一文（銀行週報 836） 民 23

朱 其華 支那銀行資本の特殊性 （東亞 6-1） 昭 8

修 燦章 我國銀行制度之檢討（中國經濟 3-1） 民 24

*臺灣銀行調査課 廣東金融機關 大 8 322 頁

同 南支那金融機關一覽（大阪銀行通信錄 273） 大 9

*同 南支那金融機關一覽表（大正 10 年 12 月調） 大 10

*同 香港金融機關 大 10

*同 淸國及東洋に於ける外國銀行略說 昭 5

田中忠夫 支那金融機關（金融大辭典 II 卷 4 頁） 昭 9

程 文藻 論上海銀行業發達之異態 （商兌 1-8） 民 22

陳 英競 宜昌市金融組織概述（銀行週報 784） 民 22

*東亞同文會 支那金融機關 大 8

*東亞經濟調査局 上海の金融機關 東京 同局 昭 2 168 頁 菊〔經濟資料 13, 9〕

*東亞產業協會 支那金融業の陣容 康德 2 86 頁

張 一凡 中國金融業的趨勢 （中國經濟 3-1） 民 24

張 古明 漢口金融機關概說（銀行週報 18-1） 民 23

張 馀 中國金融業之畸形發展及其危機（錢業月報 13-7） 民 22

*朝鮮銀行東京總裁席 天津に於ける金融機關に就て 東京 同行 昭 10 66 頁 菊

*朝鮮銀行東京調査部 支那に於ける內外銀行一般（仲野善三郎調） 大 11

*朝鮮銀行調査部 奉天支那銀行兌換問題並に經濟事情 京城 同行 大 9 99 頁

*同 中國銀行の組織 大 10 23 頁

*同 支那新式銀行の現勢 昭 9 65 頁 菊

ウイットフォーゲル，カ・ア 「アヂア的」支那に於ける商業資本及利子付資本の經濟的機能（滿鐵調査月報 13-6） 昭 8

山上金男 天津金融經濟管見（滿鐵調査月報 14-4） 昭 9

*楊 蔭溥 楊著中國金融論 上海 黎明書局 民 20 590 頁 菊

同 近年吾國金融業之檢討（社會經濟月報 2-5） 民 24

米澤秀夫 上海に於ける聯合準備制（大阪銀行通信錄 420） 昭 7

同 支那新式銀行の發展とその特質（東亞經濟研究 17-2） 昭 8

*吉田政治 上海に於ける外國爲替及び金融 附 世界の銀需給及取引事情 5版 東京 大阪屋號 大 15 401 頁 附 45 頁 四六

同 中國金融機構は如何に改造すべきか（エコノミスト 13-12） 昭 10

善生永助 支那金融機關の現狀（財政經濟時報 7-3/4） 大 9

華僑，金融財閥（中央公論 49-5） 昭 9

漢口に於ける支那側銀行（朝鮮銀行月報 12-9） 大 10

國民政府の銀行法（大連商工月報 188） 昭 6

恐慌裡の支那金融業とその畸形的發展（東洋貿易研究 13-2） 昭 9

日本在我國金融機關之現勢（工商半月刊 3-22） 民 20

北平金融業概況（滿鐵調査月報 14-5） 昭 9

北京金融機關一覽表（統計月刊 22） 民 9

論英商在華銀行業之發達（英商公會報 4-6） 民 12

濟南金融及現有銀行，銀號概況（滿鐵調査月報 14-4）昭 9
山東濰縣之金融業（工商半月刊 6-2） 民 23
支部籌設航業銀行（銀行週報 14-14） 民 19
支那銀行業の勃興（朝鮮銀行月報 12-8） 大 10
支那銀行業の勃興（漢口實業週報 362） 大 10
支那銀行業の現勢（支那時報 23-3） 昭 10
支那銀行業の現狀（滿蒙實業彙報 72） 大 10
支那銀行業の現狀（支那經濟時報 1-5） 大 10
支那銀行の趨勢（銀行週報 4-38） 民 9
支那金融機關概說（支那 13-7） 大 11
支那金融機關の現狀と改善策（滿蒙經濟時報 89）大 9
支那金融機構の體系（電通經濟週報 2-37）昭 10
支那に於ける銀行業の發達（藤本ビルブローカー銀行週報 258） 大 10
支那に於ける特殊金融銀行設立計畫（海外經濟彙報 9） 昭 8
支那の銀行制度（天津商業會議所時報 583）昭 6
支那の銀行制度（東亞 4-4） 昭 6
支那の新國立銀行の職能—中央銀行，中國銀行，交通銀行（東洋貿易研究 8-11） 昭 4
支那政府の中國建設銀行創設（海外經濟彙報 7）昭 7
上海の金融研究機關（經濟資料 13-9） 昭 2
上海錢業營業規則（銀行週報 7-10） 民 12
上海支那銀行最近調査（上海日本商業會議所週報 494） 大 10
中國銀行業の過去及現狀—中國經濟年鑑の一章の抄譯（滿鐵調査月報 14-10） 昭 9
中國銀行添設國外分行（銀行週報 14-22） 民 19
中國金融機關の概況（東三省官銀號經濟月刊 1-2）民 18
中國的銀行之特質（東方雜誌 30-21）民 22
我國銀行業與歐米銀行業之比較（銀行月刊 3-9）民 12
全支銀行業の發展（支那時報 14-5） 昭 6
重慶金融機關及貨幣現狀（工商半月刊 2-24）民 19
重慶の銀行（漢口日本商工會議所月報 76） 昭 9

スウェーデン

松崎 壽 瑞典の金融制度と我國との比較（銀行研究 13-4） 昭 2
メリン 瑞典の銀行制度發達（大阪銀行通信錄 329） 大 14
各國銀行制度概說—瑞典（商工月報 6-3） 昭 5

スイス

黒川芳藏 瑞西の經濟と金融に就て（同志社論叢 36/37） 昭 6/7
串本友三郎 スキスの銀行業（大阪銀行通信錄 327） 大 14

シャム

バンコックに於ける金利及金融機關（海外經濟事情 5-21；南支那及南洋情報 2-12） 昭 7

ユーゴー・スラヴィア

「ユーゴー・スラヴィア」王國の銀行業（銀行通信錄 544） 昭 6
ユーゴスラブ國貨幣制度と金融機關（海外經濟事情 3-10） 昭 5

4. 資金及信用

i. 資金

濱野 壽 英國に於ける短期資金（銀行研究 7-3） 大 13
樋口午郎 資金の意義並に形成に就て（商學論集 5） 昭 9
日根野桓三 T. E. グレゴリ：失業者と遊資（銀行研究 27-2） 昭 9
古屋美貞 外國爲替資金（經濟學辭典 I 卷 1 頁） 昭 5
飯田靜次郎 銀行資金發達概觀（商業及經濟研究 21） 大 10
泉俊秀 事業資金と資金銀行の發達（銀行研究 1-3） 大 10
神戸正雄 資金の反集中的移動（時事經濟問題 41） 大 14
同 資金の偏在（時事經濟問題 74） 昭 3
勝田貞次 資金の意義（大阪銀行通信錄 326）大 13

黒河内 透 農村資金の都市流出問題に關する一考察（自治研究 10-12） 昭 9
楠見一正 低利資金（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6
マクニー，ジョン 過剩資金の問題（中央銀行會通信錄 299） 昭 3
宮川貞一郎 資金の海外逃避（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
森川太郎 資金（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
モールトン 商業銀行と資本形成（銀行通信錄 394/96, 400） 大 7/8
中村重夫 資金の意味に就て（銀行研究 8-6）大 14
中谷實 流通信用（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9
野崎龍七 舊盆資金（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同 資金偏在（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 在外資金（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
大口喜六 低利資金（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
岡田純夫 國債長期取引と短期資金（銀行研究 10-1） 昭 1
*同 證券金融と短期資金 2 版 東京文雅堂 昭 2 331 頁 四六〔銀行講座〕
千家恒磨 季節資金（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
白井廉久 資金融通の性質と預金利子歩合（銀行研究 2-5） 大 11
高橋龜吉 資金の意味と其の蓄積及支配（改造 7-3） 大 14
同 通貨と資金とを區別する理由（銀行研究 9-3） 大 14
高城仙次郎 資金需給の關係と金利歩合（銀行研究 15-4） 昭 3
鷹取米夫 資金保險（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
田中金司 高島教授：「信用統制と景氣變動」（國民經濟雜誌 49-6） 昭 5
都上城三 商工資金の移動量及其樣式（銀行論叢 5-2） 大 14
友岡久雄 貨幣，貨幣資本及び利子附資本（經濟志林 9-1） 昭 10
趙超構 世界短期資本の研究（東方雜誌 31-6） 民 23
山根雅男 コール資金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
矢野恒太 資金の地方還元につきて（國勢グラフ 2-9） 昭 8
資金の長期化と金融の前途（エコノミスト 4-8）昭 1
資金集積の趨勢（東洋經濟新報 1482/85） 昭 6
資金用途の抑減（ダイヤモンド 8-14） 大 9
低利資金の供給策（東洋經濟新報 1137） 大 14

ii. 信用

アイヒボルン 銀行の通貨創設作用を論ず（銀行論叢 21-2, 6） 昭 8
赤羽豐治郎 ホネガーの創造信用論（關西大學學報 112） 昭 8
同 ホネガアの創造的信用論（ポリコン研究 4） 昭 9
アンドレ，リエツス 信用の問題に就て（銀行通信錄 499） 昭 2
ベルリナー 獨逸の信用に就て（東京經濟雜誌 2073） 大 9
ダグラス 眞のデモクラシーと信用の民主化（我觀 46） 昭 2
*同 金融信用論 岩村忍譯 東京春陽堂 昭 5 190 頁 四六〔ダグラス派經濟學全集 1〕
ドスカー 經濟生活に於ける信用と保險（保險銀行時報 1501） 昭 5
ギブソン 信用と通貨と物價（中央銀行會通信錄 212, 214） 大 9/10
吳中凡 我國信用概論（商業月刊 1-5） 民 20
グッドナフ 通貨信用及貿易（調査月報 18-9）昭 3
波多野鼎 信用循環論（經濟學研究 4-4） 昭 9
同 信用と景氣變動の問題（經濟學研究一九大 4-3） 昭 9
同 信用循環論（經濟學研究一九大 5-1） 昭 10
橋口明男 信用の統制（商業と經濟 4-4） 昭 1
平野清 マーシヤルの貨幣信用及貿易論（商業及經濟研究 32） 大 12
*ヒルファディング 貨幣と信用 林要譯 2 版 京都昭 2〔金融資本論第 1 分册〕
土方成美 信用と通貨とに關する一考察（經濟研究—岩波 2-2） 大 14
*ホートレイ 景氣と信用 經濟同攻會譯 東京同文館 昭 6 275 頁 菊
本田實 信用の意義並にその諸相の一考察（研究と資料 2） 昭 7

本田 實 商業信用の特殊性 (研究と資料 3) 昭 8

福田敬太郎 ヘンリー・ソートン紙券信用論 (國民經濟雜誌 28-4) 大 9

出井盛之 信用制度と社會運動 (社會政策時報 43) 大 13

*猪俣津南雄 貨幣, 信用及びインフレーションの理論 東京 改造社 昭 8 369 頁 四六 〔經濟學全集 51〕

五十子宇平 銀行信用に關する一考案 (金融研究 1-1/2) 大 13

岩村 忍・赤羽豐二郎 ダグラスの社會信用論〔轉近歐米諸經濟學說解說〕 (我觀 77) 昭 5

カルザーズ 通貨及信用論 (調査月報 13-1) 大 12

春日井薫 ヘンリー・ソーントンの信用論とその一派 (明大商學論叢 1-2) 昭 1

同 キャッシ, クレデイット (經濟學辭典 II 卷 1 頁) 昭 6

同 信用膨脹と信用の流通速度—やがて來るべき信用膨脹時代の基本的一考案 (銀行研究 23-5) 昭 7

同 貨幣及信用の流通速度觀の發達—物價構成要素としての V 及 V′ の研究 (明大商學論叢 13-3, 5) 昭 7

同 信用流通速度論及其否定說の吟味—物價構成要素としての V 及 V′ (明大商學論叢 14-2/3) 昭 8

片倉藤次郎 信用と通貨と物價 (商事研究 4-1) 大 12

加藤和根 銀行信用及創造論 (銀行論叢 11-3) 昭 3

勝田貞次 信用バロメーターの意義と其作法 (銀行研究 7-5) 大 13

キング 流通信用と民衆の利益との關係 (調査月報 11-5) 大 10

小林 新 銀行信用の合理化 (我觀 64) 昭 4

同 景氣循環と銀行信用 (銀行通信錄 556/59) 昭 7

コブー 銀行の信用と其の通貨創造力に就て (調査月報 18-5) 昭 3

*コムアカデミア經濟學研究所 貨幣と信用—資本主義篇 米村正一譯 東京 ナウカ社 昭 9 444 頁 菊

I. 貨幣の本質に關するマルクス, レーニンの學說 1. 商品からの貨幣の發展 2. 貨幣又は商品流通 3. 貨幣論におけるレーニンの段階 4. 貨幣の本質に關する修正主義の「理論」
II. ブルジョア貨幣理論 5. 貨幣名目說, クナップの貨幣理論 6. ベンデイクセンの貨幣理論 7. 貨幣數量說 8. 修正主義における數量說的な要因と貨幣の價値
III. 信用制度のもとにおける流通手段 9. 銀行券およびその流通法則 10. 資本主義の貨幣體制 11. 小切手流通 12. 爲替相場 13. 金融恐慌と貨幣流通
IV. 紙幣およびインフレーション 14. 紙幣發行の法則 15. インフレーション
V. 資本主義の一般的危機時代における貨幣流通 16. 世界大戰當時および戰後における貨幣流通の一般的特徵 17. 諸國における戰時・戰後のインフレーション, 本位貨の部分的安定 18. 今日における本位貨恐慌 19. 現代におけるブルジョア貨幣政策の傾向と資本主義的恐慌對策 20. 結論

*河野重弘 譯 貨幣及信用理論—マルクス主義と貨幣及信用理論の諸問題 東京 共生閣 昭 6 429 頁 四六

串本友三郎 ロバート・ノヨールの國民經濟的信用基本論 (銀行研究 29-5) 昭 10

同 エル・ネール・フォン・デア・ナーメル: 國民經濟的信用基本 (法と經濟 4-3) 昭 10

桑原晉 景氣, 貨幣, 信用 (彦根高商論叢 14) 昭 8

松尾藤平 信用の分量本質並に實際 (銀行論叢 7-5) 昭 1

松岡孝兒 ブゥニヤテイヤンと新信用論 (經濟論叢 38-3) 昭 9

松崎壽 信用と物價との關係 (商業及經濟研究 17) 大 9

ミロー, イー 貯蓄と信用の連鎖 (銀行通信錄 514) 昭 3

諸井貫一 長期信用の機構 (工業經濟研究 4) 昭 8

宗藤圭三 金融信用 (ダグラス信用分析を根基とする新「金融經濟學」) (同志社論叢 24) 昭 2

村上康三郎 信用に就て (計理學研究 15) 大 13

ムリナルスキー 信用と平和 (日本讀書協會會報 151) 昭 8

中谷實 銀行の信用膨脹に就いて (經濟論叢 30-6; 31-1) 昭 5

同 信用及信用組織 (經濟論叢 31-4) 昭 5

同 信用と資本 (經濟論叢 32-5) 昭 6

同 信用擴張と銀行流動性 (經濟論叢 33-3) 昭 6

同 銀行信用 (金融大辭典 I 卷 1 頁) 昭 9

同 信用 (金融大辭典 II 卷 2 頁) 昭 9

同 對物信用 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 對人信用 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同 添加信用 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

中谷實 保證信用 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

雜波田春夫 アルベルト・ハアンの信用理論 (經濟學論集 3-3/4) 昭 8

二宮正三 アメリカに於ける信用—貨幣恐慌とインフレーションの問題 (經濟評論—叢文閣 2-8) 昭 10

小幡清金 恐慌と信用 (經濟集誌 3-4) 昭 5

岡本春三 銀行の信用創造を難ず (大阪銀行通信錄 374) 昭 3

大川新六 英國に於ける信用論爭 (エコノミスト 13-23) 昭 10

同 ウエルチの反信用創造說 (エコノミスト 13-24) 昭 10

同 銀行は信用を創造するか (エコノミスト 13-26) 昭 10

沖中恒幸 信用と生產力 (公民講座 31) 昭 2

大北文次郎 ハーンの銀行信用理論 (商學論集 1) 昭 5

同 ハーン銀行信用理論に對するハーベルラーの批評 (商學論集 2) 昭 6

大野彌曾次 信用の諸問題 (山口商學雜誌 4) 昭 4

ブリオン, ウイリ 信用擴張と貨幣 (大阪銀行通信錄 428, 430/31) 昭 8

ライシユ, リチヤード 信用は創造し得らるゝか (銀行通信錄 539) 昭 5

*レヴィンスキー 貨幣, 信用及物價 大越貞一譯 東京 紅屋書店 昭 8 134 頁 四六

リーフマン 現代世界經濟に於ける信用の意義 (經濟學論集 3-11) 昭 8

佐々木駒之助 信用受授と銀行の責任 (銀行論叢 4-2) 大 14

新川傳介 世界經濟恐慌に於ける信用問題 (長崎高商研究館彙報 19-2, 5) 昭 7

杉浦治七 ミイゼスの流通信用論 (南邦經濟 2-1) 昭 9

須佐美芳男 銀行の信用と其利益 (銀行研究 8-4) 大 14

高木暢哉 シユムペーターの信用理論 (法文論叢 19) 昭 10

竹川則之 預金銀行信用創造論管見 (中央銀行會通信錄 323) 昭 5

竹内恕平 Confirmed Bankers Credit に就て (銀行研究 7-4/5) 大 13

田村一郎 信用と生產と物價 (銀行研究 21-4) 昭 6

田中精一 アルベルト・ハーン: 恐慌と信用 (經濟學論集 2-3) 昭 7

田中精一 エリッヒ, シッフの信用論 (經濟學論集 3-7) 昭 8

*トラハテンベルグ 現代の信用及び信用組織 川崎巳三郎譯 東京 叢文閣 昭 9 325 頁 菊

豐崎稔 銀行信用の資本集中媒介に就て (山口商學雜誌 5) 昭 4

張先德 銀行信用之哲學 (銀行週報 786, 792) 民 22

渡邊佐平 現代の信用及び信用組織 (政治經濟研究 2-4) 昭 9

山本安次郎 添加的信用の創造と預金銀行 (大阪銀行通信錄 440/41) 昭 9

吉田正三 ヂエー・シー・ドリー: 米國に於ける銀行信用の潛在的膨脹力 (銀行研究 28-3) 昭 10

吉川義弘 ムリナルスキー: 信用と平和 (銀行論叢 24-1) 昭 10

同 信用と平和 (銀行論叢 24-1, 3/4) 昭 10

米國金輸入と銀行信用に及ぼす影響 (調査月報 13-6) 大 12

獨逸の銀行信用 (ダイヤモンド 21-2) 昭 8

歐洲に於ける信用通貨及爲替の整理方策 (調査月報 10-11) 大 9

5. 金利

a. 一般

青山秀夫 ヴイクゼルの自然利子論 (經濟論叢 39-4) 昭 9

荒木秀一 コールの利子及運用 (銀行研究 2-2/3) 大 11

フィッシァー, アーヴィング The Theory of Interest 氣賀健三譯 (三田學會雜誌 26-1) 昭 6

グッファルト 利率の決定要素と其の將來 (調査月報 11-6) 大 10

芳賀忠次 婆羅門教法制に現はれし徵利思想 (三田學會雜誌 19-1) 大 14

*花井益 內外金利比較研究〔鳳聚會懸賞當選論文 5, 6, 7 の內〕 昭 5

原口亮平 利廻り (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

春木忠三郎　金利に關する諸相（銀行研究 5-2）大 14
橋野　登　金利低下の資本主義的必然（マーケット 1-2）昭 7
服部文四郎　低金利とインフレーション（早稻田政治經濟學雜誌 32）昭 8
林　信雄　利息制限制度の展望（同志社論叢 50）昭 10
平賀政美　企業と金利（商業經濟研究 1）昭 1
土方成美　資本利子の獨占（改造 5-7）大 12
同　金利と物價の關係に就いて（社會科學 1-7）大 14
堀江歸一　金利問題に對する諸觀察（改造 5-1）大 12
同　金融金利に關する問題（改造 8-12）昭 1
北條時重　金利の變動と物價，貸出預金比率及債券價格（商工經濟研究 10-2）昭 10
福井孝治　利子（經濟學辭典 V 卷 5 頁）昭 7
*古谷榮一　利子を停止す可し—經濟改造の第一國策　昭 9　60 頁　四六〔非賣〕
古屋美貞　ボエーム・バヴエルクの利子學說（同志社論叢 9）大 11
同　社會主義者の利子掠奪說の批判的研究（同志社論叢 13）大 13
池田了實　戰債支拂猶豫問題と低金利の歸趨（銀行研究 21-4）昭 6
井上準之助　世界金利の大勢に就て（龍門雜誌 433）大 13
石橋湛山・他　金利問題討論會（東洋經濟新報 1650）昭 10
石卷良夫　標準金利（金融大辭典 III 卷 2 頁）昭 9
井藤半彌　戰爭と利子歩合（國民經濟雜誌 26-6）大 8
岩崎　博　世界的低金利の持續力（藤本アナリスト 4-7）昭 5
同　弗本位下にある低金利のヂレンマ（藤本アナリスト 4-9）昭 5
飯島幡司　金利（金融大辭典 I 卷 4 頁）昭 9
カッセル　金利の將來（調査月報 16-5）昭 1
勝田貞次　利子歩合論上に於ける信用說（銀行研究 2-6；3-1）大 11
金原賢之助　利子說明の基礎に關する　ボエム・バヴエルクとクラークとの論爭（三田學會雜誌 15-8/9）大 10
小林　新　銀行利率（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
小池充彥　金利問題の考察（銀行論叢 2-3/5）大 13
小泉信三　Thomas Aquinas：利息論（三田學會雜誌 14-9）大 9
栗村雄吉　利子學說（金融大辭典 III 卷 7 頁）昭 9
前田梅松　利廻計算の仕方見方—現價と割引の話（經濟知識 4-3）昭 5
マッケナー，アール　戰後の財政と金利（中央銀行會通信錄 216）大 10
增田貫一　季節的金利變動の統計的研究（統計學雜誌 502/03）昭 3
松崎　壽　銀行利率と市場利率（商業及經濟研究 17）大 9
同　金利引下と產業振興策（銀行研究 9-3）大 14
同　金利（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6
三浦　實　市中金利（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
宮川　實　利子（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7
宮川貞一郎　公定歩合（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9
同　市場歩合（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
水野淳二　オドリ（利息の）（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
森川太郎　金利の物價に及ぼす影響（關西大學學報 11-3）昭 8
森本宗　世界的低金利と景氣問題（國際知識 10-7）昭 5
森山武雄　歐洲に於ける金利の推移傾向（銀行研究 11-4）昭 1
長崎精男　物價と兌換券發行高，金利の相關關係に就いて（內外研究 6-3/4）昭 8
成瀨義春　利子の必要ありや（財政經濟時報 9-14）大 11
同　利下の可能性と危險性（財政經濟時報 11-10/11）大 13
蜷川虎三　金利に關する一研究（經濟論叢 20-5）大 14
西　恒夫　コール日歩に就て（商業經濟研究 1）昭 1
西澤勘次郎　銀行取引の利息問題（銀行研究 19-4）昭 5
野崎龍七　貸出利率（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9
同　預金利率（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9
小川福太郎　リストに於ける貯蓄の形成と利子との關係（商工經濟研究 10-3）昭 10

岡田純夫　社會政策と金利との關係（銀行研究 11-5）昭 1
同　金利引下の本質と其實際（銀行研究 13-5）昭 2
岡橋林　世界的低金利時代の出現（實業之日本 33-11）昭 5
岡野文之助　金利問題管見（銀行論叢 7-3）昭 1
奥野平　英國金本位制停止と高金利政策の世界化，金輸出再禁止と爲替管理〔時事經濟問題解說〕（銀行論叢 18-1）昭 7
太田牧　最近の低金利とインフレーションに就て（世界情勢 1-4）昭 9
越智昌三　中央銀行の金利（經濟研究—岩波 3-4）昭 1
大山千代雄　カーバーの利子說に就て（經濟研究 2-4）大 14
ピーク　利率變動の豫想（大阪銀行通信錄 286）大 10
笠信太郎　低金利の意義（中央公論 50-3）昭 10
清水文之輔　物價及金利高低原則（東京經濟雜誌 2033/34）大 8
同　物價及金利の研究（生命保險協會會報 8-4）大 8
同　金利と株券（生命保險協會會報 10-1）大 9
新庄博　カッセル：市場利率銀行利率と物價の安定（國民經濟雜誌 45-5）昭 3
白井厳久　資金融通の性質と預金利子歩合（銀行研究 2-5）大 11
同　貨幣價値と金利歩合（銀行研究 4-6）大 12
高田保馬　利子の嚴密動學說（改造 5-9）大 12
同　利子の構成（商學研究 3-2）大 12
同　利子に關する試論（經濟論叢 24-6）昭 2
同　利子の源泉について〔利子の理論〕（經濟論叢 25-5）昭 2
同　利子に於ける勢力の作用（經濟論叢 31-6）昭 5
同　利子の形式に就て（經濟論叢 32-3/4）昭 6
同　利子歩合の理論—北歐學派の利子論の中核に關する覺書（經濟論叢 35-4）昭 7
同　利子の資本蓄積に及ぼす作用（經濟論叢 37-2）昭 8
高田保馬　勞銀と利子—ウイクセル，リンドバアクの所說を中心として（經濟論叢 37-5）昭 8
*同　利子論研究　東京　岩波書店　昭 10　525 頁　菊
同　利子論序說（經濟論叢 40-4）昭 10
*高城仙次郎　利子歩合論　東京　有斐閣　大 8　540 頁　菊
同　利子歩合の季節的變動（三田學會雜誌 13-2）大 8
同　物價に及ぼす金利の影響（銀行研究 9-6）大 14
同　金利と物價との關係（銀行研究 10-6）昭 1
*同　利子歩合の重要問題　2 版　東京　文雅堂　昭 2　341 頁　四六〔銀行講座〕
同　金利論大要（銀行通信錄 503/06）昭 2/3
*同　金利論大要　東京　東京銀行集會所　昭 3　150 頁　菊〔銀行叢書 3〕
同　資金需給の關係と金利歩合（銀行研究 15-4）昭 3
*同　金利概論　東京　巖松堂　昭 4　158 頁　菊
1. 總說　2. 資金の需要　3. 資金の供給　4. 當際歩合の決定　5. 融通の性質と金利歩合との關係　6. 金利の平衡
同　短期金利と長期金利との背馳關係（財政經濟時報 18-4）昭 6
高木友三郎　金利の高低原因と我國の金利—スミス，フイッシャー說に觸れて（法制大學論集 3-1）昭 2
高橋龜吉　金利水準（金融大辭典 I 卷 6 頁）昭 9
同　低金利革命は國民生活に如何に影響するか（中央公論 49-9）昭 9
高橋誠一郎　利子學說史上のマッシー及びヒューム（三田學會雜誌 14-5）大 9
同　基督教會と徵利問題（三田學會雜誌 15-7/12）大 10
同　反利子思想の對內性（經濟學論集 3-12）昭 8
*高畠素之・安部浩譯　資本利子及企業利得論　東京　而立社　大 12　388 頁　菊〔經濟學說大系 3〕
田邊重太郎　低金利の話（經濟知識 11-6）昭 9
谷口吉彥　金利と物價との相關關係に就て（經濟論叢 21-5）大 14

*遞信省簡易保險局 金利及利廻に關する調査 (3冊) 東京 昭 5〔積立金運用資料 20/22〕

沈 藻 墀 巴勃萬克利息論 (世界雜誌 1-2) 民 20

*東北學院高等學部 メンガーの高次財價値論と利子及利潤論 商學研究會 昭 8 29頁 菊〔非賣〕

富永義孝 金利錯覺の是正 (經濟情報 6-7) 昭 6

遠山貞一 金利引下論に於ける通貨論の誤謬 (銀行研究 6-4) 大 13

同 カッセル教授の「利子論」(銀行研究 8-3) 大 14

戸澤芳樹 金利の變動と有價證券投資との關係 (銀行論叢 11-2) 昭 3

上田辰之助 レオ版に據るトマス・アクキナスの公正價格並に金利論の邦譯 (商學研究 8-2) 昭 3

內田勝司 金利政策の意義及效果 (金融三層 2-5) 昭 6

打村鐵三 徵利論に關する一考察 (三田學會雜誌 17-1/2) 大 12

渡邊鐵藏 金利より生產費に及ぶ (中央銀行會通信錄 267) 大 14

ウォルフ 利率と貯蓄者剩餘 (大阪銀行通信錄 282/83) 大 10

山口正太郎 利子禁止思想の歷史 (我等 6-9) 大 13

山本恭次郎 利子歩合に就て (長崎高商研究館彙報 2-6) 大 12

山室宗文 世界の低金利傾向と我金利 (エコノミスト 8-5) 昭 5

山根雅男 コール歩合 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

*矢野恒太 金利精覽 20 版 東京 博文館 昭 6

*財政經濟時報社 金利と證券利廻り〔銀行信託講座—斯文書院 6: 科外講座の內 13 頁〕昭 4

株式市場と金利と金融市場 (銀行研究 5-4) 大 12

解禁後の金融と世界的低金利時代 (ダイヤモンド 18-21) 昭 5

劃期的新記錄を現出した世界金融界の低金利化 (中外財界 5-5) 昭 5

金利問題に就て (東洋經濟新報 921/22) 大 9

金利問題討論會 (東洋經濟新報 1650) 昭 10

金利の世界的低下趨勢 (銀行通信錄 534) 昭 5

金利の世界的低下趨勢不變 (銀行通信錄 530) 昭 5

金利の趨勢 (東洋經濟新報 1206) 昭 1

金利低落と益々深刻化する世界的不景氣の根因 (中外財界 5-7) 昭 5

國際金利と國際爲替 (エコノミスト 13-28) 昭 10

國際的低金利時代來る (エコノミスト 8-7) 昭 5

恐慌期に於ける金利の特殊相 (財界觀測 11-10) 昭 6

日英米中央銀行金利史 (東洋經濟新報 1453) 昭 6

歷史的な低金利 (ダイヤモンド 19-2) 昭 5

利息の理論 (大阪銀行通信錄 319/21) 大 13

最近一年間に於ける世界諸國金利の趨勢 (銀行通信錄 563) 昭 7

世界五大中央市場の金利狀況 (銀行通信錄 570) 昭 8

世界主要諸國に於ける中央銀行金利の趨勢 (銀行通信錄 540, 549) 昭 6

世界主要諸國中央銀行の金利趨勢 (銀行通信錄 555) 昭 7

世界的低金利 (東洋經濟新報 1391) 昭 5

世界的低利傾向の逆轉—產業恐慌打開難加はる (エコノミスト 9-16) 昭 6

世界的低金利と本邦金利 (エコノミスト 8-7) 昭 5

世界的低金利と其の作用 (ダイヤモンド 18-14) 昭 5

中央銀行金利 (ダイヤモンド 7-17) 大 8

b. 各 國 別

日 本

阿部賢一 行詰れる低金利策 (エコノミスト 10-23) 昭 7

明石照男 日本の金利は何故高いか (龍門雜誌 454) 昭 1

青木得三 物價金利及び爲替相場 (專賣通信 9-5) 昭 5

荒木秀一 金利變動の統計的研究 (銀行論叢 1-2, 4/5) 大 12

同 我國の金利問題 (大阪銀行通信錄 353/54) 昭 2

同 金解禁後の金利及證券相場 (大阪銀行通信錄 382; ダイヤモンド 17-18/19) 昭 4

荒木光太郎 低金利と經濟界の前途 (財政經濟時報 21-9) 昭 9

有元英夫 農村金利低下と產業組合の任務 (帝國農會報 16-7) 昭 1

濱岡五雄 預金協定の實行と銀行資力の充實 (大阪銀行通信錄 294) 大 11

濱崎定吉 低金利の影響 (竹原經濟時報 52) 昭 6

原竹正惠 豫定利率と長期金利の將來 (保險評論 28-5) 昭 10

長谷川光太郎 預金協定の歷史と今後 (我觀 36-1) 昭 1

*橋本庄藏 低金利時代の財界 大阪 大同書院 昭 3 197頁 四六

橋爪明男 銀行の預金利下問題 (エコノミスト 6-13) 昭 3

服部文四郎 低金利とインフレーション (早稻田政治經濟學雜誌 32) 昭 8

同 低金利と財界の推移 (講演 233) 昭 8

平野清 日米金融市場と市場利率 (銀行研究 2-3) 大 11

弘世助太郎 金利低下と事業整理の促進 (工業 18) 昭 3

同 低金利と財界の前途 (竹原經濟時報 52) 昭 6

土方久徵 低金利時代の財界 (銀行論叢 12-2) 昭 4

土方成美 郵便貯金の本質に反する利下 (實業之日本 32-4) 昭 4

堀正一 內鮮の金利比較 (朝鮮及滿洲 268) 昭 5

堀江歸一 產業資本の供給と金利引下問題 (改造 4-10) 大 11

同 金利引下問題 (エコノミスト 2-4) 大 13

同 預金利子の協定難 (エコノミスト 3-18) 大 14

同 預金利下と金融 (エコノミスト 5-5) 昭 2

細矢祐治 本邦金利事情と低金利問題 (銀行研究 13-5) 昭 2

伊吹貞治 低金利と生命保險 (保險銀行時報 1715) 昭 10

飯田清三 低金利の持續性 (經濟往來 8-11) 昭 8

同 低金利の持續性と今後の徑路 (銀行研究 25-2) 昭 8

同 低金利時代の出現とインフレの動向 (聯合通信社講演 50) 昭 8

同 低金利政策の行衞 (東洋經濟新報 1596) 昭 9

飯田清三 郵貯利率と定期利率 (東洋經濟新報 1607) 昭 9

同 ボンドの下落と金利引締りの前途 (東洋經濟新報 1620) 昭 9

同 金利低下の限界 (銀行研究 28-2) 昭 10

同 低金利の波及範圍 (エコノミスト 13-28) 昭 10

池田謙三 預金利子協定に就て (銀行通信錄 423) 大 10

池田了實 金利の騰落と債券市價 (銀行論叢 1-1) 大 12

池田成彬 金融の實務と預金利下問題 (エコノミスト 4-8) 昭 1

猪熊貞治 郵貯利下後の一年 (遞信協會雜誌 302) 昭 8

井上辰九郎 異論の餘地なき利下斷行 (エコノミスト 3-9) 大 14

井上準之助 金利引下の方策 (太陽 32-12) 昭 1

石卷良夫 預金利率協定の勵行難 (銀行研究 8-5) 大 14

同 預金利子協定の將來 (銀行研究 11-3) 昭 1

同 預金協定と乙種銀行の地位 (銀行研究 26-6) 昭 9

同 低金利の生める特殊の金融現象 (銀行研究 29-5) 昭 10

磯貝一郎 金利と物價と債券市價 (インヴェストメント 7-4) 昭 3

一谷敬二 利息制限考 (無盡通信 9-3) 昭 8

伊藤好道 「革命的」低金利の意義と限界 (經濟往來 9-12) 昭 9

岩崎博 預金協定 (經濟學辭典 V 卷 1 頁) 昭 7

岩田耕作 再び郵便貯金利下げに就て (藤本アナリスト 4-9) 昭 5

神戶正雄 金利引下問題 (時事經濟問題 12) 大 12

同 預金利率協定及勸誘員の問題 (時事經濟問題 13) 大 12

同 金利引下の要望 (時事經濟問題 17) 大 12

同 金融の變態と社債及金利 (時事經濟問題 28) 大 13

同 預金協定勵行難と其解決策 (時事經濟問題 32) 大 14

同 金利と物價 (時事經濟問題 33) 大 14

同 金融界に於ける利下傾向 (時事經濟問題 40) 大 14

神戸正雄 金利引下策の行詰（時事經濟問題 47）昭 1
同 金利引下問題と金輸解禁問題（時事經濟問題 49）昭 1
同 金利引下策と日銀利下（時事經濟問題 52）昭 1
同 利下政策の失敗と其糊塗方策（時事經濟問題 53）昭 1
同 利下傾向（時事經濟問題 55）昭 2
同 銀行預金利子の引下（時事經濟問題 56）昭 2
同 預金協定に伴ふ若干の問題（時事經濟問題 57）昭 2
同 一部銀行に於ける預金利下（時事經濟問題 62）昭 2
同 利下問題（時事經濟問題 63）昭 2
同 利下と其影響（時事經濟問題 64）昭 2
同 貸出協定と預金協定（時事經濟問題 69）昭 3
同 預金利下問題（時事經濟問題 72）昭 3
同 預金利下停頓と其一部實現（時事經濟問題 75）昭 3
同 預金利下問題（時事經濟問題 80）昭 4
葛 雄一郎 何故我國の金利は下らざるか（金融研究 2-9）大 14
勝田貞次 金利低落は人爲的に可能なりや（大阪銀行通信錄 317）大 13
同 金融指導と預金協定（金融研究 1-3）大 13
菊本直次郎 預金利下の必要（エコノミスト 13-21）昭 10
金原賢之助 赤字財政と低金利の進展（經濟情報 9-17）昭 9
同 世界經濟動搖期に於ける若干の金融問題—我國に於ける低金利の問題（信託協會會報 8-3）昭 9
桐野外科雄 預金協定批判（銀行論叢 1-4）大 12
同 預金協定に付て佐野氏に答ふ（銀行論叢 2-1）大 13
北崎進 日銀金利と預金利子—預金利下の表裏日銀利下の意義（中外財界 2-20）昭 2
同 低金利金融の現狀と將來（中外財界 6-6）昭 6
小林沙河夫 本邦金利高の原因及之が矯正策（商業經濟研究 2）昭 2
兒玉謙次 我貿易及金利問題（中央銀行會通信錄 259/60）大 13
小池充彦 金利問題の考察（銀行論叢 2-3/5）大 13
小坂珠城 定期預金利廻と無盡の金利（銀行研究 19-1）昭 5
同 無盡金利の特異性（無盡通信 13-6）昭 10
小山健三 預金利子引下問題（財政經濟時報 8-3）大 10
小柳靖 松方氏の金利引下論を評す（銀行論叢 2-3/4）大 13
小島愛三郎 改正前の利息制限法と年二割の利息（法學新報 30-10）大 9
小島昌太郎 低金利の下にある我が產業界（經營と經濟 2-1）昭 6
同 低金利の限界（經濟往來 9-9）昭 9
熊本石造 長短金融の離反と低金利の普遍化（銀行論叢 24-1）昭 10
草間淸四郎 低金利は何處まで（保險銀行時報 1694/95）昭 9
楠見一正 郵便貯金と利下問題（經濟時報 2-5）昭 5
前田薰一 預金協定規定廢止論（金融研究 2-10）大 14
牧村宏 金利引下げ問題（稅 10-11）昭 7
松崎壽 現時の金利引下問題（銀行研究 4-1）大 12
同 金利引下論の誤謬（銀行研究 6-3）大 13
同 金利引下に關する諸說を評す（銀行研究 7-1）大 13
同 預金協定違反と金錢信託（銀行研究 8-3）大 14
同 金利引下と產業振興策（銀行研究 9-3）大 14
同 現時の金利安問題（銀行研究 14-5）昭 3
同 金利問題に對する實業家の見解（財界研究 5-1）昭 3
同 金解禁後の物價及金利問題（經濟時報 2-1）昭 5
同 低金利の趨向如何（銀行研究 26-6）昭 9
三谷軌秀 根本的金利改善策（銀行通信錄 478, 488）昭 1
三谷尙乙 低金利と金融組合の將來（金融組合 73）昭 9
三浦實 日本銀行金利（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

三浦鐵太郎 我國の金利は何故に高きか（東洋經濟新報 1082/90）大 13
森廣藏 金利の前途（經濟知識 13-6）昭 10
同 利下げに對する觀察（エコノミスト 13-21）昭 10
永田得二 低金利時代（地方行政 42-9）昭 9
中池彦雄 我が國の金利に就きて（神戸高商學生學術研究 2）昭 2
中村孝太郎 郵便貯金利下げに對する社會事業家の關心（社會事業 14-9）昭 5
中村重夫 金利の低下を目的とする改善策（銀行研究 12-1）昭 2
同 低金利の持續性（銀行研究 29-2）昭 10
中山玖麻雄 爲替關係より見たる內國金利（銀行研究 1-2）大 10
成瀨義春 利下の必要ありや（財政經濟時報 9-14）大 11
同 利子の可能性と危險性（財政經濟時報 11-10/11）大 13
同 郵便貯金利下の可否（財政經濟時報 16-3）昭 4
野崎龍七 貯蓄預金利子協定（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
同 預金協定（金融大辭典 III 卷 7 頁）昭 9
同 低金利期の轉廻（ダイヤモンド 23-2, 4）昭 10
同 低金利工作の新段階（ダイヤモンド 23-33）昭 10
小汀利得 我國低金利の將來（經濟往來 9-10）昭 9
小笠原光壽 郵便貯金利子と銀行預金利子との關係に就て（遞信協會雜誌 252）昭 4
小川秀彥 金の輸出解禁と金利（中央銀行會通信錄 310）昭 4
岡田純夫 金融統制上から觀た預金協定（我觀 36-1）昭 1
奥野平 預金利下の機運漸く動く（銀行論叢 11-1）昭 3
同 銀行預金利下げと日銀利下げ問題（銀行論叢 16-5）昭 6
同 米銀に次ぐ英銀の利下げと再び擡頭せる日銀の利下げ問題（銀行論叢 16-6）昭 6
同 郵貯利下問題に就て（銀行論叢 19-2）昭 7
小野英一郎 我國と英米佛の金利比較（太陽 32-10）昭 1
*大阪高商銀行業務研究室 現時の金利及爲替問題（松崎譯）大 13〔調査報告 8〕
笠信太郎 インフレ下の金利（エコノミスト 13-28）昭 10
榊原二郎 預金協定違反問題觀（銀行研究 9-4）大 14
佐久間長次郎 金利低下と銀行收益減少に付ての考察（銀行研究 28-1）昭 10
佐野包治 預金協定批判を評す（銀行論叢 1-6）大 12
同 現下の銀行預金協定問題（銀行研究 6-1）大 13
同 三度預金協定問題を論じ其解決に及ぶ（銀行論叢 5-3/4）大 14
笹原正志 預金利子の引下と債券界（インヴェストメント 5-3）昭 2
佐々木駒之助 現下の低金利に就て（竹原經濟時報 52）昭 6
眞家白雨 郵便貯金利下問題（朝鮮遞信協會雜誌 176）昭 8
白石幸三郎 手形割引歩合と實際取引（經濟知識 5-3）昭 6
左右田誠一 株式市場と金利と金融市場（銀行研究 5-3）大 12
杉本一雄 吾國金利の諸相とその統制（銀行論叢 6-3/4）昭 1
杉野喜精 利下げと今後の財界（財政經濟時報 19-4）昭 7
高橋龜吉 金利引下論の根據（東洋經濟新報 1105/06）大 13
同 金利の前途感（調査及資料彙報 70）昭 9
同 低金利革命は國民生活に如何に影響するか（中央公論 49-9）昭 9
同 我國の低金利と其の見透し（無盡通信 11-5）昭 9
高橋是淸 金利問題に就て銀行家に望む（銀行通信錄 481）昭 1
高城仙次郎 我國の金利は高きか（銀行研究 9-1）大 14
同 我國の金利が米國より高き理由（銀行研究 9-2）大 14
同 我國の金利は如何にして引下げ得るか（銀行研究 9-3）大 14
同 利子歩合の季節的變動（銀行研究 9-5）大 14
同 日銀歩合と市中歩合との關係（銀行研究 10-5）昭 1

高木 眞一 短資金利の動き（中央銀行會通信錄 385） 昭 10

高木友三郎 金利の高低原因と我國の金利（スミス，フィッシャー說に觸れて）（法制大學論集 3-1） 昭 2

高瀨 三郎 利息に關する諸種の法律問題（大阪銀行通信錄 428） 昭 8

武田 鼎一 我國金利に關する管見を讀みて（ダイヤモンド 12-3） 大 13

同 我國金利高の原因を論じて財界匡救策に及ぶ（ダイヤモンド 12-6） 大 13

田中 市郎 預金利下の急務（銀行論叢 9-2） 昭 2

田中 貢 金利引下の根本策（エコノミスト 5-2） 昭 2

谷口 吉彥 東西金利市場の相違に就て（經濟論叢 18-2） 大 13

谷川 正輔 今次の預金利下と名古屋の銀行（銀行論叢 12-2） 昭 4

*朝鮮銀行調査課 朝鮮及內地に於ける金利其他 昭 2

*同 金解禁前後に於ける各種相場及金利の推移概況 昭 6

植野 勳 朝鮮の金利に就て（金融組合 23） 昭 5

若槻禮次郎 金利低下手段としての保證準備擴張の可否（銀行通信錄 458） 大 13

渡邊 鐵藏 今の低金利は何時まで續くか（實業之日本 32-6） 昭 4

山口竹次郎 郵貯利下は當道のみ（株主協會時報 8-21） 昭 5

山村 宗一 低金利基調は不變（エコノミスト 13-28） 昭 10

山室 宗文 世界の低金利傾向と我金利（エコノミスト 8-5） 昭 5

山成 喬六 金利昂騰の由來（ダイヤモンド 7-3） 大 8

同 我事業界と金利政策は如何（エコノミスト 2-4） 大 13

山崎 靖純 わが低金利の三大原因（經濟 1-2） 昭 9

湯川 寬吉 預金協定の勵行に就て（大阪銀行通信錄 294） 大 11

結城豐太郎 保證準備擴張論と金利問題（エコノミスト 2-10） 大 13

*財政經濟時報社 最近の低金利時代の斷面相〔銀行信託講座—斯文書院 9：科外講座の內 14 頁〕 昭 5

*全國經濟調査機關聯合會 金利の前途感 昭 9 25 頁 菊

現下に於ける低金利の意味と效果（東洋經濟新報 1509） 昭 7

銀行の預金利下（エコノミスト 5-4） 昭 2

變態的金融緩慢と金利問題（ダイヤグラム 1-2） 昭 3

本格的低金利時代の到來（エコノミスト 11-8） 昭 8

再び預金利下問題に就て（銀行論叢 22-6） 昭 9

インフレ期の金利動向と生保資產利廻の將來（保險知識 1-7） 昭 8

インフレ政策初期の現象—金融緩慢と金利低下（東洋經濟新報 1528） 昭 7

愈々超低金利時代出現（銀行論叢 18-6） 昭 7

愈々預金利下—日銀利下は如何（東洋經濟新報 1443） 昭 6

異常なる低金利（ダイヤモンド 18-19） 昭 5

劃期的低金利と下期起債市場（財界觀測 15-4） 昭 8

劃期的低金利時代到來（銀行通信錄 570） 昭 8

關東大震災後のデフレーション政策長期金利の研究（東洋經濟新報 1622） 昭 9

驚嘆激落金利低落と財界動向の觀測（エコノミスト 10-17） 昭 7

稀有の低金利時代（エコノミスト 8-10） 昭 5

金解禁後の金利—大勢は低下すべし（東洋經濟新報 1323） 昭 3

金利安定政策の持續性（財界觀測 17-3） 昭 9

金利平準から見た財界の前途（財界研究 5-1） 昭 3

金利平準の下向と財界の沸騰點（財界研究 5-1） 昭 3

金利引上の効果（ダイヤモンド 7-32） 大 8

金利の急低下（東洋經濟新報 1523） 昭 7

金利の前途はどうなるか（經濟情報 9-20） 昭 9

金利水準の革命的低下と其全面的影響（經濟情報 9-9） 昭 9

金利水準の低下が國民經濟に與へる變化（經濟情報 9-10） 昭 9

金利低下と各金融機關の對策（エコノミスト 12-2） 昭 9

金利と證券相場（財界要報 102） 昭 6

金利は金解禁後も依然緩慢乎（株式の日本 8-1） 昭 5

金利は何故に低下せぬか（東洋經濟新報 1045） 大 12

金融緩慢と預金利下問題（ダイヤモンド 16-16） 昭 3

金融閉散と預金利下問題（エコノミスト 5-17） 昭 2

金融基調と金利水準（財界觀測 18-4） 昭 10

金融十年一後篇 金利變動（エコノミスト 11-24） 昭 8

金融制度改善と金利高の原因（ダイヤモンド 14-22） 昭 1

記錄的低金利時代の出現（財界觀測 13-3） 昭 7

寄生せる預金利子（ダイヤモンド 12-28） 大 13

高金利繼續の原因とその將來（ダイヤモンド 16-29） 昭 3

高金利の根本原因（ダイヤモンド 12-4） 大 13

高金利時代と事業金融難（財界觀測 11-12） 昭 6

國際水準より見たる我國金利の地位（エコノミスト 13-9） 昭 10

コール協定率引上問題と日銀金利政策の裏面（エコノミスト 13-34） 昭 10

コール率と東株相場との關係（東洋經濟新報 1385） 昭 5

公債利子引下論—重ねて識者の注意を促す（東洋經濟新報 1452） 昭 6

空前の低金利時代來ろ（エコノミスト 11-14） 昭 8

問題は預金協定にあり（ダイヤモンド 14-18） 昭 1

日本銀行の利率（ダイヤモンド 13-8） 大 14

日英米中央銀行金利史（東洋經濟新報 1453） 昭 6

日銀の通貨統制と金利（エコノミスト 13-5） 昭 10

利率低下の合理的考察〔都城生〕（銀行論叢 4-4） 大 14

利下後の資金移動（エコノミスト 11-16） 昭 8

利下げ問題の再吟味（財界觀測 16-9） 昭 9

利下の機を逸する勿れ（東洋經濟新報 1126） 大 13

利子と企業利潤（ダイヤモンド 12-27） 大 13

最近の金利引下論に就て（大阪銀行通信錄 321） 大 13

最近特に注目さるべき各種金利の檢討（中外財界 4-10） 昭 4

產業行詰の主因—金利負擔の轉嫁限度（エコノミスト 9-4） 昭 6

制動機金利より見た日本の金利平準（財界研究 2-3） 昭 2

政變と低金利の見透し（エコノミスト 12-24） 昭 9

正貨流出と金利（ダイヤモンド 18-5） 昭 5

正貨流出と金利の前途（東洋經濟新報 1265） 昭 5

生產過剩の見方，低金利の限界（財界觀測 18-4） 昭 10

世界的低金利と本邦金利（エコノミスト 8-7） 昭 5

資金需給の好調と反低金利政策の限界（財界觀測 16-12） 昭 9

新低金利時代の到來を豫想す（東洋經濟新報 1439） 昭 6

市中銀行利下問題と金利水準の將來（財界觀測 19-3） 昭 10

市場金利と金融の基調（ダイヤモンド 15-5） 昭 2

手形割引率と東株相場との關係（東洋經濟新報 1386） 昭 5

低物價低金利論（ダイヤモンド 13-22/3） 大 14

低金利普遍化の過程（ダイヤモンド 23-30） 昭 10

低金利傾向と起債市場（財界觀測 13-8） 昭 7

低金利に活躍の起債市場（東洋經濟新報 1559） 昭 8

低金利の現勢に就て（銀行論叢 24-5） 昭 10

低金利の一般的意義（財界研究 10-5） 昭 6

低金利の目先と大勢（財界觀測 16-8） 昭 9

低金利の浸潤と景氣の前途〔深化して來た金融緩慢低金利 外〕（エコノミスト 13-21） 昭 10

低金利の前途觀と公社債の投資方針（東洋經濟新報 1606） 昭 9

低金利の持續性（財界觀測 15-3） 昭 8

低金利の持續性に就て（日本興業銀行調査月報） 昭 9

低金利策の總動員とその影響の見透し（ダイヤモンド 20-26） 昭 7

低金利政策は徹底すべし（東洋經濟新報 1610） 昭 10

低金利深化の過程（金融知識 6-4） 昭 10

低金利深化の過程と銀行信託（東洋經濟新報 1646） 昭 10

低金利と銀行の地位（東洋經濟新報 1455） 昭 6

低金利と公債の地位（東洋經濟新報 1558） 昭 8

低金利と生保投資團の時局的意義（保險知識 1-6） 昭 8

低金利と事業界〔R. S. T.〕（經濟往來 6-5） 昭 6

低利政策と金融の前途（エコノミスト 4-5） 昭 1

地方銀行利下と金利平準化の歸趨（經濟情報 9-12） 昭 9

長期金利と將來（東洋經濟新報 1621/26） 昭 9

長短金利の背馳性（經濟情報 10-31） 昭 10

我金利標準低下の時期と其の率（經濟情報 9-8）昭 9
我金利低落と海外金利の關係（東洋經濟新報 1320）昭 3
我國金利高の原因と其對策（大阪銀行通信錄 347）昭 1
我國の金利を論ず〔Z. Y. X.〕（東洋經濟新報 1650）昭 10
我國の金利率の實際的研究（ダイヤモンド 16-27/28）昭 3
我國の金利と企業利得に就て（ダイヤモンド 16-13）昭 3
わが國の金利は英米なみに低落せん（東洋經濟新報 1552/53）昭 8
我國の金利は何時低下するか（ダイヤモンド 13-32）大 14
預金協定違反問題（財政經濟時報 12-7）大 14
預金利率協定の無用（財政經濟時報 7-4）大 9
預金利下げが實現するまで（エコノミスト 9-8）昭 6
預金利下問題と大銀行の業績（ダイヤモンド 23-27）昭 10
預金利下問題と銀行の責任（エコノミスト 4-21）昭 1
預金利下問題と銀行の地位（竹原經濟時報 16）昭 3
預金利下問題と金融資本の對立（エコノミスト 13-25）昭 10
預金利下の可能性如何（經濟論叢 22-4）昭 9
預金利下の効果如何（エコノミスト 9-8）昭 6
預金利下げと影響（エコノミスト 9-8）昭 6
預金利下げと金融基調（財界觀測 15-2）昭 8
預金利下と金融市場（エコノミスト 5-4）昭 2
預金利下と財界（エコノミスト 5-12, 7-7）昭 2, 4
預金利下論議と金融實勢（財界觀測 14-10）昭 8
預金利子の引下げを勸奬す（東洋經濟新報 1524）昭 7
預金利子の協定維持に就て（東京經濟雜誌 2118）大 12
預金利子と株價（大阪屋商店時報 172）昭 2
郵便貯金の利下げ（藤本アナリスト 4-13）昭 5
郵便貯金利下に就て（保險銀行時報 1478）昭 5
郵便貯金利子引下（銀行通信錄 537）昭 5
郵貯利下の影響（經濟知識 4-3）昭 5
郵貯利下げの反響（財界觀測 13-5）昭 7
郵貯利下と一般金利（ダイヤモンド 20-25）昭 7
郵貯と貯蓄預金利下げ（藤本アナリスト 4-19）昭 5
財源難對策としての低金利政策（財界觀測 13-9）昭 7
實行容易なる金利低廉策（エコノミスト 2-12）大 13

アメリカ合衆國

アンダーソン　米國金利高の歐洲諸國に及ぼせる影響（調査月報 19-10）昭 4
*金融研究會　米國金融市場金利に就て　同會　昭 9　264 頁　菊〔非賣〕〔調査 8〕
I. 米國金融市場の機構と金利　1. 聯邦準備制度加盟銀行の準備銀行借入金と金融市場金利　2. 聯邦準備銀行公定割引歩合と市場金利　3. 加盟銀行の準備銀行借入金を增減せしむる要因　4. 準備銀行公定割引歩合の内容と二種の金融市場金利　5. 紐育公開市場金利　6. 銀行の對顧客貸出市場金利　7. 聯邦準備局の金利統計
II. 聯邦準備制度の 20 年間に於ける米國金融市場金利の變動　1. 聯邦準備制度の創設より 1920 年 8 月に至る期間　2. 1920 年 8 月より 1924 年 8 月に至る金利低落期　3. 1924 年 8 月より 1927 年 11 月に至る金利安定期　4. 1927 年 11 月より 1929 年 9 月に至る金利上騰期　5. 1929 年 9 月より 1933 年 12 月に至る金利低落期　附錄　米國銀行預金利息に關する資料
宮川貞一郎　米國に於ける低金利と金融統制（ダイヤモンド 23-27）昭 10
*日本銀行調査局　米國高金利の歐洲各國に對する影響　昭 4〔經濟彙報 7〕
ノルトン　米國の金利及金融市場（大阪銀行通信錄 295）大 11
大藏省理財局　紐育に於ける利子歩合と株式投機（調査月報 17-特別 2）昭 2
渡邊悟郎　米國に於ける預金利子の問題（銀行研究 12-3）昭 2
ウイリス, パーカー　米國の割引利率問題　吉海茂喜譯（大阪銀行通信錄 367）昭 3
山崎得二　米國高金利の基礎と世界經濟との關係（我觀 71）昭 4

米佛利下の意義（エコノミスト 9-2）昭 5
米國金利高の英國銀行界に及ぼせる影響（調査月報 19-10）昭 4
米國に於ける諸貨付利子歩合の差異（調査月報 18-5）昭 3
米國の金利引上（ダイヤモンド 11-7）大 12
米國聯邦準備銀行再度の利下（大阪銀行通信錄 323）大 13
米國低金利政策の分析（エコノミスト 11-12）昭 8
米國財界の動搖と低金利（ダイヤモンド 19-17）昭 6
國際金融界注視の的米國の金利高は世界にどう響く（國際パンフレット通信 269）昭 4
紐育準備銀行再度利下げ眞相（ダイヤモンド 12-19）大 13

長期金利の將來—1, 英米金利に就てのケインズの觀測 2, カッセル教授の悲觀論（東洋經濟新報 1613/14）昭 9

ドイツ

ベルリン景氣研究所　獨逸の利下問題と國債（財界觀測 18-5）昭 10

獨逸國立銀行の利下（商工月報 7-9）昭 6

フランス

ウィルソン　佛國に於ける金流入と金利安との原因（調査月報 20-2）昭 5

イギリス

*第一銀行調査部　低金利下の英國銀行業　昭 9　30 頁　菊
金野豐　1929 年に於ける英蘭銀行の金利と金の移動〔ロンドン通信 2〕（大阪銀行通信錄 391）昭 5
リヴァセッヂ　英國金本位復歸前後の金，金利及物價（調査月報 18-11）昭 3
山室宗文　倫敦紐育の金利の差異に就て（大阪銀行通信錄 318）大 13
同　英米の金利（經濟知識 3-5）昭 5

英國銀行の金利（中央銀行會通信錄 232）大 11
英國銀行利上と英國金融市場（商工月報 7-8）昭 6
英國低金利問題とその銀行業績に及ぼしたる影響（銀行論叢 25-6）昭 10
英蘭銀行利下と倫敦市場金利の動向（經濟情報 9-27）昭 9
英蘭銀行條例改正以來の公定歩合變動（銀行通信錄 409）大 8
過去 80 年間に於ける英蘭銀行金利の變動（銀行通信錄 556）昭 7
過去100年間に於ける英蘭銀行金利變動の跡〔H.A.〕（中央銀行會通信錄 275）昭 1
金利低下と英國生保業の成績（保險知識 2-6）昭 9

既往 85 年間の英蘭銀行の金利と其統計的觀察（銀行通信錄 519）昭 4
既往 30 年間の英蘭銀行公定歩合の消長（銀行通信錄 543）昭 6
低金利下の英國民間銀行：我が國民間銀行との比較（東洋經濟新報 1632）昭 9
低金利と英國銀行業の狀勢（銀行通信錄 577）昭 9
長期金利の將來—1, 英米金利に就てのケインズの觀測 2, カッセル教授の悲觀論（東洋經濟新報 1613/14）昭 9

インド

平野清　印度に於ける銀行利率の季節的變動と其調節策（商業及經濟研究 37）大 14

滿洲國

滿洲に於ける金利引下（調査時報 7-4）昭 2
滿洲中央銀行預金貸出利率（經濟金融概況 18）大同 3

支那

馬寅初　中國之工資與利息問題（銀行週報 820）民 22
劉仲廉　上年上海匯折之回顧（銀行週報 789）民 22
靜如　限制利率與平民金融（銀行週報 514）民 16
子明　存款競爭中之利息問題（銀行週報 812）民 22
謝菊會　論中央法制委員會建議限制利率（銀行週報 509）民 16
田中忠夫　支那の利息制限法に就て（東亞經濟研究 10-2）昭 1
*矢野春隆　支那利息論　昭 1
葉又村　合作家主張有利息麼（經濟週報 39）民 20

本公會復市商會詢放款利率函（錢業月報 11-9）民 20
中國重利問題（銀行月刊 1-11）民 10

II. 金　融　市　場

1. 一　　般

a. 一　　般

阿部賢一　金融膨脹論の流行（エコノミスト **9**-19）昭 6

*明石照男　コール市場に就て〔山崎教授還暦祝賀紀念經濟學研究 2 の内〕昭 4

荒木秀一　金融逼迫（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

同　　金融緩慢（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

道家齊一郎　金融市場の意義（金融研究 **2**-2）大 14

濱岡五雄　歐洲戰爭と海外金融市場（中央銀行會通信錄 212/23）大 9

*同　　世界近時の金融市場　東京　商業學校　大 10〔經濟時事講演集 5 輯〕

平野清　金融市場に及ぼす諸影響（金融研究 (**2**-4/7)　大 14

古屋美貞　引受市場（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

藤原泰　金融市場（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

甘末爾　匯兌與金融市場　逸飛譯（北辰雜誌 **6**-18）民 23

川口酉三　マネーマーケット論（商業と經濟 1）大 10

*經濟批判會　譯　金融市場の世界的動搖　東京　叢文閣　昭 8　349 頁　四六〔世界經濟叢書 2〕

金原賢之助　外國爲替と國際金融市場の現狀（信託協會會報 **7**-2）昭 8

熊田克郎　國際金融市場の回顧と展望—國際金融の綜合的觀察（銀行研究 **18**-5）昭 5

森芳一　手形金融市場の分解（商學研究雜誌 8）昭 5

森川太郎　金融市場（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

野崎龍七　金融閉散（金融大辭典 I 卷 3 頁）昭 9

野崎龍七　年末金融（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

*大阪高商銀行業務研究室　金融市場の特質一斑（松崎諺）大 15〔調査報告 14〕

島本得一　金融市場と證券取引所（銀行研究 **13**-2）昭 2

同　　取引所市場と金融市場（銀行研究 **13**-2/3, 5）昭 2

新庄博　金融市場の對象と領域（國民經濟雜誌 **56**-5）昭 9

左右田誠一　株式市場と金利と金融市場（銀行研究 **5**-3/4）大 12

*東京銀行集會所　外國貿易及金融市場　昭 6

友岡久雄　インフレーション金融市場（世界經濟 8）昭 7

渡邊佐平　金融市場に於ける變調（世界經濟 4）昭 6

山根雅男　ブローカレージ（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

柳田誠二郎　金融市場に關する二三の研究（國家學會雜誌 **41**-4）昭 2

*全國經濟調査機關聯合會　取引所と金融市場との關係　大 11〔彙報別册 3〕

金融市場につきて（讀書會雜誌 **10**-4/6）大 12

金融市場の發達（東洋經濟新報 1043）大 12

金融市場要論（大阪銀行通信錄 306/07）大 12

歐羅巴諸國割引市場の發達（藤本アナリスト **5**-3）昭 6

b. 各　國　別

日　　本

明石照男　我國金融市場の最近の動向（經濟學論集 **5**-10）昭 10

同　　我國金融市場の最近狀勢（金融三屆 **6**-11）昭 10

平野清　日米金融市場と市場利率（銀行研究 **2**-3）大 11

*石澤久五郎　金融市場　東京　經濟知識普及會　昭 9　37 頁　菊〔市場經濟講座 6, 2〕

神戸正雄　金融市場及證券市場の連鎖（時事經濟問題 37）大 14

河合良成　我國金融市場の缺陷（明大經濟研究 **1**-6）大 10

同　　取引所と金融市場との關係（大阪銀行通信錄 297）大 11

楠見一正　大阪金融市場（經濟學辭典 I 卷 3 頁）昭 5

同　　東京金融市場（經濟學辭典 IV 卷 7 頁）昭 6

前田安彦　金解禁前後策と金融市場（中央銀行通信錄 315）昭 4

*三村稱平　日本銀行と金融市場　東京　森山書店　昭 10　556 頁　菊

三宅鹿之助　山室宗文氏著「我國の金融市場」（法政大學論集 **2**-1）昭 1

諸井誠二郎　歐洲大戰後に於ける本邦金融市場の發達（經濟研究 **1**-5/7）大 10

中橋德五郎　金融及商工業の中心としての大阪（大阪銀行通信錄 262）大 8

*日本銀行　金融市場の近狀〔日本產業資料大系—中外商業新報社 9 の内〕昭 1/3

野崎龍七　五日會（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

小野英二郎　戰末の金融界（保險銀行通信 259）大 9

大島堅造　東西金融市場（金融大辭典 II 卷 16 頁）昭 9

瀨下清　事業界と金融市場と現勢（龍門雜誌 437）大 14

同　　金融證券市場の前途觀（エコノミスト **8**-3）昭 5

島田德　債券市價と金融市場（インヴェストメント **7**-4/5；**8**-1, 4）昭 3

島本得一　我邦の證券取引所と金融市場（銀行研究 **11**-5）昭 1

左右田誠一　外資輸入と金融市場の影響如何（銀行研究 **5**-1）大 12

*高橋龜吉　日本の金融市場〔經濟學全集—改造社 42 の内 128 頁〕昭 5

田中金司　山室宗文著：我國の金融市場（國民經濟雜誌 **41**-1）昭 1

内田貞　貿易の趨勢と金融市場（經濟時論 **7**-2）大 8

*山室宗文　我國の金融市場　東京　日本評論社　昭 1　217 頁　菊

1. 金融市場　2. 金融機關　3. 日本銀行の公定利子歩合　4. 銀行預金利息　5. 銀行貸出金利息　6. コール貸　7. 東京大阪兩市場の金利　8. 何故に我國の金利は高きか　9. 我國の棉業金融　附表

*山室宗文　我國の金融市場（續編）東京　日本評論社　昭 3　312 頁　附 14 頁　菊

1. 輸入超過と在外正貨　2. 國價崩落と金解禁問題　3. 金解禁の豫告　4. 爲替相場と物價　5. 英國の金解禁と國際金融中心市場　6. 大正 14, 5 年に於ける財界の推移　7. 電氣事業と金融市場　8. 昭和 2 年の金融恐慌　9. 金融制度改善に關する二三の問題　10. 金融界當面の諸問題

*同　　昭和 2 年恐慌後の金融市場〔山崎教授還暦祝賀紀念論文集 2 金融篇の内 41 頁〕昭 4

八代則彦　金融市場の現勢と銀行業（エコノミスト **6**-1）昭 3

同　　金融市場の現勢と將來（ダイヤモンド **16**-24）昭 3

安田與四郎　金融市場より見たる我が財界の前途（東洋經濟新報 886/99）大 9

米山梅吉　金融市場の前途豫測（財政經濟時報 **7**-12）大 9

結城豐太郎　大阪の金融と現下の財界（大阪銀行通信錄 275）大 9

暗流潛める金融市場（エコノミスト **5**-13）昭 2

兌換券縮少と金融市場（エコノミスト **4**-16）昭 1

銀行勘定の傾向と金融市場（ダイヤモンド **18**-29）昭 5

五大銀行勘定より金融界を展望す（東洋經濟新報 1493）昭 7

平靜なる金融市場（エコノミスト **4**-15）昭 1

變態的緩慢の金融市場（エコノミスト **5**-12）昭 2

不振を極むる金融市場（エコノミスト **8**-8）昭 5

風水害の大阪金融市場に及ぼせる影響（大阪銀行通信錄 450）昭 1

金解禁農厚と金融市場（エコノミスト **6**-21）昭 3

金融及證券市場（本邦財界情勢 86）昭 10

金融市場益々緩慢（ダイヤモンド **19**-19）昭 6

金融市場の分裂（東洋經濟新報 1269）昭 2

金融市場の推移（東洋經濟新報 1123）大 13

金融市場の統制と起債界（エコノミスト **13**-22）昭 10

金融市場の情勢（ダイヤモンド **18**-9）昭 5

金融市場最近の情勢（ダイヤモンド **19**-36）昭 6

金融市場は安定氣分（エコノミスト **5**-11）昭 2

金融市場は變態的緩慢（エコノミスト **5**-19）昭 2

金融市場は更に緩和（エコノミスト **5**-3）昭 2

金融市場順調（ダイヤモンド **14**-9）昭 1

基調不良の金融市場（エコノミスト 4-12）　昭 1
公債漸增と金融市場（エコノミスト 4-13）　昭 1
休戰後の大阪金融（大阪商工時報 2）　大 8
滿洲開發と日本金融市場（エコノミスト 13-16）　昭 10
年末接近と金融市場（エコノミスト 4-24）　昭 1
日英米金融市場の構成（東洋經濟新報 1179）　昭 1
日銀の統制機能と金融市場（ダイヤグラム 1-3）　昭 3
日銀利下後の金融市場（エコノミスト 4-21）　昭 1
日銀利下と金融市場（エコノミスト 4-20）　昭 1
日銀資產負債表の變化と金融市場の推移（東洋經濟新報 1137）　大 14
大阪の金融概觀（大阪市商工時報 27）　大 9
利下後の金融市場（エコノミスト 5-7, 21）　昭 2
再禁財界の展望，金融緩昏市場（エコノミスト 10-1）　昭 7
正貨現送と金融市場（ダイヤモンド 18-5）　昭 5
正貨流出と金融市場（エコノミスト 8-4）　昭 5
注目すべき金融基調の變化（エコノミスト 5-23）　昭 2
預金利下と金融市場（エコノミスト 5-4）　昭 2
財界不安と金融市場（エコノミスト 4-19）　昭 1
事變と金融市場（ダイヤモンド 20-16）　昭 7

アメリカ合衆國

阿　部　　勇　世界金融恐慌の深化—アメリカ金融市場の危機（エコノミスト 9-21）　昭 6
*バージェス，ダブリュー・アール　準備銀行と金融市場　岩崎博譯　東京　文雅堂　昭 3　322 頁　菊
同　1927 年に於ける米國金融市場（調査月報 18-6）　昭 3
*同　準備銀行と金融市場　東京銀行集會所譯　昭 4　371 頁　菊
ドルレアン　米國金融市場の現狀（調査月報 19-9）　昭 4
宛　　巖　1933年羅斯福執政後之美國金融市場（錢業月報 14-7）　民 23
平　野　　清　日米金融市場と市場利率（銀行研究 2-3）　大 11
同　倫敦並に紐育の金融的地位（商業及經濟研究 31）　大 12
堀　江　鬯　一　手形引受と合衆國の金融市場（三田學會雜誌 13-7/8）　大 8
星　　基　章　米國金融市場近年の變化（大阪銀行通信錄 346）　昭 1
岩　井　仙　吉　倫敦紐育兩金融市場の比較（銀行研究 11-2）　昭 1
岩　崎　　博　米國に於ける割引市場の發展（銀行研究 12-2）　昭 2
同　紐育金融市場の分解（銀行研究 13-3）　昭 2
*神長倉眞民　米國の金融市場　東京　ダイヤモンド社　昭 4　318 頁　四六
川　口　酉　三　ロンバード街とウォール街（商業經濟研究 1）　昭 1
マッケナ　最近英米金融比較論（大阪銀行通信錄 357）　昭 2
*中　村　至　道　紐育，巴里，アムステルダム　金融市場　東京　東京銀行集會所　昭 10　215 頁　菊
西　村　勝太郎　紐育金融市場に於ける資金需要の季節的變更（銀行研究 17-2）　昭 4
同　紐育金融市場（金融大辭典 II 卷 5 頁）　昭 9
西野入　愛　一　ウォール・ストリート（金融大辭典 I 卷 1 頁）　昭 9
ノルトン　米國の金利及金融市場（大阪銀行通信錄 295）　大 11
奥　田　　勳　米國一般割引市場の研究（銀行研究 11-4）　昭 1
同　ニユー・ヨーク金融市場（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）　昭 6
谷　村　一太郎　紐育及倫敦の金利（經濟知識 4-4）　昭 5

バーヂェス博士の「準備銀行と金融市場」（東洋時報 352）　昭 4
米國金融市場の緩慢と其影響（ダイヤモンド 12-23）　大 13
日英米金融市場の構成（東洋經濟新報 1179）　昭 1

ドイツ

串　本　友三郎　ベルリン金融市場（經濟學辭典 V 卷 2 頁；金融大辭典 III 卷 4 頁）　昭 7, 9
楠　見　一　正　銀行恐慌と獨逸金融市場の整備（大阪商大經濟研究年報 3）　昭 8
靜　　如　譯　最近德國之金融機關與金融市場（銀行週報 770）　民 21
シャハト　獨逸金融市場及資本市場の復興（調査月報 17-8）　昭 2
豐　崎　　稔　最近の獨逸金融機關と金融市場（大阪銀行通信錄 417）　昭 7

フランス

アンダーソン，ベンジャミン・エム　整理されざる英佛金融市場（銀行通信錄 544）　昭 6
ボンムリ　巴里市場と銀行の引受（調査月報 19-7）　昭 4
松岡孝兒　パリ金融市場（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）　昭 6
*中村至道　紐育，巴里，アムステルダム　金融市場　東京　東京銀行集會所　昭 10　215 頁　菊
新庄　博　巴里金融市場（金融大辭典 II 卷 3 頁）　昭 9
程　紹德　巴黎金融市場實力窺測的一頁（經濟學季刊 1-2）　民 23
頌　　平　賠款延付聲中巴黎金融市場國際地位之觀察（銀行週報 706）　民 20
横濱正金銀行調査部　國際金融中心市場としての巴里（銀行論叢 14-4）　昭 5

佛國金融市場の世界的進出（藤本アナリスト 4-12）　昭 5
巴里金融市場の將來（正金週報 40）　昭 5
最近佛關西の金融市場及び金融政策（大阪銀行通信錄 443）　昭 9
世界的金融中心となつた巴里〔海外金融思潮〕（銀行論叢 16-4/5）　昭 6

イギリス

アインチッヒ，ポール　英帝國の金融中心地としての倫敦（銀行通信錄 560）　昭 7
アンダーソン，ベンジャミン・エム　整理されざる英佛金融市場（銀行通信錄 544）　昭 6
アンリー，ブーヤント　倫敦手形引受市場解說（調査月報 20-7）　昭 5
平　野　　清　倫敦並に紐育の金融的地位（商業及經濟研究 31）　大 12
井　上　辰九郎　英蘭銀行と金融市場（銀行通信錄 522/25）　昭 4
岩　井　仙　吉　倫敦紐育兩金融市場の比較（銀行研究 11-2）　昭 1
岩　崎　　博　英蘭銀行と倫敦金融市場との關係（銀行研究 13-1）　昭 2
岩　崎　靜　也　倫敦金融市場の特徵（銀行論叢 8-5/6；9-1）　昭 2
春日井　　薫　ロンドン金融市場（經濟學辭典 V 卷 2 頁）　昭 7
川　口　酉　三　ロンバード街とウォール街（商業經濟研究 1）　昭 1
熊　田　克　郎　昨年に於ける倫敦金融市場の概觀と今年の展望（銀行研究 16-5）　昭 4
松　野　清次郎　世界金融市場としての倫敦の將來（商業及經濟研究 14）　大 8
三　浦　武　美　戰後に於ける倫敦の金融上の地位（國民經濟雜誌 28-5）　大 9
二　宮　丁　三　倫敦割引市場の概觀（山口商學雜誌 12）　昭 8
西野入　愛　一　ロンバード・ストリート（金融大辭典 III 卷 1 頁）　昭 9
*奥　田　　勳　英國金融市場論　大阪　銀行問題研究會　昭 2　276 頁　菊
同　英國金融市場の濫觴（銀行論叢 8-2）　昭 2
同　歐洲大戰と英國金融市場（銀行論叢 8-6；9-1）　昭 2
同　株式會社の勃興と英國金融市場の樞軸としての英蘭銀行（銀行論叢 9-2/3）　昭 2
*大阪高商銀行業務研究室　英國の金融市場と財政　大 15　63 頁　菊〔調査報告 3〕
李　德　橋　倫敦金融市場概況（銀行週報 881）　民 23
斉　耀　華　英蘭銀行與倫敦金融市場之關係（銀行週報 835）　民 23
須　藤　文　吉　倫敦金融市場論（銀行研究 4-7）　大 12
田中鐵三郎　倫敦金融市場（金融大辭典 III 卷 7 頁）　昭 9
*東京銀行集會所　英蘭銀行と金融市場（井上辰九郎）　昭 4　174 頁　菊
上道光彦　大戰當初に於ける倫敦金融市場の混亂（金融研究 1-3）　大 13
*植野　　勳　倫敦金融市場の話　東京　岩波書店　大 13　182 頁　四六
ウォーズ，アール・シー　倫敦金融市場の改善策（中央銀行會通信錄 221）　大 11
山　口　　巖　倫敦金融市場論（商事研究 4-1）　大 13
*横濱正金銀行調査課　英國大藏省證券と倫敦金融市場　大 13〔調査報告 51〕

英國金融市場論（銀行通信錄 502/05）　昭 2, 3
英國の金融市場と財界の壓迫（東洋經濟新報 900）　大 9
英國商事金融市場（大阪銀行通信錄 319）　大 13

金融市場（英國事情 11-2） 大 11

金融市場としてのロンドンの將來（世界經濟 11） 昭 7

日英米金融市場の構成（東洋經濟新報 1179） 昭 1

倫敦金融諸相（大阪銀行通信錄 310/11） 大 12

滿 洲 國

古田廉三郎 滿洲國金融市場研究（銀行論叢 23-5; 滿蒙 15-11） 昭 9

杉山喬太郎 本位貨恐慌と滿洲の金融市場（新天地 14-6） 昭 9

塚本正已 滿洲國の金融市場視察概要（經濟評論—青山學院 20） 昭 9

オ ラ ン ダ

*中村至道 紐育, 巴里, アムステルダム 金融市場 東京 東京銀行集會所 昭 10 215 頁 菊

ペ ル シ ア

*商工省貿易局 彼斯の金融市場と銀行 昭 6 18 頁 菊〔通報 24〕

支 那

譚 瀘 漢口金融市場之破滅（銀行週報 496） 民 16

同 金市劇變原因之考察（銀行週報 718） 民 20

*銀行週報社 上海金融市場論 上海 民 12 144 頁〔經濟類鈔 3〕

吳 中 凡 洋折高漲與上海金融（錢業月報 15-1） 民 24

何 育 疇 上海金融移動觀（銀行週報 502） 民 16

木村增太郎 支那の金融市場と外國爲替（商工經濟 3-2） 昭 3

瞿 荊 洲 我國金融市場之資力（中央銀行月報 4-9） 民 24

王 逢 辛 錢莊業在中國金融市場之地位（錢業月報 11-11） 民 20

汪 中 上海金融中心之錢莊（錢業月報 14-2） 民 23

王 善 繼 上海金融之特殊現狀（文化建設 1-5） 民 24

及川恒忠 上海外國爲替の趨向及漢口金融市場の近況（三田學會雜誌 21-12） 昭 2

李 永 人 陝西省金融市場之分析（錢業月報 14-5） 民 23

同 新疆金融市場之一般（錢業月報 14-9） 民 23

李 敬 思 民國十五年北京金融之回顧（銀行月刊 7-1） 民 16

李 紫 翔 上海之金融的地位性質及其前途（申報月刊 3-2） 民 23

林 春 丞 福州金融市場之改革與救濟（銀行週報 851） 民 23

章 乃 器 漫無組織之金融市場（銀行週報 725） 民 20

同 民國 22 年國內金融之回顧（社會經濟月報 1-1） 民 23

同 民國 23 年 1 月國內金融之回顧（社會經濟月報 1-2） 民 23

程 步 雲 商業承兌匯票在金融市場之地位（錢業月報 15-5） 民 24

趙 惠 謨 遊資集中上海之數字上的考察（民族雜誌 1-10/11） 民 22

同 遊資集中上海的嚴重影響（民族雜誌 2-9） 民 23

宇 蒼 上海資金流通內地之討論（銀行週報 656） 民 19

*安田保善社調査課 上海金融市場概觀 昭 3 9 頁

楊 蔭 溥 上海之金融及其變動情形（經濟學季刊 2-3） 民 20

楊 城 上海錢莊在金融市場之魔力（經濟週報 39） 民 20

*徐 寄 廎 編 最近上海金融史 2 卷 增改 3 版 上海 香港路銀行週報社 昭 7 上 702, 下 410 頁 菊

本年上半期上海之金融市場（工商半月刊 5-23） 民 22

壞威する上海金融界（電通經濟週報 2-19） 昭 10

支那の金融市場と外國爲替（商工經濟研究 3-2） 昭 3

上海金融市場の近狀（東洋貿易研究 12-3） 昭 8

天津金融市場の組織（支那研究彙報 27） 昭 2

遊資集中上海的三大原因（民族雜誌 2-1） 民 23

2. 貨 幣 市 場

a. 一 般

明石照男 手形割引市場に就て（國家學會雜誌 41-7） 昭 2

*同 コール市場に就て〔山崎教授還曆祝賀記念經濟學研究 2 の內 49 頁〕昭 4

同 コール（金融大辭典 II 卷 16 頁） 昭 9

*天宅敬吉 コール市場設置に就て〔銀行信託講座—斯文書院 4: 科外講座の內 14 頁〕 昭 4

荒木秀一 金融季節（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

*早川ビルブローカー銀行 銀行引受手形と割引市場 東京 大 13 42 頁

石巻良夫 金融の季節的變化（中央銀行會通信錄 243） 大 12

*岩崎博 コール市場の理論と實際 東京 文雅堂 昭 2 401 頁 四六〔銀行講座〕

1. コール市場概說 i. 金融市場の分化 ii. コール市場 2. 倫敦コール市場 i. コール市場の發達 ii. コール市場の活動 3. 紐育コール市場 i. コール市場の發達 ii. コール市場の活動 4. 我國のコール市場 i. 我國コール市場の發達 ii. コール市場の活動 iii. 昭和の恐慌とコール市場の改善 5. コール歩合の變動

同 コール（經濟學辭典 II 卷 2 頁） 昭 6

岩崎靜也 コール取引に就て（銀行論叢 6-1） 昭 1

春日井薫 割引市場（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7

加藤和根 コール市場と證券市場の聯繫（銀行研究 25-3） 昭 8

勝田貞次 コール市場の研究（金融研究 2-2; 商事研究 6-2） 大 14

川口酉三 マネーマーケット論（商業と經濟 1） 大 10

小林政一 コール・マネー（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

小島昌太郎 現金の流通と預金の增減（經濟論叢 40-1） 昭 10

黒野忠雄 アクセプタンス（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

松崎壽 金融季節を論ず（商業及經濟研究 21） 大 10

同 割引市場の發達概觀（銀行研究 8-2） 大 14

森田優三 金融の季節變動（金融大辭典 I 卷 7 頁） 昭 9

野崎龍七 短資及び短資市場（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

大平賢作 割引市場に於ける取引の器具（銀行通信錄 498） 昭 2

リーフ, ウオルタ 割引市場論（大阪銀行通信錄 373） 昭 3

佐久間長次郎 金融逼迫とインフレーション（銀行研究 22-5） 昭 7

千家恒麿 季節資金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

只見徹 銀行引受手形の流通（東亞經濟研究 3-4） 大 8

竹島冨三郎 貨幣市場（經濟學辭典 I 卷 1 頁） 昭 5

*山根雅男 コール取引論〔銀行信託講座—斯文書院 1/2, 4, 7/9 の內 277 頁〕昭 4/5

同 コール資金（金融大辭典 II 1 頁） 昭 9

*横濱正金銀行調査課 銀行引受手形發達に關する實際問題 大 9

*同 コール取引の研究（田中瑞穗, 藤原大祐） 大 11〔調査報告 38〕

吉田寬 コール市場に就いて（三田學會雜誌 29-7） 昭 10

歐諸國割引市場の發達（藤本アナリスト 5-3） 昭 6

b. 各 國 別

日 本

明石照男 金融の季節的變動に就て（經濟研究 5-2） 昭 3

同 最近のコール市場（經濟學論集 3-10） 昭 8

原祐三 我國の金融季節（ダイヤモンド 16-1/6, 8, 10/11） 昭 3

本田秀夫 農村, 都市別に見たる金融季節の比較（金融組合 80） 昭 10

細矢祐治 證券市場並割引市場の整備改善策（銀行研究 12-1） 昭 2

今村幸男 銀行引受手形の發達を圖る（銀行論叢 3-6） 大 13

石毛竹治郎 手形引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 303） 大 11

岩崎博 コール市場の一大轉換期（銀行研究 12-6） 昭 2

岩崎 博 コール市場の衰微と支拂準備金の過剩對策（銀行研究 13-2） 昭 2

神戸正雄 コール市場案（時事經濟問題 71） 昭 3

金野 豐 手形引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 301） 大 11

同 引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 305） 大 12

春日井 薫 單名手形の利用，濫用及其對策（銀行研究 19-6） 昭 5

河村重之 季節的金融に關する調査（金融研究 2-3/4） 大 14

北崎 進 資金の調節に必要なるコール市場更生論（中外財界 3-11/12） 昭 3

小林靜也 インフレ過程の金融緩慢（自由通商 7-9） 昭 9

小島昌太郎 遊資の增加とその歸趨（經濟論叢 39-3） 昭 9

松本 誠 朝鮮の金融季節（朝鮮 140） 昭 2

松崎 壽 我國割引市場の改善策（銀行研究 12-1） 昭 2

同 最近の金融硬化とその原因（銀行研究 21-3） 昭 6

難波孝夫 雜株金融及コール市場設置（金融知識 4-5） 昭 9

*日本勸業銀行調査課 季節金融に關する調査 昭 3 69 頁

野崎龍七 舊盆資金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

小川福太郎 我國に於ける正貨の增減と金融繁閑との關係（經濟論叢 19-6） 大 13

岡田純夫 コール資金の移動と株式受渡（銀行研究 10-6） 昭 1

岡野文之助 金融緩慢と割引市場の發達（銀行論叢 10-5） 昭 3

鈴木島吉 手形割引市場の改善（大阪銀行通信錄 265） 大 8

高橋龜吉 金融緩慢の眞相とその前途（エコノミスト 9-9） 昭 6

高橋正雄 手形交換高の季節的變動（國家學會雜誌 41-9） 昭 2

田中二郎 金融の季節變動の一考察（龍門雜誌 496） 昭 5

谷川正輔 我國コール市場の實相（銀行論叢 14-4） 昭 5

都上城三 我國割引市場の將來（銀行論叢 7-4/6） 昭 1

渡邊 清 名古屋手形交換高の季節的變化（中央銀行會通信錄 314） 昭 4

*安田保善社調査課 本邦季節金融に關する研究 昭 5

*横濱正金銀行調査課 本邦金融の季節關係（田中瑞穗） 昭 3〔調査報告 72〕

結城豐太郎 割引市場の整備（銀行論叢 8-1） 昭 2

物價通貨及信用收縮の程度〔K. M. 生〕（大阪銀行通信錄 301） 大 11

金融緩慢の長さと深さの分析（エコノミスト 12-8） 昭 9

金融緩和の步調鈍る（エコノミスト 3-15） 大 14

金融緩和の經路と時期（財界觀測 12-7） 昭 7

金融市場の變態的硬化（エコノミスト 11-20） 昭 8

コール市場不振と其振興施設（エコノミスト 5-15） 昭 2

昨今の金融引締（ダイヤモンド 8-2） 大 9

資金の季節的需用と其の影響に就て（銀行通信錄 509/12） 昭 3

市場遊資の減少傾向（エコノミスト 3-23） 大 14

短期と長期資金（ダイヤモンド 12-17） 大 13

短資引緊りの原因とその前途（財界觀測 17-5） 昭 9

地方金融の緩慢傾向に就て（財界觀測 16-8） 昭 9

地方を犧牲に供した金融緩慢（東洋經濟新報 1437/38） 昭 6

我國コール市場の研究（銀行通信錄 429） 大 10

我國に於ける割引市場の整備改善策（藤本アナリスト 4-16） 昭 5

割引市場の現狀と其缺陷（エコノミスト 4-16） 昭 1

遊資處分難の意義（エコノミスト 9-12） 昭 6

アメリカ合衆國

淺田振作 米國の引受再割引制度（大阪銀行通信錄 321/22） 大 13

ブレオ，シヤルル 紐育市場に於ける短期資金放資に就て（銀行通信錄 523/24） 昭 4

堀江歸一 手形引受と合衆國金融市場（三田學會雜誌 13-7/8） 大 8

井上政章 米國の銀行引受手形市場（中央銀行會通信錄 305） 昭 3

岩崎 博 米國割引市場の諸問題（銀行研究 7-6） 大 13

同 米國に於ける割引市場の發展（銀行研究 12-2） 昭 2

同 「其他勘定」に現れたる紐育コールマネーの內容（銀行研究 17-4） 昭 4

金野 豐 米國に於ける資金需要の季節的變動（大阪銀行通信錄 281） 大 10

同 米國の銀行引受手形發達（大阪銀行通信錄 285） 大 10

*コムアカデミア世界政治經濟研究所 アメリカの貨幣及信用恐慌 ロシア問題研究所譯 東京 ナウカ社 昭 9 217 頁 菊

*日本銀行調査局 紐育割引市場と其手形に就て 大 13 56 頁 菊〔紐育代理店監督役報告〕

奧田 勳 米國一般割引市場の研究（銀行研究 11-4） 昭 1

リエッス 爲替市場としての倫敦及紐育（銀行通信錄 453） 大 12

田中吾一 米國割引市場不振の原因（銀行研究 9-6） 大 14

*横濱正金銀行調査課 紐育に於けるコールローン（淺田振作） 大 11 iii, 20 頁 菊〔調査報告 35〕

*同 聯邦準備條例に基く引受再割引制度並に紐育に於ける割引市場概觀 大 13

*同 紐育「ブローカースローン」に就て 米國に於ける Factor に就て 昭 4

米國に於ける銀行引受手形に就て（銀行通信錄 570） 昭 8

米國に於ける銀行引受手形の利用法（東京經濟雜誌 2014） 大 8

紐育コールマネー市場（大阪銀行通信錄 275） 大 9

紐育コール．ローン研究 （大阪銀行通信錄 310） 大 12

紐育に於けるブローカース・ローンに就て（銀行通信錄 568） 昭 8

紐育割引市場と其手形に就て（銀行通信錄 497/99） 昭 2

ドイツ

*日本銀行調査局 獨逸に於ける銀行引受手形と手形割引市場 昭 2

獨逸に於ける銀行引受手形と手形割引市場（銀行通信錄 495） 昭 2

フランス

ポメリー，ルイ 佛國の貨幣市場と其の國際的可能性（銀行通信錄 536） 昭 5

テリー，ルネ 巴里に於ける短期金融市場の必要（調査月報 19-3） 昭 4

イギリス

フレネエ 爲替市場としての倫敦（中央銀行會通信錄 253） 大 13

前田惟一 倫敦割引市場に就て（銀行研究 7-5） 大 13

二宮丁三 倫敦割引市場の概觀（山口商學雜誌 12） 昭 8

リエッス 爲替市場としての倫敦及紐育（銀行通信錄 453） 大 12

新庄 博 倫敦割引市場と國庫の關係（國民經濟雜誌 58-3） 昭 10

*横濱正金銀行調査課 英國大藏省證券と倫敦金融市場（加藤勝三郎） 大 13〔調査報 51〕

倫敦手形引受市場解說（調査月報 20-7） 昭 5

インド

濱野恭平 印度の季節金融に就て（銀行研究 15-6） 昭 3

滿洲國

東三省金融季節之考察（中行月刊 7-3） 民 22

オランダ

アムステルダムに於ける獨逸銀行と和蘭割引市場（藤本銀行週報 524） 昭 1

支那

譚 瀼 金融慢之將來（銀行週報 775） 民 21

子 明 金融緊張原因與國人應有之覺悟（銀行週報 723） 民 20

成都市金融季節之考察（中行月刊 9-5） 民 23

3. 資本市場

a. 一般

荒木秀一 株式金融の方法及批判（銀行論叢 1-3） 大 12

荒木秀一　株式金融の研究（銀行論叢 1-6）大 12

同　株式金融論（銀行研究 4-1）大 12

同　株式金融とコールマネー（銀行論叢 2-5）大 13

同　株式金融政策（銀行論叢 3-1/2）大 13

*同　株式金融論　大阪　銀行問題研究會　昭 1　212 頁

同　株式金融（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

法政大學經濟學部研究室　重要資本市場に於ける有價證券發行と國際的資本交錯（法政大學論集 5-1）昭 5

*藤原麗風　證券市場と證券賣買の實際智識　東京　獨文社　昭 5

*飯田清三　起債市場論　東京　改造社　昭 10　308 頁　四六〔現代金融經濟全集 17〕

門脇正　證券金融に就て（竹原經濟時報 10）昭 2

神戸正雄　取引所に於ける證券金融（時事經濟問題 24）大 13

加藤和根　證券市場金融なる概念と其内容（銀行研究 24-2）昭 8

同　證券市場の金融經濟的地位と其發達（銀行研究 24-3）昭 8

同　證券市場機關銀行と其發達（銀行研究 25-1）昭 8

同　證券取引所の金融機能（銀行研究 26-2）昭 9

*河合良成　取引所と金融市場との關係　大 11

菊本直次郎　銀行と證券市場（インヴエストメント 3-6）昭 1

北崎進　證券金融の諸問題（中外財界 1-18）昭 1

小泉計太郎　資本市場（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

栗栖赳夫　引受シンジケート（金融大辭典 III 卷 2 頁）昭 9

*來栖健助　證券市場改造論　東京　日本評論社　大 9　373 頁　四六

松本信次　株式取引所と國際證券市場（經濟志林 9-2）昭 10

三木純吉　起債市場（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

森源一　證券金融と取引所の擴充（財政經濟時報 19-3）昭 7

*向井鹿松　資本市場の組織及職能（經營學論集 一同文舘 1 の内）昭 2

*同　證券市場組織—企業金融の社會的組織—總論　東京　丸善　昭 8　396 頁　菊〔資本主義經濟組織 1〕

I. 總論　1. 產業上の遊有制度と投資資本の危險　2. 經濟社會に於ける遊暮資金の發生と資本市場組織　3. 一般證券市場と取引所との關係　4. 證券業者の投資家に對する融資　5. 引受及び販賣　6. 證券代辨制による企業金融　7. 投機及び詐欺的證券の發行—直接發行　8. 投機證券と投機業者　9. 投機證券の取引所上場と自由市場　10. 投資家保護政策

*同　證券市場組織　企業金融の社會的組織—各論　東京　丸善　昭 2　500 頁　菊〔資本主義經濟組織 1〕

II. 各論　1. 英國證券市場組織　2. 獨逸證券市場組織　3. 米國證券市場組織　4. 佛國證券市場組織　5. 本邦に於ける證券發行市場

附錄　引受に關する契約書書式

*同　取引所投機と株式金融　東京　森山書店　昭 9　218 頁　新四六

1. 緒言　2. 株式企業の意義と株式投機の本質　3. 賣取引による株式投機と株式金融（續）　4. 定期取引と株式金融（巴里）　5. 獨逸及英國に於ける株式金融　6. 我國の株式金融　7. 結語

同　證券ブローカー（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　證券引受會社（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　證券金融（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

長滿欽司　證券金融に關聯する再割引に就て（財政經濟時報 19-7）昭 7

*中村至道　取引所投機と株式金融　東京　東京銀行集會所　昭 9　185 頁　菊〔銀行叢書 18〕

南波禮吉　證券金融に就て（銀行論叢 7-4）昭 1

難波孝夫　證券金融の意義と重要性（金融知識 4-1）昭 9

同　證券金融の機關と其の機能（金融知識 4-2）昭 9

岡田純夫　資本市場としての株式取引所（銀行研究 12-3）昭 2

*同　資本市場としての證券取引所　東京　文雅堂　昭 2　347 頁　四六〔銀行講座〕

*同　證券金融と短期資金　2 版　東京　文雅堂　昭 2　331 頁　四六〔銀行講座〕

同　證券取引所の金融機關化（銀行研究 23-4）昭 7

岡崎國臣　證券の地位と證券金融（財政經濟事報 18-11）昭 6

小山田小七　「株式金融論」を讀みて（銀行論叢 7-4）昭 1

櫻田勝三　有價證券市場に於ける短期金融（銀行研究 3-2）大 11

柴田敬　資本市場（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

島田德　證券金融上に於ける減債基金制度の重要性（經濟商業論纂 2）昭 7

島本得一　金融市場と證券取引所（銀行研究 13-2）昭 2

同　取引所市場と金融市場（銀行研究 13-3, 5）昭 2

高宮晉　ワルプ：資本市場に於ける銀行の地位（經濟學論集 5-3）昭 10

張志澄　戰後國際資本市場的鳥瞰（中國經濟 2-2）民 23

吉田繁吉　金融の繁閑と公社債募集市場との關係（銀行論叢 4-4）大 14

b. 各國別

日本

秋山道雄　國債市場改善私見（エコノミスト 12-19）昭 9

廣田四郎　證券市場の振興と取引員の自覺（信託と證券 1-2）昭 4

堀田正由　國債市場と國債政策（金融研究 2-5）大 14

細矢祐治　證券市場並割引市場の整備改善策（銀行研究 12-1）昭 2

*藤本ビルブローカー銀行調査部　最近十年間に於ける我國の債券市場〔全國經濟調査機關聯合會編　日本經濟の最近十年の内〕昭 6

池田了實　金利の騰落と債券市價（銀行論叢 1-1）大 12

同　インフレーションの起債市場への影響（銀行研究 22-4）昭 7

神戸正雄　起債市場と國債市價（時事經濟問題 78）昭 4

同　證券市場の動搖（時事經濟問題 84）昭 4

同　金解禁準備と證券市場（時事經濟問題 87）昭 4

菅野和太郎　我國に於ける證券市場の發生（經濟史研究 13）昭 5

加納秀一　證券市場に於ける取引の實際と慣習に就て（銀行通信錄 553/54）昭 7

加納秀一　證券市場に現はれたるインフレ景氣（銀行通信錄 572）昭 8

加藤和根　爲替は證券市場にどう響くか（銀行論叢 3-5）大 13

同　本邦株式金融市場の構成（銀行論叢 4-2, 4/5）大 14

同　我國證券市場金融組織と商業銀行（銀行研究 24-5）昭 8

同　コール市場と證券市場の聯繫（銀行研究 25-3）昭 8

同　證券市場賣買資金の動態的觀察（銀行研究 27-4）昭 9

同　我國株式市場金融線上最近の動き（銀行研究 28-6）昭 10

河合良成　有價證券市場と金融（生命保險會社協會會報 14-4）昭 1

清島梓　大銀行の兜町進出（銀行論叢 17-4）昭 6

松本修　債券市場の實現と發達を望む（インヴエストメント 2-1）大 14

*三井銀行調査課　募債引受シンヂケート〔日本產業資料大系—中外商業新報社 9 の内〕昭 1/3

三宅嘉十郎　短期取引助長と證券金融の缺陷（取引所研究 1-1）大 14

向井鹿松　有價證券市場の不振と其原因（ダイヤモンド 14-12）昭 1

同　取引所投機と株式金融（銀行通信錄 576/79）昭 9

南波禮吉　證券金融改善の要諦（エコノミスト 4-16）昭 1

難波孝夫　雜株金融及コール市場設置（金融知識 4-5）昭 9

*野村合名會社調査部　傳統より合理化へ—米國に於ける事業統制と證券金融　昭 3

*野村證券會社調査部　最近十年間に於ける我國の株式市場〔全國經濟調査機關聯合會編　日本經濟の最近 10 年の内〕昭 6

野崎龍七　國債引受シンジケート銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

大井泰　マラソン金融論（經濟往來 9-1）昭 9

岡田純夫　我國の證券金融制度に就て（銀行研究 10-4）昭 1

同　株式短期取引の代引代渡と金融關係（銀行研究 11-1）昭 1

同　金融制度の改善と證券金融（銀行研究 12-4）昭 2

岡田 純夫 新らしく現はるべき證券金融の組織機構—銀行の開眼手術は行ひ得られぬか（銀行研究 **22**-4） 昭 7

同 我國の信託事業と證券金融—取引所取引に對する證券の運用（信託協會會報 **6**-4） 昭 7

奥野 平 四分半起債市場の趨嚮—時事經濟問題の解說（銀行論叢 **17**-1） 昭 6

太田垣士郎 國債市場振興策（銀行研究 **6**-1） 大 13

島田 德 債券市場と金融市場（インヴエストメント **7**-4/5, **8**-1, 4） 昭 3

島本 得一 我國の證券取引所と金融市場（銀行研究 **11**-5） 昭 1

杉野 喜精 本邦起債市場發達史（經濟知識 **13**-1） 昭 10

*朝鮮銀行調査課 資本市場と金融市場 大 10〔朝鮮銀行調査彙報 24〕

*矢吹 敏雄 本邦の證券發行市場に就て 昭 5

山室 宗文 今後の金融界と證券市場に就て（竹原經濟時報 1） 昭 2

曝露された國債市場の缺陷（金融知識 **4**-4） 昭 9

銀行資力の變化と起債市場の前途（東洋經濟新報 1434） 昭 5

インフレ進行下の資本發行市場（東洋經濟新報 1546） 昭 8

金融起債市場の根本問題（財界觀測**16**-1） 昭 9

金融市場統制と起債界（エコノミスト**13**-22） 昭 10

起債市場を攪亂した東拓と殖產銀行の競爭（金融知識 **6**-2） 昭 10

歐米證券市場の動き（財界觀測 **12**-9） 昭 7

最近活躍しかけた證券市場の檢討（中外財界 **2**-19） 昭 2

再禁止後の起債市場（東洋經濟新報 1485） 昭 7

再禁止後の資本市場（ダイヤモンド **20**-12） 昭 7

再禁止下の資本市場（エコノミスト **11**-1） 昭 7

資本市場合理化の必要（財界研究 **4**-1） 昭 3

社債起債市場異常の好轉とその持續性（財界觀測 **15**-11） 昭 8

社債市場の趨勢（東洋經濟新報 993） 大 11

證券市場の利廻低下と長期化（インヴエストメント **8**-3） 昭 3

對滿投資の增加と資本市場の態度（ダイヤモンド **23**-31） 昭 10

低金利傾向と起債市場（財界觀測 **13**-8） 昭 7

低金利に活躍の起債市場（東洋經濟新報 1559） 昭 8

我資本市場の國際化（エコノミスト **5**-8） 昭 2

アメリカ合衆國

*ブラツト，セレノ・エス 紐育株式金融市場 大 12

*グリッフィス，バートウー 紐育コールマネー市場 竹澤德重譯 大阪 藤本ビルブローカー銀行 大 14 147 頁

林 久吉 米國に於ける證券シンジケートの組織運用（明大商學論叢 **7**-2/3） 昭 4

福田敬太郎 アメリカに於ける有價證券發賣の國家的統制（國民經濟雜誌 **56**-1） 昭 9

同 投機資金統制政策の一例—アメリカ合衆國證券取引所法研究の一節，特に證據金率規定について（國民經濟雜誌 **57**-4） 昭 9

藤崎 義幸 紐育株式取引所の金融（銀行通信錄 496） 昭 2

池永 良三 紐育株式取引所コールマネーの研究（中央銀行會通信錄 280/81, 285） 昭 1

石井 豐 紐育證券市場の將來（銀行研究 **16**-4） 昭 4

岩崎 博 米國に於ける引受「シンジケート」（企業經營 **2**-4） 昭 5

勝間田正造 紐育銀行團の株式市場救濟經過（ダイヤモンド **18**-13） 昭 5

川上 良兄 紐育金融市場に於ける所謂ブローカーズ・ローンの前途（銀行論叢 **12**-4） 昭 4

*西村勝太郎 紐育金融市場研究 東京 大同書院 昭 6 354 頁 菊

1. 米國金融經濟概觀 2. 米國金融制度小史 3. 紐育金融市場の發達經路 4. 紐育金融市場に於ける金融機關の體系 5. 最近紐育金融市場の活動性 6. 紐育金融市場に於ける資金需要の季節的變動 7. 紐育金融市場と國際貸借 8. 紐育金融市場の金利步合 9. 紐育金融市場の將來

鈴木 武雄 東京市と市債シンヂケート銀行團（都市問題 **5**-6） 昭 2

平 實 ダヴリユー・トーマス：米國に於ける有價證券投機金融（銀行研究 **29**-2） 昭 10

*横濱正金銀行調査課 紐育株式取引所の組織及金融（藤崎義幸） 昭 2 158 頁〔調査報告 67〕

銀行休日下のアメリカ證券市場（財界觀測 **14**-8） 昭 8

金流出緩和直後に於けるアメリカ金融證券市場の見透し（財界觀測 **13**-3） 昭 7

紐育に於けるブロカース・ローンに就て（銀行通信錄 568） 昭 8

ドイツ

*向井 鹿松 海外有價證券市場論 1 伯林 東京 淸水書店 大 13 484 頁 四六

中西 賢三 獨逸資本市場の發展（大阪銀行通信錄 455） 昭 10

シャハト 獨逸金融市場及資本市場の復興（調査月報 **17**-8） 昭 2

イギリス

丹後 愛二郎 英國證券金融の態樣（經濟商業論纂 10） 昭 10

英國證券市場の大勢（1931）（海外經濟事情 **5**-13） 昭 7

滿洲國

*渡邊 精吉郎 滿洲に於ける金資と銀資（在滿邦人經濟界の衰微した理由） 昭 2

支那

支那證券市場概論（上海經濟月報 97） 昭 10

III. 金融事情及金融恐慌

1. 金融事情

a. 一　般

ブルーンス　通貨爲替及信用の現狀を論じて其恢復策の基調に及ぶ（調査月報 **2**-2）大 10

エドワード，ホールデン　戰後の財政及金融問題（大阪銀行通信錄 260）大 8

曉　岑　世界之金融問題與國際金代表會議（東方雜誌 **28**-5）民 20

花岡 峻吉　內外銀行金融鳥瞰（銀行論叢 **5**-5/6 **6**-1/2）大 14/昭 1

*平野 清　現時の貨幣と金融　大阪　大同書院　大 14　299 頁　菊

I. 貨幣（省略）
II. 金融　1. 金融市場の諸問題　i. 金融市場の定義　ii. 恐慌の原理　iii. 金融市場と財政　iv. 金の問題　v. 金本位制廢止論　2. 日本銀行條例改正問題　i. 日銀總裁官選廢止說に對する卑見　ii. 日本銀行株主問題　iii. 日銀金利決定問題　iv. 銀行監督權の問題　v. 日銀個人取引擴張論　3. 特殊銀行改善問題　i. 橫濱正金銀行　ii. 臺灣銀行　iii. 朝鮮銀行　iv. 日本興業銀行　v. 日本勸業銀行　vi. 北海道拓殖銀行　4. 倫敦並に紐育の金融的地位　i. 井上日銀總裁の紐育金融中心論　ii. クラモンドの英米金融協力說　iii. ルブランの紐育市場論　iv. レイドの戰前戰後の倫敦金融市場論　v. レユスターの英米金融中心論　vi. キッデーの倫敦金融中心說　vii. ウイザースの紐育壓倒論　viii. プラットの所說　ix. 倫敦金融中心說に對する卑見　5. 米國の金融市場と割引政策　i. 聯邦準備利率の影響　ii. 聯邦準備銀行の統制　iii. 英國銀行の市場統制力失墜と米國銀行業の發展　iv. 市場利率の決定要素　v. 我邦の市場利率及銀行利率　vi. 銀行利率の決定要素　vii. 準備銀行の非加盟銀行統制問題　viii. 我邦金融市場と市場利率

猪俣 津南雄　巨大銀行の制覇―獨占の發展（改造 **13**-8）昭 6

井上 直太郎　南洋に於ける金融事情（臺灣時報 116/17）昭 4

石田 隆一　財界インフレーションの進展と通貨及金融（銀行論叢 **20**-1/2）昭 8

岩崎 靜也　金融問題管見（銀行論叢 **7**-4/5）昭 1

金原 賢之助　世界經濟動搖期に於ける若干の金融問題（信託協會會報 **8**-3）昭 9

兒玉 謙次　各國の金融事情（商工經濟研究 **2**-1）昭 2

香月 保　金融と產業の背馳――金融資本制覇への前提的徵候（我觀 84）昭 5

*久保 久治　金融革命宣言　東京　千倉書房　昭 8　203 頁　四六

*永榮 友次郎　編　最近の金融經濟研究 2 版　京城　朝鮮協會　大 14　321 頁　四六

西村 光夫　ゼノア會議（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

奧村 永藏　金融爭覇戰と金本位（大阪銀行通信錄 417）昭 7

奧野 平　英國金本位制停止と高金利政策の世界化―金輸出再禁止と爲替管理〔時事經濟問題解說〕（銀行論叢 **18**-1）昭 7

陸 春豪　譯　銀價與世界金融之面々觀（天職 **1**-14）民 20

亮 侯　英國停用金本位與世界金融（經濟週刊 48）民 20

重松 淸行　世界經濟會議と金融武裝（明倫 **1**-4）昭 8

スインガー，ポール　歐米四大銀行家の會合と關係國の金融事情（銀行通信錄 499）昭 2

田中 鐵三郎　世界恐慌と金融界の將來（東洋 **36**-4）昭 8

*朝鮮銀行東京調査部　外國銀行支店設置に關する各國の取引現狀並國際協約案　大 10

ワーゲマン　金融界の諸現象〔世界各國の景氣調査の中〕（國際パンフレット通信 403）昭 6

山本 峻吉　內外銀行金融鳥瞰（銀行論叢 **4**-26）大 14

紐育株式崩壞前後の世界の金融と前途（東洋經濟新報 1382）昭 5

歐洲大戰後の世界銀行業概觀（銀行通信錄 412/13）大 9

世界金融の動向（世界經濟 11）昭 7

世界恐慌裡の銀行及信託會社―金融及銀行概觀（東洋經濟新報 1472）昭 6

戰後各國の金融推移（東洋經濟新報 1031）大 12

財政金融の健全性（國際事情 406）昭 9

b. 各 國 別

日　本

阿部 賢一　金融膨脹論の流行（エコノミスト **9**-19）昭 6

明石 照男　最近の金融界（東京工場懇話會會報 60）昭 6

荒木 秀一　金融界最近の傾向（大阪銀行通信錄 398/99）昭 5

同　金融，證券，事業の現勢及前途（大阪銀行通信錄 403）昭 6

有賀 光豐　朝鮮の產業と金融（朝鮮 173）昭 4

馬場 鍈一　金融界の現狀と其の對策（エコノミスト **6**-8）昭 3

同　年末の農村金融界（經濟知識 **4**-6）昭 5

同　庚午の財界を顧みて（銀行通信錄 540）昭 6

*第一經濟社　金融界の檢討　臨時增刊　東京　第一經濟社　昭 5　184 頁

*大毎，東日エコノミスト部　日本金融資本戰　東京　日本評論社　昭 4　493 頁　四六〔エコノミスト叢書 1〕

道家 齊一郎　資本關係より見たる我財界の觀測（中外財界 **6**-6）昭 6

*同交會經濟研究部　金融の見方　東京　寶文館　大 13　244 頁〔財界叢書 1〕

遠藤 麟太郎　財界當面の對策と將來の對策（銀行論叢 **2**-5）大 13

後藤 登喜男　統制力を失つた金融界（インヴェストメント **7**-2）昭 2

濱岡 五雄　金融業者と對外關係（大阪銀行通信錄 304）大 11

同　財界の推移と金融の觀測（大阪銀行通信錄 318）大 13

同　財界の前途に就て（銀行論叢 **4**-1）大 14

橋本 庄藏　金融景氣の特色と其限界（エコノミスト **4**-3）昭 1

*同　低金利時代の財界　大阪　大同書院　昭 3　197 頁　四六

服部 文四郎　我が金融經濟と國際金融（銀行通信錄 538/41）昭 5/6

*服部 文四郎　我が金融經濟と國際金融　東京銀行集會所　昭 6　182 頁　菊

*同　我國の金融と景氣　東京　早稻田大學出版部　昭 6　505 頁　菊

1. 國際經濟と我が國民經濟との關係　2. 我が國民經濟の特質　3. 我が財界現象に對する積極と消極　4. 國際貿易と國際金融の理論及實際　5. 粗製濫造と金融　6. 銀行の系統と其の經營　7. 銀行の分業　8. 金融の組織と證券時價の推移　9. 小工業金融と問屋　10. 小工業金融と其の機關及內容　11. 保證準備發行額制限の擴張　12. 金の國際的分配　13. 國際貿易と金融政策　14. 我が貿易金融の現狀　15. 我が國に於ける貿易金融機關　16. 我が貿易金融の改善　17. 我が貿易金融機關の改善

同　最近の吾國金融狀勢に就て（經濟評論　靑山學院 18）昭 8

同　低金利と財界の推移（講演 233）昭 8

弘世 助太郎　低金利と財界の前途（竹原經濟時報 52）昭 6

土方 久徵　銀行界の現狀と恐慌後の一般財界（銀行通信錄 514）昭 3

同　財界の現狀を述べて銀行業者に望む（銀行通信錄 514）昭 3

同　金融界の現狀を述べて銀行家の自重を望む（銀行通信錄 517）昭 4

同　低利金時代の財界（銀行論叢 **12**-2）昭 4

同　金の輸出解禁を祝し今後の銀行家の善處を望む（銀行通信錄 529）昭 5

同　金輸出解禁後の經濟界と金融界（銀行通信錄 539）昭 5

同　金解禁後の經濟界と日本銀行〔中外商業新報附錄，銀行と信託の內〕昭 6

同　金融緩慢の現狀と事業界の整理（銀行通信錄 543）昭 6

同　金輸出再禁止後の狀勢と財界善處の要諦（銀行通信錄 553）昭 7

本多 保太郎　本島（臺灣）銀行界の變遷とその現況　承前（臺灣時報 157）昭 7

堀江 歸一　金融の趨勢と中間景氣（エコノミスト **1**-1）大 12

同　金融時事問題（公民講座 18）昭 1

同　預金利下と金融（エコノミスト **5**-5）昭 2

同　市中銀行の破綻と金融（公民講座 30）昭 2

同　財界安定に就き高橋藏相に與ふ（中央公論 **42**-6）昭 2

堀切 善兵衛　金再禁止と今後の財界（政治經濟時論 **7**-3）昭 7

星 埜 章 不景氣打破と金融機關の合理化（經濟知識 3-1） 昭 5

細 矢 祐 治 我金融界に於ける諸問題（信託 5-2/3） 大 12

同 現下金融の大勢と將來の對策（銀行研究 7-5） 大 13

同 復興經濟途上の財政及金融（銀行研究 7-4/6） 大 13

同 金融市場の狀勢と日銀統制機能の問題（銀行研究 14-4） 昭 3

深 井 英 五 金解禁と補償法特別融通（經濟往來 3-10） 昭 3

同 金解禁後に於ける我國の通貨，爲替，金融に就て（如水會會報 80） 昭 5

同 金解禁後の通貨，爲替，金融（經濟往來 5-7） 昭 5

同 ・安 田 與四郎・其他 米國金融恐慌の日本への影響（中央公論 48-4） 昭 8

福 井 源 一 銀行の被害程度と財界の前途（銀行研究 5-3） 大 12

藤 城 敬 二 政府に對する確定債權と銀行資金の融通（銀行研究 3-3） 大 11

藤 原 銀次郎 好轉の見込なき財界の前途（エコノミスト 3-10） 大 14

兵 須 久 金解禁と銀行業者の覺悟（エコノミスト 7-16） 昭 4

伊 庭 謙 造 金融界の渦紋と銀行の安處（銀行研究 9-1） 大 14

飯 田 清 三 金融景氣の限界（經濟情報 10-6） 昭 10

井 川 忠 雄 金解禁と金融界の合理化（銀行通信錄 530） 昭 5

池 田 謙 三 金融緩慢と財界の前途（東京經濟雜誌 2076） 大 10

同 金融の將來に就て（銀行通信錄 447） 大 12

池 田 成 彬 金融の實勢と預金利下問題（エコノミスト 4-8） 昭 1

池 田 龍 藏 株式市價と金融及景氣との關係（銀行研究 4-3） 大 12

同 財界整理と銀行との關係（金融研究 2-4） 大 14

池 田 保 吉 不正金融の話（法律時報 5-4） 昭 8

生 田 定 之 金解禁後の財界推移（エコノミスト 7-23） 昭 4

猪 熊 貞 治 財界の恐慌を觀て斯く思ふ（保險銀行時報 1320） 昭 2

井 上 忠 雄 金解禁と金融界の合理化（銀行通信錄 530） 昭 5

井 上 辰九郎 財界推移と景氣の前途（エコノミスト 4-2） 昭 1

同 我金融情勢と米國金横溢問題（エコノミスト 7-5） 昭 4

井 上 義 雄 財界前途觀（銀行論叢 8-3） 昭 2

井 上 準之助 反動期の對策と銀行の改善（大阪銀行通信錄 280） 大 9

同 本年の金融と物價引下（銀行通信錄 435） 大 11

*同 戰後に於ける我國の經濟及金融 5 版 東京 岩波書店 昭 1 246 頁 菊

1. 大正九年恐慌前の財界の狀態 2. 恐慌の發來，恐慌後の救濟，整理 3. 通貨と物價 4. 財界に於ける日本銀行の立置 5. 財界の現狀と金輸出解禁

同 現下の金融經濟問題（大阪銀行通信錄 352） 昭 1

同 財界動搖に關する所感（貿易 27-7） 昭 2

*同 金融問題〔社會經濟體系—日本評論社 19 の內 28 頁〕 昭 3

*同 金融問題〔現代產業叢書 2 卷 金融保險篇の內〕 昭 4

同 金解禁後の財界と銀行家の覺悟（銀行論叢 14-1） 昭 5

同 來年度の豫算と經濟及金融界の現狀に就て（銀行通信錄 539） 昭 5

同 財界の整理と金融の疎通（銀行通信錄 543） 昭 6

同 金再禁止後の財界（財政經濟時報 19-3） 昭 7

飯 尾 一 二 金解禁第一年に於ける財界の推移と其前途觀（東洋貿易研究 10-1） 昭 6

石 橋 湛 山 金融から見た日本經濟の展望（東洋經濟新報 1569） 昭 8

石 田 興 平 英國金本位制停止と我が金融及び紡績業への影響（經營と經濟 2-5） 昭 7

石 田 隆 一 產業合理化時代に於ける金融界（銀行論叢 14-3/6; 15-1/3） 昭 5

同 我國金融界最近の實相（銀行論叢 17-1） 昭 6

同 財界インフレーションの進展と通貨及金融（銀行論叢 20-1/2） 昭 8

石 井 健 吾 金輸出解禁と金融界（エコノミスト 6-22） 昭 3

同 利下後の金融界と前途（エコノミスト 7-6） 昭 4

同 解禁第一年の歲末金融（經濟知識 4-5/6） 昭 5

石 井 健 吾 解禁後の財界と銀行業（エコノミスト 8-1） 昭 5

同 昭和十年の金融界に就て（銀行通信錄 588） 昭 10

石 井 信 次 通貨の量と大銀行の態度（インヴェストメント 7-4） 昭 3

石 卷 良 夫 金融改善問題と輿論（銀行研究 13-1） 昭 2

石 山 賢 吉 金融梗塞は如何にして除かれる（ダイヤモンド 8-13） 大 9

伊 藤 好 道 インフレの發展と銀行界の危機（經濟 1-5） 昭 9

同 インフレーションを胎む銀行界の動向（經濟往來 9-4） 昭 9

岩 村 一 夫 統制產業と銀行資本の新動向（社會學徒 9-7） 昭 10

神 戶 正 雄 經濟界の現勢と銀行の整理（大阪銀行通信錄 311） 大 12

同 相互式普通銀行の生成（時事經濟問題 13） 大 12

同 當面の金融問題（時事經濟問題 15） 大 12

同 最近の貿易と物價と金融（時事經濟問題 27） 大 13

同 金融の變態と社債及金利（時事經濟問題 28） 大 13

同 最近の爲替と貿易と金融（時事經濟問題 42） 昭 1

同 金融界大觀（時事經濟問題 44） 昭 1

同 物價と爲替と金融（時事經濟問題 54） 昭 2

同 金融界の情勢と對策（時事經濟問題 60） 昭 2

同 金融界の好化及改善（時事經濟問題 65） 昭 2

同 金融界の近狀と諸問題（時事經濟問題 68） 昭 3

同 金融景氣の停頓（時事經濟問題 74） 昭 3

同 資金の偏在（時事經濟問題 74） 昭 3

同 遊資の避難場（時事經濟問題 74） 昭 3

同 金解禁中心の產業及金融界（時事經濟問題 86） 昭 4

上 村 照 吉 金融問題短評（銀行論叢 6-1/5） 昭 1

春日井 薰 世界經濟，金融の變調と我が財界（銀行研究 21-5） 昭 6

同 通貨膨脹時代の金融（銀行研究 22-4） 昭 7

同 公債主義財政と金融界（銀行研究 26-3） 昭 9

同 通貨及金融の趨勢展望（銀行研究 28-1） 昭 10

同 非常時財政，經濟と金融（銀行研究 29-4） 昭 10

勝 田 貞 次 モラトリアム撤廢後の財界循環の經路（銀行研究 5-3） 大 12

同 財界循環より觀たる震災財界の前途（銀行研究 5-3） 大 12

同 財界基調の考察と金融經濟の前途（大阪銀行通信錄 336/37） 大 14

同 財界指導と金融作用（銀行論叢 9-1） 大 14

*同 再禁止後の日本財界 東京 時事新報社 昭 6 154 頁 四六〔時事景氣研究叢書 3〕

同 米國金融恐慌と日本財界（改造 15-4） 昭 8

河 合 良 成 我國金融界の缺陷（法律新聞 1869） 大 10

川 上 良 兒 バンカース・バランセスを廻りて—銀行資本の都市集中の傾向（銀行論叢 13-6） 昭 4

川 島 榮三郎 金融の現狀に就て（中央銀行會通信錄 230） 大 11

同 目下の金融に就て（中央銀行會通信錄 248） 大 12

同 金融の狀況（中央銀行會通信錄 254） 大 13

梶 原 仲 治 我金融界の禍根（銀行通信錄 447） 大 12

同 本年の財界と金融（產業組合 221） 大 13

同 財界現狀と今後の景氣（エコノミスト 3-15） 大 14

同 下期財界は尙不振（エコノミスト 4-12） 昭 1

同 今後の金融と金利とに就て（產業 5-6） 昭 3

菊 本 直次郎 金融の現狀と銀行の態度（エコノミスト 13-23） 昭 10

木 村 粂之介 資金の都市集中を論じ地方還元策に及ぶ（銀行論叢 9-4） 昭 2

金融研究分科 金融界の前途並びに戰時金融問題の檢討（產業研究 8） 昭 9

*金融研究會 日英米金融事情（兒玉謙次）昭 4 254 頁 四六〔講演集 1〕

*同 最近十年間に於ける我財界の動き（結城豐太郎） 昭 6〔講演集 7〕

*同 金融界最近の趨向〔明石照男〕昭 6 205 頁 四六〔講演集 8〕

*同 財政と金融に關する若干の問題（馬場鍈一） 昭 10 145 頁 菊〔講演集 14〕

北崎 進 低金利金融の現狀と將來（中外財界 6-6） 昭 6

清島正造 資金供給は增加しつゝありや（銀行論叢 11-3） 昭 3

顧季高 貨幣物價與金融（銀行週報 761） 民 21

小林靜也 インフレーション過程の金融緩慢（自由通商 7-9） 昭 9

*神戸商工會議所 商品取引系統並金融事情 昭 5

越戸佳三 事業界の不安と金融界の混亂（銀行論叢 5-6） 大 14

小島精一 財政，金融工作の發展（中央公論 49-4） 昭 9

*小島昌大郎 インフレーションの金融と經濟 京都 立命館出版部 昭 8 149 頁 四六

同 遊資の增加とその歸趨（經濟論叢 39-3） 昭 9

熊田克郎 緊縮金融界の根本情勢（銀行研究 19-2） 昭 5

同 最近に於ける金融界の特殊相に就て（銀行研究 21-3） 昭 6

倉持德久 近世農村を中心として見たる金融事情（經濟研究 3-1） 昭 1

黑河內透 農村資金の都市流出問題に關する一考察（自治研究 10-12） 昭 9

*牧野輝智 金融問題〔大思想エンサイクロペヂヤー春秋社 16 の內 38 頁〕 昭 4

松本烝治 貿易及產業の統制と銀行家への要望（銀行通信錄 581） 昭 9

松崎壽 最近に於ける二三の金融問題（經濟時報 2-6） 昭 5

同 最近の金融硬化とその原因（銀行研究 21-3） 昭 6

同 金輸出再禁止後の財界（銀行研究 22-1） 昭 7

同 公債インフレと金融界（經濟往來 9-5） 昭 9

綠川光雄 金解禁後の金融界の狀勢（銀行論叢 14-5） 昭 5

*三菱合資會社 日露戰後及歐洲大戰前後の金融事情參考資料 大 8

*三菱經濟研究所編 金融〔日本經濟年誌昭和 6 年の內 21 頁〕 昭 7

三井淸一郎 金融界の基礎構成と財界（政治經濟時論 6-3） 昭 6

三宅嘉十郎 支拂猶豫令觀及向後の金融對策（銀行研究 5-3） 大 12

同 支拂猶豫令撤廢後の金融界推移（銀行研究 5-4） 大 12

宮本信之助 金解禁後に於ける通貨爲替金融より見たる我經濟界（東北經濟論叢 3） 昭 6

三土忠造 現下の金融問題（東方公論 2-11） 昭 2

同 現下の金融問題に就いて（農政研究 6-3） 昭 2

同 金融恐慌以來我國經濟界の狀勢（祖國 1-2） 昭 3

同 金融，爲替，金解禁問題（財政經濟時報 16-2） 昭 4

森巖穉 金解禁後の財界と我產業界の將來（經濟公報 11-1） 昭 5

森賢吾 各國の經濟復興と我國の信用程度（中央銀行通信錄 290, 292/94） 昭 2

森廣藏 融資聯盟の結成と產業的貢獻（エコノミスト 8-23） 昭 5

同 金融基調の改善（經濟往來 5-11） 昭 5

同 何故金融は硬化したか（經濟知識 6-3） 昭 6

同 現下の金融界とその將來（中外財界 6-8） 昭 6

永池長沼 金解禁非凡行と金融界（エコノミスト 7-13） 昭 4

長岡英造 金解禁問題と財界の將來（貿易 29-4） 昭 4

永田得二 最近地方金融界の趨勢（地方行政 42-5） 昭 9

中村忠彰 手形交換と財界の動き（銀行通信錄 581） 昭 9

中村忠正 最近我國金融界に於ける一現象（神戸高商學生研究雜誌 1） 昭 1

中澤辨次郎 都市及農村の相關的金融問題（都市問題 15-3） 昭 7

同 農村資金の都市集中現象（都市問題 16-1） 昭 8

中島武實 高知縣下の金融情勢と將來の意見（銀行論叢 22-5） 昭 9

*日本評論社編 金融 保險篇 東京 同社 昭 4 324 頁 菊〔現代產業叢書 2〕

*日本經濟聯盟會調查課 金融問題調查資料 1 昭 7〔經濟聯盟調查彙報 17〕

*日本輸出綿織物同業組合聯合會 外國爲替及金融に就て〔不詳〕〔輸出綿織物に就て外一篇と合編〕

*西野喜與作 金融の見方 東京 日本評論社 大 13 346 頁 三六〔通俗財政經濟大系 6〕

*同 金融讀本 東京 高瀨書店 昭 7 503 頁 四六

同 金利革命と金融界の動向（經濟知識 10-2） 昭 8

西內靑藍 財界の惡化と金融の前途（經濟時論 8-8） 大 9

同 金融力の擴大（經濟時論 8-18） 大 9

丹羽豐 銀爲替と株式と金融（銀行論叢 1-3） 大 12

同 爲替恢復と財界循環（銀行論叢 4-5） 大 14

同 金の現送と財界の動搖（銀行論叢 5-5） 大 14

*野田兵一 財界暴風に直面して 東京 文明社 昭 2 312 頁

*野村證券調查部 モラトリアム後の我が財界 大阪 東京 大同書院 昭 2 203 頁 四六

同 戰慄すべき外國資本家の魔手（國產奬勵 1-1） 昭 5

野崎龍七 變調を孕む下半期の地方金融（經濟往來 9-7） 昭 9

小汀利得 金融緩慢遊資洪水時代の解剖（實業の世界 28-5） 昭 6

尾形祐壽 金解禁後の金融事情（外材 75） 昭 5

小川福太郎 我國に於ける正貨の增減と金融緊閊との關係（經濟論叢 19-6） 大 13

同 膨脹財政の繼續と今後の金融界（金融三層 6-3） 昭 10

岡田純夫 日銀利下後の財界の趨勢（我觀 38） 昭 1

同 現在の所謂遊資論（銀行研究 15-3） 昭 3

岡野文之助 資金偏在と銀行組織（銀行研究 13-4） 昭 2

大久保一路 財界の回顧と前途の豫想（銀行論叢 8-1） 昭 2

奧野平 現下の金融問題に對する予が若干の希望（銀行論叢 10-4） 昭 3

奧野平 金解禁準備と特別融通の整理問題（銀行論叢 10-6） 昭 3

同 金融景氣と證券景氣（銀行論叢 16-4） 昭 6

大野悌 金融時論（中央銀行會通信錄 384） 昭 10

*大阪銀行集會所 戰後の財政及金融問題 大 8

太田收 最近の低金利とインフレーションに就て（世界情勢 1-4） 昭 9

*太田黑敏男 銀行金融の實際 東京 非凡閣 昭 9 四六〔實用經濟講座 1 の內〕

*陸軍省調查班 滿洲國の財政經濟金融に就て 昭 8

齋藤直幹 金融資本と國防費（我觀 13-7） 昭 10

*樋原二郎 我國金融事情の解說 東京 大阪屋號書店 昭 1 384 頁 四六

同 財界朝野巨頭の論戰と現時の金融界（銀行研究 14-4） 昭 3

同 金融緩慢の諸影響（銀行研究 15-3） 昭 3

阪谷芳郎 財界動搖と金融機關の缺陷（東京經濟雜誌 2063） 大 9

佐久間長次郎 金融逼迫とインフレーション政策（銀行研究 22-5） 昭 7

櫻田助作 金融の將來（東京經濟雜誌 2002） 大 8

笹原正志 財界の推移如何（インヴェストメント 6-1） 昭 2

同 財界推移の種々相（インヴェストメント 6-3） 昭 2

同 金融界に於ける二三の問題（インヴェストメント 8-2） 昭 3

佐々木勇之助 金融の將來と物價問題（銀行通信錄 435） 大 11

佐多忠隆 我國金融資本の特殊性（改造 15-11） 昭 8

佐藤健次 地方不正金融の根本原因（地方行政 36-6） 昭 3

陽根善作 緩慢持續の金融界（經濟知識 14-3） 昭 10

*斯波武 金融亡國論 東京 一元社 昭 7 590 頁 四六

志立鐵次郎 金融物價賃銀貿易考察（財政經濟時報 8-9） 大 10

莊景曜 最近之日本金融界（銀行週報 868） 民 23

宗質俊 外藉銀行在我國之勢力（經濟學季刊 2-3） 民 20

左右田誠一 本邦金融組織と當面の銀行政策（銀行研究 4-4） 大 12

杉野喜精 利下げと今後の財界（財政經濟時報 19-4） 昭 7

杉山 幹 資金偏在の中毒症狀（改造 10-8） 昭 3

同 金解禁後の我財界不況（改造 12-4） 昭 5

同 四苦八苦の歲末金融（改造 13-12） 昭 6

鈴木茂三郎 滿蒙新國家と日本の金融資本（改造 14-5） 昭 7

鈴木島吉 財界好轉の機運動く（銀行論叢 6-1） 昭 1

同 金輸出解禁と銀行業者の責務（銀行通信錄 528） 昭 5

*臺灣總督府財務局 臺灣の金融 昭 5

*高橋龜吉 我國の經濟と金融の實際—最近の經濟，金融，爲替，財界 東京 白揚社 昭 3 552 頁 四六

同 日本經濟の改善點と金融資本確立の程度（經濟往來 5-12） 昭 5

同 世界經濟會議と最近の我が金融經濟（愛知の貿易 5-5） 昭 5

同 金融緩慢の眞相と前途（エコノミスト 9-9） 昭 6

同 日本金融支配網の解剖（改造 13-10） 昭 6

*同 變革期の財界と其對策 東京 千倉書房 昭 7 394 頁 四六

同 世界經濟會議と最近の我が金融經濟（講演 220） 昭 8

同 基礎金融事情の變換（金融三層 6-9） 昭 10

高島佐一郎 本邦現時の金融狀態に關する考案（國民經濟雜誌 29-4/6） 大 9

*同 金本位制動搖と日本金融の將來 東京 千倉書房 昭 7 224 頁 四六

1. 英國金本位停止の原因，影響，前途 2. 金本位動搖と我が國金本位將來への展望 3. 景氣安定を目指しての金本位政策金融政策轉換の必然と障碍 4. 歲計調節の道—經費節減か增稅か—財政の合理的統制化の見地から 5. 主に金融統制の觀點から吟味した高垣博士「銀行論」の讀後 附錄 1. 抵當證券法の運用に豫想される經濟的諸影響 2.「世界經濟恐慌」の展開に頂點を示すアインチッヒ四部作の瞥見

*同 金融景氣とその限界 東京 千倉書房 昭 8 391 頁 四六

田中一郎 金融問題短評（銀行論叢 6-2/6） 大 15

谷川正輔 現下の我國金融基調（銀行論叢 15-6） 昭 5

*東京銀行集會所 我が金融經濟と國際金融 全 昭 6

遠山貞一 金融循環より見たる震災財界の前途（銀行研究 6-1） 大 13

*東洋經濟新報社 日本の金融 5版 東京 同社 昭 1

豐崎稔 金融緩慢の現段階的性質（大阪銀行通信錄 447） 昭 9

津村秀松 當面の金融と財政を打診する（金融時評）（經濟 1-3） 昭 9

津島壽一 財界に對する希望（大阪銀行通信錄 359） 昭 2

同 貿易と財政及金融關係（貿易 34-11） 昭 9

土屋大明 農村資金の都市集中と還元（農業經濟研究 8-1） 昭 7

*朝鮮銀行調査課 昭和六年度朝鮮財政計畫と一般金融關係に就て 昭 6

*朝鮮總督府財務局 朝鮮金融事項參考書 朝鮮金融組合協會〔年刊〕

*朝鮮殖產銀行調査課 朝鮮の產業及金融 昭 4

*同 朝鮮の金融 昭 7 145 頁 四六

*同 朝鮮金融事情概觀〔年二回〕

*鵜野久吾 編 日銀總裁講演集 東京 經濟情報社 大 14

渡邊廣重 我金融の根本的疾患（エコノミスト 2-9） 大 13

山本達雄 金の輸出解禁と銀行家の覺悟（銀行通信錄 529） 昭 5

山室宗文 震災前後に於ける金融界の變化と其後の趨勢（銀行論叢 3-3） 大 13

同 今後の金融界と證券市場に就て（竹原經濟時報 1） 昭 2

*同 我國の金融〔社會經濟體系—日本評論社 4 の內 30 頁〕 昭 2

同 現在の金融緩慢と其諸問題（エコノミスト 6-3） 昭 3

*同 金解禁を中心とせる我國經濟及金融 東京 改造社 昭 6 434 頁 四六〔經濟學全集 46〕

同 金輸出再禁止後の我國經濟及金融（經濟往來 7-2） 昭 7

山崎靖純 我財界と圓價恢復の將來（インヴェストメント 2-6） 大 14

同 金融緩慢の實體と其將來觀（インヴェストメント 3-2） 大 15

矢野恒太 資金の地方還元につきて（國勢グラフ 2-9） 昭 8

八代則彥 解決を要すべき金融諸問題（エコノミスト 5-3） 昭 2

同 金融の前途（經濟知識 5-2） 昭 6

保井猶造 吾財界の前途と銀行の任務（銀行論叢 3-5） 大 13

吉田五郎 金解禁と金融資本の進出（ダイヤモンド 19-1） 昭 6

結城豐太郎 大阪と金融（大阪市商工時報 32） 大 9

同 金融界の現狀と前途（エコノミスト 3-21） 大 14

同 金融界の三問題（ダイヤモンド 15-1） 昭 2

湯地定敏 鹿兒島地方の金融情勢と將來の所見（銀行論叢 23-4） 昭 9

*財政經濟時報社 財界の推移と金融機關（田中鐵三郎） 大 11〔經濟講演集 1 の內〕

*全國經濟調査機關聯合會 財政金融の前途に就て 東京 同會 昭 7 17 頁 菊〔彙報別冊 16〕

*實業同志會 財界動搖善後策早わかり 昭 2 42 頁

尨大な零細資金の集積と運用（エコノミスト 8-22） 昭 5

貿易不振と金融の前途（ダイヤモンド 14-29） 昭 1

膨脹政策と金融の前途（エコノミスト 11-1） 昭 8

彈力性乏しき金融界（エコノミスト 4-16） 昭 1

傳統に累されたる我が金融資本（東洋經濟新報 1466） 昭 6

英國金本位停止後の我財界の打擊（東洋經濟新報 1469） 昭 6

英國の金本位制停止と我金融界（銀行通信錄 549） 昭 6

圓價不安と金融暗翳（エコノミスト 3-3） 大 14

五大銀行勘定より金融界を展望する（東洋經濟新報 1493/4） 昭 7

反動期の金融（東洋經濟新報 1043） 大 12

變態的信用膨脹の分析（エコノミスト 12-7） 昭 9

偏在資金還元（ダイヤモンド 15-23） 昭 2

土方日銀總裁の演說（大阪銀行通信錄 375） 昭 3

北鐵買收交涉の成立と我が銀行團のクレヂット設定（金融知識 4-5） 昭 9

本邦金輸出再禁止以後の金融界概觀（本邦財界情勢 83） 昭 10

本邦に於ける株式資本の分散と金融資本の發展（財界研究 4-2） 昭 3

本邦財界の金融部門の傾向〔E. O 生〕（大阪銀行通信錄 459） 昭 10

本島の金融景況（臺灣時報 66） 大 14

普通銀行數の激減（ダイヤモンド 18-17） 昭 5

インフレ政策初期の現象—金融緩慢と金利低下（東洋經濟新報 1528） 昭 7

インフレ進行と金融（エコノミスト 11-19） 昭 8

インフレ進行と金融界（エコノミスト 12-1） 昭 9

インフレーション下の日本經濟—膨資政策と金融の前途外五）（エコノミスト 11-1） 昭 8

インフレーションの開始と金融の大勢（ダイヤモンド 20-32） 昭 7

井上日銀總裁の金融經濟演說（大阪銀行通信錄 291） 大 10

一般的に觀た金解禁前後の財界（中外財界 4-23） 昭 4

過渡期の資金狀態（ダイヤモンド 7-6） 大 8

各種商工取引及金融の一斑（大阪銀行通信錄 310/12, 314/16） 大 12

關西銀行大會に於ける土方日銀總裁の演說（銀行論叢 11-6） 昭 3

關西銀行大會に於ける三土大藏大臣の演說（銀行論叢 11-6） 昭 3

關西銀行大會に於ける藏相及日銀總裁の演說（銀行通信錄 551） 昭 6

關東大震災後のデフレーション政策〔長期金利の將來〕（東洋經濟新報 1622） 昭 9

關東大震災後の金融界（財界觀測 17-7） 昭 9

緩和されぬ資金難（エコノミスト 8-22） 昭 5

重ねて金融の地位に就て（東洋經濟新報 1041） 大 12

爲替不安と金融界の前途（財界觀測 13-12） 昭 7

爲替と物價と金融（ダイヤモンド 14-7） 昭 1

爲替と金融と景氣（ダイヤモンド 20-5） 昭 7

期末勘定から見た大銀行の肥滿（東洋經濟新報 1292） 昭 3

金解禁斷行後の金融（エコノミスト 8-2） 昭 5

金解禁後二ケ月の金融（エコノミスト 8-6） 昭 5

金解禁後の金融（エコノミスト 8-19） 昭 5

金解禁後の財界（ダイヤモンド 18-1） 昭 5

金解禁後の財界狀況（商工月報 6-4） 昭 5

金解禁に依る新投資の絶滅（東洋經濟新報 1265） 昭 5

金解禁前後の銀行信託研究（東洋經濟新報 1389） 昭 5

金利平準から見た財界の前途（財界研究 5-1） 昭 3

金利昂騰の由來（ダイヤモンド 7-3） 大 8

金利は金解禁後も依然緩慢乎（株式の日本 8-1） 昭 5

金再禁止後の金融情勢（財界觀測 12-7） 昭 7
金融貿易株式の趨勢（經濟時論 8-4） 大 9
金融變態の一因（ダイヤモンド 9-14） 大 10
金融變調と其の反動としての低金利激成（經濟情報 9-19） 昭 9
金融界の現狀とその前途（東洋經濟新報 151）昭 7
金融界の基礎構成から見た我財界（財界研究 1-4） 昭 1
金融界の二分野（信託 4-4） 大 11
金融界の諸現象（エコノミスト 9-7） 昭 6
金融界の前途（ダイヤモンド 11-35）大 12
金融緩慢に刺戟された公社債相場（ダイヤモンド 19-17） 昭 6
金融緩慢の持續性如何（竹原經濟時報 50） 昭 6
金融緩慢裡に潜む暗流（エコノミスト 4-15） 昭 1
金融緩和への期待を問ふ（財界觀測 13-5） 昭 7
金融緩和の經路と時期（財界觀測 12-7） 昭 7
金融緩和と今後の推移（エコノミスト 4-1） 昭 1
金融緩和は何處迄行くか（財界觀測 14-7） 昭 8
金融景氣か產業景氣か（財界觀測 13-7） 昭 7
金融景氣の原因と徵候（エコノミスト 6-9） 昭 3
金融景氣の可能不可能（エコノミスト 13-21）昭 10
金融景氣の昂進（ダイヤモンド 19-9） 昭 6
金融景氣の全般的展望〔財政膨脹と金融界 外 3〕（エコノミスト 13-28） 昭 10
金融景氣の持續力（エコノミスト 6-15） 昭 3
金融景氣と財界（ダイヤモンド 19-10） 昭 6
金融緊縮の事情と前途の趨勢（ダイヤモンド 10-13） 大 11
金融緊縮と前途（ダイヤモンド 11-12） 大 12
金融近時の趨勢（ダイヤモンド 9-30） 大 10
金融基調惡化の意味（財界觀測 18-9） 昭 10
金融基調の變化と其原因（エコノミスト 6-17）昭 3
金融基調と金利水準（財界觀測 19-4） 昭 10
金融無政府主義の惡影響（財界科學 1-4） 昭 4
金融に關する調査（經濟調査時報 2/3, 21/23） 大 11, 14/昭 1
金融の變態緩慢是正策（エコノミスト 6-4） 昭 3
金融の基調に變化ありや（東洋經濟新報 1618）昭 9
金融の趨勢（藤本ビルブローカー銀行週報 165） 大 9
金融の地位（東洋經濟新報 1040） 大 12
金融の前途如何（ダイヤモンド 10-28） 大 11
金融の前途如何（財界研究 2-2） 昭 2
金融の前途豫想（ダイヤモンド 23-26） 昭 10
金融の自働調節（ダイヤモンド 12-16） 大 13
金融の實態と前途（東洋經濟新報 1627） 昭 9
金融及鐵道（神戸商業會議所月報 5-11） 大 8
金融業觀の崇り出現（エコノミスト 4-9） 昭 1
金融資本團の動員（エコノミスト 8-22） 昭 5
金融資本制覇過程に於ける我が國民經濟の展望（財界研究 8-1） 昭 5
金融指標に見るインフレ景氣（ダイヤモンド 21-2） 昭 8
金融資金の新供給力（東洋經濟新報 1310/11）昭 3
金融市場平穩と年末の觀測（エコノミスト 4-23） 昭 1
金融市場硬化と其前途（エコノミスト 6-20） 昭 3
金輸出再禁止後の金融狀勢（財界觀測 12-7） 昭 7
金融情勢と爲替管理（ダイヤモンド 20-16） 昭 7
近時の金融狀態（ダイヤモンド 11-10） 大 12
岐路に立てる金融界（エコノミスト 3-16） 大 14
交換所月報から見た金融の基礎事情（東洋經濟新報 1500） 昭 7
國民貯蓄の減少と金融の梗塞（東洋經濟新報 1400） 昭 5
この金融事態を如何に打開するか（ダイヤモンド 20-10） 昭 7
恐慌が暴露しつゝある米國金融資本を解剖す（東洋經濟新報 1547/52） 昭 8
恐慌後一ケ月の日銀勘定の變化（東洋經濟新報 1252） 昭 2
恐慌後の全國銀行勘定の變動（東洋經濟新報 1268） 昭 2
恐慌以後の金融資金增加額（東洋經濟新報 1319） 昭 3
年末決濟資金の準備開始（エコノミスト 3-24） 大 14
日銀半季報に現はれた金融の位地と營業成績（東洋經濟新報 1539） 昭 8
日銀の政策と金融の前途（東洋經濟新報 1418）昭 5
農業恐慌と地方金融（東洋經濟新報 1505） 昭 7
最近佛蘭西の金融市場及び金融政策（大阪銀行通信錄 443） 昭 9
最近金融の地位（東洋經濟新報 1477） 昭 6
最近の金融界に喧傳される資金偏在の檢討（中外財界 2-12）昭 2
最近の金融事情展望（銀行研究 19-5） 昭 5
再禁止第一年の我が財界相（財界觀測 14-1） 昭 8
再禁止後の銀行界（銀行論叢 18-3） 昭 7
再禁止景氣の反動樣相（財界觀測 12-9） 昭 7
再禁止景氣と金融界の前途（銀行論叢 18-2） 昭 7

歲末の金融狀勢は何う動くか（エコノミスト 12-27） 昭 9
昨春來激增せる蓄積資金と銀行勘定の檢討（中外財界 3-23） 昭 3
正貨減少と財界更生策（エコノミスト 8-4） 昭 5
正貨流出と銀行預金の減少（東洋經濟新報 1413） 昭 5
正貨流出と金融の關係（東洋經濟新報 1385） 昭 5
戰時及反動前の金融（東洋經濟新報 1043） 大 12
戰時と今日の金融事情（東洋經濟新報 847） 大 8
震災後大阪金融界の推移（東洋經濟新報 1074） 大 12
震災後大阪の銀行及金融界（東洋經濟新報 1074） 大 12
震災後東西金融趨勢（大阪銀行通信錄 320） 大 13
信用緩和策の具體化と金融基調（財界觀測 12-10） 昭 7
シンジケート銀行の成績と恐慌の影響（中外財界 2-19） 昭 2
高橋藏相の金輸出再禁止後の財界展望觀（銀行通信錄 552） 昭 7
短期金利反騰と金融界の見透し（エコノミスト 13-12） 昭 10
短資引緊りの原因とその前途（財界觀測 17-5）昭 9
地方を犧牲に供した金融緩慢（東洋經濟新報 1437/38） 昭 6
特殊銀行近狀（ダイヤモンド 10-22） 大 11
當座及コール手形激減（銀行通信錄 531） 昭 5
通貨膨脹と金融情勢（財界觀測 14-6） 昭 8
通貨及日銀の位置（東洋經濟新報 1234） 昭 2
通貨信用の伸縮と今後の財界（ダイヤモンド 11-31） 大 12
通貨收縮と金融基調（ダイヤモンド 18-28） 昭 5
通貨收縮と金融的影響（ダイヤモンド 18-17）昭 5
通貨收縮と財界（ダイヤモンド 18-7） 昭 5
通貨狀況の改善と金融狀勢（ダイヤモンド 21-6） 昭 8
注目される金融の前途（エコノミスト 4-18） 昭 1
注目すべき金融基調の變化（エコノミスト 5-23） 昭 2
裏切られた金融緩慢（エコノミスト 9-17） 昭 6
我が金融界の現勢（財政經濟時報 15-10） 昭 3
我金融の現狀と日銀當然の職責（東洋經濟新報 1491） 昭 7
我國の金利は何時低下するか（ダイヤモンド 13-32） 大 14
遊資の正體と其作用（東洋經濟新報 1301/02） 昭 3
遊資處分難の意義（エコノミスト 9-12） 昭 6
財界大轉向期の金融及銀行信託（東洋經濟新報 1523） 昭 7
財界不況激化と金解禁の功罪（エコノミスト 8-10） 昭 5
財界恐慌後の銀行整理の狀況（工業 23） 昭 3
財政インフレと金融狀勢（財界觀測 14-11） 昭 8
事業界に於ける資金調達の著變と其前途（經濟情報 9-18） 昭 9
事業計畫と金融景氣（ダイヤモンド 16-26） 昭 3
事變と金融市場（ダイヤモンド 20-16） 昭 7
增稅問題と金融界に及ぼす影響（金融知識 4-6） 昭 9
常態回復の傾向著しき金融界の最近相（中外財界 4-8） 昭 4

アメリカ合衆國

阿部　勇　合衆國金融資本と赤字（社會政策時報 130） 昭 6
荒木秀一　米國諸銀行の資金運用狀況（大阪銀行通信錄 408） 昭 6
江口行雄　アメリカに於ける銀行資本の進展（銀行研究 17-4） 昭 4
エルスウァース　米國の銀行狀態は何故國家豫算の均衡を必要とするか（調査月報 23-2） 昭 8
井川忠雄　岐路に立てるウォール街（聯合通信社講演 51） 昭 8
池田了實　桑港震災時の金融狀態（銀行研究 5-3） 大 12
伊藤武夫　緊急銀行法とアメリカ國債（大阪銀行通信錄 430） 昭 8
*唐島基智　アメリカ大財閥の暴露　東京　日東書院　昭 9　321 頁　四六
春日井薫　金融の使命と貨幣債權の動搖—米國金約款問題に際して（銀行研究 28-3） 昭 10
*金融研究會　日英米金融事情（兒玉謙次）　東京　昭 4　254 頁　四六〔講演集 1〕
熊田克郎　米國の經濟發展に於ける金融の役割（銀行研究 17-6） 昭 4
同　米國銀行の收支勘定に現はれたる傾向（大阪銀行通信錄 397） 昭 5
同　米國金融界最近の實相を檢す（銀行研究 21-5） 昭 6
三井信託株式會社　米國金融界の二大傾向（信託協會會報 2-2） 昭 3
守屋德夫　英米兩國の金融事情（朝鮮經濟雜誌 149） 昭 3
長岡保太郎　米國に於ける勞働組合の銀行經營運動（社會政策時報 60） 大 14

*日本銀行調査局　米國に於ける新資本發行に關する調査(仁科書記調)　大 12〔調話 240〕
*同　米國に於ける銀行大會の重要問題に就て　昭 3〔經濟彙報 5〕
*同　全米銀行大會に於ける大統領フーヴァー氏の演說　昭 6〔經濟彙報 1〕
奥村永藏　米國の金融界と景氣（大阪銀行通信錄 379）　昭 4
大島堅造　金融上より見たる米國のインフレとその教訓（經濟 1-4）　昭 9
リエッス，アンドレ　米國に於ける經濟上及金融上の危機に就て（銀行通信錄 570）　昭 8
スプラーグ　注意と研究を要する米國金融界實相（中外財界 2-12）　昭 2
田中正雄　米國に於ける休業銀行概觀（金融三曆 2-12）　昭 6
陳君慧　美國銀行風潮之回顧（獨立評論 44）　民 23
友岡久雄　アメリカ合衆國の金融狀勢（世界經濟 9）　昭 7
楊先胥　復興計畫下美國銀行業之現狀的檢討（錢業月報 14-8）　民 23

アメリカブームの金融的基礎（財界觀測 13-4）　昭 7
米英金融界の大勢（エコノミスト 4-3）　昭 1
米國金停を續る金融情勢（エコノミスト 11-7）　昭 8
米國金融界現況報告摘要（調査月報 13-4）　大 12
米國金融界の問題（エコノミスト 8-8）　昭 5
米國金融界と金問題（エコノミスト 9-21）　昭 6
米國金融事情（經濟調査時報 6）　大 11
米國ナショナル・クレヂット・コーポレイションの設立（海外經濟彙報 11）　昭 6
米國の金融は轉換期來か（東洋經濟新報 1326）　昭 3
米國の金融狀態（ダイヤモンド 8-2）　大 9
米國最近の經濟財政資料—主として金融關係（內外調査資料 5-6）　昭 8
フーバー大統領の金融及農業に關する演說要旨（海外經濟事情 6-1）　昭 7
紐育銀行正味資產の減價（大阪銀行通信錄 430）　昭 8
黃金集中と聯邦準備制—最近米國景氣循環の跡を辿る（國際パンフレット通信 360）　昭 5
フイリッピン金融事情（南洋經濟時報 1-5）　大 8
聯邦準備銀行勘定に現れた米國の金融事情（東洋經濟新報 1087）　大 13
特色ある昨年の米國金融界（日本興業銀行調査月報）　昭 9

アルゼンチン

劍持縫之助　亞爾然丁の貨幣制度並に金融事情一斑（銀行研究 12-3）　昭 2

ベルギー

*日本銀行調査局　平價切下後に於ける白耳義財界　東京　昭 10　27 頁　菊〔海外經濟彙報號外 13〕

1921 年白耳義經濟及金融狀況（通商公報 933）　大 11

ブラジル

*拓務省財務局　在伯邦人の金融問題　昭 4
辻小太郎　產業界に無限の將來を有せるブラジルの經濟金融事情（ブラジル 1-5）　昭 2
山科禮藏　伯國の植民地と金融機關（貿易 28-3）　昭 3

伯國銀行の營業報告（移民情報 3-11）　昭 6
伯國の金融概況（ブラジル 4-10）　昭 5

ドイツ

倒地與四松　獨逸戰後のインフラチオン時代（國家學會雜誌 46-10）　昭 7
原子文四郎　最近獨逸金融界の一斑（財界觀測 16-3）　昭 9
橋爪明男　七月恐慌に襲はれたる獨逸大銀行の整理（銀行通信錄 563/64）　昭 7/8
堀江歸一　獨逸の金融と中央銀行（エコノミスト 1-11/12）　大 12
石濱知行　獨逸銀行資本の動き（經濟往來 4-4）　昭 4
クラウス，ヨハネス・ペー　租稅證券 —ドイツに於ける新金融私案（經濟學論集 3-1）　昭 8
*串本友三郎　最近の獨逸銀行業　大阪　大阪銀行集會所　昭 1　428 頁　四六
1. 經濟上より見たる日本と獨逸　2. 日獨貨幣銀行制度の發達　3. 獨逸新發券銀行　4. 獨逸の新ライヒス銀行條例　5. 改造されたる獨逸ライヒス銀行とレンテン銀行の將來　6. 農業金融機關としての獨逸レンテン信用會社案　7. 不動產抵當と不動產抵當銀行に關する日獨比較　8. 獨逸の海底電線抵當法　9. ドーズ案と工業債券銀行の新設　10. 銀行と商工業との關係　11. 日本普通銀行と獨逸の信用銀行　12. 第六回獨逸銀行家大會　13. 獨逸銀行業研究資料

楠見一正　獨逸の銀行再整理（銀行研究 24-5）　昭 8
翠川光雄　獨逸金融界の近狀（大阪銀行通信錄 368, 370）　昭 4
栗田藤吉　戰時及戰後の獨逸銀行（商業及經濟研究 13/14）　大 8
*日本銀行調査局　獨逸現下の金融經濟問題　昭 10　25 頁　菊〔海外經濟彙報號外 12〕
世界經濟批判會　人的結合を通じて見たドイツ金融資本の解剖—1931 年金融恐慌の前後（中央公論 48-5）　昭 8
*高城仲次郎　獨逸戰後の財政と金融　東京　清水書店　大 13　380 頁　四六
武島一義　獨逸市町村金融事情—獨逸振替制度の發生，發達及將來に於ける任務（自治研究 9-5）　昭 8
脇村義太郎　ドイツ造船トラストへの途—戰後ドイツ造船所に於ける製鋼業と金融資本の隆替（經營經濟研究 4）　昭 5
*橫濱正金銀行調査課　1921 年に於ける獨逸八大銀行の營業狀態　大 11

ドイツ現在の信用狀態を觀る—ロンドン七ケ國會議の報告（國際パンフレツット通信 440）　昭 6
ドイツ銀行業のナチス化（世界經濟 4-2）　昭 9
獨逸不換紙幣政策の崩壞と同國金融界（東洋經濟新報 1033）　大 12
獨逸金融恐慌後の歐洲財界（商工月報 7-9）　昭 6
ドイツの銀行整理內容（海外經濟事情 5-18）　昭 7
獨逸の金融狀態—バーゼル委員會報告の要旨（財界觀測 11-7）　昭 6
獨逸のクレヂット設定と同國三大銀行（調査月報 9-9）　大 8
獨逸の信用狀態（東洋經濟新報 1471/73）　昭 6
獨逸の財政金融現狀（大阪銀行通信錄 272/74）　大 9

エヂプト

エジプト金融狀態（海外經濟事情 4-9）　昭 6

フランス

*第一銀行調査課　佛國戰後のインフレーションと市中銀行　東京　昭 7　77 頁　菊
*全國經濟調査機關聯合會　佛蘭西銀行總裁の更迭を繞りて—佛蘭西金本位制に就ての一考察（十龜盛次）　東京　昭 10　50 頁　菊〔彙報別冊 75〕

佛國國庫の民間會社並外國政府に對する最近の資金融通（調査月報 22-5）　昭 7
佛蘭西資金と世界景氣（ダイヤモンド 20-11）　昭 7
金の流入とフランス銀行界の位置（財界要報 119）　昭 7
大戰の佛國信用に及ぼせる影響（調査月報 12-3）　大 10

イギリス

林原勝　英國金融界の近狀（中央銀行會通信錄 305）　昭 3
*春日井薰　英國の銀行及金融　東京　文雅堂　昭 3　336 頁〔銀行講座〕〔參照目次：I, 3, b〕
*金融研究會　日英米金融事情（兒玉謙次）　東京　昭 4　254 頁　四六〔講演集 1〕
松崎壽　英國金融覇權の失墜と世界經濟（經濟時報 3-8）　昭 6
道上清治　1926 年度の英國銀行界（經濟論叢 25-2）　昭 2
三浦實　カンリッフ委員會（金融大辭典 1 卷 2 頁）　昭 9
三土忠造　英國金融異變とその影響（エコノミスト 9-20）　昭 6
名古屋銀行調査課　昨年下半期に於ける英國銀行界の回顧（中央銀行會通信錄 301）　昭 3
*日本銀行調査局　戰後の英國財界通觀　附：滯英雜感（堀越鐵藏）　大 11
同　英國金融產業調査委員會報告〔政變前後の英國財政資料〕（內外調査資料 11 月）　昭 6
*同　英國五大銀行頭取の演說要旨〔不定期〕
野田香　ドイツ金融政策と英財界（中央銀行會通信錄 377）　昭 9
*野村合名會社調査部　金輸出解禁前後に於ける英國財界の推移　昭 1
リエッス，アンドレ　英國五大銀行頭取の演說に就て（銀行通信錄 579）　昭 9
同　英國株式銀行頭取の一般狀勢に關する意見（銀行通信錄 580）　昭 9
蠟山政道　金融資本と英國勞働黨の對立（經濟往來 6-10）　昭 6
世界經濟批判會　人的結合を通じて見たイギリス金融資本の解剖（中央公論 46-12）　昭 6
*澁口美敏　譯　現代金融論—金融及產業について　東京　東京書房　昭 8　319 頁　菊〔マクミラン委員會報告〕
I. 歷史及び叙述　1. 緒言　2. 貨幣制度の一般的特徵　3. 國際金本位制　4. イギリスの貨幣制度　5. イギリスの特殊問題　6. 需要と供給との不均衡　7. 金とそ

の分布　8. 1925 年以降諸事件の結果　9. 國際投資狀態　10. 國際物價の下落とその影響　11. 物價水準に對する貨幣政策の影響
II. 結論及び勸告　1. 貨幣制度の主要目的　2. 國際貨幣政策に關する提案　3. 國內貨幣政策に關する提案　4. 國內投資の資本市場に關する提案　5. 報告及び統計に關する提案　6. 結論的覺書

*東京商工會議所　金本位制停止後の英國財界　東京　同所　昭 7　148 頁　菊

米英金融界の大勢（エコノミスト 4-3）　昭 1
英國銀行と外國貿易（北京週報 273）　昭 2
英國五大銀行頭取演說〔世界經濟會議に關する資料〕（內外調査資料 5-7）　昭 8
英國株式銀行頭取の一般狀勢に關する意見（銀行通信錄 580）　昭 9
英國金融界の近況（海外經濟彙報 11）　昭 9
英國金融の超緩慢（東洋經濟新報 1519）　昭 7
英國マクミラン委員會報告摘要（調査月報 21-10）　昭 6
英國の金融，貿易，生產（財界觀測 16-11）　昭 9
英國の資金失業—銀行の減配か預金利率引下か（東洋經濟新報 1608）　昭 9
英國新聞の金融記事解說（大阪銀行通信錄 285）　大 10
英國財界の展望と金融經濟政策に對する諸銀行家の見解（世界經濟 2-4）　昭 8
海外金融思潮—英國產業合理化に對する金融施設（銀行論叢 24-4）　昭 10
金解禁イギリス財界の動向（エコノミスト 12-1）　昭 9
金融資本獨裁と勞働黨內閣の沒落（批判 2-8）　昭 6
再禁止淸算の英國財界（財界要報 117）　昭 7

イ タ リ ー

伊太利の物價移動及び金融狀態（世界經濟 2-4）　昭 8

滿　洲　國

荒木光太郎　滿洲國貨幣金融の現狀（財政經濟時報 22-2）　昭 10
伴谷歸雁　北滿に於ける各國金融經濟戰の現狀（滿蒙 51）　大 13
*大連商工會議所　滙豐銀行研究　昭 2　54 頁
榮厚　滿洲金融界を語る（支那時報 18-1）　昭 8
*營口實業會　營口に於ける金融〔營口事情の內〕　大 9
外務省通商局　吉林省長嶺に於ける金融及通貨（農安帝國領事館分館主任外務書記生報告）（通商公報 618）　大 8
牟野憲二　北滿の金融經濟と新國家の幣制問題（東洋貿易研究 11-6）　昭 7
日笠芳太郎　官銀號の重要性と管理問題（外交時報 648）　昭 6
同　官銀號問題の顚末を語る（滿洲公論 12-12）　昭 8
傅振國　整頓東北金融雜談（經濟月刊 3-2）　民 20
古田廉三郎　大連地方の金融狀勢と將來の意見（銀行論叢 23-2；滿蒙 15-8）　昭 9
*關東廳財務部財務課　滿洲に於ける金融事情一班（昭和 3 年 10 月末調）　大連　昭 3
加藤明　滿洲の金融問題（ダイヤモンド 23-7）　昭 10
*金融研究會　滿洲國幣制と金融　東京　同所　昭 7　225 頁　菊〔調書 6〕
1. 總論　i. 滿洲國概觀　ii. 滿洲國の通貨　iii. 金融機關の現狀　iv. 滿洲國新幣制と滿洲中央銀行　v. 金融監督事情　2. 滿洲國各地の流通貨幣と金融　i. 大連　ii. 哈爾賓　iii. 營口　iv. 安東
木谷一彥　大豆の上に育つた滿洲の金融を語る（ダイヤモンド 20-27）　昭 7
同　滿洲の金融を語る（ダイヤモンド 20-29/30）　昭 7
同　滿洲金融の今昔物語（滿蒙 13-3, 5）　昭 7
小池篤　滿洲國金融の諸問題（國民時論 18-2）　昭 9
小泉計太郎　滿洲開發の基礎的金融（銀行研究 24-2）　昭 8
兒島高信　在滿鮮人の金融狀態（朝鮮 208）　昭 7
*滿鐵哈爾賓事務所　哈爾賓に於ける金融機關の現狀（高久筆）　大 12　56 頁
*滿鐵資料課　東三省金融整理委員會報告書　昭 8
*滿鐵總務部調査課　滿洲に於ける支那側金融機關と通貨（大谷鋼十夫）　大 8　173 頁〔滿鐵調査資料 6〕
*滿鐵社長室調査課　貨幣及金融（高久筆）　滿洲大 10　258 頁　菊〔滿蒙全書 5 の內〕
*滿鐵庶務部調査課　奉天票と東三省の金融　昭 1　312 頁〔滿鐵調査資料 56〕
*同　滿洲に於ける通貨及金融の概要（安盛松之助）　昭 3〔パンフレット 54〕
*同　哈爾賓に於ける通貨及金融機關（昭和 4 年調）　昭 4
*同　滿洲に於ける支那銀行の概要（藤井諒）中日文化協會　昭 5　165 頁〔滿鐵調査資料 120〕

松本烝治　滿洲の金融狀態（國際經濟通信 20）　大 12
松崎健吉　滿洲國銀行事情（保險銀行通信 720/22, 24/28）　昭 9
棟尾松治　滿洲の金融現狀と中央銀行設立問題（ダイヤモンド 8-26, 30）　大 9
中島權　滿洲に於ける金賣と銀賣（ヘルメス 11）　昭 3
*南鄉龍音　奉天票と東山省の金融　大 15〔滿鐵調査資料 56〕
*大阪工業會滿蒙經濟視察委員　滿洲の貨幣制度並に金融問題，滿洲の關稅問題　昭 7〔滿蒙經濟資料 12〕
藍維先　譯　滿洲金融及財界之現狀（經濟月刊 2-6, 8, 10）　民 19
李化民　滿洲帝國之金融（北滿經濟月刊 10-10）　康德 1
李龍門　滿洲及中國內地之日本銀行（中東半月刊 3-7）　大同 1
*陸軍省調査班　滿洲國の財政經濟金融に就て　昭 8
*篠崎嘉郎　滿洲金融及財界の現狀　上　東京　大阪屋號　昭 2　340 頁　菊
1. 滿洲に於ける金融機關　i. 日本側金融機關　ii. 支那側金融機關　iii. 外國側金融機關　2—3.（省略）　4. 滿洲に於ける本邦金融機關の金融狀況　i. 貸付　ii. 預金　iii. 爲替　iv. 金銀出納　v. 金利
*同　滿洲金融及財界の現狀　下　東京　大阪屋號　昭 3　473 頁　菊
5. 滿洲財界の諸相　i. 金融機關の整理と資金移動狀況　ii. 日本向送金監督制限問題　iii. 郵便貯金と低利資金　iv. 投資　v—xiv.〔省略〕6—7.〔省略〕8. 滿洲銀行設立運動の經過　i. 末永氏等の拓殖金融機關設立運動　ii. 大隈內閣の提出せる滿洲銀行法案　iii. 滿洲中央銀行設立運動　iv. 關東廳經濟調査會の決議　v. 滿洲商業會議所聯合會の要請
*杉慰重善　滿洲に於ける銀行及金融の概況〔神戶商大商業研究所編 海外旅行調査報告の內〕　昭 6
鈴木茂三郎　滿蒙新國家と日本の金融資本（改造 14-5）　昭 7
高橋武夫　當地方（滿洲）の金融情勢と將來の所見（銀行論叢 23-2）　昭 9
*東三省金融整理委員會　東三省金融整理委員會報告書　民 20
塚本正巳　滿洲國の金融狀況（經濟知識 12-6）　昭 9
*朝鮮銀行調査部　滿洲に於ける朝鮮人の經濟及金融狀況　大 10
*朝鮮銀行調査課　滿洲主要都市に於ける金融機關並に取引先の近況（安東縣，大連，營口，奉天，新京，哈爾賓支店報告）　昭 9〔昭 9 調査 38〕
*上田恭輔　滿洲に於ける金融，經濟問題〔支那研究—岩波書店　の內〕　昭 5
山中岩次郎　滿洲國財政金融の近狀（保險銀行通信 713, 715/16）　昭 9
山成喬六　滿洲國の經濟金融（滿日調査通報 6）　昭 7
同　滿洲國の金融と經濟　附：滿洲中央銀行（貿易 32-12）　昭 7
同　滿洲國の經濟金融（支那時報 18-2）　昭 8
*橫濱正金銀行調査課　大連を中心として見たる滿洲の金融，爲替，貿易（關憲行）　昭 2〔調査報告 66〕
吉田廉三郎　大連地方の金融情勢と將來の意見（銀行論叢 23-2）　昭 9
受百　日人在滿之金融勢力（銀行週報 728, 730）　民 20
大連に於ける銀預金の減少（滿蒙實業彙報 86）　大 11
營口金融維持會の設置と其の章程（通商公報 674）　大 8
哈爾賓に於ける米國金融恐慌の影響（滿鐵調査月報 13-4）　昭 8
哈爾賓に於ける通貨と金融狀態（哈爾賓商品陳列館館報 8）　大 9
哈爾賓支那銀行の貸出停止（滿蒙事情 109）　昭 5
奉天金融維持會の成立と東三省官銀號の開店（海外經濟彙報 11）　昭 6
奉天に於ける銀行の近況（東洋貿易時報 9-42）　昭 8
奉天に於ける滿洲國側の金融狀態（東洋貿易時報 8-18）　昭 7
奉天の金融逼迫と之が緩和策（滿蒙經濟事情 88）　大 9
奉天支那銀行の排日（東洋貿易時報 7-17）　昭 6
間島龍井村金融概況（通商公報 701）　大 9
金融及通貨（滿洲國建設の一個年）（東亞 6-3）　昭 8
金融整理公債計畫と奉票低落（大連商工會議所月報 130）　昭 1
金融と銀貨の前途（滿蒙經濟事情 88）　大 9
吉林永衡官銀錢號（滿鐵調査月報 12-1）　昭 7
吉林金融經濟狀況（海外經濟事情 5-16）　昭 7
局子街に於ける最近金融經濟狀況（通商公報 589）　大 8
滿蒙銀行の設立（國際法外交雜誌 21-10）　大 11
滿蒙幣制改革と金融整備（エコノミスト 10-7）　昭 7
滿洲銀行界の現狀（ダイヤモンド 20-23）　昭 7

滿洲開發と資金調査機構（滿日調査通報 11） 昭 8
滿洲國銀行業の現勢（支那 **26**-10） 昭 10
滿洲國貨幣及銀行問題（銀行論叢 **23**-4） 昭 9
滿洲國の通貨と金融（工政 163） 昭 8
滿洲國の財政金融に就て（國際特約通信 21） 昭 8
滿洲國の財政金融狀態（ダイヤモンド **20**-36） 昭 7
滿洲に於ける金融機關と通貨流通現狀（滿蒙實業彙報 66） 大 10
滿洲に於ける日本側金融の現狀（滿蒙實業彙報 90） 大 12
滿洲之貨幣制度及金融問題（中東半月刊 **3**-23/24） 大同 2
滿洲の金融現狀と中央銀行設立問題（ダイヤモンド **8**-26） 大 9
滿洲の金融を語る一正金鮮銀抗爭の卷（ダイヤモンド **20**-23） 昭 7
滿洲の金融と朝鮮銀行（東洋經濟新報 1485） 昭 7
滿洲の金融狀況（朝鮮銀行月報 **10**-7） 大 8
滿洲の產業と金融（國際經濟通信 20） 大 12
滿洲の通貨と金融（工政 163） 昭 8
滿洲支那側の金融事情（調査時報 **5**-1） 大 14
滿洲帝國財政金融の現勢（支那時報 **21**-2） 昭 9
滿洲通貨金融界近況（滿蒙事情 108） 昭 5
農安に於ける金融並特產物最近市況（滿蒙經濟時報 90） 大 9
農安帝國領事館分館主任外務書記生報告：吉林省長嶺に於ける金融及通貨（通商公報 618） 大 8
牛莊金融界の銀貨及過爐銀崩落影響（通商公報 801） 大 10
遼寧金融緊迫の原因及其救濟方法（東三省官銀號經濟月刊 **1**-8） 民 18
遼寧の金融（東三省官銀號經濟月刊 **1**-4） 民 18
遼寧省金融管理と現洋出境禁止令（大連商工會議所月報 167） 昭 4
錢鈔業者に對する壓迫（滿洲經濟調查彙纂 2） 昭 2
正金鮮銀抗爭の卷〔滿洲の金融を語る〕（ダイヤモンド **20**-23） 昭 7
東三省銀行業之過去及現在（中行月刊 **6**-3） 民 22
東三省銀行の金融整理方法（天津商業會議所報 216） 大 10
東三省官銀號，邊業銀行の再開（大連商工月報 193） 昭 6
東三省金融紊亂の原因及救濟策（東三省官銀號經濟月刊 **1**-4） 民 18
東三省金融整理委員會報告書（滿鐵調查月報 **12**-11；**13**-2） 昭 7/8
東三省金融整理の根本方策（東三省官銀號經濟月刊 **1**-4） 民 18
投資額から見た滿洲〔滿洲商工事情概要の內〕 昭 7
長春に於ける金融概況（長春商業會議所月報 9） 大 11
長春の支那側金融機關と通貨（長春商工會議所調查彙報 **6**-5/6） 昭 1
在滿朝鮮人之金融狀態（金融合作月刊 6） 大同 2
事變と主要都市に於ける金融狀況（滿鐵調查月報 **11**-12） 昭 6

南 阿 聯 邦

南阿金融問題概觀〔ケープタウン帝國領事報告〕（通商公報 767） 大 9

オ ラ ン ダ

*臺灣總督府官房 關領印度に於ける金融狀況 附：英領北ボルネオ金融概況 昭 6 17 頁 菊〔南支那及南洋調查 203〕
*山 崎 勇 夫 關領東印度の金融事情 昭 5〔神戸商大 海外旅行調查報告〕

オランダ國金融市場一般狀況〔1931 年〕（海外經濟事情 **5**-35） 昭 7

オーストラリア

*安 西 千賀夫 濠洲の產業，金融及貿易 大 9

ペ ル ー

ペルー中央準備銀行の兌換停止（海外經濟事情 **5**-20） 昭 7

ペ ル シ ア

彼斯に於ける貿易及び金融事情（東洋貿易研究 **8**-11） 昭 4

ロ シ ア

平 野 清 勞農ロシヤの通貨と銀行業（商業及經濟研究 29/30） 大 12
大 江 涉 サヴェート・ロシアに於ける貨幣と金融（社會思想 **8**-2） 昭 4

ユ ー ゴ フ 蘇聯邦の通貨，銀行及金融（露亞時報 130） 昭 5

ダリバンク閉鎖の經緯（調查時報 **9**-11） 昭 4
沿海縣に於ける金融整理縣革命委員會則（通商公報 1013） 大 11
華俄道勝銀行〔露亞銀行〕の整理經過概要（外國鐵道調查資料 **2**-6） 昭 3
極東銀行支店開設（露亞時報 43） 大 12
共產露國の通貨及金融（東拓月報 **5**-3） 大 13
莫斯科ナロッドニ銀行の西比利亞に於ける活動（朝鮮銀行月報 **10**-12） 大 9
露國官憲の浦鹽鮮銀支店壓迫問題（滿蒙事情 108） 昭 5
勞農露國の通貨及銀行（調查月報 **13**-3） 大 12
勞農露西亞に於ける銀行業（金融三層 **3**-8） 昭 7
支那本部及浦鹽斯德の金融狀況（朝鮮銀行月報 **10**-9） 大 8
ソヴエート同盟に於ける信用取引の廢止に就て（產業組合 296） 昭 5
ソヴイエット聯邦の銀行活動（ダイヤモンド **20**-38） 昭 7
ソヴエト露西亞の銀行業（銀行論叢 **19**-3） 昭 7
知多政府の組織及財政金融（東拓月報 **3**-3） 大 11
浦鹽斯德國立銀行支店支拂停止に付て（函館商業會議所報 165） 大 8
ユゴラオストーチヌイ株式商業銀行營業狀態（朝鮮銀行月報 **13**-12） 大 12

支 那

謝 慮 禁止現銀出口與金融（銀行週報 509） 民 16
同 經濟危難時期金融界之警戒（銀行週報 662） 民 19
同 銀行學會成立（銀行週報 779） 民 21
*安 藤 榮次郎 山東に於ける金融事情 昭 7 63 頁 菊
馬 寅 初 湖南之經濟與金融（銀行週報 870） 民 23
*外務省通商局 支那金融事情 大 14
*同 支那金融事情 昭 2 1090 頁〔海外經濟調查報告書 1〕
濱 田 峯太郎 支那近代商業の趨勢と金融資本增員の過程（支那 **21**-7） 昭 5
同 日支土着銀行の崩壞過程（上海 950） 昭 10
服 部 岱 三 現下の上海金融情勢（上海 943） 昭 10
服 部 岱 三 上海に於ける現下の金融狀勢に就て（綿業時報 **3**-4） 昭 10
*連 水 篤治郎 支那財政金融現狀の檢討 昭 10 24 頁 菊〔非賣品〕
雙 齋 金融界應負挽救經濟危機之責任（錢業月報 **12**-10） 民 21
同 金融界如何記念 128（錢業月報 **13**-2） 民 22
久 重 福三郎 上海に於ける金融事情（支那研究—創立十周年紀念上海研究號 18） 昭 3
同 廢兩改元の實行と金融壓迫事情の變革（支那研究 31） 昭 8
ホール，ジョセフ・ダブリュ 支那銀行界の人物と政策（世界通信 36） 大 11
*井 村 薰 雄 支那の金融と通貨 4 版 上海 上海出版協會；東京 大阪屋號書店 大 13 570 頁 菊
*同 通貨の種別と金融 2 版 上海 上海出版協會 昭 2 354 頁 四六〔支那財政經濟大系 4〕
市 川 正 義 北支那の金融工作（新天地 **14**-11） 昭 10
郭 垣 列强在東北的金融資本戰（中國經濟 **3**-1） 民 24
郭 壎 溫州金融概況（銀行週報 869） 民 23
繼 盛 調劑平民金融與平民借款（銀行週報 778） 民 21
謙 益 論漢口之金融封鎖（錢業月報 **7**-6） 民 16
鑫 伯 外銀行與我國金融權（錢業月報 **14**-12） 民 23
高 伯 時 銀行淺說（商業月報 **13**-3） 民 22
洪 啓 英 上海金融界投資川省之研究（銀行週報 865） 民 23
顧 季 高 民國 22 年國際經濟與金融之回顧（社會經濟月報 **1**-1） 民 23
*賈 士 毅 國債與金融 民 19
瞿 荊 洲 英美日三國對於中國金融之策動（新中華 **3**-9） 民 24
工 藤 幸 雄 支那に於ける諸資本の活動狀態（拓殖文化 **14**-1） 昭 9
熊 順 一 支那動亂と內地金融（金融研究 **1**-3） 大 13
戈 公 振 日人控制下的東北金融（時事月報 **7**-3） 民 21
蘧 然 外國銀行在我國之勢力與侵略（錢業月報 **13**-6） 民 22

*曲 殿 元 中國之金融與匯兌 上海 大東書局 民 19 180 頁

*滿鐵經濟調查會第一部 天津金融經濟管見 昭 9 73 頁 四六〔經濟資料 49〕

孟 昭 南方金融界投資東北問題之研究(錢業月報 11-6) 民 20

森 次 勳 在支列強資本の研究(國際評論 3-4) 昭 9

長岡克曉 支那の財界と中央財政(東亞經濟研究 7-2) 大 12

西山榮久 上海に於ける近時の貨幣及金融に就て(東亞經濟研究 7-3) 大 12

西里龍夫 轉換期の中國金融界(上海 920) 昭 9

*農林省經濟更生部 支那經濟事情に關する調查 1 卷—最近の金融事情 東京 昭 10 69 頁〔農村金融資料 61, 1〕

王 逢 辛 金融界之聯合戰線(錢業月報 12-7) 民 21

同 金融業應厲行福利平民主義(錢業月報 12-10) 民 21

應 龍 現代講座—上海外國銀行之今昔(民國社會新聞 12-1) 民 24

王 宗 培 中國金融業之新動態及其批評(申報月刊 3-7) 民 23

同 中國金融業之陣容(申報月刊 4-8) 民 24

汪 叔 梅 我國目前銀行事業之病態論斷(銀行週報 795) 民 22

王 善 繼 上海金融之特殊現狀(文化建設 1-5) 民 24

*太田暢 上海に於ける金融事情に就きて〔神戶高商海外旅行調查報告〕 大 10

李 亦 人 甘肅蘭州金融概況(錢業月報 14-6) 民 23

李 龍 門 滿洲及中國內地之日本銀行(中東半月報 3-7) 大同 1

李 榮 翔 上海之金融的地位性質及其前途(申報月刊 3-2) 民 23

同 中國金融的過去與今後(新中華 2-1) 民 23

陸 國 香 湖南之銀行業(國際貿易導報 7-4) 民 24

林 康 侯 上海銀行界與內國公債(銀行週報 781) 民 22

林 春 承 再論福州市金融業之救濟(銀行週報 860) 民 23

劉 鏞 元 「1918」以後日本與英美在中國市場之競爭(民族 2-5) 民 23

崔 毓 珍 濟南金融之調查(銀行週報 750) 民 21

靜 如 廣州金融風潮記(銀行週報 517) 民 16

子 明 經濟侵略下之外國銀行(銀行週報 493) 民 16

同 外國銀行拒收莊票影響於金融及貿易(銀行週報 509) 民 16

鹽谷安夫 浙江財閥について(經濟情報 9-25) 昭 9

滄 水 四國銀行團對華之最近宣言:四國銀行團對華宣言之檢測(銀行週報 314) 民 12

莊 叔 英 今後之外國銀行應嚴加取締(銀行週報 500) 民 16

鄒 兗 經濟侵略下東北金融之危機(時事月報 3-6) 民 19

末永阿二郎 中國の通貨並に金融問題(上海 943) 昭 10

章 乃 器 貨幣金融反映出品來的中國社會(中山文化教育館季刊 2-1) 民 24

同 當前的金融問題(社會經濟月報 2-3) 民 24

同 中國の財政金融問題(東洋 38-7) 昭 10

朱 忍 之 東北金融之觀察(錢業月報 14-5) 民 23

叔 仁 處於今日情勢下之金融業(錢業月報 7-7) 民 16

*田上二雄 長江金融 大 9〔東亞同文書院 17 期生旅行報告 5〕

*臺灣銀行廣東支店編 廣東の金融事情 大 15〔スラバヤ金融事情と合册〕

*臺灣總督府 福建,廣東兩省に於ける金融實況 大 7 97 頁

*臺灣總督府財務局 南支南洋の金融 昭 10 380 頁 菊

武田和吉 青島の通貨並に金融(長崎高商研究館彙報 6-2) 昭 1

譚 秉 文 中國興業銀行停業與今後銀行界應注意之數點(上海市商會商業月報 14-10) 民 23

田中忠夫 長沙の金融(東亞經濟研究 4-1/2) 大 9

*同 支那の產業と金融 東京 大阪屋號 大 10 487 頁 菊

寺西秀武 支那金融界の危機(東洋貿易研究 6-8) 昭 2

沈 祖 杭 福州金融概況(銀行週報 904/05) 民 24

沈 租 彝 福州金融狀況(錢業月報 11-12) 民 20

鄧 邦 傑 汕頭金融業概況(銀行週報 904) 民 24

*東京商工會議所 支那の經濟恐慌に關する調查 1 卷 金融及國際貸借 東京 昭 10 41 頁 菊〔商工調查 56, 1〕

*同 支那經濟事情に關する調查 1 卷—最近の金融事情 東京 昭 10 69 頁 菊〔商工調查 61, 1〕

土屋計左右 最近中華民國金融及外國爲替の大革變(東亞 7-12) 昭 9

張 文 烈 東省金融整理策(東三省官銀號經濟月刊 1-4) 民 18

張 鳳 相 東省金融の整理方策(東三省官銀號經濟月刊 1-4) 民 18

張 一 凡 中國金融業的趨勢(中國經濟 3-1) 民 24

張 格 惟 東北金融大問題(經濟月刊 2-7) 民 19

趙 惠 謨 中國金融資本的特殊性(中國經濟 2-4) 民 23

張 景 瑞 東北投資與上海內國銀行界(人文月刊 2-7) 民 20

張 克 明 漢口金融機關概況(銀行週報 832) 民 23

*朝鮮銀行東京調查部 支那に於ける內外銀行一般(仲野善三郎調) 大 11

*朝鮮銀行調查課 錦州地方に於ける金融事情に就て(西村錦州派遣員報告) 昭 7〔昭 7 調查 42〕

*同 支那新式銀行の現勢 昭 9 65 頁 菊

*同 中國建設銀公司と其の國際性 昭 9 18 頁 菊

*中國銀行總管理處經濟研究室 中國重要銀行最近 10 年營業概況研究 民 22 353 頁

中馬靖友 譯 上海金融事情(支那研究 28/9) 昭 7

宇 蒼 上海資金流通內地之討論(銀行週報 656) 民 19

山上金男 天津金融經濟管見(滿鐵調查月報 14-4/5) 昭 9

楊 蔭 溥 上海之金融及其變動情形(經濟學季刊 2-3) 民 20

同 淞滬抗日戰爭與中國金融業(新中華 1-2) 民 22

楊 一 東省金融整理の實際方法(東三省官銀號經濟月刊 1-4) 民 18

姚 慶 三 中國金融問題之回顧與前瞻(東方雜誌 30-4) 民 22

葉 作 舟 中國金融之危機及其當前問題(東方雜誌 31-6) 民 23

姚 肖 廉 九江金融機關概況(錢業月報 14-6) 民 23

*吉田政治 上海に於ける外國爲替及金融 附世界の銀需給及取引事情 5 版 東京 大阪屋號書店 401, 45 頁 四六

熊 菊 齡 南昌市金融行市之解釋(上海市商會商業月報 15-3) 民 24

尤 保 耕 中國金融之危機及救濟方案(新中華 2-16) 民 23

爾 繩 東北金融問題(東三省官銀號經濟月刊 1-4) 民 18

余 捷 琼 內地金融的崩潰與都市金融的危機(中國經濟 2-3) 民 23

晚近に於ける中國の銀行問題(內外情報 126/27) 大 13

米支合辦懋業銀行の成立(上海日本商業會議所週報 404) 大 8

米支合辦中華懋業銀行上海支店開設進行狀況(通商公報 702) 大 9

蕪湖金融調查(中央銀行月報 3-11) 民 23

蕪湖九江之金融情況(中央銀行旬報 52) 民 19

外蒙の金融と爲替(天津經濟新報 12-7) 民 22

銀行團の由來及其經過の回潮(銀行週報 272) 民 12

銀行法與金融業〔蒼生〕(錢業月報 11-6) 民 20

銀行問題之商確(中央銀行旬報 89) 民 20

銀行と洋貨幣金融問題(銀行週報 191) 民 10

廢兩改元と外國銀行團其後の態度(東洋貿易研究 9-21) 昭 8

廢兩改元與錢業(銀行週報 762) 民 21

廢兩改元と天津銀行公會の實行方法(銀行通信錄 568) 昭 8

福州金融近況(中外經濟週刊 219) 民 16

福州金融情形之一瞥(中行月刊 3-3) 民 20

壞滅する上海金融界(電通經濟週報 2-19) 昭 10

各地金融調查—湖州,感澤,南京,常州,徐州(中行月刊 8-1/2) 民 23

河南省の金融(實業週報 270) 大 9

漢口金融概況(海外經濟事情 5) 昭 10

漢口に於ける全國銀行公會開會情況(漢口實業週報 434/35) 民 12

漢口の金融(內外商工時報 7-2) 大 9

漢口最近金融狀況(通商公報 586) 大 8

甘肅之財政與金融(銀行週報 850) 民 23

廣東金融概況 (昭和9年) (海外經濟事情 7) 昭 10
廣東市最近の金融狀況 (南支那及南洋情報 18) 昭 8
廣東中央銀行の紙幣整理 (東洋貿易時報 4-25) 昭 3
廣東財閥概觀 (電通經濟週報 2-11) 昭 10
廣西金融現狀 (銀行週報 762) 民 21
江西金融概況 (工商半月刊 6-21) 民 23
廣州金融界之大波 (中行月刊 3-5) 民 20
杭州金融業概況 (工商半月刊 2-21) 民 19
杭州市最近之金融業觀 (中行月刊 9-4) 民 23
陝西金融界近況 (工商半月刊 3-6) 民 20
九江金融機關概況 (錢業月報 14-4) 民 23
蒙古の金融 (經濟資料 5-7) 大 8
蒙古實業銀行の新設 (東拓月報 4-1) 大 12
蒙古實業銀行章程 (上海日本商業會議所週報 573) 大 12
南京所在金融機關の近況 (海外經濟彙報 1) 昭 9
南昌之金融 (中央銀行月報 2-2/3) 民 22
日貨排斥による金融上の影響—芝罘 (日本郵船調查資料 17) 大 8
日本在我國金融機關之現勢 (工商半月刊 3-22) 民 20
澳門の金融に付て (通商公報 658) 大 8
溫州經濟及金融事情—在上海帝國總領事報告 (通商公報 753) 大 9
蘭州之金融與貨幣〔佚名〕 (新亞細亞 7-6) 民 23
論粵省之金融 (錢業月報 14-2) 民 23
遼寧金融激變の原因 (東三省官銀號經濟月刊 1-1) 民 18
最近數ケ月間交通部及交通銀行の財政部に對する援助 (支那經濟時報 1-3) 大 10
山東濰縣之金融業 (工商半月刊 6-2) 民 23
山東的銀行業調查 (工商半月刊 7-2) 民 24
嗜町銀行事情 (支那 10-12) 大 8
西南市商業暨陝西省金融概況 (西安支行調查) (中央銀行月報 4-7) 民 24
成都金融情況問題 (中央銀行月報 4-10) 民 24
成都市金融季節之考察 (中行月刊 9-5) 民 23
支那銀行業の現勢 (支那時報 23-3) 昭 10
支那銀行業の現勢 (東洋貿易研究 12-6) 昭 8
支那銀行業の現狀 (滿蒙實業彙報 73) 大 10
支那銀行創立年と銀行所在地の觀察 (銀行週報 270) 民 11
支那銀行事業之近狀 (銀行週報 201) 民 10
支那本部及浦鹽斯德の金融狀況 (朝鮮銀行月報 10-9) 大 8
支那金融界の現勢 (支那時報 22-1) 昭 10
支那金融界の趨勢を見る (支那 26-6) 昭 10
支那金融機關の現狀と改善策 (滿蒙經濟時報 89) 大 9
支那金融の分布及其中心と上海金融業資力の推測 (上海週報 453) 民 9
支那に於ける英國銀行の活動 (經濟月報 2-1) 昭 5
支那に於ける外國銀行の紙幣發行權 (調查時報 6-9) 昭 1
支那に於ける舊式銀行 (東洋貿易研究 44) 昭 1
支那の軍費と金融の現狀 (外國の新聞と雜誌 157) 昭 2
支那の產業と金融 (國際事情 406) 昭 9
支那政府の中國建設銀行創設 (海外經濟彙報 7 月) 昭 7
支那政府の財政改善及金融維持策 (海外經濟彙報 1 月) 昭 7
支那財政部長の金融維持會議召集 (海外經濟彙報 10 月) 昭 6
支那人の見たる新銀行團問題 (朝鮮銀行調查彙報 23) 大 10
新銀行團目的與中國人民之心理解剖 (銀行週報 183) 民 10
四川金融近況 (工商半月刊 6-13) 民 23
四川金融之現狀 (銀行週報 730) 民 20
汕頭に於ける銀行業 (銀行週報 147) 民 9
綏遠金融界概況 (銀行週報 718) 民 20
上海弗銀暴落と金融事情 (海外經濟事情 5-16) 昭 7
上海銀行界と支那の內債 (上海週報 895) 民 22
上海, 漢口, 北京銀行公會對於銀行法意見書 (銀行週報 697) 民 20
上海金融風潮始末 (商業月報 15-7) 民 24
上海金融考 (東三省官銀號經濟月刊 1-3) 民 18
上海金融及爲替事情 (上海週報 444) 民 9
上海に於ける銀行の近狀 (朝鮮銀行月報 12-8) 大 10
上海に於ける支那銀行聯合準備庫と公單制度の改正 (正金週報 34) 昭 8
上海錢莊の將來と聯合準備庫問題 (東洋貿易研究 11-5) 昭 7
上海市金融逼迫と其緩和見込 (上海日本人雜穀肥料同業組合月報 2-1) 大 9
上海支那銀行の調查 (上海 474) 民 11
天津市金融調查 (中央銀行月報 3-9) 民 23

芝罘金融及通貨並度量衡 (調查資料 17) 大 8
青島に於ける金資金の缺乏に因る代引制度と輸入貿易上に及ぼせる影響 (貿易週報 10-8) 昭 7
青島に於ける橫濱正金銀行券の排斥 (海外經濟彙報 10) 昭 4
東北的通貨與金融 (工商半月刊 5-23) 民 22
東三省銀行業之過去及現在 (中行月刊 6-3) 民 22
東省金融整理管見 (東三省官銀號經濟月刊 1-4) 民 18
雲南に於ける金融事情 (通商公報 832) 大 10
我國銀行團之前途 (銀行週報 321) 民 12
楊州金融調查 (中央銀行月報 3-10) 民 23
續浙江財閥小論 (電通經濟週報 2-5) 昭 10
重慶金融機關及貨幣現狀 (工商半月刊 2-24) 民 19
重慶に於ける金融逼迫と現銀輸出禁止 (通商公報 878) 大 10
重慶最近金融狀況—在重慶帝國領事報告 (通商公報 588) 大 8

ス イ ス

黑川 芳藏 瑞西の經濟と金融に就て (同志社論叢 36/7) 昭 6

シ ャ ム

多田 敬二 新嘉坡盤谷を中心とする商業並金融 (南支南洋硏究 1-1) 大 13

2. 金 融 恐 慌

a. 一 般

阿部 勇 世界金融恐慌の深化—アメリカ金融市場の危機 (エコノミスト 9-21) 昭 6
同 世界金融恐慌の展望—その政治的經濟的效果 (中央公論 46-12) 昭 6
*[illegible]チッヒ, ポール 世界金融恐慌の眞相 木村禧八郎 譯 東京 千倉書房 昭 7 206 頁 四六
1. 緒論 2. 金融外交 3. フランスの賠償政策 4. フランスの金融恢復 5. フランス金貯藏の本源 6. 國際政治上の金 7. 爭霸戰 8. フランスと世界恐慌 9. クレヂタンスタルト事件 10. ドイツ恐慌 11. 中歐の危機 12. ロンドン恐慌 13. フランス對イタリー 14. 歐洲の金融獨裁者 15. 金本位制の停止 16. フランス對合衆國 17. 金融戰の損益勘定 18. 將來の見透し
荒木 秀一 信用恐慌より銀行恐慌を經て貨幣恐慌へ (大阪銀行通信錄 435) 昭 8
ボーゲン 銀行恐慌 大山巍 譯 (日本讀書協會會報 155) 昭 8
服部 文四郎 今次金融恐慌の理論的考察 (政治經濟學雜誌 7) 昭 2
*堀江 歸一 金融と恐慌 東京 大鐙閣 昭 2 375 頁 四六
1. 緒言 2. 銀行と金融取引 3. 金融市場の組成分子 4. 國庫と金融市場 5. 金融市場の金利步合 6. 各種金利步合の關係 7. 金融季節 8. 恐慌の發生と金融 9. 恐慌對策の實例 10. 金融市場と日本銀行 11. 日本銀行の金利政策 12. 通貨並に貨幣制度と金融 13. 我國金融機關の改善 14. 銀行利率と市場利率との關係 15.—16. 昭和2年のパニックと其對策
石田 隆一 國際的金融危機の一ケ年 (銀行論叢 17-2) 昭 6
岩崎 博 金融恐慌 (經濟學辭典 II 卷 1 頁) 昭 6
*經濟批判會 譯 國際信用恐慌—インフレーションへの道 東京 叢文閣 昭 7 272 頁 四六〔世界經濟叢書 9〕
北山富久二郎 金融恐慌 (金融大辭典 I 卷 2 頁) 昭 9
菰淵 鎭雄 信用恐慌をめぐる諸問題 (政治經濟硏究 2-3) 昭 9
*小島 精一 金融恐慌論 東京 千倉書房 昭 8 307 頁 四六
牧野 輝智 歐洲の金融危機に就て, 英國金本位制停止の眞相と其今後 (經濟往來 6-11) 昭 6
綠川 光雄 歐洲金融恐慌の經過と動向 (銀行論叢 17-4/5) 昭 6
名和 統一 國際金融恐慌と爲替淸算協定—所謂バーター・システムの理論的考察 (自由通商 7-6) 昭 9
大阪商工會議所 貨幣恐慌と財政恐慌, 金融恐慌 (海外經濟彙報 3/4) 大 9
ラビンスキー, ペー 世界金融恐慌の渦卷 (世界經濟恐慌月報 1) 昭 7
瀨戶 健助 信用恐慌の理論的檢討 (大阪銀行通信錄 416) 昭 7
鈴木 茂三郎 金融財閥資本の「獨占」と恐慌 (中央公論 46-3) 昭 6

平　實　貨幣制度並に信用の恐慌（銀行論叢 22-3）昭 9

高城仙次郎　恐慌の導火線（法學研究 6-2）昭 2

田中鐵三郎　金融上より見たる世界恐慌（銀行通信錄 565）昭 8

友岡久雄　世界金融恐慌とその後の情勢（世界經濟 2-1）昭 8

宇都宮鼎　Moratorium に就て（早稻田政治經濟學雜誌 7）昭 2

國際信用恐慌と世界景氣（財界觀測 12-6）昭 7

モラトリウムに關する研究（銀行判例 3-5）昭 5

歐洲に於ける信用恐慌（財界觀測 11-4）昭 6

世界金融恐慌と日本の勞働者農民（產業勞働時報 280）昭 6

世界的不況原因に對するカッセル教授の說，米國の銀行破綻の原因（銀行論叢 16-2）昭 6

信用恐慌と世界恐慌の底入れ（財界觀測 13-8）昭 7

b. 各　國　別

日　本

蔦　庵　日本金融界之大恐慌（銀行週報 496）民 16

天宅敬吉　金融恐慌の一省察（銀行論叢 9-5）昭 2

有澤廣巳　我國恐慌の進展と金融資本（改造 13-1）昭 5

銀行問題研究會　金融恐慌に對する批判（銀行論叢 9-2/4）昭 2

後藤登喜男　恐慌後の財界推移とその前途（インヴェストメント 6-4）昭 2

同　取引所恐慌から銀行恐慌まで（インヴェストメント 7-4/5）昭 3

土方成美　支拂猶豫令と物價（經濟學論集 6-1）昭 2

堀江歸一　パニックの教訓と銀行業（エコノミスト 5-10）昭 2

同　パニック後の財界（エコノミスト 5-18）昭 2

同　パニックに襲はれた金融市場（改造 9-6）昭 2

堀江歸一　市中銀行の破綻と金融（公民講座 30）昭 2

同　昭和2年のパニック—其經過と對策（三田學會雜誌 21-7）昭 2

細矢祐治　昭和の銀行恐慌と其對策所感（銀行研究 12-6）昭 2

伊庭謙造　金融界の渦紋と銀行の安處（銀行研究 9-1）大 14

猪俣津南雄　金融資本の恐慌對策—恐慌深化の見透しの一つ（改造 13-6）昭 6

井上準之助　經濟恐慌を顧みて（朝鮮及滿洲 236）昭 2

同　休業銀行の整理方針と將來の財界對策に關する希望（銀行通信錄 502）昭 2

石橋湛山　金融恐慌襲來の原因と其救濟策（經濟往來 6-10）昭 6

石井健吾　銀行恐慌と小商工金融（エコノミスト 5-13）昭 2

石澤久五郎　金融恐慌史（我國の）（金融大辭典 I 卷 12 頁）昭 9

*伊藤由三郎　編　昭和金融恐慌史　昭 2〔銀行論叢 9 卷　臨時增刊〕

同　財界未曾有の混亂（銀行研究 8-5）昭 2

同　金融恐慌の原因と其の對策（銀行論叢 8-6）昭 2

神戶正雄　銀行恐慌と銀行革命（時事經濟問題 6）大 12

同　我國未曾有の金融大恐慌（時事經濟問題 59/60）昭 2

勝田貞次　金融恐慌と將來の對策（大阪銀行通信錄 357）昭 2

河津暹　金融恐慌に關する若干の考察（國家學會雜誌 41-6）昭 2

菊本直次郎　國際聯盟問題及金融恐慌と我國（中央公論 48-4）昭 8

桐生梅吉　東都に於ける銀行取付騷動と震災手形法案（銀行論叢 8-5）昭 2

北崎進　昨年金融恐慌に關する井上，武藤兩氏の所論を評す—經濟問題に關する正論，社會厚生經濟觀の立場（中外財界 3-3）昭 3

同　金融恐慌一周年に會せる我金融界の諸問題（中外財界 3-6/7）昭 3

*神戶高商商業研究所　支拂猶豫に關する法律的考察（齋藤常三郎）昭 2　28 頁　菊〔講演集 30〕

香月保　金融恐慌と前後の事情（企業と社會 15）昭 2

松山五葉　銀行恐慌の研究（銀行論叢 9-6, 10-1）昭 2/3

松崎壽　最近の銀行破綻問題（銀行研究 12-5）昭 2

同　今次の恐慌と日本銀行（銀行研究 12-6）昭 2

同　金融恐慌と新銀行法（銀行研究 13-1）昭 2

同　金融恐慌後の財界（銀行研究 13-2）昭 2

同　銀行休業問題と財界（銀行研究 13-6）昭 2

三土忠造　支拂猶豫令と銀行家協調の精神に就て（銀行通信錄 498）昭 2

向井鹿松　1907 年の恐慌と昭和 2 年の金融混亂（財政經濟時報 14-6）昭 2

野々村金五郎　遣された一大教訓（銀行論叢 9-1）昭 2

岡野文之助　恐慌の金融經濟に及ぼせる影響（銀行研究 21-4）昭 6

太田正孝　我國經濟動亂と刻下の二大問題（朝鮮及滿洲 234）昭 2

笠信太郎　銀行恐慌の背後（我等 9-5）昭 2

櫻井兵五郎　金融恐慌と地方（地方行政 35-6）昭 2

產業組合中央會調查部　金融恐慌と產業組合に關する其の後經過（產業組合 269）昭 3

佐野包治　金融恐慌と銀行經營の將來（銀行論叢 8-6）昭 2

佐々木敏郎　差し迫る金融恐慌（プロレタリア科學 3-2）昭 6

千石興太郎　銀行の恐慌（產業組合 209）大 12

妹尾一雄　休業銀行整理法案を評す（銀行研究 14-4/5）昭 3

澁澤榮一　這般の金融大恐慌を顧みて（銀行通信錄 498）昭 2

高橋龜吉　第二の金融大動亂？（中央公論 45-5）昭 5

同　明治維新當時のモラトリユム（經濟史研究 4）昭 5

高橋是清　支拂猶豫令發布前後の狀況と銀行家の態度（銀行通信錄 498）昭 2

谷村一太郎　銀行業を禍した政策（銀行論叢 9-2）昭 2

*東京商業會議所　金融恐慌と其影響　昭 2〔商工調查 5〕

*東京手形交換所　モラトリユーム（山室宗文）〔戰時經濟財政調查報告 10〕〔不詳〕

仲廉　日本金融恐慌後之減俵股利問題（銀行週報 503）民 16

*渡邊廣重　財界恐慌の眞相　大阪每日新聞社　昭 2

山室宗文　金融恐慌から得た教訓（銀行論叢 9-1）昭 2

同　恐慌後の財界と其の前途（エコノミスト 5-17）昭 2

同　昭和2年金融恐慌に就て（工業 15）昭 2

同　昭和2年の金融恐慌に就て（國民經濟雜誌 43-3）昭 2

*同　昭和2年恐慌後の金融市場〔山崎教授還曆祝賀紀念論文集 2 金融篇の內 41 頁〕昭 4

八代圓彥　パニック後の財界と其前途（エコノミスト 5-11）昭 2

安田與四郎　財界混亂の眞因（ダイヤモンド 15-15/17）昭 2

裕孫　日本金融恐慌之導線（銀行週報 496/97）民 16

英國二大經濟雜誌の日本金融恐慌觀（中外財界 2-11）昭 2

銀行支拂停止の刹那（東京經濟雜誌 2123）大 12

金融大恐慌の經濟界に及ぼしたる影響（銀行通信錄 499）昭 2

金融大恐慌とその經過（銀行通信錄 496）昭 2

金融界空前の混亂（ダイヤモンド 15-9）昭 2

金融恐慌後の一年〔九思生〕（大阪銀行通信錄 369）昭 3

金融恐慌滿一ケ年を迎ふる金融界の眞基調（中外財界 3-7）昭 3

今回の恐慌と政府の責任（東洋經濟新報 1242）昭 2

恐慌後一ケ月の日銀勘定の變化（東洋經濟新報 1252）昭 2

恐慌後の變態（エコノミスト 5-12）昭 2

恐慌後の金融制度改善案（東洋經濟新報 1265）昭 2

恐慌後の全國銀行勘定の變動（東洋經濟新報 1268）昭 2

恐慌の洗禮を受けた中流銀行の業況（中外財界 2-17）昭 2

恐慌の總決算（エコノミスト 5-23）昭 2

恐慌の餘波次第に收まる（ダイヤモンド 15-29）昭 2

恐慌と銀行集中の趨勢（東洋經濟新報 1248）昭 2

休業銀行と被處分銀行の預金者救濟問題（貿易 27-12）昭 2

モラトリアムと財界（財界研究 2-6）昭 2

日本金融界大恐慌紀要（銀行週報 499/500）民 16

昭和2年金融恐慌の經過及原因に就て（法政大學論集 3-2） 昭 2

昭和2年金融恐慌史（東洋經濟銀行年鑑 5） 昭 2

昭和2年金融恐慌誌 附：財界安定に關する諸法令（大阪銀行通信錄 357） 昭 2

昭和2年の多難を極めたる金融界の趨勢檢討（中外財界 3-1） 昭 3

手形交換に現れた金融恐慌の影響（東洋經濟新報 1249） 昭 2

統計に現はれたる金融恐慌の影響（大阪銀行通信錄 358） 昭 2

當面の恐慌と其の對策〔財界野老〕（インヴェストメント 5-5） 昭 2

中小銀行に於ける恐慌の打撃（東洋經濟新報 1273） 昭 2

猶豫令中の財界（エコノミスト 5-10） 昭 2

財界恐慌の總勘定（工業之大日本 24-12） 昭 2

全國銀行勘定に及ぼせる恐慌の影響（東洋經濟新報 1253） 昭 2

アメリカ合衆國

*第一銀行調査部 アメリカ金融恐慌について 昭 8〔調査報告 の 3, 5/7〕

濱野 恭平 米國金融恐慌と棉花市場（綿業時報 1-2） 昭 8

服部 喜一 1920 年の米國の恐慌と其後の銀行資金運用の變化（銀行研究 12-6） 昭 2

東浦 庄治 アメリカ金融恐慌と日本の農業問題（帝國農會時報 66） 昭 8

平野 常治 米國金融恐慌と英國經濟界（世界經濟 2-4） 昭 8

深井 英五・安田 與四郎・他 米國金融恐慌の日本への影響（中央公論 48-4） 昭 8

藤原 銀次郎 米國金融恐慌，日本產業界への影響（中央公論 48-4） 昭 8

*神奈川縣商工協會 米國金融恐慌の實相と我國に及ぼす影響 昭 8 神奈川 同協會 30 頁 菊

春日井 薫 米國の金融恐慌と金本位制の將來—我財界への影響と財界の覺悟（銀行研究 24-4） 昭 8

加藤 秀雄 米國恐慌と金本位制（中央銀行會通信錄 360） 昭 8

勝田 貞次 米國金融恐慌と日本財界（改造 15-4） 昭 8

清澤 洌 米國の金融恐慌の解剖（外交時報 680） 昭 8

小島 精一 米國金融恐慌の現段階（外交時報 664） 昭 7

クラム，ノルマン 米國の銀行恐慌（銀行通信錄 569） 昭 8

栗栖 赳夫 米國金融恐慌と外債金貨約款の法律的考察（法律時報 5-5） 昭 8

楠見 一正 米國金融恐慌と獨逸金融恐慌の類似性（經濟時報 5-1） 昭 8

同 米國金融恐慌と金本位制（エコノミスト 11-9） 昭 8

牧野 輝智 米國金融恐慌の眞相と其の影響（斯民 28-4） 昭 8

同 米國金融恐慌の實相及び對策並に其影響（經濟往來 8-4） 昭 8

牧内 正男 米國金融恐慌の法的考察（法律時報 5-4） 昭 8

松本 悟朗 米國金融恐慌の展望（國家社會主義 3-4） 昭 8

松崎 壽 米國金融恐慌と聯邦準備銀行（銀行研究 24-4） 昭 8

宮川 貞一郎 米國の金融恐慌と金本位制の將來（エコノミスト 11-6） 昭 8

永田 得二 米國の金融恐慌を打診す（地方行政 41-4） 昭 8

中澤 辨次郎 米國金融恐慌と日本生絲產業の前途（蠶絲界報 494） 昭 8

二宮 正三 アメリカに於ける信用—貨幣恐慌とインフレーションの問題（經濟評論—叢文閣 2-8） 昭 10

*日本銀行調査局 米國金融恐慌概要 昭 8〔改 147〕

*同 1933 年米國金融恐慌概要 昭 8

大島 堅造 米國の金融恐慌と弗貨の前途に就て（中央銀行會通信錄 361） 昭 8

同 米國の金融恐慌と對米爲替の前途（エコノミスト 11-6） 昭 8

大津 衛 金融恐慌下のアメリカ（世界經濟恐慌月報 1-1） 昭 8

*ロシア問題研究所 譯 アメリカの貨幣及信用恐慌 東京 ナウカ社 219 頁 菊

佐倉 重夫 米國金融恐慌（國際知識 13-4） 昭 8

同 米國の金融恐慌と其前途（國際法外交雜誌 13-4） 昭 8

鹽野谷九十九 合衆國銀行恐慌と聯邦政府による銀行統制の發展（橫濱經濟研究所時報 3-4） 昭 10

鈴木 平吉 米國の金政策—金融恐慌より平價切下まで（銀行研究 27-1/2） 昭 9

高橋 龜吉 米國のモラ的金融禁止と其影響の重點（中央公論 48-4） 昭 8

高城 信次 米國金融恐慌と銀行制度に就て（專賣通信 221） 昭 8

谷口 吉彥 アメリカの金融恐慌と日本のインフレ景氣（經濟往來 8-4） 昭 8

同 米國の金融恐慌と我國財策の轉換（エコノミスト 11-7） 昭 8

*東京朝日新聞社 ドル恐慌の話—日本財界への影響は 東京 同社 昭 8 76 頁 四六

友岡 久雄 アメリカ金融恐慌の原因に就て（世界經濟 2-4） 昭 8

脇村 義太郎 世界經濟解體前提の米國金融恐慌（ダイヤモンド 21-9） 昭 8

アメリカ金融動亂の全貌（財界觀測 14-6） 昭 8

アメリカ金融恐慌その後（改造 15-6） 昭 8

米國銀行恐慌の原因は何處にあるか（國際パンフレット通信 575） 昭 8

米國銀行恐慌の總決算期（東洋經濟新報 1539） 昭 8

米國銀行恐慌再燃の意義と見透し（東洋經濟新報 1508） 昭 7

米國銀行恐慌と我國の各市場（銀行通信錄 566） 昭 8

米國銀行休業の商品市場に及ぼす影響（海外經濟事情 6-10） 昭 8

米國銀行休業と其影響（上海フイリッピン及カナダ）（海外經濟事情 6-10） 昭 8

米國金融危機と其の行方—金流出の中心的要因—金融恐慌の根本問題（經濟情報 6-11） 昭 6

米國金融恐慌に關する調査資料（調査月報 23-4/6, 8） 昭 8

米國金融恐慌のその後と世界的インフレーションへの途〔A. B. C.〕（中央公論 48-5） 昭 8

米國金融恐慌史〔M. S. 生〕（大阪銀行通信錄 429/34） 昭 8

米國金融恐慌と世界各地に於ける影響—在外公使館通報（經濟月報 5-4） 昭 8

米國金融恐慌と其影響（インド，イタリー，ドイツ，ハワイ）（海外經濟事情 6-11） 昭 8

米國金融恐慌とスペイン（海外經濟事情 6-13） 昭 8

米國金融恐慌は銀行の社會化を教ふ（東洋經濟新報 1542） 昭 8

米國金融恐慌座談會（中央公論 48-4） 昭 8

米國金準備條例の解說—米國金融恐慌小史〔M. S. 生〕（大阪銀行通信錄 442/43） 昭 9

米國の銀行恐慌事情（銀行通信錄 566） 昭 8

米國の金融危機と米佛會商（ダイヤモンド 19-33） 昭 6

米國の金融恐慌は財界の大轉機を作らん（東洋經濟新報 1540） 昭 8

米國の金融恐慌座談會（東洋經濟新報 1551） 昭 8

米國の金融恐慌情勢（海外經濟事情 6-10） 昭 8

米國の休業銀行數及預金額（銀行通信錄 564） 昭 8

復興金融會社の活動と貸付內容公表—金融恐慌の導火線（調査月報 23-4） 昭 8

金融恐慌勃發前の米國經濟界概況（調査月報 23-4） 昭 8

金融恐慌に至るまでの米國經濟界（移民情報 5-4） 昭 8

金融恐慌と其前後策—米國（國際事情 355） 昭 8

恐慌が暴露しつゝある米國金融資本を解剖す（東洋經濟新報 1547/50） 昭 8

ミシガン全州の銀行休業令（調査月報 23-4） 昭 8

1907 年の米國の金融恐慌（東洋經濟新報 1251/58） 昭 2

ドイツ

*第一銀行調査部 獨逸の金融恐慌に就いて 1, 2 昭 7 菊

橋爪 明男 7 月恐慌に襲はれたる獨逸大銀行の整理（銀行通信錄 563/65） 昭 8

本位田 祥男 獨逸の金融恐慌を中心として（銀行通信錄 556） 昭 7

楠見 一正 獨逸恐慌對策と獨逸金割引銀行の活動（經濟時報 4-10） 昭 8

同 米國金融恐慌と獨逸金融恐慌の類似性（經濟時報 5-1） 昭 8

同 銀行恐慌と獨逸金融市場の整備（大阪商大經濟研究年報 3） 昭 8

松崎 壽 獨逸の金融恐慌とその教訓（經濟時報 3-6） 昭 6

森 賢吾 獨逸の金融破綻と政局不安（ダイヤモンド 19-22） 昭 6

*日本銀行調査局 獨逸の金融恐慌 昭 6〔獨逸情況報告 6, 3〕

リエッス，アンドレ 獨逸の危機—信用の危機—とその影響（銀行通信錄 549） 昭 6

世界經濟批判會 ドイツ信用恐慌よりイギリスの危機へ（中央公論 46-9） 昭 6

同 人的結合を通じて見たドイツ金融資本の解剖—1931 年金融恐慌の前後（中央公論 48-5） 昭 8

平　實　1931年に於ける獨逸金融恐慌と農業信用組合（經濟時報 4-6）昭 7

豐崎　稔　獨逸恐慌と獨逸式銀行制度—獨逸金融恐慌の一教訓（大阪銀行通信錄 410）昭 6

山崎覺次郎　獨逸今回の金融危機と比例準備の發券制度（經濟往來 6-9）昭 6

米大統領のモラトリウム提案と獨逸金融恐慌（大阪銀行通信錄 408）昭 6

獨逸一般金融機關の支拂制限撤廢に關する緊急令（海外經濟彙報 9）昭 6

獨逸金融危機と列國（銀行通信錄 547）昭 6

獨逸金融恐慌後の歐洲財界（商工月報 7-9）昭 6

獨逸金融恐慌の概要（銀行通信錄 547）昭 6

獨逸金融恐慌の原因に對する一考察（海外經濟彙報 9）昭 6

獨逸に於ける金融恐慌の勃發〔破綻前後の獨逸財政資料〕（內外調査資料 11 月）昭 6

獨逸の金融恐慌（藤本アナリスト 5-8）昭 6

獨逸六大銀行の金融恐慌中に於ける業態（海外經濟彙報 10）昭 6

恐慌時に於ける獨逸銀行業（銀行通信錄 546）昭 6

最近に於ける獨逸の金融恐慌と爲替政策（經濟月報 6-10）昭 9

信用恐慌に對する獨逸政府の措置（調査月報 21-10）昭 6

フランス

アインチッヒ，ポール　フランス危機の諸相とその打開策（金融知識 5-5）昭 10

クロートコフ，ウエ　フランスの金融恐慌（世界經濟恐慌研究 1）昭 8

イギリス

一谷藤一郎　1797年の恐慌と英蘭銀行の兌換停止（經濟史研究 6, 8）昭 5

岩井　茂　英國に於ける金恐慌對策論（商工經濟研究 8-1）昭 7

町田美一郎　1797年の金融恐慌と Bank Restriction Act の制定（三田學會雜誌 24-3）昭 5

松岡孝兒　英國金融資本家の見たる不況原因（經營と經濟 2-6）昭 6

三土忠造　英國金融異變と其影響（エコノミスト 9-20）昭 6

世界經濟批判會　ドイツ信用恐慌よりイギリスの危機へ（中央公論 46-9）昭 6

芹澤彪衞　恐慌裡のイギリス金融政策（經濟 1-3）昭 9

鹽野谷九十九　イギリス經濟恐慌と金本位制度—マクミラン報告を中心として（研究論集 3）昭 7

英國金融恐慌の諸原因（銀行通信錄 555）昭 6

金融恐慌の諸相を示す英國五大銀行（世界經濟 10）昭 7

國際金融恐慌と勞働者階級—特に英國の金本位停止を中心として（產業勞働時報 27）昭 6

イタリー

伊國に於ける銀行界の恐慌と支拂延期令の發布（通商公報 859, 922）大 10/11

伊太利割引銀行の支拂停止（中央銀行會通信錄 226）大 11

オーストリア

西野入愛一　クレジット・アンシュタルト事件（金融大辭典 1 卷 1 頁）昭 9

金融恐慌の口火をつけた墺國銀行界（財界要報 119）昭 7

支　那

井村薰雄　支那金融恐慌の實體（財政經濟時報 22-3）昭 10

尹伯端　從財政危機說到金融危機（國聞週報 12-8）民 24

顧翔群　中國當前之金融危機（銀行週報 791；復興月刊 791）民 22

熊谷康　上海の金融恐慌と國民政府の對策（拓殖文化 15-2）昭 10

許達生　中國金融恐慌之展開（東方雜誌 32-5）民 24

應龍　上海金融恐慌與地產業（民國社會新聞 11-6）民 24

大山卯次郎　米國の銀政策と支那の恐慌（外交時報 726）昭 10

李亦人　中國金融恐慌之基本的解說（錢業月報 11-10）民 20

李立俠　中國金融之危機及其對策（中國經濟 3-6）民 24

楚聲　金融恐慌之救濟（錢業月報 11-12）民 20

孫懷仁　中國金融業之危機及其前途（申報月刊 4-3）民 24

章乃器　金融恐慌與幣制危機（社會經濟月報 1-12）民 23

同　金融恐慌中金融制度的演變（東方雜誌 32-13）民 24

張禹九　四川之金融恐怖與蜀湘東下（銀行週報 878）民 23

棗作舟　中國金融之危機及其當前問題（東方雜誌 31-6）民 23

楊鎭華　美國白銀政策與我國金融恐慌（上海市商會商業月報 15-8）民 24

受百　金融恐慌與工商業之出路（上海市商會商業月報 15-4）民 24

挽救金融恐慌及幣制改革（銀行週報 920）民 24

金融恐慌と中國の幣制改革（滿洲公論 14-11）昭 10

南支那汕頭の金融恐慌（海外經濟彙報 8）昭 8

最近に於ける支那の金融恐慌（東亞 7-12）昭 9

支那インフレと金融恐慌（エコノミスト 13-32）昭 10

支那金融恐慌底知れず（電通經濟週報 2-45）昭 10

支那內地の金融崩潰と重要都市の新なる金融危機（滿鐵調査月報 14-11）昭 9

支那に於ける地方的金融恐慌續發（海外經濟彙報 11）昭 8

支那の金融恐慌に就て（財界觀測 19-10）昭 10

上海金融不安深刻（電通經濟週報 6-24）昭 10

上海金融恐慌の發展（野村合名調査月報）昭 10

東北金融の危機及其救濟方法（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

中國金融之危機與挽救（錢業月報 14-3）民 23

IV. 金　融　政　策

1. 一　　般

a. 一　　般

阿部賢一　金融膨脹論の流行（エコノミスト 9-19）昭 6

赤松　要　高島佐一郎教授著「金融政策」を讀む（商業經濟論叢 8-上）昭 5

フイッシャー，アーヴィング　100％貨幣—商業銀行の破綻を未然に防ぎ，不景氣を打開し國民の債金を解消せしめるための新しい銀行制度案（銀行研究 29-4）昭 10

長谷川忠平　ロバートソン氏の金融政策（銀行研究 14-8；15-2）昭 3

橋爪明男　信用の統制（經濟學論集 4-4）昭 1

同　金融政策の目標（銀行研究 17-2）昭 4

同　世界經濟の解體と金融統制（ダイヤモンド 21-14）昭 8

同　信用統制（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

同　通貨主義と銀行主義（金融大辭典 II 卷 5 頁）昭 9

土方成美　財政政策と金融政策（經濟研究 1-1）大 13

同　金融統制と生產統制（東洋經濟新報 1577）昭 8

本位田祥男　金融統制の必要と其原理（經濟往來 7-6）昭 7

細矢祐治　金融政策の指導力（財政經濟時報 20-2）昭 8

福田敬太郎　景氣變動と信用統制（銀行研究 21-4）昭 6

同　投機資金統制政策の一例（國民經濟雜誌 57-4）昭 9

一谷藤一郎　オー・アーストンの金融統制理論（經濟論叢 35-6）昭 8

同　金融統制の基準（銀行研究 29-2）昭 10

岩崎博　物價平準安定と金融政策（銀行研究 21-4）昭 6

岩崎靜也　信用國有論（銀行論叢 3-1）大 13

春日井薫　世界經濟，金融の變調と我財界—景氣振興策としての通貨諸政策論評（銀行研究 21-5）昭 6

勝田貞次　金融組織上に於ける金準備の作用と効果（銀行論叢 4-5）大 14

金原賢之助　ダアビンの信用政策論（エコノミスト 13-25）昭 10

小林新　經濟循環と金融統制の基礎（ダイヤモンド 14-1/2）昭 1

小林知治　金融統制事業の合同—產業統制論（產業 7-3）昭 5

小泉計太郎　フランク・エワーリング：支拂準備制度による信用統制（銀行研究 27-5）昭 9

熊田克郎　キユウリーの信用統制論（銀行研究 29-4）昭 10

楠見一正　金融統制と預金支拂準備の統制（銀行研究 29-3）昭 10

*マッケンナ　金融政策十四年　前馬治一譯　東京　千倉書房　昭 7　303 頁　四六

1. 銀行預金，物價及び通貨　2. 通貨收縮問題—重行種の大藏省政策　3. 失業問題　4. 賠償問題と國際債務　5. 通貨，信用及び商況　6. 物價と金本位制　7. 金本位制への傳修　8. アメリカの好景氣とイギリスの不景氣　9. 中央銀行政策の發展　10. 貸借對照表を通じて觀たる金融現象の動態　11. 貨幣制度發展の百年史　12. 貨幣金融政策と不景氣　13. 金本位制と貨幣管理　14. 國際債權債務關係の宿寃り

松岡孝兒　信用統制に就て（經濟論叢 37-2）昭 8

松崎壽　金融統制の意義に就て（銀行研究 18-3）昭 5

*同　財界不況と金融政策　東京　大同書院　昭 6　384 頁　菊

1. 金解禁後の金融政策と再禁止論　1. 井上藏相の緊縮節約論批判　2. 通貨政策の變革と發券制度の改善　3. 金解禁後の通貨政策　4. 金解禁後の物價及金利問題　5. 金輸出再禁止論の誤謬

II. 工業金融特に中小商工業の金融難設　1. 工業金融と我國の社債制度　2. 中小商工業金融と無盡業　3. 最近の中小商工業金融問題　4. 政府及地方自治體と中小商工業金融

III. 銀行の合理化と改革問題　1. 銀行の合理化　2. 最近に於ける二三の金融問題　3. 日本銀行制度改革問題

IV. 結論　1. 配當金綜合課稅反對論に關する疑問　2. 金利問題に對する實際家の見解　3. 井上準之助氏著「戰後に於ける我國の經濟及金融」を讀む

松崎壽　金融統制（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

南亮三郎　「信用統制と景氣變動」—高島教授の新著を語る（商學討究 5-下）昭 6

美濃部亮吉　公債政策と金融統制（改造 17-11）昭 10

宮田喜代藏　高島佐一郎教授著「信用統制と景氣變動」（商業經濟論叢 8-下）昭 5

中田榮次郎　社會的經濟的革新方法としての金融政策（臺灣時報 81）昭 1

中谷實　銀行の信用膨脹に就て（經濟論叢 30-6；31-1）昭 5

同　信用統制と支拂準備政策（經濟論叢 37-3）昭 8

日本銀行調查局　大戰後の各國金融政策及法規（內外調查資料 2-11）昭 5

丹羽豐　金融統制と金融政策（金融研究 2-8）大 14

奥村永藏　信用統制より計畫經濟へ（銀行研究 23-3）昭 7

大野彌曾次　金融統制の基準として見たる三つの原則（山口商學雜誌 7-1）昭 7

大野純一　高島佐一郎教授著「金融統制論」（商學討究 6-下）昭 7

*大阪高商銀行業務研究室　社會問題と金融政策（松崎壽）大 15〔調查報告 12〕

*笠信太郎　通貨信用統制批判　東京　改造社　昭 9　432 頁　菊〔日本統制經濟全集 2〕

志賀志那人　金融社會化論（社會事業研究 18-9）昭 5

島本融　金融統制の目的（綿業時報 3-11）昭 10

下山元一　大戰後の金融政策に就いて（綿業時報 2-12）昭 9

鹽野谷九十九　金融政策の基準としての一般物價水準（中央銀行會通信錄 379）昭 9

左右田誠一　財界の循環性と金利政策に就て（商事研究 4-1）大 12

高橋龜吉　蓄積及資金の統制（經濟往來 7-10）昭 7

*同　金融統制論　東京　改造社　昭 10　353 頁　四六〔現代金融經濟全集 8〕

1. 金融流制原理と其の經濟基礎　2. 金融統制の目的と其の手段　3. 自然發生的金融統制　4. 目的意識的金融統制　5. 金本位制の崩壞と金融統制の革命　6. 統制インフレーション　7. 中央銀行の金融統制　8. 計畫的金融統制

高島佐一郎　金統制と信用統制との我が時論と理論（國民經濟雜誌 44-4）昭 3

*同　金融政策〔經濟學全集—改造社 16 の內 175 頁〕昭 5

I. 金融政策序說　1. 金融政策の概念と範圍　2. 金融政策の彈力性　3. 金融政策の主體と實行者　4. 金融政策實行上の協調と分擔　5. 金融政策における指導原理　6. 安定的金融政策を根基づける數量說の再吟味

II. 新金本位政策　1. 新金本位の舊金本位から別れる所—政策　2. 新金本位運用に役立つ英國幣制下の貨幣無體化　3. 英國金本位法等に謳れる其の新運用の諸相　4. 右と比較されての本邦金本位下の時代錯誤相　5. 新金本位運用を必要ならしめた所緣と指標　6. 新金本位運用を導き來つた客觀的情勢　7. 新金本位運用下の貨幣價值安定の理論と政策

III. 中央銀行政策　1. 新政策實現の爲の中央銀行制度修訂の絕對的必要　2. 修訂原理としての能動性と統一性と國際性と公共性と非營利性　3. 信用統制力の實現を往く爲の預金準備率の法定とその集中　4. 發券政策の推移と預金準備集中政策と關らせてのその展望　5. 安定化的割引政策の發展　6. 安定化的公開市場政策の發展　7. 中央銀行政策の清算と諸國中央銀行政策間の協調

*同　信用統制と景氣變動　東京　同文館　昭 5　828 頁　菊

I. 新金本位と信用統制　1. 名目主義貨幣理論の發展と新金本位制への解釋力　2. 新金本位の心と金解禁の基本的準備殊に失業對策　3. 新舊金本位の姿と預金準備の集中　4. 新金本位運用下における貨幣價值安定の理論と政策　5. 一團の貨幣理論家の展示したる貨幣價值決定理論　6. 金流制と信用統制とに關する時論と理論　7. 過大國債の歸結としての資本課稅案又は代案の復活の意味　8. 金解禁論上閉却されてゐる諸問題

II. 景氣變動とその安定〔省略〕

III. 經濟學に關する斷章〔省略〕

同　景氣安定を目指しての金本位政策金融政策轉換の必要と障碍（商業經濟論叢 8-下）昭 5

*同　金融統制論　東京　千倉書房　昭 6　333 頁　菊〔商學全集 41〕

1. 金融調節と金融統制　2. 金融統制の五重要目的　3. 金融統制と金融市場　4. 金融統制の組織と組織力　5. 通貨，銀行信用の統制的運用　6. 統制手段としての發券政策　8. 統制手段としての銀行利率政策と公開市場政策　8. 英米佛の國際金融爭覇戰上の一局目　9. 戰債，賠償支拂猶豫案の影響—債權統制化への一里標　10. 世界的景氣變動とその金融統制的見透し—結び

武田春次郎　金融市場統制の問題（法文論叢 2-2）昭 3

田中金司　高島教授著「金融統制論」を讀む（國民經濟雜誌 51-6）昭 6

同　金融統制の一經驗（國民經濟雜誌 54-2）昭 8

同　金融統制論（中央公論 50-1）昭 10

豐崎稔　景氣惡化と金融資本の政策（大阪銀行通信錄 407）昭 6

同　信用政策と景氣搖揚（經濟時報 5-9）昭 8

土田杏村　ドウーグラスイズムの意義（銀行論叢 3-2/6）大 13
内田勝司　金利政策の意義及効果（金融三層 2-5）昭 6
吉田正三　E. F. M. ダービン：社會主義政府の信用政策（銀行研究28-2）昭 10
結城豐太郎　金融の統制（銀行論叢 9-6）昭 2

ドウーグラスイズムの研究（文化 5-2/4）大 12
フランク・ロック氏の貨幣銀行組織改造論（大阪銀行通信錄 279）大 9
景氣安定策としての信用統制の價値—ピグーの景氣政策（財界研究 9-6）昭 5
ケインズ氏の積極金融政策（世界經濟 12）昭 7
金統制と信用統制（國民經濟雜誌 44-4）昭 3
金融統制上に於ける金の不必要（東洋經濟新報 1292/94）昭 3
リフレーション—復元金融政策〔バンカー誌〕（外國の新聞と雜誌 260）昭 7
最近各國の信用政策はどう働いてゐるか（國際パンフレット通信 489）昭 7
大戰後の各國金融政策及法規（內外調査資料 2-11）昭 5

b. 各國別

日本

阿部賢一　行詰れる低金利策（エコノミスト 10-23）昭 7
馬場鍈一　金解禁後の對策としての產業及金融の振興（組國 3-4）昭 5
橋爪明男　日本金融統制論（經濟往來 7-11）昭 7
本田文雄　財界の不況と銀行政策（銀行論叢 5-2）大 14
堀江歸一　震災後の金融並に金融政策（改造 5-11）大 12
同　大銀行專制の金融政策（エコノミスト 5-21）昭 2
細貝正邦　政黨的金融政策と來年度豫算（東方時論 7-3）大 11
細矢祐治　我國金融政策の大觀（銀行研究 11-4）昭 1
同　現下本邦に於ける通貨及金融政策批判（銀行研究 22-5）昭 7
飯田清三　低金利政策の行衞（東洋經濟新報 1596）昭 9
池田龍平　低金利政策を徹底せしめよ（財政經濟時報 18-4）昭 6
井上準之助　銀行の整理進捗と通貨の統制（銀行通信錄 508）昭 3
同　年末金融の對策（經濟知識 4-5）昭 5
一瀨粂吉　產業振興策と其の金融問題（塵本アナリスト 4-14）昭 5
神戶正雄　其後の金融方策と其効果（時事經濟問題 16）大 12
春日井薰　財界救濟の金融的諸策を論評す—平價切下，債務額減免，元利支拂延期，特別貸付，通貨膨脹等（銀行研究 23-1）昭 7
木村雄次　當局の金融政策（保險銀行時報 1206）大 14
北崎進　難局に直面せる新藏相の財政金融對策（金融三層 5-8）昭 9
小林知治　金融の統制，事業の合同，產業統制論—日本產業合理化の根本問題（產業 7-3/4）昭 5
*小島昌太郎　日本金融工作論　東京　千倉書房　昭 8　276 頁　四六
1. 我が國現下の金融工作　2. インフレーション政策　3. 最近の金融界の基調　4. 日本銀行の金融統制　5. 公債の增發と金融統制との關聯的關係　6. 通貨膨脹の二態樣　附錄
同　吾が金融工作と其効果（經營經濟研究 14）昭 8
*久保久治　金融革命宣言　東京　千倉書房　昭 8　203 頁　四六
楠見一正　金解禁後の金融統制（經濟時報 1-10）昭 5
牧村宏　金利引下げ問題（稅 10-11）昭 7
牧野輝智　低金利政策論（經濟往來 8-9）昭 8
松崎壽　金利引下と產業不振興策（銀行研究 9-3）大 14
美濃部亮吉　公債政策と金融統制（改造 17-11）昭 10
三宅嘉十郎　金融經濟國策確立の急務（銀行研究 6-5）大 13
長岡保太郎　失業對策としての金融政策（社會政策時報 74）昭 1
中村重夫　金利の低下を目的とする改善策—金輸出の解禁に關聯して（銀行研究 12-1）昭 2
丹生龜吉　經濟界の前途と金融政策（產業時報 2-1）大 11
日本銀行調査局　白耳義の通貨安定方策〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月）昭 5
*日本商工會議所　各地金融梗塞の實狀並に之が對策に關する各商工會議所意見　昭 7　226　菊〔調査資料 21〕

*日滿經濟調査局　日本金融統制論　附：金融統制基準調査統計表二部添附（三宮維信述）同局　昭 8　82 頁〔日滿經濟論壇 2〕
岡野文之介　新銀行法と銀行政策（銀行研究 14-1）昭 3
大久保偵次　地方金融統制の話（經濟知識 10-5）昭 8
奥野平　金解禁準備と特別融通の整理問題（銀行論叢 10-6）昭 3
下垣政秋　信用統制に依る物價統制論の誤謬—最近の物價下落の原因は何か（銀行研究 19-3）昭 5
高橋龜吉　金融中心政策の惡結果〔經濟時評〕（經濟往來 5-4）昭 5
竹岡陽一　優越金融政策の必要（電氣事業研究資料 1-2）昭 1
竹內寅　金融難と其の打開策（實業界 42-6）昭 6
谷川正輔　我金融政策の目標（銀行論叢 16-2）昭 6
豐崎稔　景氣惡化と金融資本の政策（大阪銀行通信錄 407）昭 6
山室宗文　產業及金融政策としての不況打開策（經濟往來 5-11）昭 5
山成喬六　我事業界と金利政策は如何（エコノミスト 2-4）大 13
米澤恒雄　低利資金の解說（產業組合 350/52）昭 9/10

再び預金利下問題に就て（銀行論叢 22-6）昭 9
金融不圓滑の改善策（エコノミスト 5-18）昭 2
金融緩和への期待を問ふ—金融政策としての時局匡救インフレーションの効果（財界觀測 13-5）昭 7
金融難緩和の諸方策（エコノミスト 8-23）昭 5
金融政策の動向と景氣の現段階（經濟知識 13-3）昭 10
金融政策の混迷と其の原因（經濟情報 9-20）昭 9
金融調節は何を意味するか（エコノミスト 11-19）昭 8
信用緩和策の具體化と金融基調（財界觀測 12-10）昭 7
低金利政策を徹底すべし（東洋經濟新報 1610）昭 9
通貨調節か銀行救濟か（エコノミスト 11-2）昭 8
財源捻對策としての低金利政策（財界觀測 13-9）昭 7
實行容易なる金利低廉策（エコノミスト 2-12）大 13

アメリカ合衆國

*天野健雄　アメリカの新經濟政策と金融統制　東京　巖松堂　昭 10　235 頁　菊
*第一銀行調査部　米國に於ける金融統制と中央銀行設立案　昭 9〔調査報告 4, 6〕
堀江歸一　米國の金融政策（エコノミスト 2-21）大 13
今村武雄　アメリカ信用膨脹政策（財政經濟時報 19-3）昭 7
岩崎博　米國に於ける緊急金融政策（銀行研究 22-6）昭 7
小島精一　北米合衆國聯邦準備銀行體制の改組問題—特に通貨政策の統制を中心として（社會政策時報 172）昭 9
熊田克郎　米國の信用政策（大阪銀行通信錄 390）昭 5
同　米國の信用政策の世界的影響（大阪銀行通信錄 390）昭 5
メッツ　英米の信用政策及信用伸縮力（調査月報 17-5）昭 2
宮川貞一郎　米國に於ける低金利と金融統制（ダイヤモンド 23-27）昭 10
太田黑敏男　米國金融制度及び其政策の再吟味（明大商學論叢 15-2/6）昭 9
*東京商工會議所調査部　アメリカの新經濟政策と金融統制　東京　巖松堂　昭 10　235 頁　菊
*朝鮮銀行調査課 譯　米國に於ける通貨並に金融上の最近の變革に就て　昭 8〔調査 61〕

米國大統領の金融政策と其の對支影響（內外調査資料 6-4）昭 9
米國インフレーション政策の第二復興金融會社（經濟知識 8-1）昭 7
米國の財界と新金融政策の効果（東洋經濟新報 1274）昭 2
米國政府の貨幣及び銀行政策（大阪銀行通信錄 432）昭 8
米國低金利政策の分析（エコノミスト 11-12, 21）昭 8
銀行家の見たるルーズヴェルトの政策（京都經濟時報 55）昭 9
矛盾に陷れる米國の金融政策（東洋經濟新報 1504, 1506）昭 7

ドイツ

楠見一正　獨逸銀行界の改造とライヒの援助（經濟時報 4-2）昭 7

楠見一正　ワーゲマンの獨逸信用制度改革案（經濟時報 4-3）昭 7

西原直康　ナチス政府の信用並に銀行政策としての三立法（銀行通信錄 592/94）昭 10

野田香　ドイツ金融政策と英財界（中央銀行會通信錄 377）昭 9

奥村永藏　ワーゲマンの金融改革案を讀む（銀行研究 22-6）昭 7

島本融　ナチスの金融政策（銀行研究 26-4）昭 9

獨逸經濟の信用量と最近の信用政策（調査月報 25-5）昭 10

獨逸の金融對策（金融三層 3-12）昭 7

獨逸政府の金融統制と不動產抵當債權低利借換（海外經濟事情 10-9）昭 10

海外金融思潮—ナチス獨逸の金融政策（銀行論叢 24-2）昭 10

フランス

權時　法西斯意大利的金融政策（銀行週報 835）民 23

日本銀行調査局　佛國のフラン安定政策〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月）昭 5

新庄博　佛國金融の改善策（國民經濟雜誌 41-6）昭 1

芹澤彪衞　恐慌裡のイギリス金融政策（經濟 1-3）昭 9

高島佐一郎　英國現下の貨幣金融政策主動向—米國金融恐慌を英米リフレ合流契機とみて（東洋經濟新報 1541）昭 8

*灘口義敏　譯　現代金融論—金融及產業に就て　東京　東京書房　昭 8　319 頁　菊〔マクミラン委員會報告〕〔參照目次：III, 1, b〕

英國マクミラン委員會報告摘要（調査月報 21-10）昭 6

英國マクミラン〔金融及產業〕委員會報告（東洋經濟新報 1462）昭 6

英國勞働黨の金融政策（庶民金融 8-8）昭 7

英國政府の起債制限に關する覺書（海外經濟彙報 6）昭 8

英國財界の展望と金融經濟政策に對する諸銀行家の見解（世界經濟 2-4）昭 8

イギリスの金融政策と世界貿易（世界經濟 3-3）昭 8

マクミラン委員會〔金融及產業審議會〕の報告（愛知の貿易 3-8）昭 6

磅爲替の統制と產業復興金融政策（世界經濟 12）昭 7

インド

日本銀行調査局　印度の通貨法〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月）昭 5

イタリー

權時　法西斯意大利的金融政策（銀行週報 835）民 23

滿洲國

漫廬　東省金融整理に關する私見（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

*滿洲商業會議所聯合會　滿洲金融改善調査資料　昭 1

*同　滿洲金融制度並に政策改善に關する要請書　昭 2

田中美淵　誤れる對滿貨幣金融政策（朝鮮及滿洲 201）大 13

富田勇太郎　日滿金融統制のお話（經濟知識 10-3）昭 8

張文烈　東省金融整理策（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

張鳳相　東省金融の整理方策（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

揚一　東省金融整理の實際方法（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

哈爾賓商務總會の金融政策（朝鮮銀行月報 10-12）大 9

奉天官民の金融維持策に就て（調査時報 6-8）昭 1

改良東北銀行之政策（經濟月刊 3-4, 東三省官銀號經濟月刊 3-1）民 20

滿洲國金融整理の方策（民政部旬刊 1-3）大同 1

滿洲中央銀行の成立—全滿金融の統制（外交時報 63-2）昭 7

遼寧省官理金融暫行章程（滿蒙事情 113）昭 6

遼寧省金融管理と現洋出境禁止令（大連商工會議所報 167）昭 4

東省金融紊亂の原因及救濟策（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

東省金融整理管見（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

東省金融整理の根本方策（東三省官銀號經濟月刊 1-4）民 18

ロシア

蘇聯に於ける金融統制の話（金融知識 5-2）昭 10

支那

李立俠　中國金融之危機及其對策（中國經濟 3-6）民 24

章乃器　中國金融統制論（新中華 1-15）民 22

鄭澄清　如何挽救衰頽之金融及工商業（銀行週報 889）民 24

佟仲華　銀稅眞像和金融改革應取的諮問（東方雜誌 32-3）民 24

議定救濟哈埠金融方案（工商半月刊 3-6）民 20

支那金融政策の動向（東洋貿易研究 14-6）昭 10

支那政府の財政改善及金融維持策（海外經濟彙報 1）昭 7

2. 中央銀行政策

i. 一　般

a. 一　般

長谷川正三郎　世界金需給と中央銀行政策（銀行研究 19-1）昭 5

春日井薰　中央銀行の使命と通貨政策（銀行研究 12-1）昭 2

*神戸高商商業研究所　限外發行論（田中金司）昭 2　42 頁　菊〔講演集 34〕

小泉計太郎　中央銀行政策と物價水準（銀行研究 19-2）昭 5

熊田克郎　兌換券發行權統一問題（銀行論叢 24-4）昭 10

同　最近に於ける各國中央銀行政策の進化（銀行研究 29-3）昭 10

車谷馬太郎　ムリナルスキー：中央銀行の協調を論ず（大阪銀行通信錄 404）昭 6

松崎壽　銀行券の特質と其の發行政策（銀行研究 2-1）大 11

同　通貨政策の變革と中央銀行制度の改善（經濟時報 1-10）昭 5

宮田喜代藏　田中金司：金本位制と中央銀行政策（商業經濟論叢 7-下）昭 4

長尾義三　田中金司：金本位制と中央銀行政策（高岡高商研究論集 2）昭 5

二宮丁三　田中金司：金本位制と中央銀行政策（山口高商調査課時報 2-1）昭 5

岡本春三　中央銀行政策の發達（銀行論叢 12-4）昭 4

大山巍　ムリナルスキー：金と中央銀行の協調（日本讀書協會々報 112）昭 5

新庄博　手形準備乎證券準備乎（國民經濟雜誌 56-9）昭 9

高梨壯夫　中央銀行政策と物價（中央銀行會通信錄 328）昭 5

高島佐一郎　田中金司著「金本位制と中央銀行政策」讀後（國民經濟雜誌 47-6）昭 4

*田中金司　金本位制と中央銀行政策 4 版　東京　寶文館　昭 5　524 頁　菊

1. 金本位制の研究　1. 金屬の價値と貨幣の價値　2. 貨幣制度に於ける金の地位　3. 英國金本位復歸の意義　4. 金本位反對論者の擡頭新貨幣制度　5. 金本位の下に於ける購買力平價說の妥當性　6. 動態的購買力平價說と金解禁問題　7. 貨幣數量說の一批評

II. 中央銀行の研究　1. 限外發行論　2. 英國の新發券制度　3. 在外正貨論　4. 中央銀行民間預金の意義　5. 中央銀行の手形割引に關する一問題　6. 中央銀行の公開市場政策

III. 兼營主義・分業主義の研究　1. 銀行制度に於ける兼營主義と分業主義との接近　2. 兼營主義・分業主義總論

*朝鮮銀行調査課　世界各國中央銀行の法定準備要求額　昭 7〔昭 7 調査 49〕

吉田正三　アインジーデル：手形準備か證券準備か—發券銀行政策の一問題（銀行研究 27-1）昭 10

正貨準備制度の進化—ミッドランド銀行月報（東洋經濟新報 1682）昭 10
中央銀行の金融方策に關する意見（商工月報 8-7）昭 7

b. 各 國 別

日 本

青木一男 日本銀行制度の改正と資本逃避防止法の制定に就て（斯民 27-7）昭 7
青木得三 日銀發券制度の改正に就て（銀行通信錄 557）昭 7
荒木光太郎 日銀制度改革論（經濟往來 7-6）昭 7
馬場鍈一 金融統制力の回復が急務（ダイヤモンド 16-24）昭 3
海老原竹之助 日銀統制力と金輸出解禁問題（銀行研究 15-4）昭 3
橋爪明男 日本銀行制度改革論（經濟研究 3-3）昭 1
同 日銀制度改革の要點（エコノミスト 6-17）昭 3
同 戰後に於ける銀行券統制方法の變化（銀行研究 16-1）昭 4
服部文四郎 保證準備發行額擴張に關する各種の論旨と其の一批判（早稻田政治經濟學雜誌 6）昭 2
平野清 日銀制度改革の根本問題（銀行研究 5-1/2）大 12
堀江歸一 保證準備擴張の是非（エコノミスト 2-11）大 13
同 保證準備擴張の設（エコノミスト 3-3）大 14
同 日本銀行の金利政策（エコノミスト 3-7）大 14
同 日本銀行改善の問題（エコノミスト 4-10）昭 1
細矢祐治 金融市場の趨勢と日銀統制機能の問題（銀行研究 14-4）昭 3
同 日本銀行を如何に改善すべきか（財政經濟時報 15-10）昭 3
同 日本銀行發券制度改善に就て（財政經濟時報 18-1）昭 6
福田德三 日銀の動脈硬化に關する山本・井上兩氏の論戰（改造 10-3）昭 3
井上辰九郎 比例準備制か保證限度擴張か（政治經濟時論 6-1）昭 6
井上辰九郎 日銀制度の改革に就て（エコノミスト 10-9）昭 7
伊勢島光雄 日本銀行發券制度改革論（商學研究雜誌 7）昭 5
神戸正雄 銀行と黨弊—實は日銀改革問題（時事經濟問題 7）大 12
同 保證準備擴張と限外發行（時事經濟問題 10）大 12
同 日銀改正案（時事經濟問題 55）昭 1
同 日銀の改造及兌換券發行方法の問題（時事經濟問題 76）昭 3
春日井薰 本邦發券制度の改正を論ず—日銀制度改革の意義利弊及今後の運用（銀行研究 22-6）昭 7
經濟攻究會 日本銀行改善案（大阪銀行通信錄 351）昭 1
北崎進 日銀改善案の中核—財界刻下の一問題（中外財界 1-23）昭 1
同 日銀制度の改革を要する理由（財政經濟時報 15-10）昭 3
同 多年の懸案たる日銀改善案の歸趨—從來の改善案大綱，當面の改善諸問題（中外財界 3-17）昭 3
同 新に問題となつた日銀發券制度の改正（中外財界 5-11）昭 5
高後虎雄 日銀發券制度改正問題を繞りて（產業 8-3/4, 6, 8/9）昭 6
櫛田光男 日本銀行發行制度の改正について（大阪財務 174）昭 7
楠見一正 ワーゲマンの獨逸發券制度改革案を評す（銀行研究 23-2）昭 7
松崎壽 日本銀行制度改善問題（銀行研究 12-2）昭 2
同 日銀の市場統制力問題（銀行研究 14-7）昭 3
同 日銀の財界統制力（竹原經濟時報 14）昭 3
同 金解禁と發券制度の改革（銀行研究 16-1）昭 4
同 通貨政策の變革と中央銀行制度の改善（經濟時報 1-10）昭 5
三俣淺治郎 日銀制度の改善（エコノミスト 8-9）昭 5
森本正義 日本銀行發券制度改正論（丘人 208）昭 4
*武藤山治 日本銀行條例改正私見 大阪實業同志會 大 12
中村重夫 日本銀行發券制度の改正私見（銀行研究 13-4）昭 2
同 金解禁及日銀發券制度改革問題（銀行研究 16-1）昭 4

西原龜三 日本銀行改造論（東洋經濟新報 1317）昭 3
野崎龍七 發券制度の改正に含まれた諸問題（ダイヤモンド 20-16）昭 7
岡野文之助 日本銀行の改善問題（銀行論叢 7-6）昭 1
大內兵衞 日本銀行改造論（經濟時論 8-2）大 9
榊原二郎 保證準備擴張論（銀行研究 8-3）大 14
佐野包治 保證準備擴張問題私見（銀行論叢 3-1）大 13
瀨賀弓成 日銀改革問題（政治經濟評論 97）昭 2
志達定太郎 日本銀行納付金制度の創設と發券制度の改正（稅 10-7）昭 7
*東京商工會議所 保證準備擴張問題に關する參考資料 昭 3〔商工調査 13〕
山崎覺次郎 日本銀行の發券制度は如何にして改正すべきか（國家學會雜誌 41-1）昭 2
山崎靖純 日銀の誤れる金融政策，圓爲替は大局的下落（東洋經濟新報 1620）昭 9
吉田寬 日銀制度改正とインフレーション（財政經濟時報 15-7）昭 7
結城豐太郎 保證準備擴張論と金利問題（エコノミスト 2-10）大 13

發券制度改善の話（經濟知識 5-1）昭 6
保證準備擴張論（東洋經濟新報 1105）大 13
保證準備の擴張と日銀の改造（東洋經濟新報 1132）大 14
インフレーションと日銀改制問題（エコノミスト 10-9）昭 7
重ねて日銀制度の改善に就て（東洋經濟新報 1313）昭 3
經濟攻究會の日銀改善案（東洋經濟新報 1224）昭 1
內外地銀行券統一問題（銀行券統一の方法と其の用意）（金融知識 5-4）昭 10
日本銀行發券制度の改正に就て（京都經濟時報 1-9）昭 5
日本銀行改善案（銀行通信錄 491）昭 1
日本銀行改造論に就て（東京經濟雜誌 2127）大 12
日本銀行の根本改革に就て（經濟往來 7-6）昭 7
日銀發券制度改正建議（銀行通信錄 539）昭 5
日銀保證發行制限額を擴すべし（東洋經濟新報 1228）昭 1
日銀改善案と世界の趨勢（エコノミスト 6-18/19）昭 3
日銀改造の要目（東洋經濟新報 1134）大 14
日銀の政策と金融の前途（東洋經濟新報 1418）昭 5
日銀の通貨統制策の批判（東洋經濟新報 1536）昭 8
日銀の通貨統制と金利（エコノミスト 13-5）昭 10
日銀利下後の金融—發券制度根本改革の計畫（エコノミスト 10-8）昭 7
日銀制度改善問題（東洋經濟新報 1312）昭 3
日銀制度の事實上の改善（東洋經濟新報 1074）大 12
鮮銀保證準備擴張と限外發行稅の引下（大連商工月報 204）昭 7
中央銀行の金融方策に關する意見（商工月報 8-7）昭 7

アメリカ合衆國

*日本銀行調査局 合衆國聯邦準備局の政策に關する論爭 大 10〔調活 147〕
チヤンドラー 米國聯邦準備銀行の信用統制力（調査月報 16-5）昭 1
*ウァールバーグ，ポール・エム 米國正貨準備制度の本質 淺田惠一譯 昭 7 東京內外書房 1050 頁 菊
米國株式の狂騰と聯銀の金融政策（東洋經濟新報 1303/04）昭 3
米國聯邦準備銀行の金融政策（財界研究 9-6）昭 5
米國聯邦準備銀行融資方法の緩和（海外經濟事情 5-17）昭 7
米國聯邦準備制度の金通貨及信用政策に就て（調査月報 11-9）大 10
米國準備銀行最近の信用政策（東洋經濟新報 1309）昭 3
合衆國準備銀行の政策と物價（銀行通信錄 508）昭 3
金融の總本山—米國聯邦準備銀行の金融政策是非の大論爭（國際パンフレット通信 220）昭 3

ド イ ツ

獨逸中央銀行の金本位維持聲明（銀行通信錄 568）昭 8

フ ラ ン ス

熊田克郎 佛蘭西銀行の政策と其歸結に就て（銀行研究 13-4）昭 2
*日本銀行調査局 一九二六年佛國經濟界の推移と佛蘭西銀行の施設 東京 同所 昭 2 10 頁 菊

ペルー, フランソア 金と佛蘭西銀行の政策（商工月報 7-11） 昭 6

平 實 佛蘭西金流入と中央銀行政策（銀行論叢 23-2） 昭 9

佛蘭西銀行正貨準備の增加（銀行通信錄 552） 昭 7

イ ギ リ ス

勝田貞次 英蘭銀行の金利政策と爲替相場（金融研究 2-9） 大 14

マッケンナ 英蘭銀行改革論（調査月報 17-5） 昭 2

田中吾一 金輸禁後の英蘭銀行の金融政策（銀行研究 11-2） 昭 1

田中金司 英蘭銀行の通貨政策（國民經濟雜誌 57-1） 昭 9

山本菊一郎 英蘭銀行政策の發展（經友 23） 昭 9

英蘭銀行改革の一試案（東洋經濟新報 1671） 昭 10

英蘭銀行の低利政策（エコノミスト 3-20） 大 14

金解禁後の英蘭銀行政策に對する國民輿論の反抗—信用統制問題〔海外事情〕（財界研究 8-2） 昭 5

滿 洲 國

穀價の下落と中央銀行の通貨政策（滿洲經濟時報 143） 昭 9

ii. 割 引 政 策

a. 一 般

ヘップバーン 金準備と割引政策（調査月報 11-1） 大 10

平野 清 社會問題上より見たる割引政策の地位（銀行研究 11-1） 昭 1

カッセル, グスタフ 果斷に物價の安定を計ることが中央銀行割引政策の要諦（中外財界 5-9） 昭 5

同 世界の主要貨幣學說—貨幣制度統制手段としての割引政策（東洋經濟新報 1486） 昭 7

栗原芳夫 割引政策に就て（銀行研究 20-6） 昭 6

牧野輝智 金利政策（金融大辭典 I 卷 3 頁） 昭 9

松崎壽 割引政策概論（商業及經濟研究 18） 大 9

同 割引政策の眞髓（銀行研究 5-1） 大 12

同 正貨政策と割引政策（銀行研究 7-2） 大 13

同 產業循環の調節と割引政策（銀行研究 10-4） 昭 1

同 割引政策の充實條件（銀行研究 10-3） 昭 1

同 割引政策の本質（商業及經濟研究 44） 昭 1

同 割引政策と正貨政策との差異（商業及經濟研究 45） 昭 2

同 財界統制策としての割引政策（社會政策時報 76） 昭 2

同 割引政策の有效條件とその標準（商業及經濟研究 50） 昭 3

同 低金利政策に就て（藤本アナリスト 4-10） 昭 5

同 金利政策（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

同 割引政策（經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7

三浦實 割引政策（金融大辭典 III 卷 4 頁） 昭 9

中村重夫 公定割引步合決定の指針（銀行研究 9-4） 大 14

岡田純夫 金利引下の本質と其實際（銀行研究 13-5） 昭 2

リエッス, アンドレ 中央銀行金利引下問題に就て（銀行通信錄 437） 大 11

左右田誠一 財界の循環性と金利政策に就て（商事研究 4-1） 大 12

高田文造 中央銀行と金利政策（金融三層 5-7） 昭 9

田中金司 中央銀行に於ける割引手形の署名數に就て（國民經濟雜誌 42-5） 昭 2

遠山貞一 金利引下論に於ける通貨論の誤謬（銀行研究 6-4） 大 13

內田勝司 金利政策の意義及效果（金融三層 2-5） 昭 6

物價安定と割引政策（正金週報 34） 昭 5

カッセル 教授の國內及び國際割引政策—中央銀行の國際的協力を力說（中外財界 5-3） 昭 5

金準備と割引政策（調査月報 11-10） 大 10

b. 各 國 別

日 本

阿部賢一 行詰れる低金利策（エコノミスト 10-23） 昭 7

青木茂 日銀の利下と金解禁問題（銀行論叢 8-5） 昭 2

平野清 日米銀行利率と割引政策（銀行研究 2-4） 大 11

土方久徵 金解禁後の金利政策（實業界 40-1） 昭 5

同 英國の金輸出禁止と日銀利上げ（中外財界 6-10） 昭 6

土方成美 日銀利下と銀行の貸出政策（エコノミスト 3-9） 大 14

堀江薰一 不自然なる日本銀行利下設を排して恐慌再襲の危險を說く（中央公論 35-12） 大 9

同 日本銀行の金利政策（エコノミスト 3-7; 4-4） 大 14/昭 1

堀切善兵衞 不況回復は低金利政策より（政治經濟時論 7-9） 昭 7

井上辰九郎 異論の餘地なき利下斷行（エコノミスト 3-9） 大 14

井上準之助 金利引下の方策（太陽 32-12） 昭 1

石卷良夫 金利政策と日本銀行の地位（銀行研究 11-5） 昭 1

神戶正雄 金利引下の要望（時事經濟問題 17） 大 12

同 日銀の利下（時事經濟問題 35） 大 14

同 金利引下策の行詰（時事經濟問題 47） 昭 1

同 金利引下策と日銀利下（時事經濟問題 52） 昭 1

同 利下政策の失敗と其糊塗方策（時事經濟問題 53） 昭 1

川瀨和夫 低金利政策と銀行經營の交錯を論ず（銀行論叢 23-3） 昭 4

北崎進 日銀の金利政策（中外財界 1-19） 昭 1

前田繁一 日銀利下問題外四編（經濟往來 5-12） 昭 5

牧村宏 金利引下げ問題（稅 10-11） 昭 7

牧野輝智 低金利政策論（經濟往來 8-9） 昭 8

松崎壽 現時の金利引下問題（銀行研究 4-1） 大 12

松崎壽 金利引下論の誤謬（銀行研究 6-3） 大 13

同 金利引下に關する諸說を評す（銀行研究 7-1） 大 13

同 日銀利下の斷行を評す（銀行研究 8-5） 大 14

同 金利引下と產業振興策（銀行研究 9-3） 大 14

同 金利引下の根本問題（公民講座 27） 昭 2

宮島清次郎 時機を誤れる日銀利下（エコノミスト 4-20） 昭 1

森田久 不景氣回復策としての日銀利下げ（我觀 42） 昭 2

小川鄕太郎 日本銀行の金利引下（インヴェストメント 1-5） 大 14

大家門十郎 日銀金利引下げ論を排す（ダイヤモンド 12-27） 大 13

志立鐵次郎 整理期金融方針—日本銀行金利引下不可（財政經濟時報 8-3） 大 10

志賀京一 吾國の割引政策に就て（銀行論叢 7-2） 昭 1

杉程次郎 日本銀行の公定步合引下に就て（銀行論叢 4-6；法學新報 35-6） 大 14

鈴木彥四郎 日銀利下問題（東京經濟雜誌 2118） 大 11

高城仙次郎 日銀利下の可否を論ず（銀行研究 8-4） 大 14

田中貢 金利引下の根本策（エコノミスト 5-2） 昭 2

遠山貞一 金利引下論に於ける通貨論の誤謬（銀行研究 6-4） 大 13

山田鷹雄 低金利政策と其の効果（政治經濟時論 7-10） 昭 7

山成喬六 我事業界と金利政策を如何（エコノミスト 2-4） 大 13

安田與四郎 金利は引下ぐべきか（ダイヤモンド 23-7） 昭 10

物價と割引政策（東洋經濟新報 1043） 大 12

物價調節と金利政策に對する高橋藏相の意見（銀行通信錄 406） 大 8

變態利子引下（ダイヤモンド 15-30） 昭 2

本格的低金利時代到來（エコノミスト 11-8） 昭 8

未だ利下の時機でない（エコノミスト 2-19） 大 13

金本位問題並に再禁止是非—日銀利上と金輸出再禁止（杉並聲人）（邦文の外國雜誌 1-9） 昭 6

今日は利下の時機か（財政經濟時報 **11**-5） 大 13

コール協定率引上問題と日銀金利政策の裏面（エコノミスト **13**-34） 昭 10

矛盾せる低金利政策（エコノミスト **5**-21） 昭 2

日銀の金利引下事情と其影響（エコノミスト **3**-9） 大 14

日銀利上と通貨膨脹（東洋經濟新報 865） 大 8

日銀利下げの必要（ダイヤモンド **19**-16） 昭 6

日銀利下の可否（東京經濟雜誌 2121） 大 11

日銀利下論（東洋經濟新報 1180） 昭 1

日銀利下と銀行の破綻（エコノミスト **5**-7） 昭 2

日銀利下と保險への影響（保險銀行時報 1564） 昭 7

日銀利下と金融（ダイヤモンド **14**-30） 昭 1

日銀利下と金融市場（エコノミスト **4**-20） 昭 1

日銀利下と公債相場（ダイヤモンド **20**-9） 昭 7

日銀利下と其影響（エコノミスト **8**-20） 昭 5

日銀利下と其影響（財政經濟時報 **13**-14） 昭 1

日銀利下と我財界（財界研究 **1**-5） 昭 1

利下と日銀の責任加重（エコノミスト **3**-9） 大 14

正貨擁護に日銀利上（エコノミスト **9**-20） 昭 6

低金利策の總動員とその影響の見透し（ダイヤモンド **20**-26） 昭 7

低金利政策を徹底すべし（東洋經濟新報 1610） 昭 9

低利政策と金融の前途（エコノミスト **4**-5） 昭 1

財源難對策としての低金利政策（財界觀測 **13**-9） 昭 7

アメリカ合衆國

長谷川忠平　聯邦準備銀行の割引政策〔ベックハート〕（銀行研究 **11**-4） 昭 1

平野　清　日米銀行利率と割引政策（銀行研究 **2**-4） 大 11

同　聯邦準備銀行の割引歩合變動の效果（商業及經濟研究 26） 大 11

古坂富城　米國聯邦準備銀行と其の累進割引歩合（經濟評論一叢文閣 **1**-1） 大 14

岩崎　博　紐育準備銀行の利上と世界の金融大勢（銀行研究 **10**-3） 昭 1

金野　豐　米國聯邦準備銀行の金利引上及貸出制限政策と其經濟市場に及ぼす影響（大阪銀行通信錄 272） 大 9

松崎　壽　米國に於ける割引政策問題（國民經濟雜誌 **33**-1/4） 大 11

中村重夫　米國聯邦準備銀行の割引政策（國家學會雜誌 **39**-8/9） 大 14

奥田　勳　米國準備銀行割引歩合（銀行論叢 **7**-6；8-1） 昭 1/2

レツフイン，ダウエル　米國準備銀行の割引政策評論（調査月報 **11**-7） 大 10

スプラーグ　米國聯邦準備銀行の割引政策に就て（調査月報 **11**-7） 大 10

米國聯邦準備割引政策に就て（銀行通信錄 464） 大 13

米國低金利政策の分析（エコノミスト **11**-21） 昭 8

紐育準備銀行利上の意義（エコノミスト **4**-17） 昭 1

聯邦準備銀行の割引政策（ダイヤモンド **12**-16） 大 13

イギリス

金野　豐　英蘭銀行の金利と金の移動（大阪銀行通信錄 391） 昭 5

勝田貞次　英蘭銀行の金利政策と爲替相場（金融研究 **2**-9） 大 14

日本銀行調査局　英蘭銀行の利下及其の事情〔政變前後の英國財政資料〕（內外調査資料 11 月） 昭 6

英國勞働黨の五大銀行合同提唱（銀行通信錄 573） 昭 8

英蘭銀行利下と倫敦市場金利の動向（經濟情報 **9**-27） 昭 9

最近英蘭銀行の割引政策に就て（商工月報 **7**-6） 昭 6

インド

平野　清　印度に於ける銀行利率の季節的變動と其調節策（商業及經濟研究 37） 大 14

滿洲國

市川正義　滿洲中央銀行利下の意義（滿洲評論 138） 昭 9

ロシア

露國金利政策（海外商報 857） 昭 2

iii. 公開市場政策

a. 一　般

青木得三　オープン・マーケット・オペレーション（金融大辭典 I 卷 7 頁） 昭 9

春日井薫　公開市場取引反對論の檢討（銀行研究 **24**-3） 昭 8

松崎　壽　公開市場政策（經濟學辭典 II 卷 2 頁） 昭 6

美濃部亮吉　公債政策と金融統制（改造 **17**-11） 昭 10

佐久間長次郎　中央銀行の市場取引政策の理論に就て（銀行研究 **23**-5） 昭 7

島本　融　所謂公開市場取引に就て（經濟論叢 **29**-6） 昭 4

新庄　博　公開市場買入政策の一實例（國民經濟雜誌 **55**-5） 昭 8

*田中金司　中央銀行の公開市場政策〔經營學論集一同文館 2 の內 22 頁〕 昭 3

インフレーション政策としての公開市場取引の話（經濟知識 **7**-5） 昭 7

b. 各　國　別

日　本

阿部賢一　市場操作の效能と限界（エコノミスト **11**-8） 昭 8

同　公債の消化力問題（エコノミスト **13**-1） 昭 10

銀行問題研究會調査部　時局と金融界 附：マーケット・オペレーションの功罪（銀行論叢 **20**-3） 昭 8

飯田清三　日銀マーケット・オペレーションの限界—インフレ發展の新段階（銀行研究 **27**-3） 昭 9

石卷良夫　金融上より觀たる公債消化の限界（銀行研究 **27**-6） 昭 9

春日井薫　公開市場取引反對論の檢討—財政的インフレーションの善後策としての效果（銀行研究 **24**-3） 昭 8

前田安彦　最近の我國通貨の動きと日本銀行公開市場政策（中央銀行會通信錄 361） 昭 8

牧　健介　公債市場操作の持續性と金融業者（金融三層 **6**-6） 昭 10

松崎　壽　公債インフレと金融界—日銀オープン・マーケット・オペレーションの再吟味（經濟時報 **6**-5） 昭 9

笠　信太郎　日銀オープン・マーケット・オペレーションの限界—統制インフレーションに對する素描（批判 **5**-2） 昭 9

白石幸三郎　公開市場政策の限界（經濟知識 **10**-2） 昭 8

高橋美之　オープン・マーケット・オペレイション：非常時財政に於けるその機能とその行衞（信託協會會報 **8**-6） 昭 9

田中金司　日本銀行の公開市場政策（國民經濟雜誌 **54**-3） 昭 8

一般市場取引と通貨膨脹の防止（エコノミスト **11**-4） 昭 8

公債發行限度の研究—惡性インフレ論とインフレ讃美論（東洋經濟新報 1639） 昭 10

公債引受難と日銀引受制度（金融知識 **5**-2） 昭 10

公債の金融機關への偏在とその社會的意義（電通經濟週報 **2**-37） 昭 10

公債消化問題と日本銀行の對策（金融知識 **5**-1） 昭 10

市場操作と國債發行方法（エコノミスト **12**-22） 昭 9

アメリカ合衆國

アンダースン　米國聯邦準備銀行の國債買入政策（調査月報 **22**-7） 昭 7

川上良兒　聯邦準備制度の一般市場取引の金融統制作用（銀行論叢 **13**-4） 昭 4

平　實　聯邦準備銀行の公開市場買入政策（銀行論叢 **21**-5/6） 昭 8

米國聯邦準備銀行の公開市場政策變更（銀行通信錄 575） 昭 8

準備銀行の Open Market Policy 變更（經濟聯盟 **3**-2） 昭 7

3. 金融機關政策

a. 一　般

相賀　實　銀行の檢査及監督に就て（銀行研究 **11**-5） 昭 1

相賀　實　銀行實地檢査論（銀行研究 **18**-3, 5; **19**-1/2, 5）昭 5
*ダグラス　信用機關の社會化　岩村忍 譯　東京中央公論社　昭 4　163 頁　四六
長谷川安兵衛　銀行の檢査制度（會計 **23**-2）昭 3
同　銀行檢査に就て（銀行論叢 **24**-1）昭 10
橋爪明男　銀行の統制（經濟往來 **7**-10）昭 7
藤城敬二　銀行檢査制度に就て（銀行研究 **5**-3/4）大 12
井川忠雄　銀行檢査制度（金融大辭典 I 卷 13 頁）昭 9
伊藤義路　ロバートソン銀行政策と物價水準（商學論叢 **2**-1）昭 2
岩井仙吉　マクドナルド氏の銀行政策（銀行研究 **13**-5）昭 2
加賀覺次郎　銀行の監査機關に就て（大阪銀行通信錄 332）大 14
川瀨外樹三郎　銀行監査と職業監査人（銀行論叢 **23**-5）昭 9
カッセル　通貨安定方法と銀行政策（銀行論叢 **22**-1）昭 9
春日井薫　銀行社會論の提唱（銀行研究 **10**-7）昭 1
同　銀行社會化論（銀行研究 **11**-7）昭 1
ケインズ　銀行組織に依りて物價を統制し得るや（銀行論叢 **25**-4）昭 10
小泉計太郎　國際聯盟「商業銀行に對する國家の干渉」（銀行研究 **27**-2）昭 9
*國民同志會調査部　諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料　昭 2　22 頁
久保田富雄　信用機關の社會的統制（產業研究 5）昭 6
串本友三郎　銀行の檢査監督に關する獨逸の新刊書（銀行研究 **12**-5）昭 2
マック，アーサー　銀行國營論に就て（銀行通信錄 485）昭 1
松倉慶三郎　銀行國營の緊要を論ず（法律新聞 2896）昭 3
松岡孝兒　銀行國有論（金融大辭典 i 卷 5 頁）昭 9
松崎壽　シドニー・ウェッブの銀行國有論（商業及經濟研究 29）大 12
三上太一　銀行國營論に就て（銀行研究 **10**-6）昭 1
毛利英於菟　ロバートソン：銀行政策と物價水準（經濟研究 **3**-4）昭 1
ニッヒン　銀行檢査論（銀行論叢 **1**-2）大 12
オーブスト，ゲオルグ　私營銀行監督論（大阪銀行通信錄 396）昭 5
*大阪銀行集會所　銀行の檢査及監督法　大 8　250 頁
*同　銀行の檢査方法　2 版　昭 8　194 頁〔銀行實務懸賞文集 11〕
*尾崎行雄・田川大吉郎　銀行國營論—金本位廢止論　東京　日本評論社　昭 6　353 頁　四六
佐伯玄洞　銀行國有論に就て（大阪銀行通信錄 453）昭 10
佐多忠隆　銀行統制の進展（改造 **15**-6）昭 8
シヤストネ　銀行國營論（日本讀書協會會報 77）昭 2
田川大吉郎　銀行國營論（東洋經濟新報 1283/85）昭 3
田邊忠男　金融機關統制の可能性，妥當性（經濟學論集 **5**-5/6）昭 10
上田貞次郎　ギルド社會主義者の銀行管理論（財政經濟時報 **11**-11）大 13

銀行業者と保護政策（自由通商 **3**-9）昭 5
銀行破綻と檢査制度（財政經濟時報 **13**-15）昭 1
銀行會社檢査私設制度（通商公報 1057）12
銀行國營論（大阪銀行通信錄 328）大 13
銀行の檢査に就て（大阪銀行通信錄 306）大 12

b. 各　國　別

日　本

安藝國雄　明治政府の銀行政策（企業と社會 10）昭 2
堀江歸一　銀行並に信託會社に對する政策（エコノミスト **3**-2）大 14
細矢祐治　普通銀行の經營方針と銀行政策（銀行研究 **4**-2/4）大 12
藤原泰　銀行信託會社統一論（銀行研究 **21**-4）昭 6
同　無資格銀行消滅後の銀行政策（銀行研究 **24**-1）昭 8
石卷良夫　銀行減配問題と銀行監督の革新（銀行研究 **9**-2）大 14
神戸正雄　銀行監督問題（時事經濟問題 9）大 12
同　政府及日銀の銀行檢査（時事經濟問題 69）昭 3
葛西奧羽之亮　所謂金融業者に對する警視總監の權限（自警 191）昭 10
木村秀太郎　銀行監督の現狀と銀行條例改正の急務（金融研究 **2**-1）大 14

黒川次郎　銀行の檢査を效果的に行ふ具體的方法（大阪銀行通信錄 430/34）昭 8
楠見一正　銀行の減配提唱（經濟時報 **1**-8）昭 4
松崎壽　我國銀行政策の缺陷（銀行研究 **4**-4）大 12
同　銀行政策の轉換可否（銀行研究 **25**-4）昭 8
三上太一　銀行檢査官と銀行檢査（銀行研究 **9**-6）大 14
大藏省銀行局　我國銀行檢査制度と其現況（保險銀行通信 489, 491, 495/97）昭 3
瀨賀弓成　特殊銀行改革問題（政治經濟評論 98）昭 3
左右田誠一　本邦金融組織と當面の銀行政策（銀行研究 **4**-4）大 12
杉程次郎　金融機關の整備殊に銀行改善の要諦（銀行論叢 **1**-1）大 12
竹内恒吉　銀行檢査制度の不備（エコノミスト **1**-4）大 12
遠山貞一　銀行三大機關設立論（銀行研究 **2**-2）大 11

銀行業の監督問題（東洋經濟新報 1031）大 12
銀行業と國家統制（銀行通信錄 590）昭 10
銀行檢査問題（中央銀行會通信錄 243）大 12
銀行檢査制度の改善（財政經濟時報 **10**-2）大 12
銀行並に信託會社に對する政策（エコノミスト **3**-2）大 14
金融制度調査會に於ける普通銀行改善問題の經過（商工經濟研究 **2**-1）昭 2
金融政策より見たる地方銀行と大銀行支店—大藏省の新方針を評す（エコノミスト **11**-16）昭 8
臺灣銀行の監督（ダイヤモンド **15**-10）昭 2

アメリカ合衆國

井川忠雄　米國の銀行檢査（經濟知識 **3**-1/2）昭 5
河井九吉　米國銀行界最近の統制（金融三層 **4**-11）昭 8
小島精一　ルーズヴェルトの銀行統制（社會政策時報 171）昭 9
同　米國銀行統制の新段階—1935 年銀行法の檢討（社會政策時報 182）昭 10
*日本銀行調査局　米國に於ける銀行政策に就て　昭 5〔經濟彙報 1〕
大下禎五郎　聯邦準備局の對加盟銀行警告（銀行研究 **15**-6）昭 3
*關口一郎　米國の銀行制度改革問題　東京　新日本同盟　昭 10　59 頁　四六
鹽野谷九十九　合衆國銀行恐慌と聯邦政府による銀行統制の發展（橫濱經濟研究所時報 **3**-4）昭 10
*時務研究會　米國の銀行制度改革問題　昭 10

米國に於ける地方小銀行の改善策に就て（銀行通信錄 535）昭 5
米國の新銀行政策に就て（銀行通信錄 578）昭 9
米國政府の貨幣及び銀行政策（大阪銀行通信錄 432）昭 8
銀行業と國家統制—最近に於ける米國銀行業の趨勢（銀行通信錄 590）昭 10
最近特に注目される米國の新銀行政策（中外財界 **4**-23）昭 4

ベルギー

*日本銀行調査局　白耳義の通貨安定並國立銀行制度改正　昭 1
*東京經濟學協會　ベルギーの銀行制度改正と通貨整理（椿田助作）昭 4

ドイツ

*第一銀行調査部　獨逸ノ銀行改革　昭 10　18 頁　菊〔調査報告 5, 3〕
楠見一正　獨逸銀行統制論（經濟往來 **8**-6）昭 8
*日本銀行調査課　獨逸國民社會主義的銀行改革　昭 9〔海外經濟彙報號外 5〕
西原直廉　ナチス政府の信用並に銀行政策としての三立法（銀行通信錄 592/94）昭 10
オーブスト　私營銀行監督論（大阪銀行通信錄 396）昭 5
齋藤常三郎　獨逸の銀行監査法（法律新報 273）昭 6

獨逸に於ける銀行統制の話（金融知識 **5**-1）昭 10
獨逸に於ける金融機關の新設禁止（海外經濟彙報 10）昭 9
獨逸の銀行國營審議（銀行通信錄 573）昭 8

フランス

白井芳太郎　大銀行の橫暴と銀行國營策（但し佛蘭西の話）（銀行研究 **13**-1）昭 2

*朝鮮銀行調査課　佛國對印度支那政策と印度支那銀行の組織改正に就て　昭 10　80 頁　菊〔調査報告 32〕

イギリス

*第一銀行調査部　英國の銀行國有論　昭 10　23 頁　菊〔調査報告 5, 2〕

*同　英國の銀行制度改革論　昭 10　17 頁　菊〔調査報告 5, 4〕

平井信也　マクドナルド氏の銀行政策（銀行研究 **13**-5）昭 2

ホルデン　戰後の英國銀行政策（大阪銀行通信錄 257）大 8

春日井薫　銀行國有と獨立勞動黨（銀行研究 **9**-1）大 14

同　銀行市營計劃に就て—バーミンガム市營銀行等の批評（明大商學論叢 **10**-2）昭 6

久保田實　コールの銀行國有論（我觀 **12**-11）昭 9

谷口吉彥　英國勞働黨の銀行國有論（經濟論叢 **24**-2）昭 2

イタリー

伊太利金融機關の國營化（世界經濟 **2**-5）昭 8

オーストリア

齋藤常三郎　墺太利の新業務監視規定—金融機關に關して（法曹會雜誌 **13**-4）昭 10

ロシア

極東共和國の銀行政策復興（朝鮮銀行月報 **12**-9）大 10

ソビエット露西亞の銀行政策〔X. Y. Z. 生〕（朝鮮及滿洲 251）昭 3

支那

馮肇樑　論國民政府應如何處置外國銀行（上海總商會月報 **7**-8）民 16

金子繁太郎　國民政府の銀行政策（支那 **22**-6）昭 6

慧　中國之銀行制裁問題（經濟週刊 25）民 19

崔曉岑　如何使金融更有組織（銀行週報 727）民 20

金融事業改革問題（經濟學季刊 4-4）民 22

財政部の銀行に對する檢查を論ず（銀行週報 159）民 9

V. 中央銀行

a. 一般

荒木秀一　民間預金（經濟學辭典 V 卷　1 頁）昭 7

服部文四郎　キッシュ並にエルキン共著の中央銀行論（早稻田政治經濟學雜誌 15）昭 4

同　中央銀行の納付金制度と官營（經濟法律論叢 **2**-2）昭 6

平野清　發券銀行の解放問題（商業及經濟研究 22）大 10

堀江歸一　中央銀行と金融市場〔堀江歸一全集—改造社 III 貨幣及金融篇下の內 350 頁〕昭 4

細矢祐治　中央銀行の機能と日本銀行の改善（銀行研究　**12**-2/5）昭 2

井上辰九郎　英蘭銀行其他歐米の發券制度（財政經濟時報 **17**-1）昭 5

石井豐　通貨管理機能と中央銀行（大阪銀行通信錄 379）昭 4

岩井仙吉　ハーヴェー卿の中央銀行論（銀行研究 **16**-6）昭 4

岩崎博　中央銀行の營業週報の解說（銀行研究 **19**-5）昭 5

笠井重太　キッシュ，シー・エッチ：中央銀行管理組織（銀行研究 **28**-3）昭 10

春日井薫　中央銀行の使命と通貨政策（銀行研究 **12**-1）昭 2

同　兌換銀行券發行と預金銀行業務との關連—通貨主義研究の一側面オヴァストウン卿（明大商學論叢 **10**-5/6：明大創立滿五十年紀念論文集　商學篇）昭 6

同　中央銀行經營機關の構成—日銀參與制度改正論と發券銀行の獨立性（銀行研究 **25**-5）昭 8

加藤良平　現代中央銀行批判（保險銀行時報 1636/40）昭 8

キッシュ，シー・エィチ；エルキン，ダブルュー・エイ　比較中央銀行論（外國の新聞と雜誌 182）昭 3

北崎進　中央銀行の職能と日本銀行の地位（金融三層 **3**-2）昭 7

清島梓　中央銀行の發券機能に就て（銀行論叢 **13**-1）昭 4

同　中央銀行組織論（銀行論叢 **13**-2）昭 4

同　中央銀行準備論（銀行論叢 **13**-4）昭 4

*國際聯盟事務局東京支局　世界に於ける中央銀行の貨幣用金準備　昭 8

*倉持德久　中小商工業金融及中央銀行の研究　東京　有斐閣　昭 7　343 頁　菊

黑川芳藏　中央銀行の管理に就て（同志社論叢 33）昭 5

同　國際的協調の必要と中央銀行間の協力に就て（同志社論叢 50 周年紀念論文集）昭 10

串本友三郎　各國發券銀行規定對照（銀行論叢 **17**-5）昭 6

同　中央銀行の發券準備に關するワーゲマンの新說を批判す（銀行論叢 **18**-4）昭 7

同　中央銀行のインフレーション對策（法と經濟 **3**-3, 5）昭 10

松岡孝兒　中央銀行の獨立性より見たる政府貸上金に就いて（經濟論叢 **35**-3）昭 7

同　中央銀行の獨立性に就いて（經濟論叢 **35**-4）昭 7

同　中央銀行役割の發展に就いて（經濟論叢 **36**-1）昭 8

同　中央銀行協力の發展に就いて（經濟論叢 **36**-3）昭 8

同　中央銀行の發行準備に就いて（經濟論叢 **37**-5）昭 8

同　中央銀行兌換準備檢討（經濟論叢 **38**-1）昭 9

松崎壽　中央銀行（經濟學辭典 IV 卷　2 頁）昭 6

水野淳　米英日の中央銀行批判（銀行論叢 **16**-3）昭 6

中原一郎　通貨調節と中央銀行の關係に就て（銀行論叢 **7**-3）昭 1

*中村重夫　銀行券發行制度概說　東京　文雅堂　昭 3　450 頁　四六〔銀行講座〕

1.—5.〔省略〕
6. 英蘭銀行の發券制度 i. 銀行券の發行規定 ii. 一部準備法の功過 iii. 欧洲大戰と發券制度 iv. 金本位の回復 7. 米國聯邦準備銀行の發券制度 i. 國立銀行の發券制度 ii. 聯邦準備制度の創設 iii. 聯邦準備銀行の發券制度 iv. 聯邦準備制度の發達 8. 獨逸の發券制度 i. 欧洲大戰前の帝國銀行 ii. 欧洲大戰と通貨の膨脹 iii. レンテン馬克の發行 iv. ライヒスバンクの改造 9. 佛蘭西銀行の發券制度 i. 佛蘭西銀行の發達 ii. 銀行券發行制度 iii. 欧洲大戰と發券制度 10. 日本銀行の發券制度 i. 國立銀行の發券制度 ii. 日本銀行の初期の發券制度 iii. 伸縮的制限法の採用 iv. 伸縮的制限法の實績 附錄 省略補注

中西 仁三 貨幣及銀行兩主義の貨幣理論と銀行券發行制度（經濟研究一岩波書店 **2**-2） 大 14

西野入 愛一 一般預金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

小汀 利得 經濟原論探訪一中央銀行と市中銀行（經濟往來 **6**-5） 昭 6

尾田 榮三 中央銀行論（銀行研究 **16**-4） 昭 4

岡本 春三 中央銀行論（大阪銀行通信錄 *366*/67） 昭 3

岡野 鑑記 國家の經濟統制活動と中央銀行（外交時報 737） 昭 10

大喜多謹一郎 兌換銀行券發行に就いて（中央銀行會通信錄 289/91, 293） 昭 2

大藏省理財局 主要發券銀行の發券準備規定（調査月報 **17**-1） 昭 2

*太田黒 敏男 各國中央銀行研究 東京 明大出版部 昭 1 340 頁

越知 昌三 中央銀行の金利（經濟研究 **3**-4） 昭 1

パルマード, モーリス 發券銀行の金に就いて（大阪銀行通信錄 414） 昭 7

リエッス, アンドレ 發行銀行對政府關係の危險（銀行通信錄 488） 昭 1

同 發券銀行の信用監督に就て（銀行通信錄 521） 昭 4

千家 恒麿 銀行の銀行（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

瀨戸 健助 景氣上昇期と中央銀行の信用統制（大阪銀行通信錄 370） 昭 3

汐見 三郎 國庫預金制度と兌換券發行高との關係（經濟論叢 **24**-1） 昭 2

白石 幸三郎 各國發券制度の話（經濟知識 **3**-4） 昭 5

鈴木 平吉 欧洲諸國の發券銀行と幣制（國民經濟雜誌 **40**-3） 昭 1

平 實 中央銀行の物價統制に關する一考察（銀行論叢 **21**-1/2） 昭 8

田中 金司 中央銀行（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

陳 淸 華 中央銀行概論（中央銀行旬報 *36*/37, 48/49） 民 19

*東京商工會議所 中央銀行の發券機能 東京商工會議所 昭 3 114 頁 菊〔商工調査 15〕

姚 崧 齡 世界二十國家中央銀行制度之比較（經濟月刊 **2**-6/7） 民 19

*全國經濟調査機關聯合會 中央銀行の市場統制 昭 4〔彙報別册 36〕

銀行兌換券發行稅法（〔上海〕上海經濟月報 **5**-10） 昭 6

各國中央銀行制度考略（財政月刊 80） 民 9

各國中央銀行制度の比較（金融知識 **6**-3） 昭 10

金産國の中央銀行（銀行論叢 **25**-3） 昭 10

歐洲戰後に創設せられたる中央發券銀行及其準備法（銀行通信錄 473） 大 14

世界各國中央銀行の法定準備要求額（銀行通信錄 560） 昭 7

世界大戰後に於ける中央銀行の變動（中外財界 **1**-23） 昭 1

主要發券銀行の發券準備規定（調査月報 **17**-特別 1） 昭 2

中央銀行技術之研究（中央銀行月報 **4**-1） 民 24

中央銀行機能の大變革（財政經濟時報 **9**-9） 大 11

中央銀行の獨立を論ず（東三省官銀號經濟月刊 **1**-3） 民 18

中央銀行之業務（工商半月刊 **2**-17/18） 民 19

中央銀行制度と財界變動對策（ダイヤモンド **15**-12） 昭 2

中央銀行與國家之關係（中央銀行月報 **2**-5） 民 22

中央銀行與淸算制度（中央銀行月報 **2**-4） 民 22

準備制度の構成（東洋經濟新報 1193） 昭 1

準備制度と中央銀行（東洋經濟新報 1194/95） 昭 1

b. 各 國 別

日 本

相原 文雅 日本銀行の法的組織（法學研究 **9**-2；**10**-2） 昭 5/6

荒井 海一 日銀營業週報の見方（銀行研究 **9**-3） 大 14

荒木 光太郎 日本銀行金買入法案に就て（經濟學論集 **4**-3） 昭 9

淺野 俊終 政府預金小切手の性質（銀行研究 **10**-4） 昭 1

海老原竹之助 日銀統制力と金輸出解禁問題（銀行研究 **15**-4） 昭 3

服部 文四郎 中央銀行の納付金制度と官營（經濟法律論叢 **2**-2） 昭 6

*土方 久徵 金解禁後の經濟界と日本銀行〔中外商業新報附錄，銀行と信託の內〕 昭 6

堀江 歸一 日本銀行の兌換準備（エコノミスト **4**-11） 昭 1

同 日本銀行と市中銀行（エコノミスト **4**-21） 昭 1

細矢 祐治 中央銀行の機能と日本銀行の改善（銀行研究 **12**-2/5） 昭 2

藤原 泰 日本銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁） 昭 6

今西 兼二 日本銀行と輸入超過（東京經濟雜誌 2097） 大 10

井上 辰九郎 日銀保證準備制度について（銀行論叢 **6**-3） 昭 1

同 日銀の保證準備制度について（銀行研究 **6**-8） 昭 1

石濱 知行 日本銀行の解剖（中央公論 **50**-3） 昭 10

神戸 正雄 日銀の獨逸割引銀行株引受（時事經濟問題 23） 大 13

同 日本銀行課稅と兌換券整理（時事經濟問題 49） 昭 1

同 倉庫證券の日銀融通（時事經濟問題 56） 昭 2

同 銀行整理一段落と日銀統制力の恢復（時事經濟問題 75） 昭 3

片倉 藤次郎 鮮銀臺銀の兌換券發行問題（銀行研究 **11**-1） 昭 1

加藤 福太郎 日本銀行條例（銀行通信錄 597/99） 昭 10

加藤 良平 日本銀行の現金勘定と地金計算（會計 **37**-3） 昭 10

經濟攻究會 日本銀行改善案（大阪銀行通信錄 370） 昭 3

君島 次郎 納付金制度に就いて（銀行研究 **9**-6） 大 14

*金融制度研究會 中央銀行制度私案綱要 東京 同會 大 14

北崎 進 中央銀行の職能と日本銀行の地位（金融三層 **3**-2） 昭 7

串本 友三郎 日獨中央銀行の與信業務比較論（銀行論叢 **12**-4/5） 昭 4

前田 繁一 日銀兌換券發行限度擴張と納付金制度（經濟往來 **5**-13） 昭 5

松崎 壽 臺銀鮮銀の發行制度改善問題（銀行研究 **6**-6） 大 13

同 見返品制度（經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7

同 日本銀行（金融大辭典 II 卷 7 頁） 昭 9

*三村 稱平 日本銀行と金融市場 東京 森山書店 昭 10 556 頁 菊

三浦 實 日本銀行金利（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

內藤 章 日銀の增資及保證準備擴張（大學と社會 5） 昭 6

二宮 丁三 金融指標としての日本銀行週報（山口商學雜誌紀念論文集） 昭 10

*日本銀行調査課 日本銀行沿革大要—大正 9 年 1 月調 大 10 19 頁

*日本銀行調査局 日本銀行沿革組織及業務一斑 昭 7 131 頁 菊

*同 各國發券銀行及通貨關係法規—日本の部 改訂 昭 9 95 頁 菊〔昭 1 55 頁〕

西野入 愛一 日本銀行特別融通（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

農林省農務局 日本銀行と製絲金融（大日本蠶絲會報 424） 昭 2

小川 鄕太郎 日銀補償法並に臺灣融資法（インヴェストメント **5**-6） 昭 2

岡橋 林 解禁と日銀の民間預金問題（エコノミスト **7**-16） 昭 4

*大藏省理財局 準備金始末 昭 5

大內 兵衞 日本銀行金買入法の意義について（大原社會問題研究所雜誌 **1**-1） 昭 9

橋原 二郎 日銀民間預金と金解禁（銀行研究 **17**-5） 昭 5

汐見 三郎 日銀兌換券發行高の季節的變動（經濟論叢 **15**-5） 大 11

鈴木 穆 發行稅廢止と銀行の合同（エコノミスト **2**-4） 大 13

高橋 龜吉 日本銀行論（中央公論 **46**-1） 昭 6

田中 金司 限外發行論（國民經濟雜誌 **42**-1/2） 昭 2

1.—5.〔省略〕
6. 英蘭銀行の發券制度 i. 銀行券の發行規定 ii. 一部準備法の功過 iii. 歐洲大戰と發券制度 iv. 金本位の回復 7. 米國聯邦準備銀行の發券制度 i. 國立銀行の發券制度 ii. 聯邦準備制度の創設 iii. 聯邦準備銀行の發券制度 iv. 聯邦準備制度の發達 8. 獨逸の發券制度 i. 歐洲大戰前の帝國銀行 ii. 歐洲大戰と通貨の膨脹 iii. レンテン馬克の發行 iv. ライヒスバンクの改造 9. 佛蘭西銀行の發券制度 i. 佛蘭西銀行の發達 ii. 銀行券發行制度 iii. 歐洲大戰と發券制度 10. 日本銀行の發券制度 i. 國立銀行の發券制度 ii. 日本銀行の初期の發券制度 iii. 伸縮的制限法の採用 iv. 伸縮的制限法の實績 附錄 省略補註

中西仁三 貨幣及銀行兩主義の貨幣理論と銀行券發行制度（經濟研究 一岩波書店 2-2） 大 14

西野入愛一 一般預金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

小汀利得 經濟原論探訪—中央銀行と市中銀行（經濟往來 6-5） 昭 6

尾田榮三 中央銀行論（銀行研究 16-4） 昭 4

岡本春三 中央銀行論（大阪銀行通信錄 366/67） 昭 3

岡野鑑記 國家の經濟統制活動と中央銀行（外交時報 737） 昭 10

大喜多謹一郎 兌換銀行券發行に就いて（中央銀行會通信錄 289/91, 293） 昭 2

大藏省理財局 主要發券銀行の發券準備規定（調査月報 17-1） 昭 2

*太田黒敏男 各國中央銀行研究 東京 明大出版部 昭 1 340 頁

越知昌三 中央銀行の金利（經濟研究 3-4） 昭 1

バルマード, モーリス 發券銀行の金に就いて（大阪銀行通信錄 414） 昭 7

リエッス, アンドレ 發行銀行對政府關係の危險（銀行通信錄 488） 昭 1

同 發券銀行の信用監督に就て（銀行通信錄 521） 昭 4

千家恒麿 銀行の銀行（金融大辭典 1 卷 1 頁） 昭 9

瀨戸健助 景氣上昇期と中央銀行の信用統制（大阪銀行通信錄 370） 昭 3

汐見三郎 國庫預金制度と兌換券發行高との關係（經濟論叢 24-1） 昭 2

白石幸三郎 各國發券制度の話（經濟知識 3-4） 昭 5

鈴木平吉 歐洲諸國の發券銀行と幣制（國民經濟雜誌 40-3） 昭 1

平實 中央銀行の物價統制に關する一考察（銀行論叢 21-1/2） 昭 8

田中金司 中央銀行（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9

陳清華 中央銀行概論（中央銀行旬報 36/37, 48/49） 民 19

*東京商工會議所 中央銀行の發券機能 東京商工會議所 昭 3 114 頁 菊〔商工調査 15〕

姚崧齡 世界二十國家中央銀行制度之比較（經濟月刊 2-6/7） 民 19

*全國經濟調査機關聯合會 中央銀行の市場統制 昭 4〔彙報別册 36〕

銀行兌換券發行稅法（〔上海〕上海經濟月報 5-10） 昭 6

各國中央銀行制度考略（財政月刊 80） 民 9

各國中央銀行制度の比較（金融知識 6-3） 昭 10

金產國の中央銀行（銀行論叢 25-3） 昭 10

歐洲戰後に創設せられたる中央發券銀行及其準備法（銀行通信錄 473） 大 14

世界各國中央銀行の法定準備要求額（銀行通信錄 560） 昭 7

世界大戰後に於ける中央銀行の變動（中外財界 1-23） 昭 1

主要發券銀行の發券準備規定（調査月報 17-特別 1） 昭 2

中央銀行技術之研究（中央銀行月報 4-1） 民 24

中央銀行機能の大變革（財政經濟時報 9-9） 大 11

中央銀行の獨立を論ず（東三省官銀號經濟月刊 1-3） 民 18

中央銀行之業務（工商半月刊 2-17/18） 民 19

中央銀行制度と財界變動對策（ダイヤモンド 15-12） 昭 2

中央銀行與國家之關係（中央銀行月報 2-5） 民 22

中央銀行與淸算制度（中央銀行月報 2-4） 民 22

準備制度の構成（東洋經濟新報 1193） 昭 1

準備制度と中央銀行（東洋經濟新報 1194/95） 昭 1

b. 各 國 別

日 本

相原文雅 日本銀行の法的組織（法學研究 9-2; 10-2） 昭 5/6

荒井海一 日銀營業週報の見方（銀行研究 9-3） 大 14

荒木光太郎 日本銀行金買入法案に就て（經濟學論集 4-3） 昭 9

淺野俊終 政府預金小切手の性質（銀行研究 10-4） 昭 1

海老原竹之助 日銀統制力と金輸出解禁問題（銀行研究 15-4） 昭 3

服部文四郎 中央銀行の納付金制度と官營（經濟法律論叢 2-2） 昭 6

*土方久徵 金解禁後の經濟界と日本銀行〔中外商業新報附錄, 銀行と信託の內〕 昭 6

堀江歡一 日本銀行の兌換準備（エコノミスト 4-11） 昭 1

同 日本銀行と市中銀行（エコノミスト 4-21） 昭 1

細矢祐治 中央銀行の機能と日本銀行の改善（銀行研究 12-2/5） 昭 2

藤原泰 日本銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁） 昭 6

今西豫二 日本銀行と輸入超過（東京經濟雜誌 2097） 大 10

井上辰九郎 日銀保證準備制度について（銀行論叢 6-3） 昭 1

同 日銀の保證準備制度について（銀行研究 6-8） 昭 1

石濱知行 日本銀行の解剖（中央公論 50-3） 昭 10

神戶正雄 日銀の獨逸割引銀行株引受（時事經濟問題 23） 大 13

同 日本銀行課稅と兌換券整理（時事經濟問題 49） 昭 1

同 倉庫證券の日銀融通（時事經濟問題 56） 昭 2

同 銀行整理一段落と日銀統制力の恢復（時事經濟問題 75） 昭 3

片倉藤次郎 鮮銀臺銀の兌換券發行問題（銀行研究 11-1） 昭 1

加藤福太郎 日本銀行條例（銀行通信錄 597/99） 昭 10

加藤良平 日本銀行の現金勘定と地金計算（會計 37-3） 昭 10

經濟攻究會 日本銀行改善案（大阪銀行通信錄 370） 昭 3

君島次郎 納付金制度に就いて（銀行研究 9-6） 大 14

*金融制度研究會 中央銀行制度私案綱要 東京 同會 大 14

北崎進 中央銀行の職能と日本銀行の地位（金融三層 3-2） 昭 7

串本友三郎 日獨中央銀行の與信業務比較論（銀行論叢 12-4/5） 昭 4

前田繁一 日銀兌換券發行限度擴張と納付金制度（經濟往來 5-13） 昭 5

松崎壽 臺銀鮮銀の發行制度改善問題（銀行研究 6-6） 大 13

同 見返品制度（經濟學辭典 V 卷 2 頁） 昭 7

同 日本銀行（金融大辭典 II 卷 7 頁） 昭 9

*三村稱平 日本銀行と金融市場 東京 森山書店 昭 10 556 頁 菊

三浦實 日本銀行金利（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

內藤章 日銀の增資及保證準備擴張（大學と社會 5） 昭 6

二宮丁三 金融指標としての日本銀行週報（山口商學雜誌紀念論文集） 昭 10

*日本銀行調査課 日本銀行沿革大要—大正 9 年 1 月調 大 10 19 頁

*日本銀行調査局 日本銀行沿革組織及業務一斑 昭 7 131 頁 菊

*同 各國發券銀行及通貨關係法規—日本の部 改訂 昭 9 95 頁 菊〔昭 1 55 頁〕

西野入愛一 日本銀行特別融通（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

農林省農務局 日本銀行と製絲金融（大日本蠶絲會報 424） 昭 2

小川鄉太郎 日銀補償法並に臺灣融資法（インヴェストメント 5-6） 昭 2

岡橋林 解禁と日銀の民間預金問題（エコノミスト 7-16） 昭 4

*大藏省理財局 準備金始末 昭 5

大內兵衞 日本銀行金買入法の意義について（大原社會問題研究所雜誌 1-1） 昭 9

橋原二郎 日銀民間預金と金解禁（銀行研究 17-5） 昭 5

汐見三郎 日銀兌換券發行高の季節的變動（經濟論叢 15-5） 大 11

鈴木穆 發行稅廢止と銀行の合同（エコノミスト 2-4） 大 13

高橋龜吉 日本銀行論（中央公論 46-1） 昭 6

田中金司 限外發行論（國民經濟雜誌 42-1/2） 昭 2

田中金司　日本銀行の民間預金に關する時論を評す（國民經濟雜誌 44-4）　昭 3
同　日本銀行の市場統制力（中央公論 45-2）　昭 5
津田和夫　日銀金買入法（自由通商 7-5）　昭 9
內山德治　日本銀行營業報告書の性質に關する覺書（ポリコン研究 4）　昭 9
同　・石橋湛山　日本銀行營業報告（金融大辭典 II 卷 7 頁）　昭 9

兌換券の無制限發行制度（東洋經濟新報 1460）　昭 6
發券制度の問題（ダイヤモンド 18-3）　昭 5
變態的金融緩慢裡の日本銀行の業績（中外財界 4-5）　昭 4
保證限度擴張と日銀の收益力納附金（エコノミスト 10-11）　昭 7
インフレーションと日銀發券制度（東洋經濟新報 1459）　昭 7
經濟常識としての日銀帳尻の見方（中京財務 267）　昭 5
金融情勢と日銀減配の必要（ダイヤモンド 19-19）　昭 6
日本銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 8 頁）　昭 9
日本銀行金買入法案（エコノミスト 12-6）　昭 9
日本銀行金買入法案上提理由並に質疑（金融知識 3-5）　昭 9
日本銀行金買入法及金の問題（貿易 34-6）　昭 9
日本銀行の沿革と組織（大阪銀行通信錄 303）　大 11
日本銀行の國債擔保貸出取扱方變更（銀行通信錄 556）　昭 7
日本銀行の利率（ダイヤモンド 13-8）　大 14
日本銀行の職能と其の現狀（財界研究 8-2）　昭 5
日本銀行創立事情（東京經濟雜誌 2122/24）　大 12
日本銀行は見返品制度を廢止すべし（東京經濟雜誌 2007）　大 8
日銀兌換券發行限度擴張と納金制度〔經濟問題講座〕（經濟往來 5-13）　昭 5
日銀營業週報の見方（銀行研究 9-3）　大 14
日銀業績に現れた上期金融界の變動（エコノミスト 13-26）　昭 1
日銀半季報に現はれた金融の位地と營業成績（東洋經濟新報 1539）　昭 8
日銀半季報の解剖（東洋經濟新報 1617）　昭 9
日銀保證擴張近づく（エコノミスト 9-14）　昭 6
日銀保有正貨を現送せよ（エコノミスト 5-6）　昭 2
日銀勘定に現はれたインフレの程度（東洋經濟新報 1528）　昭 7
日銀勘定數列の季節的變動（財界觀測 15-1）　昭 8
日銀金買上げの話（金融知識 5-2）　昭 10
日銀民間預金の留保（エコノミスト 6-12）　昭 3
日銀に現はれた金融推移（東洋經濟新報 1036）　大 12
日銀の營業週報を改善すべし（東洋經濟新報 847）　大 8
日銀の手形割引（東洋經濟新報 889）　大 9
日銀の統制機能と金融市場（ダイヤグラム 1-3）　昭 3
日銀正貨準備の增減（銀行通信錄 550）　昭 7
日銀資產負債表の變化と金融市場の推移（東洋經濟新報 1137）　大 14
日銀收益源泉の話（金融知識 5-5）　昭 10
日銀貸借の膨脹──金融的位地の激變（東洋經濟新報 1278）　昭 2
日銀特融問題と財界（銀行論叢 11-4）　昭 3
日銀と中小銀行（東洋經濟新報 1268）　昭 2
制限外發行の消滅難（エコノミスト 3-17）　大 14
政府預金制度の一考察〔筒臺學人〕（公民講座 37）　昭 2
鮮銀保證準備擴張と限外發行稅の引下（大連商工月報 204）　昭 7
鮮臺兩銀行券流通高の增加とその準備の變化（東洋經濟新報 1655）　昭 10
資金移動と日銀貸出激增（エコノミスト 3-18）　大 14
震災後の日銀狀況（ダイヤモンド 11-2）　大 12
通貨及日銀の位地（東洋經濟新報 1234）　昭 2
我金融の現狀と日銀當然の職責（東洋經濟新報 1491）　昭 7
財界の救濟と日本銀行の責任（東京經濟雜誌 2059）　大 9
準備制度と中央銀行（東洋經濟新報 1194/95）　昭 1

アメリカ合衆國

*バーゲス，ダブルュー・アール　準備銀行と金融市場　岩崎博譯　東京　文雅堂　昭 3　322 頁　菊
*同　準備銀行と金融市場　銀行集會所譯　東京　東京銀行集會所　昭 4　371 頁　菊
1. 銀行界の變化　2. 準備制度の構造及發達　3. 銀行準備金の變化及その運用　4. 通貨に於ける變化　5. 取引決濟方法の改良　6. 政府と銀行　7. 紐育金融市場　8. 手形市場　9. 金融市場に於ける變化の分析的研究　10. 信用政策の機構　11. 信用政策──傳統及割引歩合　12. 信用政策──一般市場取引　13. 聯邦準備政策の其他の用具　14. 金の矛盾相　15. 利子歩合──效果測定の尺度　16. 營業狀態の週報告書の意義

岩崎博　大戰後の聯邦準備銀行の機能（銀行研究 9-5）　大 14
熊田克郎　聯邦準備制度と投機市場（大阪銀行通信錄 281）　昭 4
メ　ー　金融制度の大改革──米國中央銀行設立案（國際パンフレット通信 766）　昭 10
三浦實　聯邦準備銀行週報（金融大辭典 III 卷 6 頁）　昭 9
三浦光　米國中央銀行設立論（經濟往來 10-1）　昭 10
宮川貞一郎　米國に於ける金約款問題と中央銀行論（拓殖大學論集 5-2）　昭 10
中村三之亟　米國聯邦準備銀行の現在及將來（銀行研究 1-1）　大 10
*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 5：アメリカ合衆國　昭 2　147 頁　菊
*同　追補：マックファッデン法　昭 2　21 頁　菊
奥田勳　米國舊發行制度の缺陷と新發行制度の組織及運用（商光 3-1）　大 13
同　米國準備銀行貸出概論（銀行論叢 7-4/6）　昭 1
同　米國準備銀行の貸出研究（銀行研究 12-1, 3）　昭 2
太田黒敏男　北米合衆國聯邦準備制度（經濟及商業 2-1/7）　大 12
大澤吉五郎　米國準備銀行の組織機能及び是に關する論爭（中央銀行會通信錄 297）　昭 2
同　合衆國準備銀行に對する非難（中央銀行會通信錄 310）　昭 4
嶋千丸　米國中央銀行設立案に就て（我觀 12-12）　昭 9
*ウァールバーグ，ポール・エム　米國正貨準備制度の本質　淺田惠一譯補　東京　內外書房　昭 7　1050 頁　菊

米國金準備條例の解說──米國金融恐慌小史〔M. S. 生〕（大阪銀行通信錄 442/43）　昭 9
米國聯邦準備銀行に於ける自由手許金に就て（銀行通信錄 542）　昭 6
米國聯邦準備銀行收益資產の現狀（大阪銀行通信錄 411）　昭 6
米國聯邦準備銀行融資方法の緩和（海外經濟事情 5-17）　昭 7
米國中央銀行設立案〔S 生〕（大阪銀行通信錄 450）　昭 10
株式投機と聯邦準備銀行（調査月報 19-特 2/3）　昭 4

アルゼンチン

亞爾然丁の新中央銀行──目指すは金本位への復歸（金融知識 5-5）　昭 10
中央銀行の開設と亞爾然丁財界の回復（東洋經濟新報 1668）　昭 10

ベルギー

松岡孝兒　ベルギー國立銀行制度の改正（經濟論叢 27-3）　昭 3
*日本銀行調査局　白耳義ノ通貨安定並國立銀行制度改正　昭 1
*同　各國發券銀行及通貨關係法規 13：白耳義の部　昭 2　77 頁　菊〔改 88〕
フファロ，ウキッチ　大戰中の白耳義中央銀行（大阪銀行通信錄 266）　大 8

歐洲大戰勃發當時の白耳義國立銀行（銀行通信錄 417）　大 9

ドイツ

青木孝義　ライヒス・バンクの機構と最近の信用政策（經濟集志 8-6）　昭 10
青木得三　英佛獨三中央銀行最近の變革（銀行研究 15-4）　昭 3
原邦造　獨逸銀行法に於ける發券銀行の制度に就いて（銀行論叢 8-4）　昭 2
原子文四郎　最近の獨逸とライヒス銀行（大阪銀行通信錄 435）　昭 8
堀江歸一　獨逸の金融と中央銀行（エコノミスト 1-11/12）　大 12
串本友三郎　獨逸のライヒス銀行並にレンテン銀行の改造（大阪銀行通信錄 328）　大 13
同　獨逸中央銀行の營業組織概觀（銀行論叢 10-3/5）　昭 3
同　獨逸發券銀行の變遷（大阪銀行通信錄 379）　昭 4
同　日獨中央銀行の興信業務比較論（銀行論叢 12-3/4）　昭 4

串本友三郎　世界大戰以來の獨逸中央銀行（銀行論叢 12-5；13-1）　昭 4

同　獨逸發券銀行の經營經濟的研究（立命館學叢 2-2, 4, 7, 9/10；3-6, 9；4-9；5-9）　昭 5/8

同　ドイツ帝國銀行（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）　昭 6

增井光藏　獨逸帝國銀行の金券發行制度（國民經濟雜誌 39-3）　大 14

町田義一郎　ライヒス・バンク（金融大辭典 III 卷 3 頁）　昭 9

松島喜作　大戰勃發前後に於ける獨逸の兌換制度（銀行論叢 2-1）　大 13

*日本銀行調査局　獨逸新（ライヒス・バンク）條例要項（レンテン・バンク）銀行券鎖却ニ關スル法案要項　獨逸國鐵道會社法案要項　大 13

*同　各國發券銀行及通貨關係法規 4：獨逸の部　昭 1　143 頁　菊〔昭 7 改刷　63 頁　昭 8　追補 7 頁〕

*同　獨逸私立發券銀行の轉向準備　昭 10　9 頁　菊〔海外經濟彙報號外 1〕

奥田勳　獨逸中央銀行の改造（商學評論 7-1）　昭 3

大藏省理財局　獨逸帝國銀行（調査月報 9-1, 3）　大 8

大森研造　獨逸レンテン銀行に就て（經濟論叢 19-1/2）　大 13

リーサー　ライヒスバンクとシャハト（大阪銀行通信錄 394）　昭 5

佐久間勝　獨逸レンテン・バンク並にレンテン・マルクに就て（保險學雜誌 303）　大 13

汐見三郎　獨逸帝國銀行の發券制度（經濟論叢 24-2）　昭 2

シュミット　ライヒスバンクに關する調査委員會報告を評す（調査月報 20-1）　昭 5

獨逸銀行法改正（調査月報 16-11）　昭 1

獨逸レンテン銀行設立事情（ダイヤモンド 12-8）　大 13

獨逸新發券銀行設立案に關聯して惹起せられたる弗對磅の爭覇（調査月報 14-1）　大 13

獨逸中央銀行の金本位維持聲明（銀行通信錄 568）　昭 8

戰中戰後に於ける獨逸帝國銀行並に通貨狀況（調査月報 10-2）　大 9

ギリシア

松岡孝兒　ギリシヤの新發券銀行に就いて（經濟論叢 28-5）　昭 4

ハンガリー

*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 15：匈牙利の部　昭 2　71 頁　菊〔改 95〕

同　匈牙利の銀行制度及國立銀行定款〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月）　昭 5

フィンランド

*日本興行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 11：フィンランドの部　昭 1　19 頁　菊〔改 67〕

フランス

青木得三　英佛獨三中央銀行最近の變革（銀行研究 15-4）　昭 3

エドモン，デリー　佛蘭西銀行の發行權更新に就て（調査月報 8-5）　大 8

フィスク　佛蘭西銀行の歷史（銀行通信錄 443/44）　大 11

同　佛蘭西銀行の職分及運用（銀行通信錄 451）　大 12

クラピト，ピエル　ナポレオンと佛蘭西銀行（財政經濟時報 17-9）　昭 5

マルサル，フランソア　佛蘭西銀行の職能（調査月報 22-5）　昭 7

松岡孝兒　フランス銀行（經濟學辭典 V 卷 2 頁）　昭 7

同　フランス銀行（金融大辭典 III 卷 5 頁）　昭 9

向井章　印度支那の銀本位制廢止と印度支那銀行の新制度（東亞經濟研究 14-2/4）　昭 5

*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 3：フランスの部　昭 1　148 頁　追補 昭 3　19 頁　菊〔改 98〕

*同　磅下落に因る佛蘭西銀行の損失補償問題　昭 7〔佛國經濟報告 6〕

*同　佛國に於ける通貨安定と佛蘭西銀行の金準備增加に就いて　昭 9　49 頁　菊〔海外經濟彙報號外 11〕

*同　佛蘭西銀行株主總會に於ける同行總裁演說要旨　昭 10〔海外經濟彙報號外 3〕

*横濱正金銀行調査局　佛蘭西銀行營業報告摘譯　日置政吉 譯　大 8〔調査報告 1〕

英貨の低落と佛蘭西銀行の損失補償（大阪銀行通信錄 414）　昭 7

佛蘭西銀行に就て（銀行通信錄 579）　昭 9

佛蘭西銀行の保有磅値下による損失補償（商工月報 8-1）　昭 7

佛蘭西銀行の磅爲替損失補償に關する政府，獨逸償還金庫及佛蘭西銀行間の協約（調査月報 22-2）　昭 7

佛蘭西銀行磅爲替損失補償（大阪銀行通信錄 413）　昭 7

歐洲戰後第一年の佛蘭西銀行（銀行通信錄 418）　大 9

イギリス

*アンドレアデス　英蘭銀行史論　町田義一郎 譯　東京　日本評論社　昭 7　63 頁　菊

I. 1640 年―1819 年
緒論　1. 英國に於ける銀行業の濫觴並に發達　2. 英蘭銀行の創設　3. ハノーヴア王朝治下の英蘭銀行　4. 佛蘭西革命及びナポレオン戰爭當時に於ける英蘭銀行
II. 1819 年―1903 年
序章　1. ロバート・ピール條例の諸原因と解說　2. 平時に於ける英蘭銀行　3. 恐慌時に於けるピール條例　4. 1844 年の條例に關する總括的考察―當該問題の現狀―諸改正案
結論　附錄

青木得三　英蘭銀行と倫敦取引所及其の周圍（改造 7-4）　大 14

同　英佛獨三中央銀行最近の變革（銀行研究 15-4）　昭 3

青地玄三郎　英蘭銀行準備金問題（長崎高商研究館彙報 2-3/5；3-5）　大 12/13

有井治　英蘭銀行の職能（經濟論叢 30-4）　昭 5

*第一銀行調査部　英蘭銀行報告について　昭 8　21 頁　菊

ダーリング　英帝國銀行創設案（大阪銀行通信錄 285）　大 10

*本位田祥男　十九世紀末以前の金融と英蘭銀行の設立〔山崎教授還曆祝賀記念論文集金融篇の內〕　昭 4

星野行則　スノウデン氏の英蘭銀行總裁評を讀みて（大阪銀行通信錄 344）　昭 1

藤原泰　英蘭銀行發券制度の改革（商業及經濟研究 51）　昭 3

井上辰九郎　英蘭銀行と金融市場（銀行通信錄 522/25）　昭 4

同　英蘭銀行其の他歐米の發券制度（財政經濟時報 17-1）　昭 5

一谷藤一郎　英蘭銀行の成立及び發展過程に就て（經濟論叢 28-4/5）　昭 4

岩崎博　英蘭銀行と倫敦金融市場との關係（銀行研究 13-1）　昭 2

*金田近二　英國に於ける Moneyed Interest の發達と英蘭銀行の創立〔神戶高商創立 25 周年記念論文集の內〕　昭 4

金野豐　1929 年に於ける英蘭銀行の金利と金の移動〔ロンドン通信―2〕（大阪銀行通信錄 391）　昭 5

春日井薰　英蘭銀行の先驅者（明大商學論叢 3-6）　昭 3

同　英蘭銀行の創立（明大商學論叢 4-2）　昭 3

同　英蘭銀行（經濟學辭典 I 卷 1 頁）　昭 5

木村茂樹　英蘭銀行週報（金融大辭典 I 卷 8 頁）　昭 9

*金融研究會　英國の金融組織と英蘭銀行の機能（井上辰九郎）　東京　昭 5　203 頁　四六〔講演集 3〕

北崎進　英蘭銀行研究（經濟及商業 2-4, 6；8-10）　大 12

*神戶高商商業研究所　英蘭銀行券と政府紙幣との合併に就て（田中金司）　昭 3　32 頁　菊〔講演集 40〕

町田義一郎　英蘭銀行（金融大辭典 I 卷 3 頁）　昭 9

三浦實　銀行部と發券部（金融大辭典 I 卷 2 頁）　昭 9

*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 2：イギリスの部　昭 1　66 頁　追補 昭 3　9 頁　菊

同　英蘭銀行の米佛クレヂット設定と保證準備擴張〔政變前後の英國財政資料〕（內外調査資料 11 月）　昭 6

野村兼太郎　英蘭銀行設立の由來（三田評論 377）　昭 4

岡本春三　英蘭銀行の革新（銀行論叢 12-2）　昭 4

同　英蘭銀行週報の改正（大阪銀行通信錄 379）　昭 4

奥田勳　英蘭銀行の起原及發達と初期の個人銀行業者（銀行論叢 8-2）　昭 2

同　1844 年の英蘭銀行特許條例（銀行論叢 8-4）　昭 2

同　英國金融市場の樞軸としての英蘭銀行（銀行論叢 9-2/3）　昭 2

同　株式組織銀行の勃興と英國金融市場の樞軸としての英蘭銀行（銀行論叢 9-2/3）　昭 2

太田黑敏男　英蘭銀行の發行法と新貨幣制度の樹立（經濟及商業 4-11）　大 14

資耀華　英蘭銀行與倫敦金融市場之關係（銀行週報 871）　民 23

白井芳太郎　英蘭銀行條例改正問題（銀行研究 **12**-5）昭 2

田中彦一　英蘭銀行の發行制度改正（銀行研究 **11**-5）昭 1

田中金司　發行部銀行部分離に關する考證（國民經濟雜誌 **50**-6）昭 6

同　發行部，銀行部分離に就ての批判（國民經濟雜誌 **51**-3）昭 6

同　英蘭銀行の爲替統制（國民經濟雜誌 **54**-5）昭 8

*東京銀行集會所　英蘭銀行と金融市場（井上辰九郎）昭 4　174 頁

*山下宇一　英蘭銀行生成史の一側面〔經濟學研究 福田德三博士追憶論文集の內 32 頁〕昭 8

英國政府紙幣及英蘭銀行券調査委員會報告（調査月報 **15**-5）大 14

英蘭銀行內規一部改正（海外經濟彙報 10）昭 7

英蘭銀行の米佛クレヂット設定と保證準備擴張（海外經濟彙報 8）昭 6

英蘭銀行の米佛クレヂット處理（海外經濟彙報 11）昭 6

英蘭銀行の合理化支援（經濟知識 **4**-2）昭 5

英蘭銀行の金融市場に於ける地位（大阪銀行通信錄 327）大 13

英蘭銀行の露國金貨問題解決（調査月報 **11**-11）大 10

英蘭銀行の產業合理化支援（正金週報 26）昭 5

英蘭銀行條例改正以來の公定歩合變動（銀行通信錄 409）大 8

英帝國銀行の創設案（銀行通信錄 538）昭 5

墺太利の經濟危機と英蘭銀行（臺銀經濟ニュース 20）昭 6

中央銀行の週報—英蘭銀行週報の改正に就て（東洋經濟新報 1337）昭 4

イ　ン　ド

石田勁　印度に於ける準備銀行問題（銀行研究 **16**-1）昭 4

*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 5：印度の部 昭 1　70 頁 追補 昭 4　4 頁 菊

新庄博　新西蘭，加奈陀，印度の中央銀行設立計畫（國民經濟雜誌 **57**-2）昭 9

平實　印度中央銀行設立問題に就て（銀行論叢 **23**-3）昭 9

*臺灣銀行調査課　金本位並に印度準備銀行案 昭 2

*朝鮮銀行調査部　印度中央銀行の設立〔調査彙報 27の內〕大 11

印度準備銀行法案（海外經濟事情 1）昭 3

印度準備銀行設立問題（大阪銀行通信錄 433）昭 8

イ　タ　リ　ー

*日本銀行調査局　伊太利に於ける銀行券發行の統一 昭 1　3 頁 菊

十亀盛次　伊太利の通貨安定と中央銀行改造（銀行研究 **17**-4）昭 4

伊太利銀行の大改造（大阪銀行通信錄 412）昭 6

カ　ナ　ダ

*金融研究會編　カナダに於ける中央銀行創設問題 昭 10　110 頁 菊〔調書 9〕

1. 世界大戰後に於ける中央銀行運動の發展 2. カナダ中央銀行設立までの經過 3. カナダに於ける通貨，信用の機構と運用 4. カナダの經濟的特殊性と金融制度との關係 5. 中央銀行設立の論據 6. 王室委員會の提案せる組織要項と若干の反對意見 附錄 カナダ中央銀行問題に關する資料

太田黑敏男　加奈陀に於ける發券銀行（明大商學論叢 **2**-1）昭 2

新庄博　新西蘭，加奈陀，印度の中央銀行設立計畫（國民經濟雜誌 **57**-2）昭 9

カナダ銀行委員會の中央銀行設立提案（銀行通信錄 575）昭 8

加奈陀の中央銀行設立問題（大阪銀行通信錄 430）昭 8

加奈陀中央銀行設立問題に就て（海外經濟彙報 6）昭 8

加奈陀中央發券銀行の創立（調査月報 **24**-9）昭 9

滿　洲　國

蓋春正　滿洲中央銀行開辦後與北滿商業民生（中東半月刊 **3**-19）大同 1

日笠芳太郎　官銀號の重要性と管理問題（外交時報 648）昭 6

同　官銀號管理から中央銀行急設に至るまで（東洋 **35**-5）昭 7

同　官銀號問題の顚末を語る（滿洲公論 **12**-12）昭 8

藤原銀次郎　滿洲國の財政及幣制—最も成功したる滿洲中央銀行（外交時報 687）昭 8

切田太郎　滿洲國の幣制と滿洲中央銀行（臺灣時報 164）昭 8

*滿洲國財政部　貨幣滿洲中央銀行關係法規〔日譯〕滿洲 同部 大同 1　29 頁 菊

*滿洲中央銀行　滿洲中央銀行要覽 大同 2　16 頁 菊

*同　滿洲中央銀行 新京 康德 2 vi, 130 頁 菊〔康德 1 年版 113 頁〕

棟尾松治　滿洲の金融現狀と中央銀行設立問題（ダイヤモンド **8**-26/30）大 9

光井章雄　滿洲中央銀行に就いて（關西大學學報 113）昭 8

南鄕龍音　中央銀行の附帶事業（新天地 **14**-4）昭 9

二宮丁三　滿洲中央銀行の設立と其の使命（東亞經濟研究 **16**-3）昭 7

*日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規—滿洲の部 東京 同局 昭 7　36 頁 菊

西山榮久　日滿合辦滿洲中央銀行設立の急務（外交時報 508）昭 1

*陸軍省調査班　滿洲中央銀行の現況 昭 8　11 頁 四六

施肇剛　譯 滿洲國中央銀行之設立及其使命（錢業月報 **13**-1）民 22

竹內德三郎　滿洲國新幣制及び中央銀行に就て（協和 79）昭 7

同　滿洲國新幣制と中央銀行（海友 **23**-9）昭 7

*拓務省管理局　滿洲國貨幣法，滿洲中央銀行法，滿洲中央銀行組織辦法 昭 7

東里　滿洲幣制的確立與中央銀行（中東半月刊 **3**-19/20）大同 1

*朝鮮銀行調査課　滿洲中央銀行の近況と其の將來 昭 8〔昭 8 調査 36〕

渡邊三樹男　譯 滿洲中央銀行と滿洲國々幣（露滿蒙時報 176）昭 9

山成喬六　滿洲國の金融と經濟 附：滿洲中央銀行（貿易 **32**-12）昭 7

同　滿洲中央銀行開業一年の回顧（國際評論 **2**-8）昭 8

同　滿洲中央銀行に就て（東洋 **36**-1）昭 8

同　最近之滿洲中央銀行（上海 921）昭 9

奉天造幣廠の官銀號移管經緯（東洋貿易時報 **7**-50）昭 6

再び滿洲中央銀行問題に就て（滿洲經濟時報 **4**-2）大 12

開業した滿洲中央銀行（國際評論 **1**-1）昭 7

滿洲國の貨幣法及滿洲中央銀行法（大阪銀行通信錄 422）昭 7

滿洲國政府の舊幣政理辦法並に新舊貨幣換算率 附：滿洲國中央銀行貨幣法銀行法及組織辦法（露亞時報 153）昭 7

滿洲國政府の滿洲中央銀行繼承虧損補償公債發行（海外經濟彙報 5）昭 8

滿洲國中央銀行の新設（支那時報 **17**-1）昭 7

滿洲中銀問題經緯（日華之貿易 創刊號）大 11

滿洲中央銀行法（拓務時報 30）昭 8

滿洲中央銀行法及同組織法の發布（銀行通信錄 558）昭 7

滿洲中央銀行堅實味を加ふ（銀行通信錄 563）昭 7

滿洲中央銀行に對する一考察（大連商工月報 223）昭 9

滿洲中央銀行の話（金融知識 **6**-5）昭 10

滿洲中央銀行の開業及銀行法（銀行通信錄 558）昭 7

滿洲中央銀行の成立（東洋貿易研究 **11**-8）昭 7

滿洲中央銀行の成立—全滿金融の統制（外交時報 663）昭 7

滿洲中央銀行の成立まで（東亞 **5**-8）昭 7

滿洲中央銀行の設立（大連商工月報 203；滿鐵調査月報**12**-7）昭 7

滿洲中央銀行の新設（支那時報 **17**-1）昭 7

滿洲中央銀行の創立（海外經濟彙報 6；支那 **23**-7）昭 7

滿洲中央銀行の要綱決定，滿洲中央銀行の開業確定（銀行通信錄 555）昭 7

滿洲中央銀行の實業局設置（滿鐵調査月報 **12**-11）昭 7

滿洲中央銀行成立（銀行通信錄 557；商工月報 **8**-6）昭 7

滿洲中央銀行設立說（朝鮮及滿洲 153）大 9

滿洲中央銀行設立大綱（大連商工月報 201）昭 7

滿洲中央銀行紙幣發行額（統計彙誌 1）大同 2

滿洲中央銀行と滿洲國國幣（露滿蒙時報 176）昭 9

滿洲中央銀行と滿洲國の紙幣（東洋貿易研究 **11**-8）昭 7

遼寧四行號聯合發行準備庫第 10 次檢查報告（銀行週報 644）民 19

四行號聯合準備庫發止方の申請（滿蒙事情 118）昭 6

轉向した滿洲中央銀行實業局（滿洲評論 **5**-9）昭 8

中央銀行の業務擴充計畫（東洋貿易研究 **10**-19）昭 9

中央銀行の開業—舊貨幣整理辦法の發布（外交時報 663）昭 7

南阿聯邦

銀行論叢調査部　南阿準備銀行（銀行論叢 **20**-5）昭 8

クレッグ　金產地南阿の中央銀行（外國の新聞と雜誌 210）昭 5

松崎　壽　南阿に於ける中央銀行設立（國民經濟雜誌 **31**-6）大 10

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 10：南阿聯邦の部　昭 1　53 頁　菊〔改 66〕

南阿聯邦準備銀行の金の運用（調査月報 **18**-4）昭 3

南阿準備銀行の設立（調査彙報 **26**）大 10

ノールウェイ

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 19：諾威の部　昭 6　20 頁　菊〔改 124〕

ニュージーランド

新庄　博　新西蘭，加奈陀，印度の中央銀行設立計畫（國民經濟雜誌 **57**-2）昭 9

オランダ

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 8：和蘭の部　昭 1　31 頁　菊〔改 62〕

英國の金本位制停止に對するオランダ銀行の措置（海外經濟事情 **4**-47）昭 7

オーストラリア

小泉　功　イー・オー・ジイ・シャン：濠洲中央銀行の任務（銀行研究 **27**-2）昭 9

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 7：オーストラリヤの部　昭 1　38 頁　菊

濠洲に於ける中央銀行問題（正金週報 36）昭 5

濠洲に於ける中央準備銀行設立計畫（銀行通信錄 535）昭 5

濠洲聯邦銀行の金準備廢止（銀行通信錄 544）昭 6

オーストリア

* 日本銀行調査局　墺太利新發券銀行の設立──其設立經過と國際聯盟墺國救濟問題　大 12　33 頁

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 14：墺太利の部 昭 3　追加 昭 5　8 頁　菊〔改 98〕

同　墺太利の發券銀行（內外調査資料 **2**-11）昭 5

墺國の財政復興と發券銀行の設立（調査月報 **14**-3）大 13

墺太利の新發券銀行（藤本銀行週報 320）大 11

オーストリア聯邦準備銀行設立計畫（海外經濟事情 **3**-25）昭 5

ペルー

秘露準備銀行新設（通商公報 948）大 11

ポーランド

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 22：波蘭の部　昭 9　28 頁　菊

島田英一　波蘭の中央銀行に就て（銀行研究 **16**-2）昭 4

ロシア

銀行問題研究會調査部　サヴエート國立銀行と通貨（銀行論叢 **21**-6）昭 8

* 日本銀行調査局　ソヴエート聯邦國立銀行の銀行券發行業務　昭 1〔經濟彙報 2〕

ルーマニア

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 17：ルーマニアの部　昭 5　菊〔改 120〕

同　羅馬尼の貨幣法及國立銀行（內外調査資料 **2**-11）昭 5

支那

譚　瀘　廣洲中央銀行擴兌風潮（銀行週報 515）民 16

嚴　雙　中央銀行之進展與銀制度之將來（東方雜誌 **30**-14）民 22

吳　誠之　中央銀行建設論（復大商學期刊 8）民 23

金子繁太郎　國民政府の中央銀行に就て（支那 **20**-1）昭 4

* 三菱合資會社　廣東中央銀行問題　大 13

西山榮久　廣東の中央銀行に就て（東亞經濟研究 **11**-3）昭 2

王士企　吾國中央銀行與金融界之改革（人文月刊 **2**-9）民 20

崔毓珍　論中國金融問題與中央銀行之關係（銀行週報 722）民 20

靜如　廣州中央銀行擠風潮之經過（銀行週報 515）民 16

志摩三郎　銀行聯合準備金庫と上海自由都市計畫（自由通商 **5**-8）昭 7

朱斯煌　救濟公債與中央銀行（銀行週報 722）民 20

米澤秀夫　上海に於ける聯合準備制（大阪銀行通信錄 420）昭 7

鹽業中南，金城大陸銀行準備庫發行準備公告（銀行週報 644）民 19

廣東省銀行の紙幣發行高（海外經濟事情 **6**-30）昭 8

廣東中央銀行の紙幣整理（東洋貿易時報 **4**-25）昭 3

* 國民政府の中央銀行〔支那近代の政治經濟の內〕昭 7

國民政府の中央銀行設立（調査時報 **8**-11）昭 3

國民政府中央銀行組織規定（銀行週報 488）民 16

國民政府中央銀行章程（銀行週報 490）民 16

香上銀行の兌換券發行稅改正（海外經濟彙報 1）昭 5

立法院通過中央銀行法（中央銀行月報 **4**-6）民 24

支那國立銀行と 9 年度公債に就て（上海週報 457）民 9

支那の新國立銀行の職能──中央銀行，中國銀行，交通銀行（東洋貿易研究 **8**-11）昭 4

支那の中央銀行の現狀（東亞 **4**-6）昭 6

支那政府の銀行兌換券發行稅法改正（海外經濟彙報 10）昭 7

支那政府の中國建設銀行創設（海外經濟彙報 7）昭 7

支那中央銀行關金兌換券を發行（大連商工月報 190）昭 6

支那中央銀行に爲替局新設（海外經濟彙報 8）昭 7

支那中央銀行に就て（〔上海〕經濟月報 **2**-12）昭 3

上海銀行業聯合準備委員會の新公單發行（海外經濟彙報 8）昭 7

上海各支那銀行發行紙幣の現金準備高（海外經濟彙報 8）昭 7

中國銀行の新券發行（東洋貿易時報 **5**-11）昭 4

中國銀行の特質（滿鐵調査月報 **14**-2）昭 9

中國銀行と過去現在及將來（銀行週報 648）民 19

中央銀行發行金單位本票（銀行週報 644）民 19

中央銀行發行公債（支那時報 **18**-6）昭 8

中央銀行の海關金單位紙幣發行に就て（滿蒙事情 116）昭 6

中央銀行の紙幣行使停止（東洋貿易時報 **3**-19）昭 2

中央銀行之進展與銀行制度之將來（東方雜誌 **30**-14）民 22

中央銀行資產委員會官制（支那時報 **18**-4）昭 8

中央銀行章程（東三省官銀號經濟月刊 **1**-5）民 18

中央銀行實業局の分離（支那時報 **19**-1）昭 8

スウェーデン

五十嵐　喬　ヘックシャー：瑞典銀行史（經濟商業論纂 9）昭 10

スイス

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 12：瑞西の部　昭 2　30 頁　追篇　昭 6　菊〔改 84〕

トルコ

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 20：土耳古の部　昭 6　26 頁　菊〔改 130〕

トルコ中央銀行法案（海外經濟事情 **3**-32）昭 5

土耳古中央銀行設立とオットマン銀行の地位（海外商報 1119）昭 3

チェッコ・スロヴァキア

* 日本銀行調査局　各國發券銀行及通貨關係法規 16：チェッコ・スロヴァキヤ共和國の部　昭 3　55 頁　菊〔改 89〕

VI. 商業金融

1. 一般

a. 一般

青木茂　商業資金調達と商業手形割引（銀行論叢 9-6）昭 2

樫尾謙　商業金融と消費金融（商業經濟論叢 7-上）昭 4

中野金次郎　運送業と商工業金融の關係（エコノミスト 4-18）昭 1

中谷實　經營信用（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

楠崎敏雄　商業金融（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

西村勝太郎　商工業の金融に就て（大阪銀行通信錄 399, 406）昭 5/6

越知昌三　倉庫證券金融と商業手形割引（經濟研究 4-1）昭 2

武田春次郎　商業金融（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

都上城三　商工資金の移動量及其樣式（銀行論叢 5-2）大 14

b. 各國別

日本

藤城敬二　商工金融と銀行支店制度の改善（銀行研究 8-4）大 14

井上準之助　金解禁後の商工業金融（工業要錄 6-1）昭 5

神戸正雄　商工資金の特別融通（時事經濟問題 24）大 13

*神戸商工會議所　商品取引系統並びに取引事情及び金融 昭 10〔調査資料 52〕

松好貞夫　德川時代の商業金融—大阪の兩替商に關する研究（經濟史研究 26）昭 6

同　維新當時に於ける大阪の商業金融制度（經濟史研究 27）昭 7

西村勝太郎　商工業者の金融に就て（大阪銀行通信錄 399, 406）昭 5/6

*朝鮮銀行調査課　朝鮮内各金融機關の預金貸出並に其の勸業貸出と商業貸出との推移に關する調査 附：朝鮮に於ける信託業の現況と其將來 昭 6

商工業の金融難と對策（エコノミスト 4-18）昭 1

アメリカ合衆國

岩崎靜也　米國商業金融研究（銀行論叢 3-3/6; 4-1）大 13/14

竹林庄太郎　アメリカの自動車割賦販賣業に於ける金融會社に就て（經濟時報 3-7, 9/10）昭 6

ウイリス　米國の月賦金融制度（大阪銀行通信錄 375）昭 3

*横濱正金銀行調査課　米國内に於ける國内商取引の決濟方法と其金融 昭 5〔調査報告 77〕

アメリカの商事信用は何等破壞されてはゐない（財界觀測 14-8）昭 8

滿洲國

黑河市最近商業金融情形見聞錄（東三省官銀號經濟月刊 1-5）民 18

吉林省商工復興貸款關係規則（經濟金融概況 16）大同 2

滿洲に於ける支那特產商と其の金融方法（調査時報 7-9）昭 2

支那

譚　瀘　一般商家收受存款問題（銀行週報 773）民 21

惺　商工業金融概況（銀行週報 704）民 20

朱宇蒼　金融界與工商業合作之道（錢業月報 10-12）民 19

鄧佑治　金融界應增加工商業之放款（錢業月報 12-7）民 21

楊蔭溥・章乃器・張肖梅　工商業金融問題研究報告書（銀行週報 891）民 24

救濟工商業與金融問題（工商半月刊 7-8）民 24

上海之商場與銀行（銀行週報 248）民 9

吾國銀行事業的缺點と商業との關係（銀行週報 152）民 9

2. 機關

i. 商業銀行

A. 一般

a. 一般

アイヒボルン，ケイ・ヴイー　銀行の通貨創設作用を論ず（銀行論叢 20-6；21-2）昭 8

天野綠山　フォード氏の銀行及事業觀（銀行研究 12-1）昭 2

荒木秀一　組合銀行（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

ヘイス，ウイリアム　インフレーションは銀行業に如何に影響するか 吉田正三譯（銀行研究 26-1）昭 9

*樋口麗陽　新しい銀行利用法 大 14

堀江歸一　陳腐なる銀行分業論（エコノミスト 5-6）昭 2

同　銀行破綻と銀行改善（エコノミスト 5-8）昭 2

星野行則　歐米銀行業雜觀（大阪銀行通信錄 298）大 11

細矢祐治　銀行と信託會社の關係（銀行研究 6-2/5）大 13

池田成彬　歐米の預金銀行（ダイヤモンド 18-2/3）昭 5

同　歐米の預金銀行に就て（銀行通信錄 529）昭 5

猪俣津南雄　巨大銀行の制覇〔獨占の發展〕（改造 13-8）昭 6

石黑武松　銀行の企業的性質を論ず（銀行研究 5-2）大 12

石卷良夫　手形交換所組合銀行（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

一野喜三郎　海外銀行界（銀行論叢 14-6; 15-1/3）昭 5

同　巨大なる銀行（銀行論叢 21-1）昭 8

岩崎勳　景氣循環と銀行（銀行論叢 6-6）昭 1

樫尾謙　商業銀行と消費金融（商業經濟論叢 7-上）昭 4

春日井薰　銀行の兼業主義と專業主義（經濟及商業 1-2, 4）大 11

同　近代的商業銀行の使使命（銀行研究 15-2）昭 3

*同　最近の銀行問題 東京 文雅堂 昭 8 443 頁 菊

I. 銀行組織論 1. 銀行の本質と社會化の必要. 2. 銀行業に於ける人格要素 3. 銀行の公共性と公開性 4. 銀行合同の意義と其影響 5. 銀行國有論の種別的檢討 6. 英國勞働黨の銀行國有論 7. 銀行市營の計畫 8. 銀行の配當制限論

II. 銀行業務論 1. 商業銀行の當座取引 2. 銀行預金の通貨的作用の限度 3. 支拂準備金の本質と其運用 4. 銀行の第二線支拂準備の檢討 5. 銀行の有價證券投資と其限界 6. 商業銀行の消費金融への進展 7. 單名手形の利用, 濫用及對策

III. 特殊金融問題 1. 我國の金利引下問題 2. 中小企業の金融問題 3. 農業金融の改新 4. 地方金融と保險會社の關係 5. 月賦販賣の活用と其の金融法 6. 通貨膨脹時代の金融 7. 財界救濟の金融的施策を論評す

勝田貞次　銀行業の公共性を論じ山崎博士の批評に答ふ（三田學會雜誌 18-12）大 13

同　銀行の本質と金融組織の歸趨（銀行論叢 5-5）大 14

木村祐雄　プラットの「銀行破綻の原因と其對策」（銀行研究 9-4）大 14

小泉計太郎　預金銀行制度（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

同　兼營銀行主義（金融大辭典 I 卷 2 頁）昭 9

同　國際聯盟「商業銀行に對する國家の干涉」（銀行研究 27-2）昭 9

同　商業銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　預金銀行主義（金融大辭典 III 卷 2 頁）昭 9

國際聯盟經濟情報局　最近十ケ年間に於ける各國商業銀行の傾向 平林三郎譯（銀行通信錄 581）昭 9

小山英次　大陸銀行と英國銀行との差異に就て（銀行論叢 3-4）大 13

小島昌太郎　現金の流通と預金の增減（經濟論叢 40-1）昭 10

同　預金の積極性と消極性（經濟論叢 40-3）昭 10

黑川芳藏　最近に於ける諸國の銀行の傾向に就いて（同志社論叢 12）昭 10

串本友三郎 大銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6
前田繁一 地方銀行（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9
前川正輔 銀行と投資との關係（銀行論叢 8-2）昭 2
*マクラウド，ヘンリー・ダンニング 銀行概論 奥田勳 譯 東京 內外出版 大 12
松尾藤平 英國流銀行の過去及現在と將來（銀行論叢 7-3/4）昭 1
松島喜作 平易なる銀行論（銀行研究 4-6）大 12
松山五葉 銀行兼營論（銀行論叢 5-1）大 14
松崎壽 證券銀行と兼營銀行（銀行研究 2-6）大 11
同 銀行と手形引受業者との關係（商業及經濟研究 36）大 13
同 銀行と信託會社との限界（銀行研究 11-1）昭 1
三谷軌秀 破綻の共通性原因（大阪銀行通信錄 378）昭 4
同 銀行及會社破綻の共通性原因（銀行通信錄 517）昭 4
光山祐次郎 銀行の本質に就て（銀行研究 1-3）大 10
三浦實 加盟銀行（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
*水島鐵也 改訂銀行及外國爲替 6 版 東京 同文館 大 8 405 頁 菊
モアハウス 銀行家は如何にして成功すべきか（銀行論叢 1-6；2-2）大 12/13
森豐次 銀行業と生命保險業との關係（中央銀行會通信錄 284）昭 1
モールトン 商業銀行と資本形成（銀行通信錄 394/96, 400）大 7/8
中谷實 信用擴張と銀行流動性（經濟論叢 33-3）昭 6
同 金融機關としての預金銀行の地位（經濟論叢 35-1）昭 7
野崎龍七 休業銀行（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9
同 整理銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
*同 普通銀行，貯蓄銀行論 東京 改造社 昭 10 211 頁 四六〔現代金融經濟全集 19〕
小汀利得 經濟原論探訪一中央銀行と市中銀行（經濟往來 6-5）昭 6
*緒方潤 銀行破綻物語一某休業銀行重役の懺悔錄 東京 文雅堂 昭 2 218 頁 四六
岡本春三 預金銀行論（大阪銀行通信錄 369）昭 3
越智昌三 銀行と通貨創設（經濟研究 2-3；3-3）大 14/昭 1
李宗文 近十年來各國商業銀行之趨勢（東方雜誌 31-24）民 23
瀨戶健助 最近に於ける各國私營銀行組織の概況（銀行研究 18-5）昭 5
資耀華 商業銀行與商人之關係（銀行月刊 7-3）民 16
篠崎成二 分業主義か兼業主義か（銀行研究 2-5）大 11
白石幸三郎 銀行とは何をする所か（經濟知識 14-4）昭 10
左右田誠一 放資と銀行業（銀行研究 5-3/4）大 12
受百錄 普通銀行之意義（銀行週報 690）民 20
平實 銀行の資本創造力とインフレーション（銀行論叢 20-6）昭 8
武田春次郎 商業銀行（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6
竹川則之 預金銀行信用創造論管見（中央銀行會通信錄 323）昭 5
田中金司 銀行制度に於ける兼營主義と分營主義との接近（國民經濟雜誌 38-5；39-1）大 14
同 兼營主義，分業主義續論（國民經濟雜誌 45-1）昭 3
*東京經濟學協會 普通銀行制度の缺陷（梅田助作）昭 3
ウォルター，リーフ 銀行金融業者の本質（大阪銀行通信錄 282）大 10
山本安次郎 添加的信用の創造と預金銀行（大阪銀行通信錄 440/41）昭 9
米山英利 銀行破綻研究（銀行論叢 2-4）大 13
銀行清算問題〔ベルー・イ・ロンドレス〕（移民情報 3-6）昭 6
ヘンリー・フオード氏の銀行論（信託協會會報 7-4）昭 8
農商銀行設立の呈文（銀行週報 164）民 9
歐洲大戰後の世界銀行業概觀（銀行通信錄 412/13）大 9
最近十年間に於ける各國商業銀行の傾向（銀行通信錄 581/83）昭 9

b. 各國別

日本

明石照男 普通銀行の改善に就いて（銀行研究 12-5）昭 2
荒井晶三 我國銀行取付原因の一班（銀行研究 10-4）昭 1
荒木秀一 銀行と保險會社との聯絡（銀行研究 4-7）大 12
有元英夫 銀行信用組合間の預金爭奪と農村經濟に及ぼす影響（庶民金融 8-3）昭 7
栗津清亮 保險及銀行事業の相互化に就て（國民經濟雜誌 32-3）大 11
榎並趙夫 地方銀行の自衞檢査に就て（大阪銀行通信錄 279/80）大 9
同 本邦地方銀行問題管見（銀行研究 2-4/6）大 11
*同 本邦地方銀行論 2 版 東京 文雅堂 341 頁 大 13 四六
*遠藤麟太郎 銀行罪惡史 東京 日本評論社 大 11 339 頁 四六
*同 銀行の見方 東京 日本評論社 大 14 352 頁 四六〔通俗財政經濟大系 7〕
*越山堂編輯部 銀行會社破綻史 東京 同所 昭 1〔經濟パンフレット 3〕
後藤登喜男 景氣を支配する大銀行（インヴェストメント 6-5）昭 2
橋本俊夫 預金の大銀行偏在に就て（金融三層 4-5）昭 8
早川清 銀行問題短評（銀行論叢 5-2）大 14
肥後藤吉 地方金融改善と地方銀行法の制定（銀行論叢 22-5）昭 9
*樋口麗陽 新しい銀行利用法 東京 二松堂 大 14
平井信也 休業銀行と新銀行法との交涉（銀行研究 14-1）昭 3
保倉熊三郎 休業銀行の整理に就て（銀行通信錄 512）昭 3
堀確太郎 休業銀行の和議（法律新聞 3446/47）昭 7
堀江歸一 銀行業整理問題（エコノミスト 1-4）大 12
同 本邦銀行業の改善（改造 7-5）大 14
同 日本銀行と市中銀行（エコノミスト 4-21）昭 1
同 休銀整理遲延の打擊（エコノミスト 5-24）昭 2
堀江歸一 銀行業者の逃避的態度（公民講座 30）昭 2
同 破綻銀行の救濟（公民講座 30）昭 2
同 市中銀行の改善（公民講座 30）昭 2
同 休業銀行問題（公民講座 37）昭 2
同 休業銀行の預金者に與ふ（中央公論 42-10）昭 2
同 •他 銀行業と信託業との兼營問題（インヴェストメント 4-6）昭 1
細矢祐治 普通銀行經營の改善及銀行政策（銀行研究 4-2/5）大 12
同 銀行と信託會社との關係（銀行研究 6-2/3, 5）大 13
同 普通銀行改善策と信託業の兼營問題（銀行研究 11-6）昭 1
同 銀行の信託業兼營是非論（銀行論叢 8-3/4）昭 2
藤城敬二 地方銀行と信用調査組織（銀行研究 17-5）大 13
同 中小產業者金融の現狀と普通銀行（銀行研究 21-4）昭 6
藤原泰 銀行信託會社統一論（銀行研究 21-4）昭 6
同 銀行の金錢信託（大阪銀行通信錄 403）昭 6
同 地方銀行の危機に直面して一銀行經營と二次的支拂準備（財政經濟時報 18-2）昭 6
兵須久 不況期に善處すべき銀行業（エコノミスト 7-1）昭 4
飯田靜次郎 銀行資金發達概觀（商業と經濟 1）大 10
*池田毅一 最も有利なる銀行活用法 榮文堂 大 9
*池田成彬・大矢知昇 銀行〔社會經濟體系一日本評論社 17 の內 66 頁〕昭 3
*池島民理 銀行會社うらのそのうら 東京 文雅堂 昭 2 182 頁 四六
生田定之・他 休業銀行整理方法（財政經濟時報 14-10）昭 2
猪俣津南雄 巨大銀行の制覇（改造 13-8）昭 6
井上準之助 銀行家の猛省を促がす（銀行通信錄 447）大 12
同 銀行業者間に於ける不當競爭に就て（銀行通信錄 505）昭 3
同 銀行破綻の原因（國 352）昭 3
石井健吾 銀行業不振と本年の豫想（エコノミスト 5-1）昭 2
同 普通銀行發達史（經濟知識 12-1）昭 9

石毛竹治郎 一人一銀行主義（大阪銀行通信錄 293）大 11

石卷良夫 銀行組合法の制定を望む（銀行研究 8-6）大 14

*同 本邦組合銀行論 東京 文雅堂 昭 2 364 頁 四六〔銀行講座〕

同 預金協定と乙種銀行の地位（銀行研究 **26**-6）昭 9

伊藤英三郎 銀行の共存共榮に就いて（大阪銀行通信錄 390）昭 5

岩井仙吉 米人の見たる我が五大銀行（銀行研究 **18**-6）昭 5

岩村一夫 統制產業と銀行資本の新動向（社會學徒 **9**-7）昭 10

岩崎靜也 普通銀行改善案の解說（銀行論叢 **8**-2）昭 2

*岩塚源也 銀行知識と金融 東京 白揚社 大 13 324 頁

*甲斐精一 銀行と顧客の爲めに 東京 文雅堂 昭 2 395 頁 四六

*同 我國普通銀行の安全策研究（銀行研究 **16**-1/2, 4/6; **17**-2, 5）昭 4

上山英三 最近に於ける我國銀行業の狀況（地方行政 **41**-7）昭 8

神戶正雄 經濟界の現勢と銀行の整理（大阪銀行通信錄 311）大 12

同 銀行恐慌と銀行革命（時事經濟問題 6）大 12

同 銀行と黨幣（時事經濟問題 7）大 12

同 信託會社と銀行（時事經濟問題 8）大 12

同 銀行資本金制限の引上（時事經濟問題 13）大 12

同 普通銀行に於ける黨爭の弊（時事經濟問題 13）大 12

同 銀行と保險との兼營（時事經濟問題 20）大 13

同 銀行逆境時代（時事經濟問題 26）大 13

同 信託會社と銀行との爭（時事經濟問題 28）大 13

同 我國銀行界の病弊（時事經濟問題 33）大 14

同 銀行に於ける整理未了の數例（時事經濟問題 37）大 14

同 全國銀行勘定（時事經濟問題 46）昭 1

同 地方銀行の經營難（時事經濟問題 47）昭 1

同 普通銀行と信託會社との爭（時事經濟問題 53）昭 1

神戶正雄 最近全國銀行勘定（時事經濟問題 59）昭 2

同 銀行整理の問題（時事經濟問題 61）昭 2

同 休銀の始末としての新銀（時事經濟問題 64）昭 2

同 休銀の支拂（時事經濟問題 66）昭 3

同 休業銀行の整理（時事經濟問題 67）昭 3

同 銀行兼營の指針（時事經濟問題 68）昭 3

同 上半期投資と最近の銀行（時事經濟問題 73）昭 3

同 全國銀行營業狀態（時事經濟問題 89）昭 4

春日井薰 地方銀行政策の轉換（銀行研究 **25**-3）昭 8

同 銀行貸付の產業指導力（銀行研究 **28**-4）昭 10

加藤晴比古 地方銀行の將來（竹原經濟時報 8）昭 2

*加藤良平 銀行業と其責務 東京 文雅堂 大 11 232 頁 四六

加藤和根 本邦普通銀行と外國爲替業務（銀行論叢 **1**-3）大 12

同 我國證券市場金融組織と商業銀行（銀行研究 **24**-5）昭 8

川上良兒 預金銀行主義の崩壞と兼營主義の勝利（銀行論叢 **15**-3）昭 5

川瀨和夫 縣營銀行の教訓（銀行論叢 **19**-5）昭 7

氣賀勘重 農村金融と地方銀行（帝國農會報 **9**-1）大 8

木村清四郎 財界の現狀を述べて銀行業者に望む（銀行通信錄 451）大 12

*金融研究會 最近十年間に於ける我國の銀行業〔全國經濟調查機關聯合會編—日本經濟の最近十年の內〕昭 6

桐生梅吉 地方銀行の營業不振に就いて（銀行研究 **11**-2）昭 1

同 休業銀行整理問題（銀行論叢 **10**-3）昭 3

岸谷悟郎 我國普通銀行の特異性と今後の經營（銀行研究 **21**-5）昭 6

同 我國普通銀行局面打開の一考案（財政經濟時報 **18**-11）昭 6

*同 今後に於ける我國の普通銀行 東京 大同書院 昭 7 116 頁 四六

淸島梓 大銀行の兜町進出（銀行論叢 **17**-4）昭 6

小林俊輔 銀行の信託業務兼營論を支持す（銀行研究 **12**-3）昭 2

小平房吉 信託と銀行の分業（エコノミスト 4-22）昭 1

小池充彥 地方銀行と不動產金融（銀行論叢 1-5）大 12

小峰柳多 最近の銀行業績概觀（大阪銀行通信錄 459）昭 10

小坂珠城 地方銀行と融通手形に就て（銀行研究 **11**-2）昭 1

同 市街地信用組合と普通銀行の地位（銀行研究 **27**-3）昭 9

久保田勝美 斯くすれば休業銀行會社の開店は容易である（東洋經濟新報 1259）昭 2

熊田克郎 地方銀行問題に就て（銀行研究 **20**-1）昭 6

同 通貨膨脹の進行と銀行界（大阪銀行通信錄 419/20）昭 7

栗栖赳夫 新銀行による公社債取扱業務（銀行研究 **14**-1）昭 3

黑田英雄 現下の經濟界に處すべき銀行家の責務（中央銀行會通信錄 236/37）大 11

草島定太郎 休業銀行の整理に就て（銀行研究 **13**-3）昭 2

同 休業銀行の速開と歲末財界（銀行研究 **13**-6）昭 2

同 普通銀行の實際的合理化を論ず（銀行研究 **14**-8）昭 3

同 普通銀行の本質的機能と合理化（銀行研究 **16**-3）昭 4

串本友三郎 普通銀行の受信業務日獨比較（大阪銀行通信錄 347/48）昭 1

楠見一正 中小工業金融に於ける普通銀行の地位（社會政策時報 182）昭 2

前田淸 吾國に於ける銀行集中の研究（銀行論叢 **17**-1）昭 6

前田薰一 最近東京に於ける銀行勘定（金融研究 **2**-9）大 14

前川正輔 我國普通銀行と不動產金融（銀行論叢 **9**-2）昭 2

牧野元次郎 銀行の使命を論じて猛省を促す（朝鮮及滿洲 231）昭 2

牧野輝智 破綻銀行續出に對する考察（中央公論 **42**-5）昭 2

松本金次郎 大銀行の社會性（金融三層 **2**-2）昭 6

同 銀行の反社會性（金融三層 **3**-1）昭 7

松尾藤平 日英商事銀行の對照（銀行論叢 **5**-5/6; **6**-1/2）大 14/昭 1

同 農業金融制度と普通銀行（銀行論叢 **7**-2）昭 1

*松島喜作 最新銀行講話 東京 巖松堂 大 13 359 頁 菊

松山五葉 銀行兼營論（銀行論叢 **5**-1）大 14

松崎壽 我國普通銀行の工業金融に就て（商業及經濟研究 13）大 8

同 特殊銀行と普通銀行（商業及經濟研究 30）大 12

同 銀行と信託會社との關係（商業及經濟研究 35）大 13

同 普通銀行の國際金融業務（銀行研究 **8**-4）大 14

同 普通銀行改善問題の要諦（銀行研究 **10**-7）昭 1

同 銀行と信託會社との限界（銀行研究 **11**-1）昭 1

同 銀行と信用組合の交涉（銀行研究 **11**-2）昭 1

同 普通銀行制度改善の根本問題（銀行研究 **11**-6）昭 1

同 最近の銀行破綻と其教訓（竹原經濟時報 3）昭 2

同 普通銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

南信好 財界循環の原理研究の進化と銀行業者（中央銀行會通信錄 277）昭 1

宮本一郎 交換組合銀行の報告に就て（銀行研究 **3**-5）大 11

*水野淳二 銀行に對する不正手段と其豫防法 東京 文雅堂 昭 3 344 頁 四六〔銀行講座〕

武藤山治 英國の銀行家と吾國の銀行家（公民講座 32）昭 2

長瀨勇 長野縣に於ける銀行土地所有增大の傾向（帝國農會報 **25**-3）昭 10

中西要五郎 五大銀行の壓倒的勢力（金融三層 **2**-11）昭 6

中谷實 金融機關としての預金銀行の地位（經濟論叢 **35**-1）昭 7

中島濱三郎 我國銀行業の趨勢と現下必要なる施設（大阪銀行通信錄 258/59）大 8

成瀨正恭・神田鐳藏・原邦造 今後の銀行界の趨勢（銀行論叢 **3**-3）大 13

成瀨義春 銀行の營業停止と當局の怠慢（財政經濟時報 **11**-19）大 13

同 農村金融と普通銀行（財政經濟時報 **13**-11）昭 1

同 普通銀行改革案を讀む（財政經濟時報 **13**-14）昭 1

同 農業信用と普通銀行（三田學會雜誌 **22**-4）昭 3

同 農業金融と普通銀行（庶民金融 8-4/5）昭 7

成瀬義春・他 銀行整理の現狀と批判（經濟往來 3-8） 昭 3

西本辰之助 休業銀行に關する法律問題（三田學會雜誌 21-10） 昭 2

西村勝太郎 銀行制度と破綻に就て（銀行研究 16-3） 昭 4

*新田豐造 銀行を裁く一銀行選擇の合理化 東京 大同書院 昭 5 170 頁 四六

野々村金五郎 普通銀行改善の要諦（エコノミスト 4-20） 昭 1

野崎龍七 親銀行（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9

同 國債引受シンジケート銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9

同 甲種銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9

同 シンジケート銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9

同 普通銀行（金融大辭典 III 卷 3 頁） 昭 9

大館堯壽三 我國銀行破綻の原因（東洋經濟新報 1065/66） 大 12

小川郷太郎 銀行の他業兼營に就て（インヴェストメント 5-2） 昭 2

同 昏迷糊塗の休銀整理（我觀 52） 昭 3

大橋興四郎 休業銀行の整理と和議法適用上の難問（法律新聞 2730） 昭 2

岡部重一郎 時代に逆行せる銀行（財政經濟時報 7-5） 大 9

岡田信 地方小銀行の通弊（大阪銀行通信錄 272） 大 9

岡田純夫 「銀行の信託業兼營問題」の出所（銀行研究 12-2） 昭 2

同 普通銀行の工業金融への飛躍—證券金融は何故顧みられないか（銀行研究 21-4） 昭 6

岡本茂三・佐野包治 銀行問題時評（銀行論叢 9-1） 昭 2

*岡崎公宏 銀行無盡會社の破綻と其の對策—無盡會社破綻物語 3 版 東京 經濟書房 昭 9 449 頁 四六

奥田勳 百貨店銀行（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

奥野平 地方銀行の合同と個人銀行廢業問題（銀行論叢 15-6） 昭 5

大藏省調査課 本邦普通銀行制度に關する調査（內外調査資料 2-11） 昭 5

大森三郎 大銀行の金融カラクリ（中央公論 48-5） 昭 8

大野悌 地方銀行聯盟の結成を勸む（中央銀行會通信錄 368） 昭 8

*大阪高商銀行業務研究室 普通銀行制度改善と新銀行法 昭 3 66 頁 〔調査報告 15〕

*太田黒敏男 銀行金融の實際〔實用經濟講座—非凡閣 1 の內 75 頁〕 昭 9

齋藤常三郎 休業銀行の整理と和議（國民經濟雜誌 43-4） 昭 2

佐久間長次郎 銀行の減配整理難と對策（銀行研究 20-3） 昭 6

同 銀行預金の增加と通貨の增加（銀行研究 21-4） 昭 6

同 普通銀行の長期金融問題（銀行研究 24-5） 昭 8

*產業組合中央會長野支會 信濃銀行の休業と產業組合の對策概要 昭 6

佐野包治 分業主義の高調と對信用組合策（銀行論叢 3-6） 大 13

笹原正志 銀行の淸算，破產又は强制和議（金融三層 3-12） 昭 7

佐々木勇之助 銀行業の安定策に就て（銀行通信錄 447） 大 12

同 銀行業と信託業との兼營問題に就て（龍門雜誌 460） 昭 2

同 東京銀行集會所及銀行俱樂部の起原（銀行通信錄 543） 昭 6

佐藤天風 銀行界の危機（保險銀行時報 1285） 昭 1

妹尾一雄 休業銀行和議手續の重要諸點（銀行研究 20-4） 昭 6

志賀京一 銀行の信託業兼營問題を論ず（銀行論叢 7-6） 昭 1

志村源太郎 國民指導機關に就て銀行家に望む（銀行通信錄 458） 大 13

白石幸三郎 普通銀行の營業狀況（經濟知識 14-6） 昭 10

*園顯雄 不良銀行の研究 附：銀行選擇と預金上の注意 東京 廣文堂 大 12 258 頁

*同 銀行の實際知識 東京 日本書院 昭 4 650 頁 四六

末弘嚴太郎 法律家より見たる休銀問題（改造 10-2） 昭 3

鈴木島吉 金繩出解禁と銀行業者の責務（銀行通信錄 528） 昭 5

高城仙次郎 銀行破綻の共通原因と貸付の制限（財政經濟時報 14-11） 昭 2

竹田恒吉 銀行兼營と投資（銀行論叢 2-5） 大 13

竹內恒吉 會計士の見た普通銀行改善策（エコノミスト 4-23） 昭 1

同 休業銀行の合法的整理（銀行論叢 16-4；17-2） 昭 6

田中一郎 銀行問題短評（銀行論叢 7-3, 5） 昭 1

同 ・佐野駿治 銀行界時事問題（銀行論叢 7-1/2） 昭 1

*田中德義 銀行叢談 東京 育成館 昭 2 518 頁

谷口鶚五郎 普通銀行改善と預金銀行主義（企業と社會 9） 昭 1

谷川正輔 今次の預金利下と名古屋の銀行（銀行論叢 12-2） 昭 4

谷村一太郎 銀行業を禍した政策（銀行論叢 9-2） 昭 2

淡中政治 我國の農業金融に於ける普通銀行の動向（銀行研究 21-6） 昭 6

田島政一 普通銀行法 9 講（銀行論叢 23-1/2） 昭 9

*東京經濟學協會 休業銀行の整理について（保倉熊三郎） 昭 3

豐田久和保 普通銀行と不動產貸付（金融研究 2-7） 大 14

*豐田豐造 銀行を裁く一銀行選擇の合理化 大阪 昭 5

*東洋經濟新報社 銀行信託號〔昭東洋經濟報特輯號 1389〕 昭 5

上野益吉 信託と銀行との接觸及背離（金融三層 4-2） 昭 8

渡邊仙南 積銀破綻の眞相と銀行改善の根本策（銀行研究 4-3） 大 12

渡邊鐵藏 休業銀行の整理促進案（實業之日本 3015） 昭 2

渡邊勇吉 安全性より見たる英國株式銀行の現勢（銀行研究 17-2） 昭 4

山田勝 地方銀行に關する若干の考察（大阪銀行通信錄 413） 昭 7

八代則彥 金融市場の現勢と銀行業（エコノミスト 6-1） 昭 3

米澤邁郎 第三債務者としての銀行（銀行研究 29-6） 昭 10

*實業之世界社通信部 銀行保險信託金融號〔實業通信臨時增刊〕 昭 7 81 頁 四六倍

大銀行の缺損未整理（エコノミスト 3-16） 大 14

大銀行の責任（東洋經濟新報 1283） 昭 3

大銀行の進路は何處に（金融知識 6-4） 昭 10

第一銀行と其問題（ダイヤモンド 14-16/17） 昭 1

銀行業態の變化はどう見るか（金融知識 3-6/7） 昭 9

銀行破綻の責任と政府の救濟（財政經濟時報 14-10） 昭 2

銀行破綻と檢査制度（財政經濟時報 13-15） 昭 1

銀行界の困難と整理の必要（エコノミスト 1-4） 大 12

銀行會社小史〔第一銀行の卷〕（經濟知識 5-4） 昭 6

銀行勘定の變化（ダイヤモンド 18-15） 昭 5

銀行勘定の空前の大變動（東洋經濟新報 1259） 昭 2

銀行の整理が急務（經濟時論 11-2） 大 12

銀行の信託兼營問題（ダイヤモンド 14-33） 昭 1

銀行の行詰りと多事なる信託會社の前途（信託 5-2） 大 12

銀行制度を改革せよ（東洋經濟新報 1565） 昭 8

銀行資本制度の問題（時事經濟問題 89） 昭 4

銀行と信託會社は競爭的の金融機關にあらず（信託 5-3） 大 12

五大銀行勘定の上半期報告を見る（東洋經濟新報 1518/19） 昭 7

五大銀行の決算と金利の前途（東洋經濟新報 1621） 昭 9

反動後東西交換所銀行勘定の變化（東洋經濟新報 1223） 昭 1

反動前後の普通銀行（東洋經濟新報 1030） 大 11

破綻銀行會社の救濟（エコノミスト 5-14） 昭 2

本邦普通銀行に關する調査—大 15 年 11 月大藏省金融制度調査會決定（內外調査資料 2-11） 昭 5

普通銀行改善策—金融調査會の一議題（中外財界 1-19） 昭 1

普通銀行の改善案（ダイヤモンド 14-32） 昭 1

普通銀行の研究（東洋經濟新報 1523） 昭 7

普通銀行數の激減（ダイヤモンド 18-17） 昭 5

普通銀行と不動產貸付高（銀行通信錄 510） 昭 3

普通銀行と信託事業（東洋經濟新報 1127） 大 14

解禁切迫に影響された銀行の資金勘定（中外財界 4-17） 昭 4

重ねて銀行家の聯合の急務を論ず（東洋經濟新報 1405/06） 昭 5

過渡期の銀行家に警告す（經濟時論 6-14） 大 8

期末勘定から見た大銀行の肥滿（東洋經濟新報 1292） 昭 3

金融緩慢下における地方銀行の業績（東洋經濟新報 1619） 昭 9

金融緩慢時代の五大銀行の業態（東洋經濟新報 1592） 昭 9

金融恐慌後の大銀行（エコノミスト **9**-19） 昭 6
金融の緊縮と銀行整理の急務（ダイヤモンド **11**-13） 大 12
近時銀行界の施設（ダイヤモンド **7**-13） 大 8
今後の銀行界の趨勢（銀行論叢 **3**-3） 大 13
公債暴落と銀行（東洋經濟新報 880） 大 9
恐慌後の全國銀行勘定の變動（東洋經濟新報 1268） 昭 2
恐慌後の全國普通銀行勘定（東洋經濟新報 1269） 昭 2
恐慌後最近にいたる銀行の資金勘定（中外財界 **4**-11） 昭 4
恐慌に因る東京諸銀行勘定の變化（東洋經濟新報 1270） 昭 2
恐慌の一流銀行に對する影響（財界研究 36） 昭 2
恐慌の洗禮を受けた中流銀行の業況（中外財界 **2**-17） 昭 2
休銀整理案を排す（東洋經濟新報 1260） 昭 2
休銀整理の現況（ダイヤモンド **15**-21, 23） 昭 2
休銀整理と世論の沸騰（東洋經濟新報 1265） 昭 2
休銀整理は出直すべし（東洋經濟新報 1277） 昭 2
休銀は整理の公道に歸れ（エコノミスト **5**-23） 昭 2
休業銀行の整理に就て（稅務相談所時報 51） 昭 2
休業銀行と被處分銀行の預金者救濟問題（貿易 **27**-12） 昭 2
無資格銀行の猶豫期限滿了と大藏當局の聲明（銀行通信錄 564） 昭 7
中井，村井兩休銀の整理案（東洋經濟新報 1269/72） 昭 2
二三流銀行の恢復策（東洋經濟新報 1253） 昭 2
大阪銀行勘定の變化（東洋經濟新報 1076） 大 12
大阪銀行集會所の沿革（大阪銀行通信錄 377） 昭 4
歐洲大戰以來の本邦銀行の發達（東洋經濟新報 1017） 大 11
六大銀行の業績と利下問題（東洋經濟新報 1644） 昭 10
六大銀行の上期決算と再利下期の見透（東洋經濟新報 1671） 昭 10
六大銀行は何處へ行く？（銀行論叢 **21**-4） 昭 8
最近銀行勘定に表はれた預金減少傾向の實相（中外財界 **5**-6） 昭 5
最近の東京諸銀行勘定（ダイヤモンド **14**-26） 昭 1
最近我國の銀行業の發達（銀行通信錄 424/8, 430/2） 大 10
昨春來激增せる蓄積資金と銀行勘定の檢討（中外財界 **3**-23） 昭 3
整理銀行の今後—臺灣，朝鮮，昭和，十五銀行（財政經濟時報 **15**-10） 昭 3
資金集中著しき上半期末の全國銀行界狀勢（中外財界 **2**-17） 昭 2
新設銀行資本制度の緩和（銀行通信錄 409） 大 8
シンジケート銀行の成績と恐慌の影響（中外財界 **2**-19） 昭 2
七四銀行整理資金（ダイヤモンド **8**-22） 大 9
市中銀行の製絲金融（經濟知識 **5**-6） 昭 6
小銀行の破綻と大銀行の現狀（ダイヤモンド **10**-53） 大 11
昭和四年の銀行界（ダイヤモンド **18**-7） 昭 5
昭和四年六月末全國銀行の資產負債（銀行通信錄 535） 昭 5
昭和五年六月末全國銀行主要勘定（銀行通信錄 535） 昭 5
昭和五年六月末全國手形交換所組合銀行諸勘定（銀行通信錄 535） 昭 5
昭和五年六月末全國銀行の資產負債（銀行通信錄 544） 昭 6
昭和五年中重要銀行會社の營業成績（銀行通信錄 544） 昭 6
昭和六年上半期重要銀行會社の營業成績（銀行通信錄 550） 昭 6
昭和六年下半期東京銀行集會所社員銀行營業成績（銀行通信錄 555） 昭 7
昭和九年下半期に於ける全國普通銀行の收益其他（銀行通信錄 590） 昭 10
主要銀行，信託營業報告書（東洋經濟新報 1646） 昭 10
主要銀行信託會社の沿革（東洋經濟新報 1646） 昭 10
低金利と銀行の地位（東洋經濟新報 1455） 昭 6
地方銀行の窮迫は果して救ひ得るか（東洋經濟新報 1429） 昭 5
地方銀行の製紙金融（經濟知識 **5**-6） 昭 6
地方銀行の上期成績と再利下問題（東洋經濟新報 1668） 昭 10
都會の銀行と地方の銀行（東洋經濟新報 1062） 大 12
東京組合銀行貸借と特銀及普銀の位地（東洋經濟新報 1219） 昭 1
東京の無資格銀行はどうなるか（財政經濟時報 **18**-9） 昭 6
月初の銀行狀態（ダイヤモンド **1**-15） 大 12
中小銀行に於ける恐慌の打擊（東洋經濟新報 1273） 昭 2
憂ふべき二三流銀行の衰弱（東洋經濟新報 1253） 昭 2

我銀行業の疾患（東洋經濟新報 1063, 1223） 大 12, 昭 1
我普通銀行と定期預金（東洋經濟新報 1064） 大 12
我國銀行の破綻の原因（東洋經濟新報 1065/66） 大 12
安田銀行の成績と實體〔野崎生〕（ダイヤモンド **18**-4） 昭 5
預金貸出より觀た東西の銀行界（ダイヤモンド **10**-30） 大 11
預金利下問題と大銀行の業績（ダイヤモンド **23**-27） 昭 10
預金者を踏付た休銀整理案（東洋經濟新報 1262） 昭 2
預金は何程戻るか（ダイヤモンド **15**-24, 26, 28/29） 昭 2
財界恐慌後の銀行整理の狀況（工業 23） 昭 3
全國銀行勘定に及ぼせる恐慌の影響（東洋經濟新報 1253） 昭 2
全國銀行勘定の變化（東洋經濟新報 1580） 昭 8
十五銀行整理論〔財界野老〕（インヴェストメント **6**-2） 昭 2
十五の分離は休銀整理に打擊（東洋經濟新報 1266） 昭 2
十二大銀行の六大都市預金增減振り（金融三層 **3**-11） 昭 7
十二大銀行の預金貸出と預金準備（東洋經濟新報 1318） 昭 3
重要銀行會社四十年史（東洋經濟新報 1628） 昭 9
14年末に於ける普通銀行勘定の改善（東洋經濟新報 1236） 昭 2

アメリカ合衆國

青木一夫 米國に於ける最近の銀行破綻に關する研究（銀行論叢 **8**-2） 昭 2
細井藤兵衞 米國の大銀行主義出現に就て（銀行研究 **19**-5） 昭 5
池田成彬 歐米の預金銀行に就て（銀行通信錄 529） 昭 5
糸川成章 合衆國各地に於ける第一國立銀行に就て（龍門雜誌 490） 昭 4
岩崎博 米國銀行界の面接しつゝある諸問題（銀行研究 **10**-4） 昭 1
井關孝雄 アメリカに於ける銀行の破綻と其の防備策（銀行論叢 **16**-6） 昭 6
勝田貞次 米國銀行業研究（金融研究 **2**-3） 大 14
川上良兒 米國の銀行支店問題の意味（銀行論叢 **12**-5/6） 昭 4
*ケーン，ティー・ピー 米國銀行業の悲劇 三上太一譯 東京 文雅堂 昭 2 824 頁 四六
木原文之助 米國に於ける最近の銀行改善問題（銀行研究 **13**-2） 昭 2
今野源八郎 アメリカ銀行資本の一傾向—信託業擔當者としての國立銀行の發展（經濟學論集 **3**-2） 昭 8
小島精一 モルガン治下の銀行集中（改造 **12**-3） 昭 5
松崎壽 米國銀行業の兼營化（銀行研究 **20**-3） 昭 6
同 米國商業銀行の小額金融（銀行研究 **21**-4） 昭 6
同 百貨店銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁） 昭 7
三上太一 米國銀行業の悲劇（銀行研究 **9**-5） 大 14
中川庸太郎 米國地方銀行破綻の原因（銀行論叢 **18**-1/2） 昭 7
中西要五郎 信用維持に焦慮する米國銀行業者（金融三層 **3**-8） 昭 7
中野安一 米國信託界に於ける國立銀行の地位（金融三層 **4**-5） 昭 8
同 米國の國立銀行信託部（金融三層 **5**-6） 昭 9
能仁充孚 譯 信託部と銀行（信託協會會報 **9**-1） 昭 10
奥田勳 グループ・バンキング（金融大辭典 I 卷 2 頁） 昭 9
陸養春 一九二六年美國銀行界之失敗狀況（錢業月報 **7**-4） 民 16
田中正雄 米國に於ける休業銀行概觀（金融三層 **2**-12） 昭 6
渡邊佐平 アメリカ銀行界の新情勢（世界經濟 **3**-6） 昭 8
*横濱正金銀行調査課 米國に於ける國內商取引の決濟方法と其金融 昭 5
吉田正三 シー・アール・ウィットレシイ：米國銀行業とニューデール（銀行研究 **29**-3） 昭 10
吉田善次 不況五ヶ年間に於ける米國國立銀行信託部（金融三層 **6**-12） 昭 10

米國銀行業發展樣相に對する若干の考察（銀行通信錄 584/85） 昭 9
米國銀行業の兼營化傾向（金融知識 **3**-8） 昭 9
米國國立銀行の營業狀態（銀行通信錄 539） 昭 5
米國國立銀行の資產減少（銀行通信錄 547） 昭 6
米國休業銀行破綻原因研究（大阪銀行通信錄 435） 昭 8
米國に於ける地方小銀行の改善策に就て（銀行通信錄 535） 昭 5

米國の銀行破綻と其改善策（銀行通信錄 507）昭 3
米國諸銀行の營業狀態と其の地方的分布（銀行通信錄 562）昭 7
米國州立銀行の勢力（大阪銀行通信錄 421）昭 7
米國地方銀行の休業（藤本アナリスト 5-2）昭 6
米國チェース・ナショナル銀行の發達（銀行通信錄 531）昭 5
米國チェース・ナショナル銀行の證券事務整理（海外經濟事情 6-31）昭 8
銀行モラトリアム後の米國銀行業（銀行通信錄 581）昭 9
不況時に於ける英米六大銀行の損益比較（銀行通信錄 566）昭 8
過去三ケ年間の米國銀行界の動き（財界要報 118）昭 7
ナショナル・シチー銀行百二十年回顧（大阪銀行通信錄 420）昭 7
紐育銀行の證券會社分離（大阪銀行通信錄 430）昭 8
驚くべき米國銀行業績の惡化（財界觀測 14-7）昭 8
最近に於ける米國銀行業の趨勢（銀行通信錄 590）昭.10
昨年の米國銀行業（銀行通信錄 545）昭 6
世界的不況原因に對するカッセル教授の說 米國の銀行破綻の原因（銀行論叢 16-2）昭 6
1928 年の米國銀行業（銀行通信錄 528）昭 5
1930 年上半期末に於ける紐育諸銀行の資產狀況（銀行通信錄 541）昭 6

ドイツ

橋爪明男 七月恐慌に襲はれたる獨逸大銀行の整理（銀行通信錄 563/64）昭 8
石濱知行 獨逸銀行資本の動き（經濟往來 4-4）昭 4
岩崎博 獨逸に於ける銀行と事業の交涉（企業經營 3-4）昭 5
門脇良教 獨逸信用銀行と工業（大阪銀行通信錄 459）昭 10
小泉計太郎 信用銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
串本友三郎 獨逸に於ける銀行と商業との關係（銀行研究 8-4/6; 9-2/3）大 14
同 獨逸信用銀行の私經濟的研究の資料（銀行研究 9-4）大 14
同 獨逸信用銀行の本質（銀行論叢 5-5）大 14
同 獨逸に於ける銀行と信託（大阪銀行通信錄 345/46）昭 1
*串本友三郎 獨逸信用銀行論 2 版 東京 文雅堂 昭 3 330 頁 四六〔銀行講座〕
同 獨逸信用銀行に於ける經營上の强味と弱味（銀行研究 21-3）昭 6
同 獨逸信用銀行の經營政策に對する批判（銀行論叢 17-6）昭 6
楠見一正 獨逸大銀行と中小工業金融（經濟論叢 33-5/6）昭 6
同 獨逸信用銀行の小額金融に於ける地位（經濟時報 3-7）昭 6
同 獨逸信用銀行の業績に現れたる戰後の變化に就て（經濟時報 3-10/12）昭 6
松本信次 ドイツ銀行の證券賣出業務と株式取引所機能との關係（法政大學論集 5-2）昭 5
同 ドイツ信用銀行論序說（經濟志林 8-1）昭 9
松島喜作 英獨銀行の比較研究（銀行論叢 1-2）大 12
永谷香 最近の獨逸銀行業態（銀行論叢 17-2）昭 6
向井鹿松 英獨銀行制度の比較研究（三田學會雜誌 21-3）昭 2
同 獨逸大銀行制度の新發展傾向一特に大銀行最近の集中形式に就て（經營經濟研究 8）昭 6
*日本銀行調査局 獨逸信用銀行（宗像書記報）大 11 16 頁〔海外經濟彙報 182〕
大森研造 獨逸大銀行の取引所仲立業に就きて（經濟論叢 10-1）大 9
須美芳夫 獨逸大銀行の商工業に對する關係（銀行論叢 1-6）大 12
田中二郎 獨逸銀行業見聞記（大阪銀行通信錄 302/03）大 11
豐崎稔 獨逸恐慌と獨逸式銀行制度一獨逸金融恐慌の一教訓（大阪銀行通信錄 410）昭 6
ゾルムッセン, ゲオルグ 戰後の獨逸銀行業（外國の新聞と雜誌 225）昭 5
獨逸銀行界の大勢（中央銀行會通信錄 235）大 11
獨逸の大銀行に就て（銀行通信錄 540）昭 6
獨逸の大銀行と工業金融〔K. M. 生〕（大阪銀行通信錄 359）昭 2
獨逸六大銀行の金融恐慌中に於ける業態（海外經濟彙報 10）昭 6
獨逸信用銀行（大阪銀行通信錄 299）大 11
英獨に於ける銀行と工業との關係に就て（銀行通信錄 533）昭 5

恐慌時に於ける獨逸銀行業（銀行通信錄 546）昭 6
再建途上の獨逸銀行狀態（ダイヤモンド 21-2）昭 8
最近の獨逸銀行業に就て（銀行通信錄 578）昭 9
注目に値する金融恐慌後のドイツ銀行界（財界要報 118）昭 7

フランス

串本友三郎 佛國銀行業雜聞（大阪銀行通信錄 316/18）大 12/13
*村上恒 佛國大銀行 大 12
本年上半季に於ける佛國の金融狀況と諸銀行の營業狀態（銀行通信錄 538）昭 5
佛蘭西の銀行狀態（ダイヤモンド 21-3）昭 8
佛蘭西諸銀行の破綻と巴里取引所の危機（調査彙報 38）昭 6
昨年の佛國銀行業（銀行通信錄 545）昭 6

イギリス

ペンハム 英國の銀行資本增加につきて（銀行通信錄 400）大 8
*第一銀行調査部 英國銀行家と時局 昭 7 10 頁 菊
*同 低金利下の英國銀行業 昭 9 30 頁 菊
橋爪明男 貸借對照表に現れたるイギリスの五大銀行（經濟研究 5-1）昭 3
*同 英國の株式銀行に就て 東京 日本銀行集會所 昭 5〔銀行叢書 13〕
*同 英國の株式銀行 東京 日本評論社 昭 6 150 頁 新四六〔社會科學叢書 32〕
同 英國の株式銀行に就て（銀行通信錄 531/34）昭 5
*堀江歸一 英國預金銀行論 東京 改造社 昭 2 402 頁 四六〔貨幣銀行外國爲替特殊問題研究 11〕
細矢祐治 本年上半期の英國諸銀行營業狀態（銀行通信錄 561）昭 7
ホウェール, ピー・ビ 英國及大陸銀行の比較（銀行通信錄 548/51）昭 6/7
今井卓雄 英國銀行業に就て（大阪銀行通信錄 403/04）昭 6
石田隆一 英國の銀行業績に現はれたる傾向（銀行論叢 16-4）昭 6
市川正義 英國預金銀行の特質（銀行研究 23-5）昭 7
小山英次 大陸銀行と英國銀行との差異に就て（銀行論叢 3-4）大 13
熊田克郎 英國大銀行の統制組織（大阪銀行通信錄 393）昭 5
松尾藤平 日英商事銀行の對照（銀行論叢 5-5/6; 6-1/2）大 14/昭 1
松島喜作 英獨銀行の比較研究（銀行論叢 1-2）大 12
道上清治 一九二六年度の英國銀行界（經濟論叢 25-2）昭 2
元木茂 英國預金銀行に就て（丘人 6）昭 6
向井鹿松 英獨銀行制度の比較研究（三田學會雜誌 21-3）昭 2
村岡正樹 英蘭卸賣組合銀行に就いて（產業組合 351）昭 10
武藤山治 英國の銀行家と吾國の銀行家（公民講座 32）昭 2
中根貞彥 英國銀行の堅實味と國民性に就て（銀行通信錄 471）大 14
*日本銀行調査局 英國最近銀行問題に就て 大 8 40 頁
奥田勳 株式組織銀行の勃興と英國金融市場の樞軸としての英蘭銀行〔英國金融市場論後篇本論第一章〕（銀行論叢 9-2/3）昭 2
大野榮一郎 英國に於ける預金の流通速度（經濟論叢 36-6）昭 8
小野壽三 輓近英國銀行界の趨勢（銀行研究 2-1）大 11
佐々木駒之助 英國銀行の最近趨勢（大阪銀行通信錄 270）大 9
新庄博 英國に於ける銀行理念の變遷（國民經濟雜誌 59-5）昭 10
十龜盛次 貸借對照表より見たる英國銀行業（銀行研究 21-4）昭 6
陳君懋 英國銀行風潮之回顧（獨立評論 44）民 23
渡邊勇吉 安全性より見たる英國株式銀行の現勢（銀行研究 17-2）昭 4
山下宇一 英國銀行業の近狀（商業論集 9-2）昭 9
英國銀行膨脹と貸出減少（大阪銀行通信錄 430）昭 8
英國銀行傳統と事業金融（銀行論叢 24-3）昭 10
英國銀行業の發達（中央銀行界通信錄 208/10）大 9
英國銀行業の近情（財界觀測 18-12）昭 10
英國銀行業最近の傾向（銀行通信錄 598）昭 10
英國銀行發達小史（大阪銀行通信錄 309）大 12
英國二大銀行の營業狀態（銀行通信錄 533）昭 5

英國五大銀行の營業狀態五ヶ年比較（銀行通信錄 546/47） 昭 6

英國五大銀行頭取演說〔世界經濟會議に關する資料〕（內外調査資料 7 月） 昭 8

英國 1912 年上半期銀行狀況（調査月報 **9**-10） 大 8

銀行の主義に對するリーフ博士の駁論（中央銀行會通信錄 214） 大 10

本年上半季英國五大銀行の營業狀態（銀行通信錄 536） 昭 5

本年上半期に於ける英國銀行の營業狀態（銀行通信錄 548/51） 昭 6

本年上半期の英國銀行狀態（海外經濟彙報 9） 昭 10

本年上半期の英國五大銀行營業成績（銀行通信錄 562） 昭 7

不況時に於ける英米六大銀行の損益比較（銀行通信錄 566） 昭 8

金本位停止と英國の銀行業績（財界要報 117） 昭 7

昨年度英國五大銀行の營業成績（銀行通信錄 543/44 昭 6

昨年中英國五大銀行の營業狀況（銀行通信錄 530） 昭 5

1920年英國銀行業概觀（中央銀行會通信錄 220/22） 大 10

1920年英國の銀行業（中央銀行會通信錄 216） 大 10

1932 年英國五大銀行の營業成績（銀行通信錄 568） 昭 8

1932 年上半季の英國銀行業（銀行通信錄 572） 昭 8

1933 年英國銀行業の概觀（中央銀行會通信錄 372） 昭 9

戰時以來の英國銀行業（東洋經濟新報 1066） 大 12

大戰 5 年間の英國銀行純益金と配當及積立金（銀行通信錄 409） 大 8

低金利下の英國民間銀行（東洋經濟新報 1632） 昭 9

統計上より見たる最近の英國銀行業（銀行通信錄 559） 昭 7

イ ン ド

小泉計太郎 印度の歐式銀行に就て（商業及經濟研究 59） 昭 6

イタリー

ファシスト伊太利の銀行業（銀行通信錄 580） 昭 9

カ ナ ダ

山下宇一 カナダ銀行業（研究資料彙報 **10**-1） 昭 10

滿 洲 國

井村薰雄 滿洲國銀行業の現勢（支那 **26**-10） 昭 10

李龍門 滿洲及中國內地之日本銀行（中東半月刊 **3**-7） 大同 1

永衡官銀號特產買付を開始す（滿鐵調査月報 **11**-12） 昭 6

營口商業銀行創立（ダイヤモンド **21**-38） 昭 8

五族商業銀行營業成績（支那 **10**-20） 大 8

哈爾賓各銀行の借款事業（中東半月刊 **3**-11） 大同 1

哈爾賓に於ける各銀行の事業（露亞時報 22） 大 10

哈爾賓商業銀行民國 8 年度營業紀略（銀行週報 154） 民 9

邊業銀行組織變更に關する呈文（財政月刊 83） 民 9

邊業銀行借款（天津週報 163） 民 8

邊業銀行特權取消之必要（銀行週報 160） 民 9

吉林永衡官銀錢號（滿鐵調査月報 **12**-1） 昭 7

黑龍江官銀號の營業狀態（滿蒙事情 113） 昭 6

黑龍江官銀號と東三省官銀號（通商公報 688） 大 9

黑龍江省農商銀行設置（滿鐵調査月報 **12**-11） 昭 7

新京國內銀行爲替受拂額（經濟金融概況 17） 大同 3

東三省銀行の金融整理方法（通商公報 793） 大 9

10 銀行比較研究（滿洲經濟時報 **3**-10） 大11

オーストリア

青木得三 墺國銀行の破產及淸算に就て（明大經濟研究 **1**-1） 大 10

平實 墺太利大銀行沒落の顚末（銀行論叢 **23**-4） 昭 9

ロ シ ア

露西亞商業銀行の現況（通商公報 1059） 大 12

露西亞商業銀行の業績（露亞時報 48） 大 12

支 那

譚瀘 銀行之設立（銀行週報 693） 民 20

念陶 北京滙豐銀行之失態（銀行週報 498） 民 16

*銀行週報社 上海銀行公會事業史 民 14

晃承禧 民國二十三年度的中國銀行界（東方雜誌 **32**-2） 民 24

方宗鰲 論吾國商業銀行亟宜商業化（銀行月刊 **7**-1） 民 16

馮肇樑 上海之銀行事業（商業雜誌 **2**-2） 民 16

謙益 銀行之功用（錢業月報 **7**-3） 民 16

權時 中國重要銀行最近十年營業概況研究（銀行週報 810） 民 22

同 讀上海銀行 23 年度營業報告書感（銀行週報 898） 民 24

同 讀中行 23 年度營業報告後的業觀感想（銀行週報 894） 民 24

顧準 中國 13 年銀行公會聯合會議審定會計科目之商榷（銀行週報 808） 民 22

許寶和 中國近年之銀行業（東方雜誌 **30**-9） 民 22

同 中國銀行業近年之動態（東方雜誌 **31**-1） 民 23

競存 爲日夜銀行宣告淸理而作（錢業月報 **11**-2） 民 20

王維騏 由歐美銀行業與實業之關係說到我國銀行今後應克之新途徑（東方雜誌 **31**-20） 民 23

汪叔梅 我國目前銀行事業之病態論斷（銀行週報 795） 民 22

同 二十二年度我國銀行業之回顧（銀行週報 836） 民 23

同 我國銀行業當前之危機（銀行週報 899） 民 24

及川恒忠 上海銀行公會の支那國民經濟に於ける地位に就て（三田學會雜誌 **22**-6） 昭 3

林康侯 上海銀行界與內國公債（銀行週報 781） 民 22

酒井忠道 北京に於ける銀行（東洋時報 266） 大 9

靜如 民國十五年全國銀行大事記（銀行週報 482） 民 16

錢俊瑞 中國銀行 23 年度報告書之研究（新中華 **3**-8） 民 24

薛遺生 上海市銀行業倉庫營業規則之商榷（銀行週報 822） 民 22

子明 民國十九年銀行大事記（銀行週報 689） 民 20

宗植心 中國銀行界前途之危機及其豫防之方法（銀行月刊 **11**-7） 民 16

莊叔英 中外合辦銀行之研究（銀行月刊 **7**-8） 民 16

謝菊會 道勝銀行淸理述評（上海總商會月報 **6**-10） 民 15

上海銀行公會 各地支那銀行調査表（上海週報 471） 民 10

受百錄 普通銀行之意義（銀行週報 690） 民 20

周憲文 讀了中行 22 年度營業報告以後（新中華 **2**-9） 民 23

蕭燕寅 中國銀行業之趨勢（錢業月報 **11**-12） 民 20

泰獄靈 去年銀行業的回顧（銀行週報 883） 民 24

程文鵠 論上海銀行業發達之異態（商兌 **1**-8） 民 22

張嘉璈 支那中國銀行の近狀（大阪銀行通信錄 281） 大 10

*朝鮮銀行調査課 支那新式銀行の現勢（9 年調査 28） 昭 9

*中國銀行總管理處經濟研究室 中國重要銀行營業概況研究（民國 21 年度） 民 22 29 頁

*同 中國重要銀行最近十年營業概況研究 民 22

楊端六 上海銀行調査記（上海總商會月報 **6**-11） 民 15

姚肖廉 銀行業務危機之分析（錢業月報 **15**-10） 民 24

米澤秀夫 支那新式銀行の發展とその特質（東亞經濟研究 **17**-2/3） 昭 8

裕孫 上海各銀行辦理儲蓄業務之研究（銀行週報 314） 民 12

*善生永助 支那に於ける各銀行の營業狀態〔戰後の支那の內〕 大 9

同 支那新式銀行の發達（財政經濟時報 8-12） 大 10

*徐滄水 上海銀行公會事業史 民 14

亞細亞銀行の開業（上海週報 359） 民 8

懋業銀行の其後（上海 357） 民 8

讀薛遺生先生「上海市銀行業倉庫營業規則之商榷」（銀行週報 827） 民 22

銀行團の由來及其經過の回潮（銀行週報 272） 民 11

銀行公會代兌中法實業銀行鈔票紀要（銀行月刊 **1**-8） 民 10

銀行公會の意見書（上海 413） 民 10

銀行公會の活動（上海 452） 民 10

銀行公會聯合會議之滬會代表（銀行週報 243） 民 11

銀行公會聯合會議之滬會擬提議案（銀行週報 293） 民 12

銀行問題之商確（中央銀行旬報 89） 民 20

銀行消息（中央銀行旬報 35/37, 48/51） 民 19

半年間上海銀行大事提要（銀行週報 308） 民 12

香港上海銀行營業成績（支那 12-7） 大 10
香港上海銀行增資（通商公報 914） 大 11
華富殖業銀行の復活（朝鮮銀行月報 10-12） 大 9
花旗銀行事情（支那 10-11） 大 8
各銀行の報告書觀（銀行週報 243） 民 11
漢口銀行公會章程（漢口實業週報 436） 大 12
漢口に於ける全國銀行公會開會情況（漢口實業週報 435） 大 12
廣東銀行營業成績（支那 10-15） 大 8
國貨銀行開業に就て（上海經濟月報 3-12） 昭 4
工商銀行停業後輿論之一斑（銀行週報 663） 民 19
杭州各銀行の營業成績（支那經濟時報 4） 民 10
廣州工商銀行宣告破產（銀行週報 671） 民 19
交通銀行の窮狀（滿蒙實業彙報 71） 大 10
交通銀行之內部新組織（銀行週報 308） 民 12
交通銀行臨時股東會紀錄（銀行週報 238） 民 11
交通銀行董事會之宣言（銀行週報 238） 民 11
民國 19 年銀行大事記（銀行週報 689） 民 20
滙豐銀行（調查時報 6-6） 昭 1
滙豐銀行房屋之今昔觀（銀行週報 305） 民 12
滙興銀行の破綻と整理（上海週報 528） 大 11
蒙古實業銀行章程（上海週報 573） 大 12
蒙藏銀行章程及招股章程（銀行月刊 2-2） 民 11
蒙藏銀行收股與該行章程（銀行月刊 2-1） 民 11
22 年份我國銀行業之迴顧（中行月刊 8-1/2） 民 23
農商銀行の疑問（銀行週報 168） 民 9
農商銀行之創立會（銀行月刊 1-8） 民 10
農商銀行設立に關する呈文（財政月刊 81） 民 9
北京銀行公會內部規則（銀行週報 4） 民 6
茶業銀行之內情（銀行週報 138） 民 9
最近兩年中國各銀行之業務（東方雜誌 32-15） 民 24
最近我國銀行業營業狀況之分析及金融問題の攷察（中行月刊 11-2） 民 24
濟南實業銀行擠兌風潮始末（中行月刊 8-3） 民 23
山東的銀行業調查（工商半月刊 7-2） 民 24
1934 年度の上海に於ける銀行業績（海外經濟彙報 2） 昭 10
支那銀行業の現勢（東洋貿易研究 12-6） 昭 8
支那銀行公會の活動（滿蒙實業彙報 78） 大 11
支那銀行組合の意見書（通商公報 807） 大 10
支那銀行並錢莊業績（昭和 8 年度）（海外經濟事情 12） 昭 9
支那銀行の缺點と商業との關係（上海公論 2-8） 大 9
支那銀行創立年と銀行所在地の觀察（銀行週報 270） 民 11
支那銀行調查室之革新（銀行週報 234） 民 11
支那銀行事業之近狀（銀行週報 201） 民 10
支那各銀行の狀況（英商公會華文報 1-15） 民 10
支那に於ける舊式銀行（東洋貿易研究 44） 昭 1
支那の銀行業（支那 12-2） 大 10
支那資本銀行全滅に瀕す（貿易週報 22-2） 昭 10
支那新式銀行（滿蒙實業彙報 75） 大 10
支那新式銀行の現勢（內外調查資料 7-4） 昭 10
支那新式銀行の近況（海外經濟彙報 9） 昭 10
震義銀行設立（支那經濟時報 1-2） 大 10
組織燈酒銀行之呈文（銀行週報 205） 民 10
上海銀行業同業會と章程（上海經濟月報 5-11） 昭 6
上海銀行業同業公會成立大會記（銀行週報 719） 民 20
上海各銀號 10 年度盈餘調查（銀行月刊 2-2） 民 11
上海各銀行現銀底概況（中行月刊 8-3） 民 23
上海，漢口，北京銀行公會對於銀行法意見書（銀行週報 697） 民 20
上海金融界に於ける支那新式銀行の勢力（上海時論 5-1） 昭 5
上海に於ける銀行の近狀（朝鮮銀行月報 12-8） 大 10
上海に於ける支那銀行聯合準備庫と公單制度の改正（正金週報 34） 昭 8
上海最近開業の銀行（銀行月刊 1-6） 民 10
上海最近設立の銀行（銀行月刊 1-7） 民 10
上海市銀行業同業公會會員銀行民國 20 年度營業報告一民國 20 年 12 月 31 日 止（銀行週報 746） 民 21
「上海市銀行業倉庫營業規則之商榷」之商榷（銀行週報 827） 民 22
上海市銀行業總調查（國際通商時報 24） 康德 2
上海市五大銀行投資西北之概況（中央銀行月報 4-2） 民 24
上海支那側銀行團の新證券發行中止（海外經濟彙報 5） 昭 9
上海支那側銀行の聯合準備公約（海外經濟彙報 2） 昭 7
上海上交銀行消息（銀行月刊 2-2） 民 11
商業銀行總分行制度組織上之研究（銀行週報 220） 民 10

殖業銀行復業問題（銀行月刊 2-2） 民 11
殖業銀行則例廢止に關する呈文（財政月刊 8-94） 民 10
對於中法實業銀行停業之管見（銀行週報 209） 民 10
天津銀行公會對於銀行法意見書（銀行週報 697） 民 20
天津銀行公會の廢兩改元實施方法に關する件（經濟月報 5-4） 昭 8
德華銀行恢復準備（上海 447） 民 10
中義，華義，商業，三銀行之實相（銀行週報 138） 民 9
中國銀行營業之內容及查帳之經過（銀行週報 299） 民 12
中國銀行業の過去及現狀（滿鐵調查月報 14-10） 昭 9
中國銀行公會之聯合會議（英商公會華文報 3-1） 民 11
中國銀行日本に分行設立（東三省官銀號經濟月刊 3-1） 民 20
中國銀行之營業近況（銀行週報 298） 民 12
中國銀行の特質（滿鐵調查月報 14-2） 昭 9
中國銀行昨年度營業成績（上海週報 479） 大 10
中國國貨銀行監察人會規則（〔上海〕經濟月報 37） 昭 5
中國國貨銀行董事會規程（〔上海〕經濟月報 37） 昭 5
中國國貨銀行章程（〔上海〕經濟月報 37） 昭 5
中國交通兩銀行取締問題（東拓月報 17） 大 10
中國交通兩銀行取締問題と今後の財界（上海週報 520） 民 10
中國，交通，中華滙業，各銀行股東會記事（銀行月刊 2-6） 民 11
中國之銀行事業（銀行月刊 1-6） 民 10
中法銀行停業雜感（銀行週報 209） 民 10
中法實業銀行（支那 10-5） 大 8
中法實業銀行營業之回瀾（銀行週報 229） 民 10
中法實業銀行復業之協定（銀行週報 219） 民 10
中法實業銀行復業之預備（銀行月報 3-12） 民 12
中法實業銀行の復業（支那時事 3-5） 大 12
中法實業銀行之舊事重提（銀行週報 262） 民 11
中南銀行（中國與南洋 2-2） 民10
我國銀行業之現勢（工商半月刊 7-8） 民 24
我國銀行業與歐米銀行業之比較（銀行月刊 3-9） 民 12
我國銀行公會聯合會記（銀行月刊 1-6） 民 10
吾國銀行事業の缺點と商業との關係（銀行週報 152） 民 9
我對於中國新式金融業之觀察（銀行週報 797） 民 22
全國銀行公會第二次聯合會議議決錄（銀行月刊 1-10） 民 10
全國銀行公會第三次聯合會議誌略（銀行月刊 2-5） 民 11
全國銀行公會第 4 回聯合會議紀要（銀行週報 296） 民 12
全國銀行公會臨時聯合會議建議政府呈文（銀行月刊 1-10） 民 10
全國銀行公會臨時聯合會議宣言書（銀行月刊 1-10） 民 10
實部積極籌設之銀行（農商農民農業）（中行月刊 8-3） 民 23

ス イ ス

串本友三郎 スキスの銀行業（大阪銀行通信錄 327） 大 14
外資導入に惱むスイス銀行界（財界要報 118） 昭 7

B. 集 中

a. 一 般

長谷川正輔 大銀行論（銀行論叢 12-4/6） 昭 4
*畠山豐吉 銀行新設と合同 大阪 大同書院 昭 6 399頁 菊
稻垣寬司 銀行パニックによりて得たる銀行合同への第一步經驗に就て（商業經濟研究 2） 昭 2
石卷良夫 銀行合同に關する研究問題の二三（中央銀行會通信錄 248） 大 12
同 銀行合同より銀行聯合へ（銀行論叢 2-1） 大 13
岩崎博 銀行破綻の救濟策は銀行合同にあり（銀行研究 10-3） 昭 1
同 銀行合同の銀行經營及利潤に及ぼす影響（銀行研究 10-6） 昭 1
神戶秀雄 支店銀行制度發展の限界（銀行研究 18-3） 昭 5
川上良兄 銀行の合同に關する考察〔新らしき銀行經營論 12〕（銀行論叢 17-2） 昭 6
同 銀行の合同に關する經營政策〔新らしき銀行經營論 13〕（銀行論叢 17 3） 昭 6

北川 實 銀行業の起源發達合同批判（中央銀行會通信錄 272） 大 14
小西 丈郎 銀行集中と銀行聯合（銀行研究 **10**-4） 昭 1
牧野 輝智 銀行合同（金融大辭典 I 卷 4 頁） 昭 9
松崎 壽 銀行合同（經濟學辭典 II 卷 2 頁） 昭 6
同 銀行の集中（經濟學辭典 II 卷 2 頁） 昭 6
三浦 實 銀行集中（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9
宗像 久敬 銀行合同論（金融研究 **2**-12） 大 14
奥田 勳 支店銀行制度に就て（銀行論叢 **1**-3） 大 12
同 金融合同（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6
同 支店銀行制度（經濟學辭典 III 卷 2 頁） 昭 6
同 獨立銀行制度（經濟學辭典 IV 卷 1 頁） 昭 6
同 銀行聯合（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9
同 支店銀行制度（金融大辭典 II 卷 3 頁） 昭 9
奥村 永祿 銀行集中史論（大阪銀行通信錄 365） 昭 3
サイクス, ヨセフ 銀行合同の利害得失（中央銀行會通信錄 282/83, 285, 287, 290/94, 300/01） 昭 1/3
瀨戸 健助 銀行集中の研究（大阪銀行通信錄 387/88） 昭 4
スティール 銀行の競爭と合同に就て（大阪銀行通信錄 297） 大 11
高橋 芳三 銀行集中瞥見（經濟集志 **7**-4） 昭 9
田中 金司 銀行集中運動に於ける最近の傾向（經營經濟研究 6） 昭 5
山上 金男 銀行集中の資本制的意義（商學研究雜誌 8） 昭 5

連鎖銀行制度か支店銀行制度か（財界研究 **6**-5） 昭 4

b. 各 國 別

日 本

青木 忠恕 地方開發上より見たる銀行支店制度（銀行研究 **3**-1） 大 11
*馬場 友義 銀行合併の理論と實際手續 東京寶文館 昭 3 597 頁 四六
同 銀行合併の法律問題（銀行研究 **19**-4） 昭 5
榎並 越夫 集中問題より見たる地方銀行（銀行研究 **2**-5） 大 11
同 銀行合同及地方銀行協會設立論（銀行研究 **4**-3） 大 12
福岡 由一 銀行の合併及買收の手續（大阪銀行通信錄 344/46） 昭 1
藤城 敬二 商工金融と銀行支店制度の改善（銀行研究 **8**-4） 大 14
飯田 幸吉 金融資本の發展と本邦銀行集中運動（大倉學會雜誌 **2**-2） 昭 4
池田 富美夫 銀行資本の集中と新銀行の諸斷面（稅 **11**-1/2） 昭 7/8
池田 藤四郎 新經營策—銀行合同の意義（ダイヤモンド **17**-22） 昭 4
井上 辰九郎 銀行合同の必要と其難關（東京經濟雜誌 2005） 大 8
岩崎 虎次郎 銀行の合併に就て（朝鮮經濟雜誌 87） 大 12
神戸 正雄 安田銀行大合同の財界に及ぼす影響（銀行論叢 **1**-1） 大 12
同 銀行合同の機運（時事經濟問題 10） 大 12
同 銀行合同（時事經濟問題 43） 昭 1
同 銀行合同と震災手形（時事經濟問題 45） 昭 1
同 銀行の集中（時事經濟問題 70） 昭 3
同 銀行合同と地方金融（時事經濟問題 71） 昭 3
同 資金偏在と銀行集中（時事經濟問題 75） 昭 3
同 銀行及信託の集中（時事經濟問題 76） 昭 3
同 銀行信託及保險に於ける集中傾向（時事經濟問題 79） 昭 4
同 銀行の合同及集中（時事經濟問題 82） 昭 4
同 正貨解禁と銀行合同（時事經濟問題 83） 昭 4
春日井 薰 銀行合同の意義と其の影響（銀行研究 **13**-4） 昭 2
加藤 榮一郎 銀行の合同に就て（大阪銀行通信錄 311） 大 12
川上 良兒 銀行の合同に關する考察（銀行論叢 **17**-2） 昭 6
同 銀行の合同に關する經營政策（銀行論叢 **17**-3） 昭 6

川村和嘉治 銀行カルテルの強化（經濟往來 **9**-7） 昭 9
*金融研究會 我國に於ける銀行合同の大勢 東京同會 昭 10 395 頁 菊〔金融研究會調書 7〕
1. 銀行合同 2. 日本勸業銀行及び農工銀行の合併と其の問題 3. 銀行合同の諸形式 4. 支店制度の發達 5. 政府の銀行合同勸奬方針の沿革 附錄
小坂珠城 銀行の出張所制度に就て（銀行研究 **8**-3） 大 14
同 （銀行）出張所制度の若干考察（銀行研究 **21**-2） 昭 6
黒川芳藏 我國に於ける銀行集中の趨勢と銀行政策に就て（同志社論叢 16） 大 14
前田 清 我國に於ける銀行集中の研究（銀行論叢 **16**-3；**17**-1, 4） 昭 6
前田繁一 銀行合同と中小商工農の金融問題（經濟往來 **4**-8） 昭 4
牧野輝智 銀行合同促進の利弊（中央公論 **42**-12） 昭 2
松尾藤平 再燃したる銀行合同及極致點（銀行論叢 **5**-2） 大 14
宮原 升 本邦親子關係銀行に關する一研究（經濟評論—青山學院 22） 昭 10
向井鹿松 大阪三大銀行の合同に就て（經營經濟研究 15） 昭 9
中村重夫 我國に於ける銀行合同の趨勢（銀行研究 **20**-1） 昭 6
中島濱三郎 銀行の合併に就て（大阪銀行通信錄 260） 大 8
成瀨正恭 銀行合同の必要（銀行通信錄 447） 大 12
西內青藍 銀行合同の急と其方策（經濟時論 **7**-8） 大 8
野崎龍七 傍系銀行（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9
岡野文之助 銀行合同に關する若干考察（銀行論叢 **9**-1） 昭 2
奥野 平 地方銀行の合同と個人銀行廢業問題（銀行論叢 **15**-6） 昭 5
*大藏省臨時調査局 企業合同竝銀行合併の趨勢 東京 大 8〔財政經濟時事問題研究 3〕
*同 我國に於ける事業竝銀行の合同集中の趨勢 東京 大 9〔財政經濟時事問題研究 4〕
佐藤善郎 大阪三大銀行の合併（大大阪 **9**-9） 昭 8
鈴木 穆 發行稅廢止と銀行の合同（エコノミスト **2**-4） 大 13
竹內英吉 大阪組合銀行の出張所網（銀行研究 **12**-4） 昭 2
*東京商工會議所 我國銀行の合同問題 昭 5 212 頁〔商工調査 27〕
渡邊光重 東京第三，東京第四千四兩國立銀行合併について（經濟史研究 **14**-1） 昭 10
渡邊鐵藏 銀行の合同傾向に就て（中央公論 **42**-5） 昭 2

銀行合同延長案提出（銀行通信錄 542） 昭 6
銀行合同の具體策（エコノミスト **5**-14） 昭 2
銀行合同の强制と日銀の銀行檢查問題（東洋經濟新報 1275） 昭 2
銀行合同の新機運動く（大正 11 年以來の實績を回顧）（金融知識 **4**-2） 昭 9
銀行合同の推移（金融三層 **2**-2） 昭 6
銀行合同促進難の一考察（經濟時論 **11**-6） 大 12
銀行合同促進に關する演說（大阪銀行通信錄 331） 大 14
銀行業の合同整理進捗（エコノミスト **3**-8） 大 14
銀行の合同整理（山一證券時報 **11**-7） 昭 3
銀行集中の趨勢（東洋經濟新報 1043） 大 12
八月中の銀行合同數（中央銀行會通信錄 318） 昭 4
各地銀行合同狀況（中央銀行會通信錄 317/20） 昭 4
恐慌と銀行集中の趨勢（東洋經濟新報 1248） 昭 2
三十四，山口，鴻池三銀行の合併（銀行通信錄 572） 昭 8
四月中の銀行合同狀況（中央銀行會通信錄 314） 昭 4
大戰後に於ける本邦銀行合同の趨勢（內外調查資料 **2**-11） 昭 5
朝鮮に於ける銀行合同（京城商工會議所經濟月報 224） 昭 9
注意すべき銀行合同の盛行（東洋經濟新報 1266） 昭 2
我國銀行合同集中史とその影響に關する一考察（財界研究 **6**-2） 昭 4
我國に於ける銀行合同の趨勢（商工月報 **5**-9, 11） 昭 4
我國に於ける銀行合同の趨勢と支店の分布（銀行通信錄 400/05） 昭 1/2
預金吸收策としての銀行合同（ダイヤモンド **15**-32） 昭 2
行詰つた支店銀行制度（金融知識 **4**-3） 昭 9

在滿日本 4 銀行合同案の内容（支那時事 3-11）大 12

アメリカ合衆國

アトウッド　米國の銀行併合と支店問題（外國の新聞と雜誌 156）昭 2

岩崎　博　米國に於ける支店銀行問題（銀行研究 10-1）昭 1

同　英國の銀行合同制限と米國の銀行合同傾向（銀行研究 11-5）昭 1

同　米國に於けるグループ・バンキング—銀行組織に一大轉換を齎した新傾向（銀行研究 18-2）昭 5

井關孝雄　チェンバンキング（銀行論叢 16-2）昭 6

樫尾　謙　グループ・バンキングと支店銀行制度（商業經濟論叢 8-下）昭 5

加藤信夫　米國に於ける銀行支店設置問題（國家學會雜誌 40-3/4）昭 1

勝田貞次　米國に於ける支店銀行制度と獨立銀行制度（銀行研究 4-3/4）大 12

川上良兒　紐育市に於ける銀行合同運動（銀行論叢 13-1）昭 4

*金融研究會　銀行集中の大勢 I：米國の部 II：英國の部 昭 5/6〔金融研究會調書 4〕

小泉計太郎　連鎖銀行（經濟學辭典 V 卷 1頁）昭 7

工業資料調査會調査部　米國に於けるチエン・バンキングの發展（工業要錄 7-2/3）昭 6

小島精一　モルガン治下の銀行集中（改造 12-3）昭 5

*日本銀行調査局　米國銀行支店制度問題　大 12

二宮丁三　米國に於ける銀行合同運動の近情（山口高商調査課時報 1-3）昭 4

奥田　勳　獨立銀行制度（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

千家恒麿　連鎖銀行（金融大辭典 III 卷 1頁）昭 9

鹽野谷九十九　合衆國に於ける銀行集中運動（横濱商業專門學校研究論集 6）昭 8

十亀盛次　米國の銀行支店問題（銀行研究 15-1/2, 4）昭 3

田中正雄　米國に於ける休業銀行概觀（金融三層 3-12）昭 6

渡邊佐平　合衆國に於ける國法銀行支店設置權の擴大（經濟志林 7-2）昭 9

アメリカに於ける「團體銀行制」の將來（財界研究 7-6）昭 4

米國銀行業の集中化傾向（金融知識 3-8）昭 9

米國グループ・バンキング制反對論（大阪銀行通信錄 393）昭 5

米國國立銀行及州立銀行の支店問題（銀行通信錄 448）大 12

米國に於ける銀行合同の趨勢（銀行通信錄 521）昭 4

米國に於ける銀行合同及買收に對する抗議（商工月報 3-12）昭 2

米國に於ける銀行の合併傾向（正金週報 51）昭 5

米國に於ける國立銀行支店設置問題（通商公報 1024）大 12

米國に於ける連鎖銀行（又は團體銀行）に就て（銀行通信錄 530）昭 5

米國に於ける最近の銀行支店制度問題（正金週報 35）昭 5

米國に於けるチエン・バンキングの發展（藤本アナリスト 5-1）昭 6

米國の戰後金融と銀行合併（調査月報 9-10）大 8

米國の支店銀行問題（銀行論叢 21-4）昭 8

米國地方銀行の休業（藤本アナリスト 5-2）昭 6

紐育二大銀行の合併（大阪銀行通信錄 413）昭 7

世界最大の銀行チエーズ・ナショナル銀行の新陣容（藤本アナリスト 4-9）昭 5

ベルギー

クレブネル　白耳義國に於ける銀行の集中と其の將來（調査月報 19-12）昭 4

ドイツ

串本友三郎　獨逸信用銀行の支店統制（大阪銀行通信錄 433）昭 8

向井鹿松　獨逸大銀行制度の新發展傾向—特に大銀行最近の集中形式に就て（經營經濟研究 8）昭 6

大藏省理財局　英獨に於ける銀行合併趨勢（財政經濟調査 4-3）大 12

恐慌下のドイツ銀行集中（世界經濟 8）昭 7

フランス

小川福太郎　佛蘭西に於ける銀行集中の概觀（商工經濟研究 1-3）昭 1

イギリス

綾井龜夫　英國の銀行支店制度（銀行研究 13-6）昭 2

堀江歸一　英國に於ける銀行合同の趨勢と其特色（三田學會雜誌 16-7）大 11

岩井仙吉　英國に於ける銀行集中の結果（銀行研究 13-2）昭 2

岩崎　博　英國の銀行合同制限と米國の銀行合同傾向（銀行研究 11-5）昭 1

*金融研究會　銀行集中の大勢 I: 米國の部 II: 英國の部 昭 5/6〔金融研究會調書 4〕

串本友三郎　獨逸信用銀行の支店統制（大阪銀行通信錄 433）昭 8

三浦　寅　英吉利銀行合同調査委員會（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

大藏省理財局　英獨に於ける銀行合併趨勢（財政經濟調査 4-3）大 12

サイクス　英國に於ける銀行合同の效果—自 1825 年至 1924 年（中央銀行會通信錄 282, 291）昭 1/2

十亀盛次　英國銀行合同論（銀行研究 5-2）大 12

宇都宮滿　英國に於ける銀行合同の沿革と成果（銀行研究 14-8）昭 3

渡邊　進　英國に於ける銀行合同（中央銀行會通信錄 327）昭 5

英國銀行合同の趨勢と其得失に就て（銀行通信錄 501）昭 2

英國銀行界合同運動の經路（財界研究 3-6）昭 2

英國に於ける銀行の合同及其系統（銀行通信錄 433）大 10

倫敦組合銀行合同小史（銀行通信錄 522/27）昭 4

運動一段落を告げたる英國の銀行合同（中外財界 2-14）昭 2

支那

滬亞東銀行徐滙辦事處開幕（中行月刊 8-3）民 23

ii. 其他の機關

a. 一般

五十子宇平　ビルブローカーに就て（金融研究 2-10）大 14

岩崎　博　ビル・ブローカー（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

春日井　薫　手形引受業者（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6

栗栖赳夫　保護預り會社と其業務（銀行研究 3-4/6；4-1/3, 6/7；5-1/2）大 11/12

黒野忠雄　アクセプテイング・ハウス（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

松岡孝兒　支拂保證割引銀行（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

松崎　壽　銀行と手形引受業者との關係（商業及經濟研究 36）大 13

野崎龍七　金融ブローカー（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

奥田　勳　割引會社（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

同　割引會社（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

山根雅男　ビルブローカー（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　手形ブローカー（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　ビルブローカー會社（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

爲替仲立業（財政經濟時報 8-3）大 10

コール・ブローカーの窮狀と其轉換策（東洋經濟新報 1252）昭 2

b. 各國別

日本

石毛竹治郎　手形引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 303）大 11

紀清市　我國に於けるビルブローカー銀行（銀行研究 3-2）大 11

金野豐　手形引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 301）大 11

同　引受會社の設立に就て（大阪銀行通信錄 305）大 12

清水文之輔　手形引受會社批判（東京經濟雜誌 2108）大 11

*臺灣に於ける錢莊〔臺灣銀行調査彙報 1〕大 9

臺灣の錢莊に就て（臺灣金融經濟月報 '96）昭 10

アメリカ合衆國

岩崎 靜也 米國に於ける商業手形會社（銀行論叢 7-5） 昭 1

イギリス

*第一銀行調査部 倫敦割引業者の苦境 昭 8 11 頁 菊

飯田 照夫 アクセプテイング・ハウスの沿革と其職能（經濟集志 8-1/2） 昭 10

池田 了實 倫敦市場に於けるビルブローカー業（銀行研究 6-2/3） 大 13

小林 政一 マーチャント・バンカー（金融大辭典 III 卷 1 頁） 昭 9

三浦 實 手形引受商會（金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

丹後 愛三郎 英國金融市場に於ける手形仲買人（經濟商業論纂 1） 昭 6

倫敦割引會社の近情（大阪銀行通信錄 440） 昭 9

滿洲國

*大連商工會議所 大連上海銀市相場の開き並に大連支那錢莊の鞘取賣買の研究 昭 2

グラジダーンツエフ, ア・エス 錢莊（地場銀行）に就て（露滿蒙時報 181） 昭 9

南平 正治 奉天錢業公會に就いて—公會を中心としたる奉天錢業界（滿鐵調査月報 14-1） 昭 9

哈爾賓の錢莊（哈爾賓商品陳列館館報 4） 大 8

支那

*潘 子豪 中國錢莊概要 上海 華通書局 民 20 294 頁 四六〔華通經濟學叢書〕

*大連商工會議所 大連上海銀市相場の開き並に大連支那錢莊の鞘取賣買の研究 昭 2

魏 友斐 銀行與錢莊（錢業月報 11-8） 民 20

同 十年來上海錢莊事業之變遷（錢業月報 13-1） 民 22

同 論銀行錢莊之爭（錢業月報 14-1） 民 23

同 從實質上論錢莊前途（錢業月報 15-10） 民 24

吳 菊初 錢業與錢莊法（錢業月報 11-9） 民 20

吳 承禧 中國錢莊業之危機（國聞週報 11-1） 民 23

虞 廷福 寧波錢業概況（錢業月報 11-10） 民 20

*廣畑 茂 支那貨幣史錢莊攷 昭 8

甘 祠森 川省錢莊業之近狀（錢業月報 15-6） 民 24

葛 成章 今日錢莊之危機及補救（銀行週報 905） 民 24

季 堯樵 錢莊論略（錢業月報 11-11） 民 20

木村 增太郎 支那の錢莊（東亞經濟研究 2-3；3-1） 大 7/8

胡 叔仁 支那錢業概論（上海時論 2-4/6, 12） 昭 2

群 策 南昌市之錢業（錢業月報 15-1） 民 24

蘧 然 錢業研究改進之管見（錢業月報 13-8） 民 22

森 菊雄 錢莊の研究（東亞事情研究 3） 昭 2

中田 謙二郎 支那錢業及び其簿記（會計 34-2/3） 昭 9

王 逢辛 錢莊業之維新運動（商兌 1-6） 民 22

王 叔涵 兩淮鹽務與錢莊（經濟學季刊 2-3） 民 20

汪 中 上海金融中心之錢莊（錢業月報 14-2） 民 23

及川 恒忠 錢莊の發達に就て（東亞經濟研究 6-4） 大 11

李 翠 泰興錢莊之調查（錢業月報 7-5） 民 16

*李權時・趙渭人 上海の錢莊 2 版 上海 東南書店 昭 5 126 頁〔經濟叢書〕

濟 洧 蘇州最近之錢業狀況（錢業月報 11-6） 民 20

策 羣 南昌市之錢業（錢業月報 15-1） 民 24

關 忠治 中華民國新銀行法と錢莊（內外研究 5-1） 昭 7

秦 省如 錢業現勢概評（錢業月報 15-3） 民 24

譚 秉文 漢口錢莊業的動向（錢業月報 15-8） 民 24

致 高 重慶之錢莊（錢業月報 12-9） 民 21

沈 祖彝 福州之錢莊（銀行週報 721） 民 20

張 潤生 譯 廣州之錢莊（錢業月報 12-12） 民 21

姚 玄華 上海錢莊之概況（經濟月刊 3-3） 民 20

同 上海錢莊之概況（東三省官銀號經濟月刊 3-3） 民 20

滬埠兩匯劃錢莊改組續訊（中行月刊 8-3） 民 23

舊正明錢莊的狀況（東洋貿易時報 10-8） 昭 9

論錢莊之重要及今後應有之興革（錢業月報 14-3） 民 23

山東之錢莊（工商半月刊 7-6） 民 24

錢業同業公會成立會紀錄（錢業月報 11-10） 民 20

錢莊今後發展業務之我見（錢業月報 14-3） 民 23

錢莊の倒產と其影響（漢口商業會議所月報 463） 大 12

錢莊在經濟復興中之關係（錢業月報 14-3） 民 23

支那銀行並錢莊業績（昭和 8 年度）（海外經濟事情 12） 昭 9

蘇州之錢莊關閉（中行月刊 8-3） 民 23

上海金融中心之錢莊（錢業月報 14-3） 民 23

上海に於ける錢莊の近狀（海外經濟彙報 6） 昭 9

上海の錢業（社會月刊 1-11） 民 18

上海の錢業調查（上海週報 857） 昭 5

上海の錢莊と預金問題（上海週報 872） 昭 6

上海錢業營業規則之比較述評（銀行週報 291） 民 12

上海錢業本票保付手續之研究（銀行週報 140） 民 9

上海錢業公會章程（銀行週報 682） 民 20

上海錢業公所修訂營業規則（銀行週報 150） 民 9

上海錢業之軋公單與拆借（中央銀行月報 4-2） 民 24

上海錢業小同行（社會月刊 1-12） 民 18

上海錢業調查（上海週報 853, 861, 863/64） 昭 6

上海錢業調查（工商半月刊 6-15） 民 23

上海錢莊（〔上海〕經濟月報 2-12） 昭 3

上海錢莊的將來と聯合準備庫問題（東洋貿易研究 11-5） 昭 7

上海錢莊の取扱ふ預金の話（正金週報 23） 昭 6

上海市錢業同業公會章程（〔上海〕經濟月報 60） 昭 6

上海市錢業業規（錢業月報 14-5） 民 23

修正長沙錢業公所の章程（支那 10-5） 大 8

VII. 工業金融

1. 一般

a. 一般

服部文四郎　粗製濫造と金融（早稻田政治經濟學雜誌 5）昭 1

土方久徵　工業金融に就て（銀行通信錄 427）大 10

同　工業金融に就て（中央銀行會通信錄 217）大 10

賣來市松　工業金融に就て（工業 15）昭 2

池田謙三　工業の發達と金融業（國產時報 4-8）大 8

*池田了實　事業會社の金融 東京 文雅堂 昭 2 362 頁 菊

伊藤久秋　工業資本の調達に就いて（長崎高商研究館彙報 **23**-3）昭 10

岩城隆德　工業金融問題解決の一策（工業要錄 **6**-1）昭 5

*工業經濟研究會　工業金融 東京 森山書店 昭 8 162 頁 菊〔工業經濟研究 4 册特輯〕

近藤泥牛　產業振興と工業資金（電氣界 193）大 12

小島精一　工業金融（金融大辭典 II 卷 4 頁）昭 9

小島昌太郎　企業金融論（立命館學叢 **4**-10）昭 8

窪田角一　仕上信用管見（產業組合 287）昭 4

草島定太郎　仕上信用制度に就て（銀行研究 **3**-1）大 11

松本弘造　工業金融問題に就て（電氣界 161）大 10

松島喜作　工業金融と兼營組織（銀行論叢 **1**-4）大 12

同　工業金融研究の一方法（銀行論叢 **3**-1/4）大 13

松崎壽　事業金融と證券市場（商業と經濟 32）大 12

同　工業金融の諸問題（工場研究 44/45）昭 3

松崎壽　工業金融と信託會社（銀行研究 **14**-4）昭 3

同　工業金融（經濟學辭典 II 卷 2 頁）昭 6

同　設備金融（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

宗像久敬　企業資金の供給と金融機關（金融研究 **2**-8）大 14

中野金次郎　運送業と商工業金融の關係（エコノミスト **4**-18）昭 1

名取夏司　保險會社資產と工業金融（工業要錄 **6**-1）昭 5

西村勝太郎　商工業の金融に就て（大阪銀行通信錄 399/400）昭 5

リエッス, アンドレ　銀行と工業の關係に就て（銀行通信錄 548）昭 6

佐々木勇之助　工業と金融（工業要錄 **6**-1）昭 5

竹崎瑞夫　工業金融保證事業に就て（銀行論叢 **7**-6）昭 1

*田中鐵三郎　工業者の金融に關する調査〔日本產業資料大系—中外商業新報社 9 の內〕昭 1/3

都上城三　商工資金の移動量及其樣式（銀行論叢 **5**-2）大 14

*トーマス, エス・イー　產業金融論　金原賢之助・門脇良敎譯 東京 同文館 昭 10 396 頁 四六

津村秀夫　工業金融一視角（工業之大日本 **27**-8）昭 5

吉野信次　工業金融上の二, 三の問題に就て（工業經濟研究 4）昭 8

結城豐太郎　工業金融發達史（經濟知識 **11**-5）昭 9

*全國經濟調查機關聯合會　工業金融に就て（賣來市松）昭 5〔彙報別册 43 の內 26 頁〕

英獨に於ける銀行と工業との關係に就て（銀行通信錄 533）昭 5

工業資金に就ての調查（工業 15）昭 2

歐大陸諸國に於ける工業金融（日本興業銀行調查月報）昭 9

b. 各國別

日本

越後信吉　信託財產の運用と工業金融（工業要錄 **6**-1）昭 5

細矢祐治　工場抵當及財團金融貸借契約書案文例（銀行研究 **4**-7）大 12

池田了實　事業金融機關としての信託會社の地位（銀行論叢 **9**-6）昭 2

*入江弘　中小工業の金融問題 東京 工業組合中央會 昭 10 202 頁 菊

片岡直溫　產業資金の融通法に就て銀行業者に望む併せて國產の奬勵に及ぶ（銀行通信錄 484）昭 1

加藤小太郎　工業資金供給者としての信託會社（工業 29）昭 3

同　信託業者と工業者（財界要報 113）昭 7

松崎壽　我國普通銀行の工業金融に就て（商業及經濟研究 13）大 8

同　工業金融と我國の社債制度（工業 17）昭 2

*農林省農務局　地方自治體の產業資金融通狀況調查 昭 6

岡田純夫　普通銀行の工業金融への飛躍—證券金融は何故顧みられないか（銀行研究 **21**-4）昭 6

*大阪高商銀行業務研究室　工業金融と我國の社債制度（松崎壽）昭 3 43 頁 菊〔調查報告 16〕

*田中清輔　北海道產業資金論　同人　大 10

*朝鮮銀行調查課　朝鮮內各金融機關の預金貸出並に其の勸業貸出と商業貸出との推移に關する調查　附：朝鮮に於ける信託業の現況と其の將來　昭 6

山室宗文　金融市場より見たる我國の電氣事業（工業 7）昭 2

結城豐太郎　本邦工業の發達と工業金融（東京工場懇話會會報 57）昭 6

同　事業金融の改善に就て（銀行通信錄 540）昭 6

同　事業會社の改善と金融業者の好意的協調（銀行通信錄 552）昭 7

我國の工業と金融問題（ダイヤグラム **1**-4）昭 3

事業金融の疎通を圖れ（東洋經濟新報 1512）昭 7

ドイツ

岩崎博　獨逸に於ける銀行と事業の交涉（企業經營 **3**-4）昭 5

門脇良敎　獨逸の工業金融に就て（大阪銀行通信錄 421）昭 7

同　獨逸信用銀行と工業（大阪銀行通信錄 459）昭 10

串本友三郎　獨逸に於ける銀行と工業との關係（銀行研究 **8**-5）大 14

*日本銀行調查局　獨逸大銀行の企業金融に就て 昭 5〔改 123〕

須美芳夫　獨逸大銀行の商工業に對する關係（銀行論叢 **1**-6）大 12

英獨に於ける銀行と工業との關係に就て（銀行通信錄 533）昭 5

獨逸の大銀行と工業金融〔K. M. 生〕（大阪銀行通信錄 359）昭 2

フランス

佛國工業界に於ける資本の需要增加と銀行の業務（銀行通信錄 421）大 9

イギリス

門脇良敎　英吉利工業金融の動向（大阪銀行通信錄 453）昭 10

大山巖　エス・エヴェリン・トーマス：英國の銀行と事業金融（日本讀書協會會報 129）昭 6

齋藤金七　英國企業金融組織（大阪銀行通信錄 405）昭 6

英獨に於ける銀行と工業との關係に就て（銀行通信錄 533）昭 5

英國銀行傳統と事業金融（銀行論叢 **24**-3）昭 10

英國の工業金融（日本興業銀行調查月報）昭 9

ロシア

大塚一朗　蘇聯國の工業金融制度に就いて（經濟論叢 **40**-4）昭 10

支那

李自牧譯　外國資本在中國基本工業上的地位（社會雜誌 **1**-2）民 20

曾　潔　寸　汽車工業之金融資本化（社會雜誌 1-1）民 20

楊蔭溥・章乃器・張肖梅　工商業金融問題研究報告書（銀行週報 891）民 24

日本在華之重要工業投資及其勢力（工商半月刊 3-22）民 20

支那の產業と金融（國際事情 406）昭 9

2. 機　　關

a. 一　　般

小泉計太郎　證券銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

松島喜作　工業銀行組織改善に對する考察（銀行研究 4-2）大 12

松崎　壽　證券銀行と兼營銀行（銀行研究 2-6）大 11

*同　特殊銀行論　東京　文雅堂　大 12　176 頁　四六〔近世商業經濟叢書〕〔參照　目次：I, 1〕

小川福太郎　興業銀行（經濟學辭典 II 卷 1 頁）昭 6

b. 各　　國　　別

日　　本

藤原　泰　日本興業銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6

石濱知行　勸銀，興銀論（經濟 1-3）昭 9

一色信一　中小工業金融と興銀（財政經濟時報 18-8）昭 6

松崎　壽　中小工業金融と工業銀行新設論（銀行研究 15-4）昭 3

*日本興業銀行　日本興業銀行最近十年史　東京　同行　昭 10　163 頁　菊

杉本正幸　日本興業銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

屋高格二　最近に於ける日本興業銀行の役割—我が工業金融の統制化的傾向（東洋經濟新報 1660）昭 10

インフレ機關としての日本興業銀行（エコノミスト 11-8）昭 8

興業銀行論—インフレーションの一機關として（エコノミスト 11-8）昭 8

日本興業銀行貸出に現れたる工業界の新傾向（銀行通信錄 543）昭 6

日本興業銀行の單名手形救濟計畫（銀行通信錄 537）昭 5

日本興業銀行の事業金融方針（銀行通信錄 540）昭 6

ベ　ル　ギ　ー

*日本銀行調査局　白耳義國立興業銀行法及定款 大 9　1 頁

ド　イ　ツ

串本友三郎　獨逸に於ける工業銀行の發達（銀行研究 8-4）大 14

楠見一正　獨逸の中小工業金融機關としての Industrieschaft（經濟論叢 32-2/4）昭 6

同　獨逸中小工業金融と公法的工業金融組合の實績（經濟時報 2-12; 3-1）昭 6

同　工業金融組合（經濟學辭典 II 卷 2 頁）昭 6

同　獨逸經濟救濟と獨逸工業債券銀行の更生（銀行研究 24-1）昭 8

イ　ギ　リ　ス

三浦　實　銀行家產業助成會社（金融大辭典 1 卷 1 頁）昭 9

滿　洲　國

滿洲興業銀行設立計畫（滿日調査通報 12）昭 8

オーストラリヤ

*安西千賀雄　濠洲の產業金融及貿易　大 9

支　　那

熊　國濤　農工銀行在中國國民經濟上之地位（銀行月刊 7-4）民 16

山西省業銀行の設立山西農工銀行の設立計畫（支那經濟時報 1-1）大 10

浙江興業銀行之事業批評（銀行週報 293）民 12

中國勸工銀行の設立（東拓月報 3-1）大 11

中國工業銀行の擴設（上海週報 5-20）民 11

VIII. 農　業　金　融

1. 一　　般

a. 一　　般

有元英夫　農村金融と產業組合（地方 34-5）昭 1

*橋本傳左衞門　農村金融　東京　帝國農會　大 9〔農業倉庫經營理事者養成講習會講演集 2〕

同　下層農民に對する金融の重要（帝國農會報 16-7）昭 1

東浦庄治　農業動產信用制度（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　農業不動產金融（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　農業經營信用（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　農業土地信用（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　農業長期信用（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

藤原　忠　國際農業金融問題（大阪銀行通信錄 379）昭 4

井上龜五郎　農業倉庫金融（產業組合 269）昭 3

石坂橘樹　農村庶民金融（日本農業 26-1/9）昭 5

*同　農村庶民金融　東京　泰文館　昭 7　109 頁　菊

*井關孝雄　農業金融論　東京　二松堂　昭 2

柏塚辰雄　農業金融（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）昭 6

勝間田淸一　農業金融並に農家負債整理に關する諸問題（社會政策時報 134）昭 6

*小平權一　金融—農業金融　大 14〔產業組合講習錄〕

同　農業信用の大原則に就て（帝國農會報 16-7/8）昭 1

同　農業信用論（農政研究 6-9, 11）昭 2

*同　農業金融論　東京　嚴松堂　昭 5　1041 頁　菊

I. 緒言　諸外國に於ける農業金融事情と，我が國に於ける農業金融事情との比較考察　1. 獨逸に於ける農業金融事情　2. 佛蘭西に於ける農業金融事情　3. 北米合衆國に於ける農業金融事情　4. 伊太利に於ける農業金融事情　5. 英吉利に於ける農業金融事情　6. 上述外の諸外國に於ける農業金融事情　7. 諸外國に於ける農業相互金融たる農村信用組合　8. 諸外國に於ける農業金融事情考察の結論—諸外國に於ける農業金融の大勢と其の體系　9. 我が國に於ける農業金融事情附諸外國に於ける農業金融事情との比較考察

II. 農業金融の原理と其の理想の考察　1. 農業金融の一般金融界に於ける地位及び關係竝に農業金融の特徵より見たる農業金融の理想　2. 農業金融界に行はるゝ農業信用の種類と各種農業信用の理想　3. 農業企業の機關と其の理想の考察　4. 農家の負債と農家の高利債償却の問題　5. 農業金融界に於ける金利と農村金利低下方法の考察　6. 農業信用の期間と其の理想　附錄

小平權一　農業金融について（經濟往來 5-9）昭 5

*同　農業信用の原則に就て〔橫井時敬先生記念論文集　農業經濟の理論と實際の內〕昭 6

同　農村金融問題（法曹會雜誌 10-11）昭 7

*同　農業金融と農家負債整理　東京　日本評論社　昭 8　278 頁　袖珍〔農村更生叢書 3〕

同　農業金融の原則（帝國農會報 24-11）昭 9

同　安心出來る農業金融の仕方（市町村雜誌 496）昭 10

小出成五　農業金融概觀（帝國農會報 25-11）昭 10

近藤康男　農業金融の現狀と組合金融の改善（產業組合 344）昭 9

栗原藤七郎　農業金融と農業生產の本質（農政研究 6-11）昭 2

黑河內透　農村金融統制に關する一考察（自治研究 10-1）昭 9

前場治一　農業倉庫の職能と其金融方法に關する一疑義（商業經濟論叢 6 の上, 下）昭 3

同　農業倉庫證券擔保貸出に關する疑義再論（產業組合 293）昭 5

前田繁一　農村振興の根本策は農業金融の改善にあり（農政研究 6-12）昭 2

同　中小商工農業金融と其の適否（經濟往來 5-5）昭 5

*牧野輝智　農業金融　2版　東京　日本評論社　昭2　283頁　四六
1. 農業金融とは何ぞ　2. 農業金融の資金　3. 農業金融の機關　4. 農家の負債と金利　5. 農業金融の改善　6. 米國の農業金融　7. 獨逸の農業金融　8. 佛國の農業金融

同　農業金融の根本問題（社會科學 3-1）昭2

*同　農村金融問題　東京　大日本雄辯會講談社　昭7〔農村問題叢書 1〕

松田雪堂　中小農業金融の對策（財政經濟時報 17-1）昭5

松本富士秀　小農金融と信用組合（產業組合 261）昭2

諸橋襄　農業經營と關却されたる短期金融（農政研究 6-12）昭2

中山玖磨雄　農業金融の私考察（銀行研究 2-4）大11

*日本勤業銀行調査課　都市及農村に區別したる抵當債務設定高　大15〔農業及不動產金融制度調査資料 1〕

野間海造　永年作物を擔保の目的とする農業金融（帝國農會報 24-6/7）昭9

*農村黎明會　農業金融の話　東京　文教書院　昭1　172頁　四六〔農村經濟叢書 2〕

岡田溫　小平權一氏著「農業金融論」（帝國農會報 20-8）昭5

ボッケル　農民の資金と其の銀行（中央銀行會通信錄 275）昭1

連林　農業信用論（國際貿易專報 7-2）民24

產業組合中央會　農業金融に關する意見（產業組合・278）昭3

*產業組合中央金庫　農業信用の大原則に就いて　昭3

佐藤寬次　農業經營と金融（農政研究 1-8）大11

白濱和夫　農村の金融（產業組合 269）昭3

杉山元治郎　農村の金融に就て（農村社會研究 1）昭6

周東英雄　農業動產と金融問題（農政研究 13-1）昭9

丹後愛二郎　農業金融の特性と其の特殊機關（經濟商業論纂 4）昭8

東畑精一　農業金融（金融大辭典 II 卷 4 頁）昭9

*同　農業信用の理論〔横井時敬先生記念論文集 農業經濟の理論と實際の內〕昭6

豐田久和保　農業金融の體系（帝國農會報 17-9）昭2

八木澤善次　農業金融の基本觀念（經濟商業論纂 1）昭6

*安田銀行　銀行の種類と其機能—中央と地方との金融關係，農業金融特に棉花の生產分配に對する金融　昭5

米倉龍也　農村金融と信用組合（雜合會 269）昭3

國際農業抵當銀行の組織及職能（銀行通信錄 546）昭6

國際聯盟の下に創設された國際農業抵當銀行の組織及び機能（帝國農會報 21-7）昭6

農業信用中的擔保品問題（工商半月刊 7-11）民24

農產物の價格と農村金融（產業 7-10）昭5

農村金融に關する調査（帝國農會報 9-3/12；10-3）大8/9

b. 各　國　別

日　本

秋野茂廣　農村金融と無盡講（庶民金融 7-13）昭6

安東友哉　農村金融改善の側面觀（產業評論 2-1）昭2

*青森縣內務部　自作農創設維持資金貸付關係例規　昭3

*同　青森縣農家負債狀況調　昭7

有元英夫　農村金融と郵便貯金（帝國農會報 14-17）大13

同　農村金利低下と產業組合の任務（帝國農會報 16-7）昭1

同　農村金融の現狀と其對策（中央公論 43-1）昭1

東武　農業金融の改善策如何（農政研究 6-12）昭2

同　產業組合と農業金融（產業組合 265）昭2

同　米價統制，負債整理及肥料問題（農政時報 87）昭8

馬場鍈一　農村金融の改善に就て（銀行通信錄 504）昭3

江井知敏　內閣審議會と農村金融（產業組合 360）昭10

*岐阜縣內務部　農村負債整理組合法　附：關係法令　昭8

後藤駒吉　農業動產信用法要旨（帝國農會報 23-6）昭8

同　農村負債整理に關する問答（斯民 29-2）昭9

花島得二　愛媛縣に於ける小作權の研究—特に權利の價格，評價，賠償，金融に就て（農業經濟研究 11-2）昭10

連河正夫　臺灣に於ける農家負債（經濟評論一叢文閣 2-3）昭10

早瀨脩　農村の負債整理と無盡の制度（庶民金融 8-6）昭7

東浦庄治　農家負債問題の重要性（農政研究 9-11）昭5

同　農村の庶民金融問題（帝國農會報 20-3）昭5

同　負債整理と產業組合（產業組合 307）昭6

同　農家負債問題（農村社會研究 1）昭6

平尾信次　農家高利債整理に就て（農政研究 11-12）昭7

*廣島縣內務部　農村負債調查結果報告書　昭6

*同　自作農奬勵金貸付關係例規　昭7

*同　農村負債整理組合法概說　昭8

*同　農村負債整理組合法及關係法規　昭8

*北海道廳拓殖部　民有未墾地開發資金貸付規定の大要　昭2

細矢祐治　不動產貸付の整備改善と農業金融（銀行研究 14-3）昭3

同　小農金融改善問題（銀行研究 17-3）昭4

同　新農業動產信用制度に就て（銀行研究 24-5）昭8

福士進　農家負債の整理方法に就て（農政研究 11-12）昭7

*福島縣內務部　農山漁村低利資金融通に關する桑園改良事業要項〔年刊〕

福澤泰江　農村負債整理私案（庶民金融 8-8）昭7

古瀨傳藏　外12氏　農家負債と自力的解決の必要外12〔農家負債整理問題〕（農政研究 9-11）昭5

同　農家負債整理に關する根本義（農政研究 10-12）昭6

同　第六四議會の農村問題は農家負債整理問題に集中せよ（農政研究 11-12）昭7

古谷敬二　農村負債整理組合法に就て（無盡通信 10-3）昭8

藤井寬太郎　籾の貯藏と野積金融（金融組合 30）昭6

藤元與善　農家の負債と其整理（農政研究 11-12）昭7

*兵庫縣內務部　兵庫縣農業金庫概況　昭6

飯田照夫　農村の金融と其の改善（經濟集志 4-2）昭6

伊仲皓　農村の負債や如何（農政研究 9-11）昭5

射落溝　農家負債整理の要諦（農政研究 9-11）昭5

石橋幸雄　農村の負債と農業金融機關（產業組合 320）昭7

石田文次郎　農業動產信用法釋義（法律時報 5-11）昭8

石田隆一　不動產融資及損失補償法に就て（銀行論叢 19-4）昭7

*石川縣內務部　負債整理組合事務提要　昭9

石川武彥　農產物の價格と農村金融（產業 7-10）昭5

石坂橘樹　日本農業の金融的壓迫の由來，性質，趨勢（日本農業 26-6）昭5

石崎巖　農家負債整理問題の多樣性（農政研究 9-11）昭5

一樂照雄　農家負債整理と產業組合（產業組合 338）昭8

井關孝雄　中小農商工金融機關としての無盡の地位（無盡通信 5-3）昭6

飯塚敏夫　農業動產信用法の罰則（法曹會雜誌 11-7）昭8

*香川縣內務部　農家負債整理の概況　昭8

*鹿兒島縣內務部　肥料資金貸付に就て　昭8

笠森傳繁　農家負債の整理（地方行政 40-5）昭7

片柳眞吉　農村負債整理事業と產業組合との關係（產業組合 359）昭10

勝間田清一　最近の農家負債整理に就て—長野縣下に於ける諸事例を中心として（社會政策時報 143）昭7

河田嗣郎　朝鮮の農業金融組織（經濟論叢 20-1）大14

同　農家の負債整理（經濟時報 2-7）昭5

同　農家の負債整理（經濟時報 4-4）昭7

川崎軍治　農村金融の現狀と改善策（エコノミスト 7-14）昭4

梶原仲治 農業及不動產金融制度改善私見（銀行通信錄 498） 昭 2

*同 中小農商工業に對する金融について 東京 金融研究會 昭 7 142 頁 四六

氣賀勘重 農村金融と地方銀行 （帝國農會報 9-1） 大 8

木村恒夫 日本の農業金融について（經濟評論一叢文閣 1-2） 昭 9

北村三郎 農業動產質の設定—農業金融改善問題（地方行政 41-1） 昭 8

北澤新太郎 農家負債整理の方法に就て（農政研究 11-12） 昭 7

小林平左衞門 明治前期の地券制度と農地金融（帝國農會報 18-7/10） 昭 3

小平權一 農業金融制度の改善に就て（大日本農會報 541） 大 14

同 農家の舊債償還の問題 （農政研究 9-11） 昭 5

同 農業動產擔保信用に就て（產業組合 292） 昭 5

同 最近の農村金融問題（中央公論 47-9） 昭 7

同 農業動產信用法の要旨 （法律時報 5-5） 昭 8

同 農村負債整理組合法の要旨（庶民金融 9-6/7） 昭 8

小松直人 福島縣下に於ける產業組合に依る負債整理事例 （農政研究 11-12） 昭 7

近藤三雄 朝鮮に於ける農業金融（滿鐵調查月報 12-2） 昭 7

小西俊夫 農村相互無盡の現在及將來（庶民金融 8-7） 昭 7

河內山勝市 農家負債と頼母子講整理（農政研究 11-12） 昭 7

窪田角一 農業倉庫證券擔保貸出に就ての法律關係再論（產業組合 295） 昭 5

黑川芳藏 我國農業金融上の缺陷と佛蘭西の相互的農業信用制度に就て（同志社論叢 35） 昭 6

*協調會 農家負債整理の話 昭 9〔農村問題解說叢書 4〕

前田繁一 農業信用の現狀とその向上策（金融組合 59） 昭 8

*滿鐵總務部調查課 臺灣に於ける農業金融に關する參考事項 昭 6

*同 朝鮮に於ける農業金融 昭 6

松井驥 二宮先生の負債整理法の研究（斯民 29-8/9） 昭 9

松本伊織 小農に對する小額生業資金貸付事業（朝鮮 191） 昭 6

松村勝太郎 經濟不況時に於ける農村金融（產業組合 305） 昭 6

松尾藤平 農業金融制度と普通銀行（銀行論叢 7-2） 昭 1

*三重縣內務部 自作農地創定資金貸付成績〔年刊〕

皆川健次郎 現今の農村と金融 （銀行通信錄 586） 昭 9

南正樹 農村漁村の金融と產業組合（自治研究 11-1, 3, 6） 昭 10

諸橋襄 千葉縣の負債整理組合（帝國農會報 24-4） 昭 9

同 全國最初の負債整理組合（斯民 29-2） 昭 9

宮坂梧朗 負債整理を完成した有畜農業組合（農業 648） 昭 9

宮澤千秋 借債に疲弊する農村 （農政研究 9-11） 昭 5

村岡正樹 農業金融に於ける一問題（財政經濟時報 21-6） 昭 9

*長崎縣內務部 負債整理組合登記申請書式 昭 9

*同 負債整理組合樣式 昭 9

*同 負債整理事例 昭 9

*同 負債整理事業資金起債關係書類樣式 昭 9

長島貞 兵庫縣農村負債整理調查委員會立案農村負債整理方針並其要綱（農政研究 11-12） 昭 7

中村寅一 村の金融—上伊那北部地方に於ける一事例（歷史學研究 3-3/4） 昭 9

中澤辨次郎 都市及農村の相關的金融問題（都市問題 15-3） 昭 7・

同 農村資金の都市集中現象（都市問題 16-1） 昭 8

同 農村に於ける金融問題 （地方行政 42-4） 昭 9

*南洋栽培聯合會 南洋に於ける栽培業の金融に就て 大 11

*奈良縣內務部 自作農創設維持資金貸付關係諸規定 昭 6

成瀨義奉 農村金融問題 （財政經濟時報 13-10） 大 15

同 農村金融と普通銀行（財政經濟時報 13-11） 大 15

同 農業信用と普通銀行（三田學會雜誌 22-4） 昭 3

*日本銀行調查局 熊本縣の農村金融概要 大 8 94 頁

*同 島根縣下農業金融の概況 大 8 35 頁

*同 秋田縣下に於ける農業金融の概況 昭 2

*日本勸業銀行調查課 農村に於ける產業組合資金の需給に關する調查 大 14

*同 愛知岐阜長野三縣下に於ける農村金融の概況 附: 農家負債の調查方法に就て 昭 2

同 農村金融の季節的變化に就て（日本農業 23-11） 昭 2

*新潟縣內務部 自作農奬勵資金利用の奬め 昭 9

西田峯吉 蠶繭金融の現狀と將來の問題（蠶絲界報 524） 昭 10

西野入愛一 農村負債整理組合 （金融大辭典 II 卷 1 頁） 昭 9

*農業經濟研究所 問答式農業動產信用法解說 東京泰文館 昭 8 198 頁 四六

*農林省經濟更生部 農家負債整理の概況 昭 8

*同 負債整理組合の狀況並事例 昭 9

*農林省農務局 產業組合に依る農業資金融通狀況に關する調查 昭 4〔產業組合參考資料 14〕

*同 地方自治體の產業資金融通狀況調查 昭 4〔產業組合參考資料 15〕

*同 產業組合に依る農業資金融通に關する調查 昭 6

*同 農家負債整理實行事例 昭 8

*同 農家負債整理實行事例 昭 8

大庭政世・栗原潔 島根縣靑原村組合の負債整理に關する事例, 福岡・佐賀兩縣下の農家負債整理の事例（農政研究 10-12） 昭 6

*小田島植治郎編 農村負債整理組合法の實際 東京銀行信託通信社 昭 8 90 頁 四六

岡田溫 農家負債整理問題の重大性（農政研究 9-11） 昭 5

同 農家の負債整理問題（帝國農會時報 35） 昭 5

岡野文之助 地方農村金融と質屋制度（產業組合 269） 昭 3

*岡山縣內務部 負債整理組合關係法令及手續例 昭 8〔經濟更生叢書 7〕

大久保偵次 農村に於ける庶民金融に就て（產業組合時代 10-8） 昭 8

奧野健一 農村負債整理組合法に就いて（法曹會雜誌 11-11/2） 昭 8

*大阪府內務部 農村負債整理法竝關係規則 附: 負債整理組合規約例 昭 8

大谷吟右衞門 農業及不動產金融制度改善私見を讀みて（銀行通信錄 500） 昭 2

佐藤寬次 農村金融の改善 （經濟往來 5-11） 昭 5

千石興太郎 產業組合による農業金融の統制（產業組合 279） 昭 4

同 農村より觀たる低利資金（エコノミスト 8-22） 昭 5

同 農村經濟の窮迫と產業組合（社會政策時報 134） 昭 6

*滋賀縣內務部 自作農創設維持資金貸與關係例規 昭 2

淸水虎雄 農村金融と公益質屋（社會事業 18-2） 昭 9

志村源太郎 農村の金融問題（太陽 32-11） 昭 1

*靜岡縣內務部 農村負債整理組合關係令規 昭 8

執行光純 最近朝鮮に於ける百姓金利問題（日本農業論 25-4） 昭 4

曾我善次郎 農村モラトリアムは實施か（農政研究 10-1） 昭 6

杉本正幸 農村金融改善に關する二三考察（財政經濟時報 15-9） 昭 3

進達之輔 農業動產信用法について（產業組合時代 24-7, 9） 昭 8

周東秀雄 農村金融改善の基礎要項（農政研究 12-1） 昭 8

同 農業金融の現況と農業動產信用法（自治研究 9-6; 帝國農會時報 66） 昭 8

同 農村負債整理組合法の一ケ年（法律時報 6-11） 昭 9

同 農村金融統制に關する一考察（斯民 29-10） 昭 9

同 農村經濟更生と農村金融（斯民 30-9/11） 昭 10

武田泰郎 肥料共同購入資金に對する貸付（帝國農會報 18-12） 昭 3

*田中淸輔 北海道產業資金論 同人 大 10

淡中政治 我國の農業金融に於ける普通銀行の動向（銀行研究 21-6） 昭 6

田尻直人 農村振興と金融の改善（エコノミスト 4-5） 昭 1

*帝國農會編 農業金融に關する調查 大 10 67 頁

*東京府內務部 負債整理組合に關する申請書出及報告竝に諸書類樣式 昭 8〔年刊〕

*同 農村負債整理組合法關係法令集 昭 8

*富山縣經濟部 農業用動產抵當權設定登記申請書樣式〔年刊〕

*富山縣內務部 失業救濟農山漁村臨時對策低利資金貸付ニ關スル令規 昭 6

*同 農村負債整理組合に關する要綱 昭 8

*富山縣內務部 農村負債整理の手引 昭 8
外山 福男 農村金融と非常時匡救事業（地方行政 41-3） 昭 8
豐田 久和保 信用組合の報告に映じたる農村金融（地方 34-6） 昭 1
豐田 連次郎 農村金融と吾人の理想 （農政研究 6-12） 昭 2
*朝鮮總督府內務部 小農に對する小額生業資金貸付說明書 昭 4
*同 慶尙北道地方課 小農に對する小額生業資金貸付要項 昭 6
*同 學務局 小農に對する小額生產資金貸付說明書 昭 8
*同 京畿道農務課 自作農地設定資金貸付規程 附：自作農地設定資金貸付取扱規定 昭 9
榧原 寅之助 負債整理組合と信用組合との提斷（產業組合 360） 昭 10
*和歌山縣內務部 農村負債整理組合關係法規 附：負債整理組合規約例 昭 8
八木澤善次 農民を潤さぬ不動產資金化策（經濟往來 7-7） 昭 7
同 明治初期の不動產金融問題とベ・マイエツトの土地抵當貸借所案（農業經濟研究 11-3） 昭 10
矢作 榮藏 產業組合中央金庫と農村振興策（財政經濟時報 10-7） 大 12
八尋 生男 農家更生五年計畫の實施と金融組合事業との關係（金融組合 74） 昭 9
山口 敏夫 貧農の小團體としての農家小組合と產業組合（產業組合 314） 昭6
山本 三郎 農村金融の改善と金融智識の普及 庶民金融 7-11） 昭 6
山本 嘉郎 農家負債整理に就て （農政研究 9-11） 昭 5
山根 讓 自作農制定資金貸出に關する一考察（金融組合 55） 昭 8
山內 琢郎 農家の負債整理と產業組合の使命（農政研究 11-12） 昭 7
同 農家負債の發生原因認識と之が根本的整理の方策（產業組合 316） 昭 7
矢鍋 永三郎 朝鮮の水田と金融 （經濟知識 7-2） 昭 7
箭內 名左衞門 耕地戾書付賣買と農村金融（帝國農會報 18-2） 昭 3
同 農家負債整理意見（帝國農會報 22-2） 昭 7
米倉 龍也 長野縣に於ける農村金融と產業組合の活動（產業組合 294） 昭 5
吉田吉郎右衞門 福島縣に於ける農村負債調査の成績 （帝國農會報 21-12; 統計集誌 606） 昭 6
兪 萬 兼 細小農に對する小額生業資金貸付事業に就て（農政研究 11-11） 昭 7
*全國無盡集會所 農林金融事情 （井關孝雄） 昭 6 〔講演集 1〕
舒 恬 波 日本農業金融與農業金融機關之現狀（錢業月報 15-4） 民 24

大凶作と農村金融の今後（金融知識 4-5） 昭 9
邦人農業金融策 （拓務時報 6） 昭 6
負債整理組合の設立狀況（農務時報 69） 昭 9
各州農會肥料共同購買と其銀行貸出金の現狀（臺灣經濟ニュース 14） 昭 6
金融制度に現れた農村の不平等待遇（エコノミスト 6-13） 昭 6
高利舊債整理と信用程度の查定に就て〔全天生〕（金融組合 46） 昭 7
農家負債整理に關する一考察〔大久保生〕（產業組合時代 24-8/10） 昭 8
農家負債整理に關する帝國農會の陳情（帝國農會報 21-2） 昭 6
農家負債整理の槪要—60 事例（農務時報 54） 昭 8
農家負債整理の話 （經濟知識 4-6） 昭 5
農家の負債推計約四十億圓（銀行通信錄 538） 昭 5
農民負債の增加と農村金融 （エコノミスト 1-3） 大 12
農民負債重積の苦と金融機關の缺陷 （農政研究 1-8） 大 11
農村負債整理計畫の一事例（農務時報 28） 昭 6
農村負債整理組合事例（農政研究 14-6/7） 昭 10
農村負債整理問題—實行事例其の 1 及び 2 （斯民 26-11/12） 昭 6
農村負債整理の途（經濟知識 9-5） 昭 8
農村負債整理座談會（財政經濟時報 21-12） 昭 9
農村負債整理事業の狀況（農務時報 66） 昭 9
農村經濟に於ける組合金融の現勢 （東洋經濟新報 1675） 昭 10
農村金融機關と農家負債の內容 （臺灣の產業組合 62） 昭 6
農村金融問題 （農政研究 1-8） 大 11
農村窮迫と低資融通問題 （エコノミスト 8-17） 昭 5
農村の金融的不平等待遇 （エコノミスト 9-13） 昭 6

農村庶民金融（日本農業 26-1/8） 昭 5
資金還元募債緩和で激增せる地方債と農村金融（中外財界 3-4） 昭 3
小商工農の年末金融（經濟知識 4-5） 昭 5
低資八千萬圓を農村へ（エコノミスト 8-17） 昭 5
遲々として進まぬ農家負債整理の話 （金融知識 6-6） 昭 10
地主小作人組合の行ふ產業組合的事業槪要（農務時報 7） 昭 6

アメリカ合衆國

後藤 駒吉 米國に於ける舊債整理の方法（農政研究 9-11） 昭 5
*橋本傳左衞門 農業金融に關する調査 米國に於ける農業地金融 東京 大 10
*兵庫縣農工銀行 亞米利加合衆國に於ける農業金融制度 昭 10 viii, 280 頁 菊
郭 垣 美國農業金融的概況 （中國經濟 2-2） 民 23
神戶 秀雄 米國農村金融の組織化 （銀行研究 20-6） 昭 6
*日本勸業銀行調查課 北米合衆國に於ける農業金融制度—昭 1, 6 月 附：米國聯邦農業地貸付制度竝に貸付法 米國に於ける市街地不動產金融槪況 北米合衆國に於ける市街土地建物金融現況 東京 昭 1 216 頁 〔農業及動產金融制度調查資料 2〕
西村 勝太郎 米國農事金融の研究（大阪銀行通信錄 457） 昭 10
*農林省農務局 亞米利加合衆國聯邦農地貸付制度の梗概 昭 6
奥田 勳 米國に於ける新農業金融施設（商學評論 5-1） 昭 1
*大藏省理財局臨時調查課 米國農業信用法制定の經過並に內容 附：一九二三年農業信用法全文 大 12 〔財政經濟調查 4, 9〕
プレストン, ベネット 米國の農業信用立法 （外國の新聞と雜誌 309） 昭 9
朱 通 九 美國的農業金融制度（銀行週報 856） 民 23
田北 學 聯邦準備制度と農業金融（商業論集 2-1） 昭 2
同 米國に於ける長期農業信用機關（商業論集 4-2; 5-1） 昭 5
趙 簡 子 美國的農業金融及其問題（中國經濟 2-11） 民 23
*內池 廉吉 米國に於ける農產物の金融に就て〔神戶高等商業學校創立 25 周年記念論文集の內〕 昭 4
山田 秀 米國農業金融の現狀 （大阪銀行通信錄 406/07） 昭 6
楊 暢 子 1933 年美國農業金融立法 （社會經濟月報 1-6） 民 23
舒 恬 波 譯 農業信用之物質與種類（錢業月報 15-1） 民 24

米國に於ける農業信用の問題 （調查月報 13-4） 大 12
米國に於ける農業信用制度（東拓月報 11） 大 10
米國農業信用法全文（調查月報 13-6） 大 12
米國農業信用量（調查月報 22-9） 昭 7
米國の農業金融問題（東拓月報 41） 大 12
米國の農業信用條例 （藤本ビルブローカー銀行週報 351） 大 12
米國の新農業金融制度（東洋經濟新報 1048/49） 大 12
救農法中トーマス修正條項（調查月報 24-4） 昭 9

デンマーク

小松 幸雄 丁抹農家負債に就いて （經濟時報 4-12） 昭 8

ドイツ

藤村 忠 獨逸に於ける小作金融法（帝國農會報 18-3） 昭 3
柏塚 辰雄 獨逸農業不動產信用の近狀（經濟時報 4-5） 昭 7
*ココトキエヴィッチ ドイツに於ける農業金融の過去, 現在並びに將來—ナチス農業金融の動向 產業組合中央金庫譯 昭 10
串本 友三郎 新たに制定されたる獨逸の小作人金融法に就て（銀行研究 13-6） 昭 2
仲原 善一 獨逸世襲農場の負債整理案（農業と經濟 2-4） 昭 10
野間 海造 農業信用に關する獨逸法制（帝國農會報 17-12） 昭 2
八木澤 善次 ドイツを中心とせる歐洲農業諸國の農家負債整理救濟策（社會政策時報 148） 昭 7

獨逸農業の負債狀況（農務時報 43） 昭 7

ハンガリー

八木澤 善次 ハンガリーの農家負債整理策（帝國農會報 24-4） 昭 9

フィンランド

芬蘭に於ける協同農村金庫運動（金融組合 34/36, 38）昭 6

フランス

ブランセル，ア・ドーデ　フランスに於ける農業信用（產業組合 310）昭 6

*小平 權一　佛蘭西に於ける農業信用の研究　東京 產業組合中央會 昭 3 245 頁 四六

同　佛蘭西に於ける農業信用の研究（農業經濟研究 4-4）昭 3

同　農業界に於ける動產信用と佛蘭西のワラン・アグリコール（帝國農會報 18-6）昭 3

黒川 芳藏　我國農業金融上の缺陷と佛蘭西の相互的農業信用制度に就て（同志社論叢 35）昭 6

*日本勸業銀行調査課　佛蘭西に於ける農業金融制度附：佛國の農業相互信用組合及農業共同組合に關する法律，農業相互信用組合法施行細則，法律に依る改革後の農業金融狀況（1920）・農業證券の性質・佛國に於ける農業金融機關狀況　大 15 100 頁〔農業及不動產金融制度調査資料 3〕

イギリス

岩井 仙吉　英國に於ける農業金融の改革（銀行研究 17-2）昭 4

岩崎 博　英國に於ける農業金融問題（銀行研究 11-4）昭 1

粕谷 源藏　英國農業金融（財政經濟時報 15-9）昭 3

*日本勸業銀行調査課　英國に於ける新農業金融制度　昭 5 161 頁

愛蘭銀行と農業金融（海外經濟彙報 2）大 9

インド

枝吉 勇　印度に於ける農民の負債と其對策（東亞 7-3）昭 9

井口 貞夫　印度の農業信用組合（產業組合 332, 335/36）昭 8

岩井 博　印度に於ける土地抵當銀行業と農業金融改善問題（銀行研究 16-6）昭 4

カナダ

春日井 薫　カナダの農業金融制度（銀行研究 7-5）大 13

滿洲國

*天野 元之助　滿洲農村の貸借制度 附 支那農村の貸借制度 昭 8

*滿鐵庶務部調査課　滿洲農業金融に關する參考資料 昭 6

*滿鐵地方部農務課　滿洲に於ける農業金融 昭 7 55 頁 四六倍

松崎 健吉　農村金融對策私論（滿洲行政 2-11）康德 2

崎村 茂樹　滿洲農產物の銀資金（農業經濟研究 9-4）昭 8

田中 恭　滿洲の農業金融（滿洲行政 2-2）康德 2

滿洲農村の貸借制度（滿鐵調査月報 13-1）昭 8

農業資金に喘ぐ在滿邦人農家，その農業經營狀態（農業の滿洲 4-10）昭 7

農耕資金の貸付（奉天商工月報 330）昭 8

春耕資金の回收期（東洋貿易時報 10-15）昭 9

鄭家屯及通遼附近鮮農作付及金融狀況（滿鐵調査月報 15-7）昭 10

典當對農村金融之關係及吉林省各重要市縣之當高狀況（北滿經濟月刊 10-1）大同 3

メキシコ

墨國に於ける農業投資希望者に對する注意事項（通商公報 861）大 10

南阿聯邦

碧崎 充矢　南阿の農業信用に就て（經濟評論 一靑山學院 7）昭 3

ポーランド

波蘭の農業金融（產業組合 271）昭 3

ロシア

一榮 照雄　最近露西亞に於ける農業信用組合（產業組合 312）昭 6

篠田 七郎 譯　ロシアに於ける農事產業組合（產業組合 336）昭 8

ルーマニア

八木澤 善次　ルーマニアの農家負債救濟策としての農家負債扶助政策（帝國農會報 23-7）昭 9

支那

馬寅初　如何使上海游資及外國銓資流入內地以爲復興農村之準備（銀行週報 860）民 23

武育宣　畫行業投資農村之檢討（中國經濟 3-5）民 24

伍玉璋　中國農業金融論（合作月刊 5-1/2）民 22

吳世瑞　農業放款問題（旁觀 6）民 21

同　豫皖鄂剿匪總司令部救濟農村金融之辦法（旁觀 6）民 21

吳申洪　中國都市金融與農村金融之病態及其救濟（銀行週報 797）民 22

*韓德章　浙西農村之借貸制度　民 22

金伯　農村放款的幾點貢獻（錢業月報 14-7）民 23

昂覺民　我國農鄉放款制度鳥瞰（社會經濟月報 1-6/7）民 23

侯厚培　流通農村金融與合作事業（合作月刊 6-6）民 23

孔雪雄　中國農村破產中之救濟對策（中山文化教育館季刊 2-2）民 24

顧商揚　復興農村金融問題（中國經濟 2-7/8）民 23

黒田誠　支那農村金融の現狀（東亞 6-10）昭 8

水田淳亮　支那農村と信用組合（東亞經濟研究 15-3）昭 6

中山卯次郎　中國農村の金融狀態（上海 923）昭 9

王文鈞　中國農村金融之一般的形態（銀行週報 912）民 24

王維驥　救濟農村應調劑金融之商榷（銀行週報 843）民 23

王維騏　儲蓄銀行農村投資不得少於存款總額五分一之商榷（銀行週報 876）民 23

王士企　金融界應注意農村經濟論（錢業月報 12-12）民 21

李亦人　復興陝西農村之金融問題（錢業月報 15-2）民 24

陸國香　湖南農村借貸之研究（工商半月刊 7-14）民 24

蔡斌咸　救濟農村聲中之典當業（新中華 2-15）民 23

施德蘭　對於中國銀行界投資農村之意見（銀行週報 890）民 24

鄒枋　銀行辦理農村放款的商榷（銀行週報 784）民 22

同　禁止種煙與農村金融（政治評論 150）民24

同　農村放款中的幾個實際問題（銀行週報 886）民 24

受百　農村衰落與金融界之救濟（上海市商會商業月報 15-1）民 24

朱博能　福建莆田的農村金融（東方雜誌 32-8）民 24

周振權　如何調劑農業金融之枯竭（政治評論 91）民 23

蕭國藩　中國農業金融與農民經濟（銀行週報 738/39）民 21

平實　中華民國農村の窮乏と信用合作社（經濟時報 2-9）昭 5

田中忠夫　支那の農業金融に就て（銀行研究 1-2）大 10

同　支那の農業金融に就て（銀行研究 8-2）大 14

程文鑫　調劑農村金融芻議（錢業月報 13-8）民 22

陳其鹿　陝西農業金融之概況（社會經濟月報 1-11）民 23

唐崇慈　農村破產與復興問題（民族 3-7）民 24

杜巖雙　浙江之農村金融（申報月刊 3-9）民 23

楊蔭溥　中國都市金融與農村金融（新中華 1-8）民 22

葉又村　農村的信用（經濟週刊 36/37, 40）民 20

俞寰澄　從救災設到農村水利金融（銀行週報 877）民 23

同　從救災設到農村水利金融（復興月刊 3-5）民 24

徐淵若　農村負債整理問題之商榷（光華大學半月刊 3-2）民 23

壽勉成　如何整理中國之農業金融（銀行週報 823）民 22

1 年來之合作事業及農村金融（工商半月刊 7-1）民 24

河北省農業金融概況（中央銀行月報 4-2）民 24

改進中國農村經濟與金融業之任務（錢業月報 14-2）民 23

改進中國農業金融之管見 (中央銀行月報 4-5) 民 24
近年來中國農村金融中的新事態 (中國農村 1-9) 民 24
金融業應注意農村經濟 (錢業月報 10-9) 民 19
陝西農村金融崩潰之現象 (錢業月報 14-4) 民 23
救濟工商業與金融問題 (工商半月刊 7-8) 民 24
救濟匯風農村金融條例 (銀行週報 836) 民 23
農業信用中的擔保品問題 (工商半月刊 7-11) 民 24
農村金融概況 (經濟統計月誌 1-11) 民 23
浙江省農民金融機關近況概觀 (中行月刊 8-3) 民 23
支那農業における金融資本の制覇過程 (東亞 8-2) 昭 10
中國各省農村金融概況 (國際通商時報 23) 康德 2
中國農業金融機關今後動向之商榷 (合作月刊 6-7) 民 23
豫鄂皖三省農村金融救濟概況 (銀行週報 833) 民 23
由指導金融上觀之農家復興運動 (金融合作月刊 11) 康德 1
全國農村金融概況 (銀行週報 879) 民 23

スペイン

スペインに於ける農業信用の現況 (金融組合 27) 昭 6

2. 機 關

a. 一 般

稻坂 晧 カルチューア・バンク (銀行論叢 16-6) 昭 6
河田嗣郎 農業銀行國營の必要 (經濟論叢 12-4) 大 10
小平權一 諸外國に於ける農業中央金融機關の國立主義と我が國の農業金融機關に就て (產業組合 275) 昭 3
同 農業金融機關 (諸外國の) (金融大辭典 II 卷 38 頁) 昭 9
*國際聯盟東京支局 世界農業恐慌 附: 國際農業抵當銀行 東京 同支局 昭 6 344 頁
菊 附錄 〔國際聯盟經濟叢書 2〕
國際聯盟東京支局 國際聯盟の下に創設された國際農業抵當銀行の組織及機能 (帝國農會報 21-7) 昭 6
松岡孝兒 農業銀行 (經濟學辭典 IV 卷 1頁) 昭 6
*農林省農務局 英米獨佛各國に於ける農業金融機關一覽表 昭 6
千家恒麿 農業銀行 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9
丹後愛二郎 農業金融の特性と其の特殊機關 (經濟商業論纂 4) 昭 8
八木芳之助 貸付金庫 (經濟學辭典 I 卷 1 頁) 昭 5
壽景偉 最近各國農業金融制度概觀及我國農業經濟改造中所應加努力方向與步驟 (銀行週報 766/68) 民 21

國際農業抵當銀行の話 (經濟知識 6-3) 昭 6

b. 各 國 別

日 本

東浦庄治 我國に於ける農業金融機關の歷史的使命 (農業經濟研究 7-1) 昭 6
石橋幸雄 農村の負債と農業金融機關 (產業組合 320) 昭 7
石濱知行 勸業銀行, 興業銀行論 〔特殊銀行解剖〕 (經濟 1-3) 昭 9
井關孝雄 中小農商工金融機關としての無盡の地位 (無盡通信 5-3) 昭 6
梶原仲治 農業金融機關改善の一方面としての借入申込所の普通化 (帝國農會報 16-7) 昭 1
小平權一 諸外國に於ける農業中央金融機關の國立主義と我が國の農業金融機關に就て (產業組合 275) 昭 3
小山松壽 農村金融機關の改善整備 (農政研究 6-9) 昭 2
中澤辨次郎 政友會の農地金庫法案 (中央公論 42-12) 昭 2
田中市助 純農業銀行設立の提唱 (市町村雜誌 402) 昭 2
*朝鮮總督府內務部 小農生業資金貸付事業に於ける勸農共濟組合, 勸農輔導委員事績 昭 6
舒恬波 日本農業金融與農業金融機關之現狀 (錢業月報 15-4) 民 24

國立農業銀行を設立せよ (農政研究 1-8) 大 11

日本農業金融之銀行 (中央銀行月報 4-3) 民 24
農村金融機關と農家負債の內容 (臺灣の產業組合 62) 昭 6

アメリカ合衆國

春日井薰 米國の聯邦農業銀行制度 (銀行研究 6-1) 大 13
大石悅隆 米國聯邦土地銀行の農業債券發行 (東拓月報 3-5) 大 11
同 米國聯邦土地銀行の營業成績 (東拓月報 3-8) 大 11
奧田勳 米國に於ける新農業金融施設 (商學評論 5-1) 昭 1
平實 米國に於ける農業信用會社に就て (帝國農會報 24-7) 昭 9
田北學 聯邦中期信用制度 (商業論集 2-2) 昭 3
同 米國に於ける長期農業信用機關 (商業論集 4-2; 5-1) 昭 5

米國聯邦土地銀行の債券發行 (東京商業會議所月報 3-5) 大 11

ブルガリア

平實 ブルガリア農業銀行と協同組合 (經濟時報 4-10/11) 昭 8
同 ブルガリア農業銀行に關する研究 (帝國農會報 24-1) 昭 9

ブルガリア農業銀行 (金融組合 43/5) 昭 7

ドイツ

金子數雄 チエルキンスキー: 獨逸土地金融組合 (農政研究 10-4) 昭 6
同 獨逸土地金融組合 (農政研究 10-7) 昭 6
城戶佳三・菅谷重平 獨逸に於ける農業金融銀行 (銀行研究 5-2) 大 14
小平權一 獨逸に於ける農業信用制度上の一大中央機關設置に就て (帝國農會報 16-6) 昭 1
串本友三郎 獨逸の農地金融組合 (大阪銀行通信錄 367) 昭 3
荷見安 獨逸地代銀行及農業中央銀行 (帝國農會報 18-5) 昭 3
*日本銀行調查局 普魯西の地代銀行 (多木晃) 大 11

獨逸農業中央銀行設立に關する法律及定款 (農業經濟研究 4-1) 昭 3
獨逸レンテン信用機關 〔K. O 生〕 (大阪銀行通信錄 345/46) 昭 1

フランス

熊田克郎 佛蘭西に於ける農業金融機關に就て (銀行研究 14-4) 昭 3

イギリス

英國農事信用機關に就て (銀行通信錄 401) 大 8

イタリー

シチリア銀行農業銀行農業金融部近況 (帝國農會報 11-8) 大 10

支 那

葛稚蓀 中國農民銀行之合作事業 (合作月刊 7-9) 民 24
李永人 我國農村金融組織之重要 (錢業月報 11-12) 民 20

江蘇省農民銀行增進業務 (中行月刊 8-3) 民 23
農業信用之組織及經營 (工商半月刊 7-6) 民 24
農倉業法並中國農民銀行條例 (海外經濟事情 14) 昭 10
浙江省農民金融機關近況概觀 (中行月刊 8-3) 民 23
支那農村の疲弊と金融機關の實狀 (天津經濟新報 14-16) 昭 9
蘇農行設農產運銷辦事處 (中行月刊 8-3) 民 23
蘇省增設農民銀行 (銀行週報 685) 民 20
中國農業金融機關的概況 (工商半月刊 7-8) 民 24
實業部の農業關係三銀行設立計畫 (東洋貿易時報 10-10) 昭 9

IX. 不動産金融

1. 一　　般

a. 一　　般

馬場鍈一　不動產金融　(生命保險經營 1 附) 昭 4

同　不動產金融貸付に就て (朝鮮及滿洲 254) 昭 4

同　不動產金融發達史 (經濟知識 **11**-5) 昭 9

*同　不動產金融　東京　金融研究會　昭 10　99頁　四六 〔非賣〕

同　產業の振興と不動產金融 (政治經濟時論 **10**-4) 昭 10

東浦庄治　農業不動產金融 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

同　農業土地信用 (金融大辭典 II 卷 1 頁) 昭 9

弘世正二郎　不動產金融に就て (竹原經濟時報 9) 昭 2

石井光雄　不動產金融に就て (信託と證券 **1**-3) 昭 4

柏塚辰雄　年賦償還貸付 (經濟學辭典 IV 卷 1 頁) 昭 6

同　不動產金融 (經濟學辭典 V 卷 1頁) 昭 7

河田嗣郎　農業不動產金融と一般不動產金融 (經濟論叢 **16**-2) 大 12

*貴島桃隆　不動產金融の知識　東京　高瀨書房　昭 7　179 頁　四六

吳文炳　不動產投資と資金化 (インヴエストメント **6**-5) 昭 2

牧野輝智　不動產資金化の問題 (經濟學論集 **2**-6) 昭 7

*並木信政　動產不動產金融の仕方と回收秘訣　東京　荻原星文館　昭 10　420 頁　四六

*日本勸業銀行調査課　英, 米, 獨, 佛, 丁に於ける不動產金融　昭 7

*日本勸業銀行調査課　不動產金融調査資料 (其一)　東京　昭 8　144 頁　菊

*日本商工會議所　不動產金融に關する調査　昭 2

*同　不動產金融に關する調査　昭 3 〔調査資料 3〕

大久保正喜　不動產金融に就て (銀行研究 **8**-2) 大 14

志村芳太郎　不動產金融と不動產銀行 (金融三層 **3**-9) 昭 7

*杉本正幸　不動產金融論　東京　巖松堂　昭 5　1033 頁　菊

1. 不動產金融の概念　2. 不動產の意義及び種類　3. 不動產の資源化　4. 不動產擔保消費貸借の構造　5. 不動產金融の證券化　6. 不動產抵當債權の資金化　7. 不動產金融組織　8. 公營不動產金融機關　9. 相互的不動產金融機關　10. 結社的不動產金融機關　11. 不動產金融を行ふ會社　12. 不動產銀行の設立及び其の發達　13. 不動產銀行の監督及び管理　14. 不動產銀行の貸付業務　15. 貸付業務の整理改善　16. 不動產銀行の債券業務　17. 債券業務の改善　18. 不動產銀行の附隨的業務　19. 附隨的業務の整理改善　20. 不動產銀行の計算　21. 不動產銀行組織の整備改善　22. 不動產金融仲介保證機關　23. 不動產賣買金融機關　24. 補助的不動產金融機關　25. 參考迄に引用書

同　不動產金融研究座話 (政治經濟時論 **6**-3) 昭 6

*同　不動產銀行法釋義　東京　巖松堂　昭 9　520 頁　菊

*同　不動產の評價　東京　巖松堂　昭 9　522 頁　菊

同　不動產金融 (金融大辭典 III 卷 2 頁) 昭 9

*同　不動產金融要論　東京　改造社　昭 10　306 頁　四六 〔現代金融經濟全集 3〕

1. 總說　2. 不動產　3. 不動產の鑑定　4. 不動產の評價　5. 貸付金額の決定　6. 貸付金利の決定　7. 貸付年限及び償還方法　8. 貸借契約の締結　9. 元利金の回收

*武貞忠男　不動產の經濟的並に投資的研究　東京　寶文館　昭 10　165 頁　菊

*玉塚締伍　誰にでも出來る不動產金融の仕方　東京　荻原星文館　昭 5

都上城三　土地及建物の金融に就て (銀行論叢 **4**-6; **5**-1) 大 14

不動產金融の沿革 (經濟知識 **6**-2) 昭 6

不動產金融の固定化 (エコノミスト **10**-11) 昭 7

b. 各國別

日　　本

秋山三夫　都市に於ける不動產抵當貸付の限界 (東拓月報 **3**-6) 大 11

馬場鍈一　金輸出解禁の影響と不動產金融 (銀行通信錄 520) 昭 4

同　金解禁と不動產金融 (エコノミスト **8**-5) 昭 5

後藤清　賃貸建物の買入 〔判批〕(法と經濟 **3**-2) 昭 10

原邦造　不動產金融改善は刻下の急務 (保險及金融 **9**-5) 昭 7

平岡金兵衞　不動產金融問題と地券の發行に就て (中央銀行會通信錄 210) 大 9

同　不動產金融と地卷制度 (銀行研究 **6**-5) 大 13

蛭川正夫　非常時に於ける不動產金融對策を顧みて (金融三層 **4**-9) 昭 8

*北海道拓殖銀行　北海道土地抵當貸付金調　大 10

細矢祐治　不動產貸付の整備改善と農業金融 (銀行研究 **14**-3) 昭 3

同　本邦不動產金融の現狀と其改善問題 (銀行研究 **19**-2/3) 昭 5

同　不動產金融制度の一改善 (銀行研究 **20**-5) 昭 6

古島安二　不動產資金化問題に就て (中央銀行會通信錄 285/87) 昭 1/2

藤村忠　明治前半期に於ける不動產金融制度の發達 (帝國農會報 **18**-7, 9, 11) 昭 3

神戸正雄　不動產の資金化問題 (時事經濟問題 60) 昭 2

同　不動產金融と中下層金融 (時事經濟問題 67) 昭 3

同　短期不動產金融と船舶金融 (時事經濟問題 70) 昭 3

同　不動產金融と不動產の取引 (時事經濟問題 73) 昭 3

同　不動產抵當債務統計 (時事經濟問題 89) 昭 4

川崎政雄　我國の不動產金融問題 (大倉學會雜誌 **1**-1) 昭 3

梶原仲治　不動產金融の方面より見たる財界の現狀及將來 (銀行論叢 **7**-6) 昭 1

同　大正年間の不動產金融を顧みて (銀行通信錄 492) 昭 2

梶原仲治　農業及不動產金融制度改善私見 (銀行通信錄 498) 昭 2

同　不動產金融問題に就いて (政治經濟時論 **7**-6) 昭 7

小池充彥　地方銀行と不動產金融 (銀行論叢 **1**-5) 大 12

近藤英吉　賃貸建物の買入 〔判批〕(法學論叢 **31**-6) 昭 9

近藤有會　臺灣の不動產金融に就て (臺灣時報 158) 昭 8

栗原元治　不動產金融と法制の經濟化 (金融三層 **5**-11) 昭 9

前川正輔　我國普通銀行と不動產金融 (銀行論叢 **9**-2) 昭 2

牧野輝智　不動產の資金化對策 (中央公論 **47**-6) 昭 7

松崎壽　復興事業と不動產金融 (銀行研究 **6**-1) 大 13

同　不動產金融の若干問題 (銀行研究 **16**-3) 昭 4

絲川光雄　不動產金融の傾向 (銀行論叢 **17**-6) 昭 6

中田薰　德川時代の不動產擔保法續考 (法學協會雜誌 **49**-7/8) 昭 6

*日本勸業銀行調査課　普通銀行に於ける不動產抵當貸付金調查 〔大正 14 年末現在〕 昭 3　62 頁

*同　都市及農村に區別したる抵當債務設定高 〔大正 15 年 4 月〕 昭 1 〔農業及不動產金融制度調查資料 1〕

*同　都市及農村に於ける抵當債務設定高 〔昭和 3 年 3 月〕 昭 3　55 頁 〔農業及不動產制度調查資料 6〕

*同　普通銀行に於ける不動產抵當貸付金調查 〔昭和 1 年末〕 昭 4　81 頁

*同　——〔昭和 2 年末現在〕 昭 6

*同　都市及農村に於ける不動產抵當起債高　昭 4　127 頁

*同　本邦不動產金融に關する諸統計 〔年刊〕

*同　不動產抵當個人間貸借金利調 〔年刊〕

西野入愛一　不動產融資及損失補償法 (金融大辭典 III 卷 1 頁) 昭 9

西岡實太　不動產金融の改善策 (政治經濟時論 **5**-8) 昭 5

同　不動產金融の沿革及び現狀 (政治經濟時論 **5**-12) 昭 5

同　不動產金融の改善について (法律時報 **2**-9) 昭 5

西岡實太　不動産資金化を容易ならしめよ（經濟往來 7-7）　昭 7
農工銀行同盟會　不動産金融の展開策（大阪銀行通信錄 356）　昭 2
大野龍太　財界對策と不動産金融（信託協會會報 6-6）　昭 8
大谷吟右衞門　農業及不動産金融制度改善私見を讀みて（銀行通信錄 500）　昭 2
志村源太郎　不動産金融界の回顧（銀行通信錄 411）　大 9
同　不動産金融界の近狀と將來（銀行通信錄 423）　大 10
鈴木茂兵衞　不動産資金化の三問題（銀行論叢 11-3）　昭 3
田川大吉郎　國と共に忍び國と共に進む—市町村の不動産擔保融通策は如何（都市問題 13-4）　昭 6
田嶋常治　不動産資金化と森林火災保險（金融三層 4-2）　昭 8
戸田常造　地方銀行と動不產制限的資金化（銀行論叢 5-3）　大 14
*東京商工會議所　帝都經濟復興と不動産金融問題　昭 4〔商工調査 23〕
富田讓太郎　不動産金融の重要性を論じて營業無盡の使命に及ぶ（無盡通信 3-1）　昭 5
豐田久和保　農村不動産金融と產業組合（產業組合 269）　昭 3
戸澤芳樹　不動産金融の二面觀（エコノミスト 6-16）　昭 3
强瀨羊平　期待さるゝ不動産金融（政治經濟時論 5-6）　昭 5
*朝鮮殖產銀行調査局　不動産抵當個人貸借金利調　四六倍〔年刊〕
八木澤善次　農民を潤さぬ不動産の資金化（經濟往來 7-7）　昭 7
同　明治初期の不動産金融問題とペ・マイエツトの土地抵當貸借所案（農業經濟研究 11-3）　昭 10
矢鍋永三郎　朝鮮に於ける不動産金融（朝鮮 196）　昭 6
安川淸孝　不動産資金化問題の一般を論ず（銀行論叢 9-3）　昭 2
吉山眞禎　都市不動産金融改善と抵當證券法（都市問題 12-1）　昭 6
*財政經濟時報社　不動産金融問題　昭 3　94 頁
全國農工銀行同盟會　不動産金融關係法令中改正希望（大阪銀行通信錄 436）　昭 8
大連に於ける不動産金融（滿日調査通報 11/12）　昭 8
不動産金融問題（財界觀測 12-11）　昭 7
不動産金融問題の見透し—國家壩補の免れがたい所以（エコノミスト 10-9）　昭 7
不動産金融に對する農工銀行同盟會の請願（銀行通信錄 496）　昭 2
不動産金融に關する請願（銀行論叢 8-6）　昭 2
不動産金融の現狀（東洋經濟新報 1499）　昭 7
不動産金融の能否.〔不動産金融固定化の必然性外一〕（エコノミスト 10-11）　昭 7
不動産資金化問題の現狀（商工月報 8-6）　昭 7
不動産融資及損失補償法に就て（中央銀行會通信錄 357）　昭 7
インフレーション政策としての不動産資金化の話（經濟知識 7-5）　昭 7
金融不安と不動産金融（エコノミスト 10-11）　昭 7
二億圓不動産金融の解說（經濟知識 8-1）　昭 7
我國不動産金融の現況に就て（財界研究 8-4/5）　昭 5
我國の不動産金融問題（銀行研究 14-2）　昭 3
時勢に適せぬ不動産法制を改革せよ—金融上から見た十五の改正項目（財政經濟時報 16-5）　昭 4

アメリカ合衆國

橋本俊夫　米國の都市不動産金融（金融三層 6-12）　昭 10

ドイツ

柏塚辰雄　獨逸の都市不動産金融（經濟時報 2-1）　昭 5
同　獨逸中央土地銀行と不動産證券化（商業及經濟研究 59）　昭 6
同　獨逸農業不動産信用の近狀（經濟時報 4-5）　昭 7
同　獨逸不動産銀行に於ける增額評價問題の發展（經濟時報 4-10）　昭 8
同　獨逸に於ける不動産信用の狀況—地主金融組合創設當時の（經濟時報 5-9）　昭 8
*日本勸業銀行調査課　獨逸に於ける不動産金融制度　昭 3〔農業及不動産金融制度調査資料 5〕
同　獨逸の不動産金融制度概觀〔大戰後の各國金融政策及法規〕（內外調査資料 11 月）　昭 5
獨逸政府の金融統制と不動産抵當債權低利借換（海外經濟事情 10-9）　昭 10

フランス

*日本勸業銀行調査課　佛蘭西に於ける不動産金融制度　昭 1〔農業及不動産金融制度調査資料 4〕

2. 機　關

a. 一　般

柏塚辰雄　市街地金融組合（經濟學辭典 III 卷 2 頁）　昭 6
同　土地銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）　昭 6
同　不動產銀行（經濟學辭典 V 卷 3 頁）　昭 7
*コーエン，ジョセフ・エル　抵當銀行論　永島慎之介譯　東京　文雅堂　昭 9　386 頁　菊
小泉計太郎　不動產抵當銀行（金融大辭典 III 卷 3 頁）　昭 9
串本友三郎　不動產抵當業と不動產抵當銀行（大阪銀行通信錄 335/36）　大 14
*大藏省銀行局　外國不動產銀行調〔不詳〕
千家恒麿　債券發行銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁）　昭 9
志村芳太郎　不動産金融と不動産銀行（金融三層 3-9）　昭 7
新庄博　土地銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）　昭 9
*杉本正幸　不動產銀行法釋義　東京　巖松堂　昭 9　520 頁　菊
八木芳之助　地主金融組合（經濟學辭典 III 卷 2 頁）　昭 6
不動產銀行の重大使命（經濟知識 6-2）　昭 6

b. 各　國　別

日　本

青木得三　勸農兩銀行合併問題に就て（經濟研究 1-6）　大 10
蛭川正夫　抵當證券法の運用と不動産銀行の機能（金融三層 2-9）　昭 6
*北海道拓殖銀行　北海道拓殖銀行二十年史　大 9
藤原泰　日本勸業銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）　昭 6
同　朝鮮殖產銀行（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）　昭 6
同　北海道拓殖銀行（經濟學辭典 V 卷 1 頁）　昭 7
石田文次郎　國立抵當銀行を創設せよ（エコノミスト 6-3）　昭 3
石濱知行　勸銀興銀論（經濟 1-3）　昭 9
柏塚辰雄　農工銀行（經濟學辭典 IV 卷 2 頁）　昭 6
北山富久二郎　朝鮮殖產銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）　昭 9
小西憲三　農工銀行の純不動產銀行化の要求に就て（法政大學論集 3-1）　昭 2
久米孝藏　不動產銀行の近況（竹原經濟時報 25）　昭 4
黒田英雄　有意義なる勸農兩銀の合併（東京經濟雜誌 2082）　大 10
松崎壽　財團金融と日本勸業銀行（銀行研究 4-3）　大 12
*日本勸業銀行　日本勸業銀行 30 年史　昭 2　300 頁　菊
*日本勸業銀行調査課　全國農工銀行營業狀況表（年 2 回　大正 11 年以後廢刊）
*日本興業銀行調査課　日本興業銀行最近十年史　昭 9　163 頁　菊
*大門富之助　勸業債券の話　立命館　昭 8　167 頁　四六
志村源太郎　勸農合併後の効果如何（東京經濟雜誌 2083）　大 10
同　勸業農工兩銀行合同に就て（銀行通信錄 435）　大 11
同　地方金融と勸業農工兩銀行の合同（財政經濟時報 9-2）　大 11
*杉本正幸　全國農工銀行發達史　改訂增補 4 版　東京　全國農工銀行發達史發行所　昭 3　992 頁　附錄 161 頁　菊〔1 版　大 13〕〔參照　目次：1, 2, b〕
同　日本勸業銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）　昭 9
同　農工銀行（金融大辭典 II 卷 2 頁）　昭 9
*朝鮮殖產銀行　朝鮮殖產銀行十年史　昭 3　217 頁
祕崎充矢　勸業債券論（經濟評論—青山學院 8/9）　昭 3/4
同　日本勸業銀行概論（經濟評論—青山學院 15）　昭 7

八木芳之助　勸業銀行（經濟學辭典 I 卷 2 頁）昭 5

八木澤善次　明治初期の不動產金融運動としての大日本勸農義社（經濟史研究 **14**-1）昭 10

勸業農工兩銀行合併是非論（大阪銀行通信錄 283）大 10

勸・農强制合併論の再燃（金融知識 **6**-4）昭 10

興業銀行論—インフレーションの一機關として（エコノミスト **11**-8）昭 8

低金利時代の勸業銀行（東洋經濟新報 1654）昭 10

行詰まれる農工銀行（東洋經濟新報 1141）大 14

アメリカ合衆國

三浦　實　株式土地銀行（アメリカの）（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

米國の株式土地銀行（銀行通信錄 409）大 8

ベルギー

ユペルテイー　白耳義に於ける不動產銀行の狀態（銀行通信錄 480）昭 1

デンマーク

*農林省農務局　獨逸及丁抹に於ける土地金融組合の概要：獨逸に於ける地代農地及地代銀行の概要　昭 6

ドイツ

*北海道拓殖銀行編　普魯西の地代銀行（多木　晃）大 12

金子數雄　チエルキンスキー：獨逸土地金融組合（農政研究 **10**-4）昭 6

柏塚辰雄　獨逸不動產銀行界の近狀（經濟時報 **1**-8）昭 4

同　獨逸中央土地銀行と不動產證券化（商業及經濟研究 59）昭 6

同　獨逸不動產銀行に於ける增額評價問題（經濟時報 **4**-9）昭 7

同　獨逸不動產銀行に於ける增額評價問題の發展（經濟時報 **4**-10）昭 8

*農林省農務局　獨逸及丁抹に於ける土地金融組合の概要：獨逸に於ける地代農地及地代銀行の概要　昭 6

佐藤達也　獨逸土地抵當銀行債券に就て（帝國農會報 **13**-4）大 12

フランス

柏塚辰雄　佛蘭西不動產銀行の不動產證券化〔佛蘭西に於ける不動產證券化 1〕（經濟時報 **3**-2）昭 6

イギリス

遠藤昇二　英國土地銀行の近狀（銀行研究 **17**-2）昭 4

支那

熊國淸　農工銀行在中國國民經濟上之地位（銀行月刊 **7**-4）民 16

同　如何可以發達我國之農工銀行（銀行月刊 **7**-6）民 16

廈門農工銀行設立（通商公報 853）大 10

華商銀行設立農工銀行設立（支那經濟時報 **1**-2）大 10

農工銀行組織之經過（銀行週報 236）民 11

支那勸業銀行の債券及紙幣（海外經濟彙報 5）大 11

支那農工銀行組織變更の經過（東拓月報 **3**-3）大 11

中國農工銀行之放款義務（銀行月刊 **2**-6）民 11

全國農工銀行事務局章程（財政月刊 87）民 10

ウルグアイ

植民奬勵の目的にて新に施設されたウルグアイ不動產銀行の農業貸付方法（東拓月報 **3**-7）大 11

3. 不動產證券制度

a. 一　　般

細矢祐治　不動產信託證券制度に就て（明大商學論叢 **10**-2/3）昭 6

淸島梓　不動產の證券化に就いて（銀行論叢 **10**—5）昭 3

黒羽兵治郎　地券について（經濟論叢 **31**-3）昭 5

王金海　不動產信託證券（金融大辭典 III 卷 5 頁）昭 9

奥野平　不動產抵當證券制度と不動產信託債券制度（銀行論叢 **15**-1）昭 5

鈴木武雄　不動產證券化について（法律時報 **2**-9）昭 5

高山圭三　不動產資金化に對する提案（實業の日本 **33**-16）昭 5

値賀龍夫　不動產の證券化（臺灣時報 134）昭 5

不動產金融と地券の話（大阪財務 157）昭 5

b. 各　國　別

日　　本

*沂井正三郎　新定抵當證券法詳解　東京　自治館　昭 6　254 頁　菊

*荒川五郎　新制不動產抵當證券法解釋　東京　淸水書店　昭 6　239 頁　四六

有井守　抵當證券法の梗概（大阪銀行通信錄 408）昭 6

馬場鉄一　不動產證券化と取引所（エコノミスト **6**-20）昭 3

同　產業の合理化と不動產の證券化（銀行通信錄 528）昭 5

長谷川泰助　抵當證券法に就て（北海財務 62）昭 7

*平尾廉平　抵當證券法並關係法規集—大審院參考判例　東京　大同書院　昭 6　569 頁　菊

平岡金兵衞　不動產金融問題と地券の發行に就て（中央銀行會通信錄 210）大 9

同　不動產金融と地券制度（銀行研究 **6**-5）大 13

*堀武芳　抵當證券法釋義　附：抵當證券擔保貸付實務取扱要綱關係書式及關係法規　東京　巖松堂　昭 6　250 頁　附 288 頁　菊

岩崎博　金融合理化としての不動產證券化（銀行研究 **18**-1）昭 5

岩田新　抵當證券法（大學と社會 2）昭 6

上山英三　抵當證券制度概說（政治經濟時論 **6**-2）昭 6

同　抵當證券制度に就て（信託協會會報 6 の臨時號）昭 7

北崎進　不動產金融と抵當證券法の制定（金融三曆 **2**-4）昭 6

同　抵當證券法はどう運用されるか（中外財界 **6**-8）昭 6

*楠野泰夫　抵當證券法と刑事訴訟法に就て　昭 6

*京都土地協會　不動產抵當證券の發行に就て　昭 6

松岡松平　抵當證券法の役割と金融資本の跋扈（法曹公論 **35**-4）昭 6

*水本信夫　抵當證券法要義　東京　大同書院　昭 6　258 頁　四六

長島毅　抵當證券法及關係法の說明（法律時報 **3**-5/6）昭 6

*同　・關宏二郎　抵當證券法及關係法令註解　東京　淸水書店　昭 6　454 頁　菊

*中川十一郎　抵當證券法と書式　東京　啓明社　昭 6

同　抵當證券法に就て（法曹公論 **35**-7/9）昭 6

西岡實太　不動產證券化の急務（財政經濟時報 **17**-7）昭 5

*野本千尋・後藤丈夫　抵當證券法註義　東京　立興社　昭 6　226 頁　四六

緒方潤　我國の地券制度（財政經濟時報 **15**-9）昭 3

奥野健一　抵當證券の性質に關する若干の考察（法曹會雜誌 **9**-12）昭 7

齋藤直一　抵當證券法に就て（銀行通信錄 545）昭 6

*坂正逸　不動產金融と抵當證券　東京　章華社　昭 6　208 頁　四六

同　不動產金融と抵當證券（金融三曆 **2**-8）昭 6

關宏二郎　抵當證券法の梗概（帝國農會報 **21**-9）昭 6

同　申立人を本位とする抵當證券法の實務に就て（中央銀行會通信錄 341）昭 6

妹尾一雄　抵當證券關係法解說（銀行判例 **6**-5）昭 6

志村源太郎　不動產金融の流通（財政經濟時報 **6**-4）大 8

*高村壽惠雄　新制抵當證券法釋義　東京　森山書店　昭 7　320 頁

高島佐一郎　抵當證券法に聯想される經濟的諸影響（大學と社會）昭 6

武市春男　抵當證券法略解（中央銀行會通信錄 342）昭 6

*竹內恒吉　抵當證券法研究　大阪　銀行問題研究會　昭 7　514 頁　菊

*谷井辰藏 書式用例抵當證券法解疑 東京 立興社 昭 6

不動產金融證券化の必要 (ダイヤモンド 18-18) 昭 5

不動產抵當證券法解說—不動產金融の沿革—抵當證券法の誕生—不動產銀行の重大使命—不動產抵當證券法解說—抵當證券法問答 (經濟知識 6-2) 昭 6

救濟策としての不動產抵當證券法を排す (ダイヤモンド 19-3) 昭 5

帝國議會に於ける抵當證券法審議經過 (銀行判例 6-2) 昭 6

抵當證券法解說 (銀行判例 6-2) 昭 6

抵當證券法の誕生 (經濟知識 6-2) 昭 6

抵當證券と國稅徵收法との關係 (稅務相談所時報 97) 昭 6

ドイツ

柏塚辰雄 獨逸に於ける不動產證券化の一例 (經濟時報 2-1, 3) 昭 5

同 獨逸中央土地銀行と不動產證券化 (商業及經濟研究 59) 昭 6

柏塚辰雄 獨逸地主金融組合抵當債券の增額評價問題 (經濟時報 4-11) 昭 8

同 地主金融組合抵當證券制度と土地投機—地主金融組合創設卿に於ける一考察 (經濟時報 5-10) 昭 9

同 獨逸に於ける抵當權投資の保護 (經濟時報 6-12) 昭 10

*ヌスバウム, アーサー 獨逸抵當證券制度論 宮崎一雄 譯 東京 清水書店 昭 7

獨逸に於ける抵當證券制度要領 (法律時報 2-9) 昭 5

フランス

柏塚辰雄 佛蘭西不動產銀行の不動產證券化 (經濟時報 3-2, 6/7, 10/11) 昭 6/7

滿洲國

*滿鐵經濟調查會 華北地券(契)制度の研究 (矢野春陸) 大連 昭 10, 236 頁 菊〔經調資料 87〕

X. 財團金融及動產金融

1. 財團金融

a. 一般

青木茂 自動車交通事業抵當について (銀行論叢 17-2) 昭 6

*江口最 財團抵當法の研究 東京 文雅堂 昭 10 334 頁 菊

同 財團抵當貸付に關する注意事項 (銀行研究 28-4) 昭 10

永並豐吉 財團抵當法 (經濟學辭典 III 卷 2 頁) 昭 6

細矢祐治 工場抵當及財團金融設論 (銀行研究 3-4/5; 4-1/2, 7) 大 11/12

同 工場抵當及財團金融貸借契約書案文例 (銀行研究 4-7) 大 12

板橋菊松 鐵道財團擔保の擔保附社債券 (インヴェストメント 6-1) 昭 2

小泉計太郎 財團金融 (經濟學辭典 III 卷 1 頁) 昭 6

窪田四郎 不動產財團擔保付社債發行の法律的根據 (大學と社會 5) 昭 6

栗栖赳夫 社債と財團抵當 (インヴェストメント 1-6; 2-1/2) 大 14

*同 財團金融の重要問題 2 版 東京 文雅堂 昭 3 328 頁 四六〔銀行講座〕

1. 緒論 2. 工場抵當論 3. 鑛業抵當論 4. 漁業財團抵當論 5. 鐵道抵當論 6. 軌道抵當及運河抵當論 附錄 各種抵當法規

同 財團金融の種類と內容に就て (銀行研究 14-8) 昭 3

同 鐵道抵當論 (法學新報 38-7, 9, 12; 39-4) 昭 3/4

同 財團金融 (金融大辭典 II 卷 8 頁) 昭 9

*松尾百一郎 電力會社に於ける工場財團擔保金融實務 東京 昭文閣 昭 6 211 頁 菊

b. 各國別

日本

栗栖赳夫 財團金融の特殊性 (銀行研究 21-4) 昭 6

正岡勝男 工場財團抵當貸付手續 (銀行論叢 3-5) 大 13

同 自動車交通事業財團を目的とする抵當權の設定に就て (中央銀行會通信錄 388/91) 昭 10

松崎壽 財團金融と日本勸業銀行 (銀行研究 4-3) 大 12

大谷留五郎 擔保附社債信託法改正鐵道抵當法改正に就て (朝鮮鐵道協會雜誌 12-8/9) 昭 8

竹內辰次 工場財團擔保取扱に關する實務 (銀行研究 16-3) 昭 4

財團抵當關係法規〔金融關係法令集の內〕(金融大辭典 III 卷 26 頁) 昭 9

フランス

中西寅雄 クレディー・モビリエーの設立と歷史 (經濟學論集 6-1) 昭 2

2. 動產金融

a. 一般

東浦庄治 農業動產信用制度 (金融大辭典 IV 卷 2 頁) 昭 9

細矢祐治 信託讓渡と動產金融 (商業及經濟研究 26) 大 11

同 新農業動產信用制度に就て (銀行研究 24-5) 昭 8

河合榮治郎 動產抵當機關必要論 (經濟時論 7-2/3) 大 8

河村東洋 動產抵當について (山口商學雜誌紀念論文集) 昭 10

小平權一 農業界に於ける動產信用と佛蘭西のワラン・アグリコール（帝國農會報 18-6） 昭 3

同 農業動產擔保信用に付て（產業組合 292） 昭 5

松岡孝兒 動產銀行（經濟學辭典 IV 卷 2 頁） 昭 6

松崎壽 動產抵當（金融大辭典 II 卷 2 頁） 昭 9

*並木信政 動產，不動產金融の仕方と回收祕訣 東京 星文館 昭 10 420 頁 四六

吉丸儀六 商品擔保貸付の重要問題（銀行研究 18-4） 昭 5

農業動產金融の仕方（經濟知識 9-5） 昭 5

農業動產信用の話（金融知識 5-1） 昭 10

b. 各 國 別

日 本

後藤駒吉 農業動產信用法要旨（帝國農會報 23-6） 昭 8

細矢祐治 社債金融及動產金融の一改善案（明大商學論叢 13-1/2） 昭 7

同 新農業動產信用制度に就て（銀行研究 24-5） 昭 8

石田文次郎 農業動產信用法釋義（法律時報 5-11） 昭 8

小平權一 農業動產信用法の要旨（法律時報 5-5） 昭 8

*松崎壽 中小工業金融と債務保證，信用保險並に動產抵當設定論〔大阪商科大學創立五十週年紀念論文集の內〕 昭 5

奥野健一 農業上動產抵當登記の概說（自治研究 10-1） 昭 9

進達之輔 農業動產信用法について（產業組合時代 24-7, 9） 昭 8

周東英雄 農業金融の現況と農業動產信用法（自治研究 9-6；帝國農會時報 66） 昭 8

*高木酉吉 電話金融要義 新法規研究會 昭 10 118 頁 四六

山本豐 農業動產信用法の施行に就て（自治研究 10-1） 昭 9

滿 洲 國

*滿鐵庶務部調查課 北滿に於ける特產物擔保貸出 昭 4 v, 27 頁 菊〔パンフレット 63〕

支 那

楊廉 中國農村經濟之癥結及動產銀行之擬議（銀行週報 879） 民 23

XI. 會 社 金 融

a. 一 般

荒木秀一 株式金融の方法及批判（銀行論叢 1-3） 大 12

同 株式金融の研究（銀行論叢 1-1/6） 大 12

同 株式金融論（銀行研究 4-1） 大 12

同 株式金融とコールマネー（銀行論叢 2-5） 大 13

同 株式金融政策（銀行論叢 3-1/2） 大 13

*同 株式金融論 大阪 銀行問題研究會 昭 1 212 頁 四六

馬場敬治 企業金融（金融大辭典 I 卷 34 頁） 昭 9

江口最 擔保附社債と抵當權の順位の處分（銀行研究 28-6） 昭 10

後藤登喜男 企業金融機關の新陣容（インヴェストメント 3-3/5） 昭 1

福田敬太郎 財界金融と財界循環（銀行研究 6-4） 大 13

*池田了實 事業會社の金融 東京 文雅堂 昭 2 362 頁 菊

I. 事業資產の調整と事業金融 1. 事業金融の意義及び研究の必要 2. 事業資產及び資金の關係 3. 固定資產と流動資產の調整 4. 流動資產の必要 5. 事業經費と金融豫算

II. 事業資金調達論 1. 固有資本の調達 2. 株式の拂込及び增資 3. 增資新株の發行及びプレミアムの算定 4. 利益金及社內留保金 5. 事業會社に對する國家の保護 6. 借入資金の調達 7. 商業信用 8. 銀行信用 9. 一般投資者に依る手形の割引(ノート) 10. ビルブローカーに依る手形の割引 11. 借入金の特質 12. 借入金の擔保 13. 事業金融機關の活動 14. 社債の特質及社債の發行 15. 社債發行に對する法律上の制限 16. 電氣事業會社と社債發行限度の擴張 17. 社債の募集及び引受 18. 社債の條件 19. 擔保附社債 20. 外資輸入

III. 整理金融 1. 事業會社破綻の原因 2. 資產及び負債の整理 3. 減資及び新資本の調達

同 事業金融機關としての信託會社の地位（銀行論叢 9-6） 昭 2

同 事業金融手段としてのノートに就て（銀行研究 14-3） 昭 3

板橋菊松 企業金融上より見たる新社債制度五題（東洋經濟新報 1576, 78） 昭 8

泉俊秀 事業資金と資金銀行の發達（銀行研究 1-3） 大 10

春日井薰 起業金融（國家及國家學 9-12） 大 10

*同 起業金融論 東京 文雅堂 大 12 198 頁 四六〔近世商業經濟叢書〕

河津暹 金融機關と事業會社との特殊關係（東京經濟雜誌 2078） 大 10

木村喜一郎 Selbstfinanzierung に就て（大阪商大經濟研究年報 4） 昭 8

小島昌太郎 企業金融より見たる通貨の三態樣（法と經濟 1-1） 昭 9

吳文炳 起業金融と信託會社（インヴェストメント 3-1） 昭 1

栗栖赳夫 會社社債金融の理論及實務（銀行研究 15-1/2, 5；16-3） 昭 3/4

同 最近の會社起債の動向に就て（經濟商業論纂 8） 昭 9

松崎半三郎 金融と事業（金融研究 2-5） 大 14

松崎壽 事業金融と證券市場（商業及經濟研究 32） 大 12

同 經營金融（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

同 起業金融（經濟學辭典 II 卷 1 頁） 昭 6

三木純吉 會社金融（經濟學辭典 I 卷 1 頁） 昭 5

*向井鹿松 證券市場組織—企業金融の社會的組織—總論 東京 丸善 昭 2 396 頁 菊〔資本主義經濟組織 1〕〔參照目次：II, 3, a〕

*同 證券市場組織—企業金融の社會的組織—各論 東京 丸善 昭 2 500 頁 菊〔資本主義經濟組織 1〕〔參照目次：II, 3, a〕

宗像久敬 企業資金の供給と金融機關（金融研究 2-8） 大 14

*室谷賢治郎 經營金融論 東京 東洋出版社 昭 10 370 頁 菊〔經營學全集 7〕

I. 緒論 1. 經營金融の意義 2. 經營金融の發達 3. 資金の供給と需要

II. 資本の調達 1. 自己資本 2. 他人資本

III. 事業の創設と證券の發行 1. 事業の創設 2. 證券の發行

IV. 資產の運用 1. 景氣變動 2. 經營分析 3. 利益の處分

奥村永藏　企業金融の梗概と批判（大阪銀行通信錄 407/08）昭 6

佐藤重鑑　事業資金に就て（竹原經濟時報 23）昭 4

佐藤七郎　事業資金の調達と社債（企業經營 2-4/5）昭 5

*シュマーレンバッハ　會社金融編　鍋島達譯　東京同文館　昭 7　599 頁　菊
1. 企業の評價 2. 株式會社の設立 3. 有限責任會社の設立 4. 增資 5. 合併 6. 資本の償還 7. 財政整理 8. 清算 9. 持分權の化體 10. 證券の資出 11. 社債の發行

*高木繁太　金融と經營　東京　東盛堂　大 8　220 頁

高島佐一郎　我が大經營化の金融的源泉（國民經濟雜誌 31-4/5）大 10

*朝鮮銀行調査課　擔保付社債と事業金融 昭 8〔昭 8 調査 43〕

結城豐太郎　事業會社の改善と金融業者の好意的協調（銀行通信錄 552）昭 6

同　事業金融と近年の起債情勢に就て（銀行通信錄 588）昭 10

企業金融と財政豫算（能率研究報告 8-36, 38）昭 5

b. 各國別

日本

服部文四郎　事業金融の逼迫はどうなる（財政經濟時報 17-10）昭 5

細矢祐治　社債金融及動產金融の一改善策（明大商學論叢 13-2）昭 7

同　社債金融と擔保附社債信託法の改正（明大商學論叢 14-2/3）昭 8

池田了實　金解禁と事業金融の歸趨（銀行研究 19-2）昭 5

同　事業金融難と其の打開策（銀行研究 20-3）昭 6

伊藤好道　事業金融と金融梗塞（財政經濟時報 17-10）昭 5

河津暹　金融機關と事業會社との特殊關係（東京經濟雜誌 2078）大 10

栗栖趙夫　本邦企業の結合と社債金融に就て（工業經濟研究 6）昭 9

松崎壽　我國に於ける會社金融の問題（經營學論集—同文館 2 の內 6 頁）昭 3

岡田純夫　我國の證券金融制度に就て（銀行研究 10-4）昭 1

奥村永藏　企業金融の梗概と批判　上—「合理化金融」を中心として（大阪銀行通信錄 407）昭 6

*大阪高商銀行業務研究室　工業金融と我國の社債制度（松崎壽）昭 3　43 頁

高瀨莊太郎・他　借金整理問題（經濟往來 6-2）昭 6

*谷井辰藏　抵當權實行の手續　東京　常盤書房　昭 4　457 頁　菊

*同　書式用例　抵當證券法解疑　東京　文興社　昭 6　269 頁　四六

山本淳一　擔保附社債信託法の改正と社債金融上の效果（法律新聞 3487）昭 7

大小會社の年末金融（經濟知識 4-5）昭 5

銀行と事業會社との關係（東洋經濟新報 1404/06）昭 5

注意すべき事業資金調達形態の變化（東洋經濟新報 1641）昭 10

我が大經營の金融的源泉（國民經濟雜誌 31-4）大 10

事業金融に就て〔銀行金融座談會 3, 2〕（銀行論叢 16-4）昭 6

事業金融の一形式として注目すべき日產社債問題（東洋經濟新報 1652）昭 10

事業と金融の提携（エコノミスト 8-21）昭 5

ドイツ

*日本銀行調査局　獨逸大銀行の企業金融に就て 昭 5〔改 123〕

イギリス

1922 年英國企業金融（中央銀行會通信錄 240）大 12

支那

權時　企業家與金融問題（銀行週報 802）民 22

XII. 貯蓄及貯蓄機關

1. 貯蓄

吳菊初　對干儲蓄應有之認識（錢業月報 11-5）民 20

日根野征三　デー・エッチ・ロバートソン：貯蓄と退藏（銀行研究 26-2）昭 9

*堀內新泉　貯金物語　常盤屋　大 12

*不動貯金銀行　國際勤儉會議及び國際勤儉協會に關する調査　昭 6

*福田秀雄　貯蓄論〔人生と貯へ〕東京　綠葉社　昭 1　179 頁　四六

*福井縣學務部　勤儉貯蓄愛國貯金組合概要　昭 3

飯田繁　オットー・ドンネル：貯蓄と景氣（銀行研究 28-5）昭 10

池田藤四郎　新經營策—貯金勸誘（ダイヤモンド 16-23）昭 3

井上謙二　貯蓄の推計—F. P. Ramsey 氏の「貯蓄の數學的理論」に就て（統計集誌 638）昭 9

井下兜二　貯蓄の本質に就いて（銀行論叢 6-1/2）昭 1

香西俊雄　月掛貯金に就て（遞信協會雜誌 234）昭 3

勝田貞次　貯蓄の意義（金融研究 2-4）大 14

木村清四郎　貯蓄組合制度の創設と割引債券（銀行通信錄 445）大 11

*金融研究會　國民貯蓄の現狀　昭 3　60 頁　菊〔調書 1〕

鬼頭仁三郎　投資と貯蓄（東京商大經濟學研究 3）昭 10

小泉幸一　沖貯蓄組合の話（帝國農會時報 69）昭 8

吳文炳　貯蓄と投資に就て（インヴェストメント 4-4/5）昭 1

栗栖趙夫　貯蓄債券（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

黑野忠雄　學童貯金（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同　貯金箱（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

マルゴー，エル　佛國の貯蓄と現戰爭並に貯蓄金庫の沿革（調查月報 9-2）大 8

三木茂四郎　貯金，保險及投資に就て（保險銀行時報 1132）大 12

ミロー，イー　貯蓄と信用の連鎖（銀行通信錄 514）昭 3

*三菱合資會社臨時委員會　社外諸會社の福利增進施設　3：貯蓄及金融篇　大 11

宮田喜代藏　貯蓄（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6

*名古屋遞信局　貯金奬勵資料　大 11

*內務省社會局　愛國貯金と婦人の覺醒　昭 2

*日本銀行調查局　通貨安定後に於ける獨逸貯蓄金庫の概況　昭 3　10 頁　菊〔海外經濟彙報號外 4〕

王雨桐　對於取締商店兼營儲蓄誌感（錢業月報 11-3）民 20

小川福太郎　貯蓄及び貯蓄と金融市場との關係に就いてのリストの所論（商工經濟研究 9-3/4）昭 9

同　リストに於ける貯蓄の形成と利子との關係（商工經濟研究 10-3）昭 10

*大藏省理財局　世界主要諸國貯蓄機關概觀〔米國駐在財務官報告 25〕〔不詳〕

*大阪市社會部　譯　各國に於ける貯蓄金庫事業 昭 2〔大阪市社會部報告 62〕

*同　本市に於ける工場勞働者の貯蓄金 昭 3〔報告 69〕

林奉承　福州之儲蓄（銀行週報 858）民 23

齋藤保一郎　一日一錢貯金より起れる產業組合（產業組合 259）昭 2

佐々木辰夫　零細貯蓄に於ける獨占形態—特に中小業金融と預金部との關聯について（無盡通信 11-6）昭 9

士浩　有獎儲蓄與儲蓄事業（銀行週報 314）民 12

杉山瀧夫　米國に於ける貯蓄機關（銀行論叢 13-3）昭 4

*高森昇一郎　利殖と貯蓄の秘訣　東京　龜屋書店　昭 10　424 頁　四六

武田長太郎　大阪に於ける貯蓄機關の還流に就て（經濟史研究 35）昭 7

*遞信省貯金局　移民貯金の保護　昭 3〔貯金局業務資料 15〕

*同　勞働者階級及中產階級ニ對スル貯蓄宣傳 附：國際勤儉協會會則及報告書　昭 3〔業務資料 16〕

*遞信省貯金局 勞働者階級及中產階級に對する貯蓄宣傳 昭 5〔業務資料 16〕
陳 言 危 論取締兩儲蓄會案（錢業月報 14-6）民 19
陳 其 鹿 儲蓄不可誤入畝途說（銀行週報 766）民 21
戸塚九一郎 移住者の生命保險と貯蓄奬勵（ブラジル 3-11）昭 4
ウォルフ 利率と貯蓄者剩餘（大阪銀行通信錄 282/83）大 10
ワルドハイム 保險投資の新しい考へ方とドイツ建築貯蓄組合（保險學雜誌 338）昭 8
山浦友吉 貯蓄預金取扱に關する諸問題（金融組合 59）昭 8

米國に於ける貯蓄預金（大阪市商工時報 49）大 12
米國に於ける貯蓄預金の現狀（正金週報 18）昭 9
戀禁擅營儲蓄事業（銀行週報 684）民 20
銀行勘定に現はれた國民貯蓄力の增大（東洋經濟新報 1547）昭 8
保險利用の新貯蓄預金〔銀光生〕（經濟論叢 4-6）大 14
膠濟鐵路從業員の養老貯金制度（勞働時報 31）昭 7
公衆貯金の放資制度を作れ（東洋經濟新報 1322）昭 2
錢業聯合經營儲蓄事業之創議（錢業月報 12-3）民 21
支那諸銀行の貯蓄（支那時報 19-4）昭 8
ソ聯の國營貯金事業（ソヴエート聯邦事情 4-1）昭 9
東三省に於ける儲蓄事情（調査時報 3-10）大 12
貯蓄と貯金との相違（財界研究 1-3）昭 1

2. 貯蓄銀行

a. 一 般

*明石照男 普通銀行，貯蓄銀行論 東京 改造社 昭 10 211 頁 四六
*淺野信一 貯蓄銀行の組織と經營 東京 文雅堂 昭 2 402 頁 四六〔銀行講座〕
I. 業務篇 1. 貯蓄銀行の業務 2. 供託 3. 資金の運用 4. 支店及代理店の經營 5. 租稅に關する貯蓄銀行の特典 6. 決算並營業報告書の作成 7. 重役の責任
II. 監査篇 1. 序論 2. 書面監査 3. 實地檢査 4. 結論
III. 創設篇 1. 序論 2. 貯蓄銀行業務の免許 3. 定款の變更 4. 業務の種類及方法の變更 5. 代理店の設置
附錄 貯蓄銀行經營に關する考察
淺野信一 貯蓄銀行小論（銀行研究 13-4）昭 2
同 貯蓄銀行の廣告に就て（銀行研究 16-1）昭 4
同 貯蓄銀行の特別のサーヴィス（銀行研究 16-5）昭 4
畑市次郎 貯蓄銀行の市營に就て（稅 12-4）昭 9
ヘンショウ 貯蓄銀行の投資の仕方（庶民金融 7-9）昭 6
藤原泰 貯蓄奬勵と市營貯蓄銀行（銀行研究 15-1）昭 3
同 貯蓄銀行の信託利用（銀行研究 21-3）昭 6
伊東秀之助 貯蓄銀行發達史（經濟知識 11-5）昭 9
神戸正雄 貯蓄銀行の官，公及私營（時事經濟問題 13）大 12
春日井薫 貯蓄銀行の研究（銀行研究 7-6）大 13
同 貯蓄銀行の哲學（銀行研究 8-1）大 14
同 貯蓄銀行の研究（庶民金融 5-7/9）昭 4
同 信託貯蓄銀行（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6
木下憲太郎 共同組織に依る貯蓄銀行の性能（銀行研究 29-6）昭 10
越原久明 定期積金に就て（銀行通信錄 596）昭 10
黒野忠雄 相互貯蓄銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 据置貯金（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 トラスチー貯蓄銀行（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
同 貯蓄銀行（金融大辭典 II 卷 10 頁）昭 9
補見一正 貯蓄銀行の資金運用に關する一考察（銀行研究 19-2）昭 5
同 定期積金（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6
同 貯蓄銀行（經濟學辭典 IV 卷 5 頁）昭 6
桑原安二 相互貯蓄銀行に就て（銀行研究 20-3）昭 6
*京都市會事務局 市營貯蓄銀行に關する調査〔六大都市市會議長會議〕昭 2
松崎壽 貯蓄銀行の市營問題（銀行研究 13-3）昭 2

松崎壽 貯蓄銀行の庶民金融的活動（銀行研究 25-6）昭 8
野崎龍七 貯蓄預金利子協定（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
*同 普通銀行，貯蓄銀行論 東京 改造社 昭 10 211 頁 四六〔現代金融經濟全集 19〕
岡野文之助 貯蓄銀行國營論の根據（銀行研究 11-1）昭 1
同 貯蓄銀行市營に關する若干考察（都市問題 5-6）昭 2
*大阪市會事務局・京都市會事務局 市營貯蓄銀行に關する調査 昭 2
佐々木唯遵 庶民金融より見たる貯蓄銀行（無盡通信 5-6）昭 6
澁谷祥之 貯蓄銀行市營に就て（大阪銀行通信錄 311）大 12
下村宏 公設貯蓄銀行（都市問題 14-3）昭 7
多田喜一 相互貯蓄銀行の意義と特質（銀行研究 11-3/4）昭 1
*遞信省貯金局 各國に於ける貯蓄銀行の組織及關係法規 東京 昭 2〔業務資料 14〕
*東京市政調査會 市設貯蓄銀行 大 14 344 頁〔都市庶民金融に關する調査 2〕
横畠正彦 市營貯蓄銀行論（稅 11-7/8）昭 8
貯蓄銀行の研究（東洋經濟新報 1523）昭 7
貯蓄銀行の準備及放資に就て（大阪銀行通信錄 343）昭 1

b. 各 國 別

日 本

淺野信一 恐慌と貯蓄銀行經營の缺陷（銀行研究 12-6）昭 2
同 貯蓄銀行の監査書に就て（銀行研究 14-7）昭 3
同 定期積金給付金額限度貸付に就て（銀行研究 19-3）昭 5
同 貯蓄銀行に於ける新信用貸付に對し需要ありや（庶民金融 7-1/3）昭 6
同 貯蓄銀行に於ける有價證券擔賦販賣（銀行研究 21-3）昭 6
同 證券値下りと貯蓄銀行（庶民金融 8-1）昭 7
ベルタン 佛國其他の貯蓄銀行（銀行通信錄 482）昭 1
服部末治 貯蓄銀行法の供託制度（銀行研究 10-6）昭 1
細矢祐治 貯蓄銀行の機能と其改善（銀行研究 15-5）昭 3
福田多吉 貯蓄銀行預金と普通銀行預金（銀行研究 20-4）昭 6
藤原泰 貯蓄銀行の信託利用（銀行研究 21-3）昭 6
石卷良夫 貯蓄銀行法に對する疑義（中央銀行會通信錄 215）大 10
兼松重助 貯蓄銀行の預金部預金（銀行判例 6-3）昭 6
黒田英雄 新貯蓄銀行法の精神（大阪銀行通信錄 287）大 10
黒野忠雄 貯蓄銀行法規（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9
同 貯蓄銀行協會（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9
補見一正 貯蓄銀行の資金運用に關する一考察（銀行研究 19-2）昭 5
桑原安二 相互貯蓄銀行に就て（銀行研究 20-3）昭 6
牧野元次郎 ニコニコ主義に就いて（銀行論叢 8-5）昭 2
松崎壽 貯蓄銀行の改善問題（國民經濟雜誌 35-6）大 12
同 貯蓄銀行政策の缺陷（銀行研究 8-6）大 14
同 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡（大阪商大經濟研究年報 4）昭 8
同 中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡（無盡通信 11-3/4）昭 9
三好重夫 貯蓄銀行業者に對する營業收益稅賦課の標準—貯蓄銀行法第二十二條と地方稅制限法第二條第二項との關係（自治研究 7-7）昭 6
*村井健之助 編 改正貯蓄銀行法詳解 金融タイムス社 大 10
永安百治 貯蓄銀行業者に對する營業收益稅附加稅賦課の標準（自治研究 6-8）昭 5
中根不羈雄 信託會社と貯蓄銀行並に同施行細則の改正（金融三層 2-8）昭 6
中島精二 不動銀行の貯金と借金の利廻（無盡通信 5-1）昭 6
*直岡直治 貯蓄銀行法 附：貯蓄銀行法施行細則 3 版 大阪 大 11
岡田分平 印紙稅法適用の範圍と貯蓄銀行條例に就て（銀行通信錄 466）大 13

岡野文之助　貯蓄銀行と庶民銀行の改善に就いて（銀行論叢 7-5）昭 1

同　貯蓄銀行に關する若干問題（銀行論叢 9-2）昭 2

*岡崎公宏　中小商工業者金融機關の研究—不動貯金銀行の社會性 東京 天人社 昭 7 206 頁 四六

*大藏省銀行局　全國普通銀行貯蓄銀行諸貸出金職業別並金額別調〔年刊〕

*產業組合中央會　市街地信用組合經營事例 2 輯 1, 昭 3 137 頁；2, 昭 6 240 頁 菊

佐々木唯遵　庶民金融より見たる貯蓄銀行（無盡通信 5-4/6）昭 6

佐野包治　我國貯蓄銀行の資金運用に就て（銀行研究 9-3）大 14

菅原大太郎　貯蓄銀行協會設立の主旨（ダイヤモンド 19-20）昭 6

*商工省商務局　貯蓄銀行ニ依ル小賣金融殊ニ不動貯金銀行ニコニコ貸付ノ實際ニ就テ（小山强治）東京 昭 10 120 頁 菊〔小賣業改善資料 10〕

高田三男　貯蓄銀行の免稅額に對する附加稅賦課に就て（稅 8-11）昭 5

我妻榮　貯蓄銀行の据置貯金と定期積立金の意義（法學協會雜誌 49-3）昭 6

渡邊善藏　貯蓄銀行の營業收益稅附加稅（稅 10-6）昭 7

同　貯蓄銀行に於ける營業收益稅の附加稅に就て（自治研究 8-6）昭 7

宮利英治　貯蓄銀行に對する營業收益稅附加稅の課稅標準（自治研究 7-11）昭 6

同　重ねて貯蓄銀行に對する營業收益稅附加稅の課稅標準に就て（自治研究 8-7）昭 7

與賀田辰雄　貯蓄銀行資產負債の構成（銀行研究 22-6）昭 7

舊貯蓄銀行條例第一條第二項の趣旨（銀行通信錄 531；銀行判例 3-4）昭 5

ニコニコ貯金による金融—不動貯金銀行の卷（經濟知識 4-1）昭 5

定期積金を定期預金と表示せる差押命令の效力〔判批〕（銀行判例 14-3）昭 10

新貯蓄銀行法案（大阪銀行通信錄 283）大 10

貯銀法改正案［大藏省審議］（無盡通信 4-8）昭 5

朝鮮に獨立せる貯蓄銀行設立の要（朝鮮經濟雜誌 80）大 11

朝鮮の銀行令改正と貯蓄銀行令の制定（朝鮮經濟雜誌 157）昭 4

貯蓄銀行法に就て（大阪銀行通信錄 294）大 11

貯蓄銀行關係法規〔金融關係法令集の內〕（金融大辭典 III 卷 16 頁）昭 9

貯蓄銀行の營業停止と定期積金（銀行判例 10-2）昭 8

貯蓄銀行の政府供託債券に對する優先辨濟を受ける預金者の範圍と滿期後の定期預金の性質（銀行判例 2-2）昭 4

アメリカ合衆國

*大藏省理財局　米國に於ける各種貯蓄銀行營業狀況概觀〔不詳〕〔財務官報告 27〕

米國に於ける貯蓄銀行預金狀況（東京商業會議所月報 6-5）大 12

ドイツ

楠見一正　獨逸貯蓄銀行と中小商工業金融（經濟時報 2-3）昭 5

同　獨逸公營貯蓄銀行の改造（銀行研究 25-3）昭 8

岡野文之助　獨逸に於ける貯蓄銀行制度の發達（銀行論叢 9-3/4）昭 2

須美芳夫　獨逸貯蓄銀行論（銀行論叢 2-5/6；3-1/2）大 13

フランス

ベルタン　佛國に於ける貯蓄銀行の濫觴と其發達（銀行通信錄 471）大 14

同　佛國其他の貯蓄銀行（銀行通信錄 482）昭 1

イギリス

一野喜三郎　英國に於ける貯蓄銀行業（銀行論叢 18-1/2）昭 6

春日井薰　銀行市營計畫に就て—バーミンガム市營銀行等の批評（明大商學論叢 10-2）昭 6

岡野文之助　バーミンガム市營貯蓄銀行の發達（都市問題 1-3）大 14

同　英國に於ける貯蓄銀行公營化運動（銀行論叢 7-2）昭 1

大藏省理財局　英國「ツラスティー」貯蓄銀行の組織及業務（財政經濟調査 4-2）大 12

英國トラスティー貯蓄銀行の組織及業務（銀行通信錄 450/51）大 12

イタリー

松岡孝兒　伊太利に於ける貯蓄銀行制度改正に就いて（經濟論叢 27-5）昭 3

滿洲國

貯蓄銀行法と滿洲貯蓄預金（滿蒙實業彙報 81）大 11

支那

馬寅初　儲蓄銀行法（經濟月刊 3-7）民 20

潘文安　儲蓄銀行運用儲金範圍之商榷（銀行週報 824）民 22

同　讀儲蓄銀行法之意見（銀行週報 856）民 23

金國寶　儲蓄銀行法之研究（銀行週報 856）民 23

賈春鄉　儲蓄銀行運用資金應注重平民化（銀行週報 716）民 20

孟昭　日夜銀行倒閉後與儲蓄事業之將來（錢業月報 11-3）民 20

王維騏　儲蓄銀行農村投資不得少於存款總額五分一之商榷（銀行週報 876）民 23

林右銘　儲蓄銀行法原則商榷（國聞週報 8-32）民 20

陳言危　儲蓄銀行法與現代儲蓄銀行（錢業月報 14-8）民 23

唐壽民　儲蓄銀行立法之意見（銀行週報 692）民 20

張道潤　儲蓄銀行法中重農精神之研究（銀行週報 861）民 23

張玆闓　立法院新通過儲蓄銀行法（國聞週報 11-27）民 23

裕孫　上海各銀行辦理儲蓄業務之研究（銀行週報 314）民 12

金對於銀行資本額股東負雙倍責任及儲蓄銀行董事監察人負連帶無限責任之意見（銀行週報 849）民 23

儲蓄銀行法公布以後（上海市商會商業月報 14-8）民 23

儲蓄銀行條例草案（銀行週報 647）民 19

3. 郵便貯金

a. 一般

遠藤後一　郵便振替貯金（金融大辭典 III 卷 20 頁）昭 9

遠藤後一　郵便貯金（金融大辭典 III 卷 30 頁）昭 9

長谷川龍吾　郵便貯金利子稅を批判す（交通經濟 3-7）昭 7

堀內保躬　郵便振替貯金に就て（遞信協會雜誌 169）大 11

猪熊貞治　簡易保險と年金と人（保險銀行時報 1454）昭 5

同　國富と郵便年金（交通經濟 4-6）昭 8

市川芳男　郵便年金掛金の研究（臺灣遞信協會雜誌 123/26）昭 7

龜田豐治郎　郵便年金に就て（臺灣時報 86）昭 2

*關東廳遞信局　郵便振替貯金の利用法 昭 5

*同　郵便振替貯金の利用法 昭 9

*同　郵便，爲替，貯金案內 昭 9

河田嗣郎　貯金局制度に就いて（經濟論叢 15-4：田島博士還曆 祝賀記念論文集）昭 2

*金融研究會　郵便貯金の運用 昭 4 73 頁 菊〔調書 2〕

楠見一正　郵便爲替（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

同　郵便貯金（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

松下芳男　郵便貯金制度の一考察（金融研究 2-8）大 14

*中村太郎　郵便年金の話 東京 社會教育協會 昭 7 50 頁 四六〔社會教育パンフレット 163〕

*大阪遞信局　郵便爲替，郵便貯金，振替貯金便覽 昭 6

大內兵衞　郵便貯金における小市民性と社會性との矛盾（批判 2-11）昭 6

鈴木一郎　金本位制採用と郵便貯金（交通經濟 2-12）昭 6

*台灣總督府交通局　振替貯金の利用法 昭 6

*同　郵便振替貯金案內 昭 6

*遞信省貯金局　爲替貯金，年金恩給，國庫金，簡易保險 3 版 東京 大 9

*同　爲替貯金讀本 昭 1

*同　縮刷爲替貯金讀本 昭 2

*同　貯金實話 1. 努力の賜 2. 千圓を目標として 3. 收入の途を講じて 4. 貯金の威力 昭 2

*同　郵便振替貯金の利用法 昭 2

*同　移民貯金の保護 昭 3〔貯金局業務資料 15〕

*遞信省貯金局 振替貯金の利用法 昭 5
*同 移民貯金の保護 昭 5
*同 外國郵便振替案内 昭 6
*同 郵便貯金經濟史觀（六十年間に於ける） 昭 10
*朝鮮總督府遞信局 郵便振替貯金案内 昭 4
*朝鮮總督府遞信局元山郵便局編 貯金奬勵の栞 昭 5

物價調節と郵便貯金（日本及日本人 843） 大 11
振替貯金の知識（經濟知識 5-6） 昭 6
郵便貯金の利率（ダイヤモンド 14-24） 昭 1
郵便貯金利子の發達（銀行通信錄 438） 大 11
郵便貯金運用論〔瀨 生野〕（日本及日本人 819） 大 10
郵貯の小口集中と郵貯本來の機能（財界觀測 14-11） 昭 8

b. 各 國 別

日 本

天岡直嘉 爲替貯金局より觀たる地方別金融（財政經濟時報 6-10/11） 大 8
同 今後の郵便貯金に就て（遞信協會雜誌 152） 大 10
同 我國に於ける郵便貯金の消長（財政經濟時報 8-3） 大 10
同 財界の變動と郵便貯金の消長（財政經濟時報 8-3） 大 10
有本英夫 農村金融と郵便貯金（帝國農會報 14-17） 大 13
遠藤後一 郵便爲替（内國）（金融大辭典 III 卷 13 頁） 昭 9
同 郵便貯金事業主管の意義に就て（遞信協會雜誌 294） 昭 8
平塚米治郎 地方金融に對する郵便貯金の地位（金融研究 2-3） 大 14
土方成美 郵便貯金の本質に反する利下（實業之日本 32-4） 昭 4
穗積修 郵便振替貯金基本預金額引上の可否（遞信協會雜誌 178） 大 12
*福田秀雄 郵便年金の實際 東京 國友閣 昭 4 228 頁 四六
飯田清三 郵貯利率と定期利率（東洋經濟新報 1607） 昭 9
猪熊貞治 郵便年金の奬勵に就て（遞信協會雜誌 216） 昭 1
同 季節的に觀た郵便貯金（遞信協會雜誌 305） 昭 9
石濱知行 郵便貯金三十一億圓（中央公論 50-11） 昭 10
石卷良夫 郵便爲替手形交換所參加規則第五號に對する疑義（中央銀行會通信錄 212） 大 9
岩田耕作 再び郵便貯金利下げに就て（藤本アナリスト 4-9） 昭 5
上條正人 郵便貯金制度をして社會政策的施設たらしめよ（日本及日本人 779） 大 9
神戸正雄 最近の銀行，郵便貯金並に國債の狀勢（時事經濟問題 69） 昭 3
同 銀行預金及郵便貯金の變遷（時事經濟問題 86） 昭 4
同 銀行信託及郵貯の狀勢（時事經濟問題 88） 昭 4
梶本益一 朝鮮に於ける郵便貯金の趨勢（朝鮮 196） 昭 6
楠見一正 郵便貯金と利下問題（經濟時報 2-5） 昭 5
同 郵便貯金の小口集中と利子政策（經濟時報 5-4） 昭 8
松崎壽 郵便貯金制度の改善問題（經營學論集—同文舘 4） 昭 5
*名古屋遞信局 簡易保險，郵便年金契約純增加並維持狀況 昭 9〔名古屋遞信局報 935 附錄〕
*同 簡易保險，郵便年金事業成績概況〔年刊〕
中村孝太郎 郵便貯金利下げに對する社會事業家の關心（社會事業 14-9） 昭 5
中村太郎 郵便年金規則並同取扱規定の改正に就て（東方公論 5-10） 昭 5
成瀨義春 預金部資金の運用と郵便貯金の利子（財政經濟時報 13-13） 昭 1
同 郵便貯金利下の可否（財政經濟時報 16-3） 昭 4
野添愛善 爲替貯金事業及其附帶業務の趨勢（遞信協會雜誌 175） 大 12
奥野平 郵貯利下問題に就て（銀行論叢 19-2） 昭 7
*大阪遞信局保險課 郵便年金勸奬資料一懸賞募集答案集 大阪 昭 2
*大阪遞信局 爲替貯金業務處理要錄 昭 6
坂義彦 虛僞の預入記載ある郵便貯金通帳に基く拂戻と下當利得〔判批〕（臺法月報 29-10） 昭 10
*札幌遞信局 郵便貯金奬勵資料 昭 2
*同 爲替，貯金，振替貯金拂渡局所變更手續案 昭 6〔札幌遞信局報 434 附錄〕

*札幌遞信局 年金恩給支拂上ノ取扱要項 昭 6〔札幌遞信局報 450 附錄〕
*同 貯金預拂金事故ノ處理方 昭 9
*仙臺遞信局監督課 郵便貯金奬勵資料 昭 2
島崎一郎 我國に於ける郵便貯金の現況（社會政策時報 5） 大 10
眞家白雨 郵便貯金利下問題（朝鮮遞信協會雜誌 176） 昭 8
陶患平 議會に對し郵便貯金の解放を迫れ（農政研究 2-2） 大 12
*遞信省簡易保險局 郵便年金に關する論議 昭 2
*同 郵便年金積立金運用規則 昭 4
*同 郵便年金事業概況〔年刊〕
*遞信省貯金局 郵便貯金奬勵狀況 大 12
*同 郵便貯金十億圓記念講演集 大 12
*同 郵便貯金概觀［昭 1・12 月 調］ 昭 2 58 頁
*同 郵便局の手形交換所參加に就いて 昭 3〔業務資料 17〕
*同 外國郵便爲替沿革史資料 條約編 昭 4 vi, 606 頁 菊
*同 年金恩給業務狀況［昭 4. 3 月 調］ 昭 4 71 頁 菊
*同 郵便爲替制度沿革資料 昭 4
*同 郵便爲替制度沿革史料 昭 4
*同 郵便爲替貯金事業概況（昭和 4 年 4 月中） 昭 4
*同 郵便貯金事業ノ沿革及現況 東京 昭 7 iii, 81 頁 菊〔參考書 10〕
*同 内國郵便爲替事業ノ沿革及現況 附：内國郵便振替貯金事業ノ沿革及現況 昭 7 iii, 123 頁 菊〔參考書 11〕
*同 外國郵便爲替事業ノ沿革及現況 附：外國郵便振替事業ノ沿革及現況 昭 7 v, 69 頁 菊〔參考書 12〕
*同 外國郵便爲替業務狀況，外國郵便振替業務狀況 昭 8 80 頁；昭 9 63 頁 菊
*同 職業別＝觀タ郵便貯金 昭 9
*同 再び市の郵便貯金を比較す 昭 10 ii, 44 頁 菊
*同 貯金局史 昭 10 84 頁 菊
*同 東北地方の冷害と郵便貯金 昭 10 ii, 91 頁 菊
*同 町村の郵便貯金を府縣別に比較す 昭 10 ii, 38 頁 菊
*同 郵便貯金業務狀況 昭 10 ii, 89 頁 菊
*同 郵便貯金府縣別職業別統計表（昭 7） 昭 10 98 頁 菊
*遞信省貯金局 外國郵便爲替業務狀況，外國郵便振替業務狀況〔年刊〕
*同 國庫金業務狀況〔年刊〕
*同 内國郵便振替貯金業務狀況〔年刊〕
*同 年金恩給業務狀況〔年刊〕
*同 郵便貯金業務狀況〔年刊〕
*同 郵便貯金地方別概觀〔年刊〕
*朝鮮總督府遞信局 爲替貯金郵便例規通牒類集 昭 6
*同 京城貯金管理所 朝鮮郵便爲替貯金事業狀況〔年刊〕
*梅澤孫兵衞 最新複利法及年金算 名古屋 文正堂 昭 2 107 頁 菊
山口竹次郎 郵貯利下は常道のみ（株主協會時報 8-21） 昭 5
柚木重三 驛遞局貯金（金融大辭典 I 卷 1 頁） 昭 9

虛僞の預入記載ある郵便貯金通帳に基く拂戻と不當利得〔判批〕（銀行判例 13-7） 昭 10
郵便關係法規〔金融關係法令集〕（金融大辭典 III 卷 3 頁） 昭 9
郵便貯金の減少と預金部の融資成績（東洋經濟新報 1551） 昭 8
郵便貯金の利下げ（藤本アナリスト 4-13） 昭 5
郵便貯金の差押〔判例〕（大阪銀行通信錄 396） 昭 5
郵便貯金の職業別（金融三屆 5-2） 昭 9
郵便貯金の職業別統計（國勢グラフ 3-3） 昭 9
郵便貯金の將來（ダイヤモンド 13-1） 大 14
郵便貯金利下に就て（保險銀行時報 1478） 昭 5
郵便貯金利下の話（經濟知識 8-2） 昭 7
郵便貯金利下の是非（保險銀行時報 1411） 昭 4
郵便貯金と簡易保險の躍進振り（金融三屆 2-12） 昭 6
郵便貯金通帳の再發行と舊帳に依る支拂の效力（銀行判例 11-5） 昭 9
郵貯激增と金融的影響（ダイヤモンド 19-20） 昭 6
郵貯の減少と預金部の前途（東洋經濟新報 1521） 昭 7
郵貯の趨勢と階級構成（ダイヤモンド 20-34） 昭 7
郵貯利下の影響（經濟知識 4-3） 昭 5
郵貯利下の反響（財界觀測 13-5） 昭 7
郵貯利下と一般金利（ダイヤモンド 20-25） 昭 7
郵貯と貯蓄預金利下げ（藤本アナリスト 4-19） 昭 5

アメリカ合衆國

*大藏省理財局　米國に於ける郵便貯金の概況　大 11〔米國駐在財務官報告 31〕

米國郵便貯金の現狀（大阪銀行通信錄 412）　昭 6

ド イ ツ

串本友三郎　獨逸の公營貯金局（大阪銀行通信錄 399）　昭 5

*遞信省貯金局　佛蘭西，獨逸，瑞西郵便小切手制度概要　昭 2〔業務資料 13〕

フ ラ ン ス

*遞信省貯金局　佛蘭西，獨逸，瑞西郵便小切手制度概要　昭 2〔業務資料 13〕

カ ナ ダ

*遞信省簡易保險局　加奈陀政府年金事業に關する調査　昭 6

滿 洲 國

王　　度　滿洲國郵政滙兌及儲金業務概況（北滿經濟月刊 **10**-1）　大同 3

滿洲郵貯增加（奉天商業會議所月報 86）　大 9

オーストリア

*遞信省貯金局　墺地利郵便小切手制度關係法規　昭 2〔業務資料 12〕

ロ シ ア

ソ聯の國營貯金事業（ソウェート聯邦事情 **4**-1）　昭 8

ソ聯邦に於ける貯金局の任務（露紙抄譯 89）　昭 6

ソ聯邦貯金局と貯金者の社會相（露紙抄譯 138）　昭 8

支　　那

韋以黻　郵政儲金與農村經濟（交通雜誌 **1**-9）　民 22

高振華　廣積郵政儲金復興農村經濟芻議（交通雜誌 **1**-10）　民 22

王宗培　我國郵政儲金之概況（報月刊 **2**-11）　民 22

劉書蕃　郵政儲金匯業局概況（銀行週報 720）　民 20

唐寶書　4 年來之郵政儲金與匯兌（交通雜誌 **2**-11）　民 23

徐栢園　郵政儲金之過去與現在（銀行週報 860）　民 23

支那の郵便貯金（英商公會華文報 **1**-18）　大 10

支那郵政儲金概況（銀行週報 212）　民 10

中國郵政儲金觀（上海 **7**-14）　大 12

我國郵政儲金狀況（商業月報 **10**-3）　民 19

郵政儲金之概況（銀行月報 **3**-10）　民 12

郵政儲金匯業局之概況（中行月刊 **3**-4）　民 20

暫行郵政儲金辦理規程（交通部月刊 **2**-3）　大同 3

ス イ ス

*遞信省貯金局　佛蘭西，獨逸，瑞西郵便小切手制度概要　昭 2〔業務資料 13〕

4. 大藏省預金部

原邦造　市町村に對する預金部資金直接貸付實施（斯民 **28**-1）　昭 8

同　　昭和九年度預金部地方資金の融通に就て（斯民 **29**-7）　昭 9

*廣島縣內務部　預金部普通地方資金融通例規　昭 8

*北海道廳內務部　預金部普通地方資金融通關係例規　昭 8

藤田三郎　低利資金の運用と地方理事者の努力（地方行政 **43**-6）　昭 10

*兵庫縣內務部　預金部普通地方資金融通規則及同實施取扱規程　昭 9

出澤良男　現行預金部制度の概要（大阪財務 179）　昭 8

入江昻　昭和八年度預金部地方資金の融通に就て（斯民 **28**-6）　昭 8

飯島寧　大藏省預金部の正體（財政經濟時報 **10**-4）　大 12

神戸正雄　公債整理と預金部管理の改善（時事經濟問題 10）　大 12

神戸正雄　預金部改造問題の考察（銀行論叢 **1**-3）　大 12

同　　全國銀行及大藏省預金部勘定（時事經濟問題 72）　昭 3

同　　預金部の改善と其直接貸出（時事經濟問題 76）　昭 3

同　　銀行及預金部資金の增加（時事經濟問題 77）　昭 3

兼松重助　貯蓄銀行の預金部預金（銀行判例 **6**-3）　昭 6

小坂珠城　預金部資金の運用と無盡業者（無盡通信 **6**-5）　昭 6

小笹正人　預金部改造（日本及日本人 855）　大 12

*楠見一正　大藏省預金部と其の資金運用〔大阪商科大學創立五十周年記念論文集の內 60 頁〕　昭 5

松田雪堂　魔手に乘ぜられた預金部會計（我觀 46）　昭 2

森本宋　預金部資金の濫用を戒む（日本及日本人 128）　昭 2

*武藤山治　大藏省の伏魔殿預金部內容 附：英佛大藏省預金部の制度　大阪實業同志會　昭 2

長原可夫　預金部資金運用物語（政治經濟時論 **6**-4）　昭 6

*中津海知方　預金部秘史　東京　東洋經濟新報出版部　昭 3　343 頁　四六

*奈良縣內務部　預金部普通地方資金融通關係法令〔年刊〕

成瀨義春　預金部改造に就て（法學研究 **3**-4）　大 13

同　　預金部は如何に改造すべき哉（財政經濟時報 **11**-11）　大 13

同　　預金部の改造と議會の監督（財政經濟時報 **11**-18）　大 13

同　　預金部資金の運用と郵便貯金の利子（財政經濟時報 **13**-13）　昭 1

二宮丁三　庶民金融と大藏省預金部資金（山口商學雜誌 6）　昭 5

小川鄉太郎　預金部論（インヴェストメント **1**-3）　大 14

同　　預金部の改造を論ず（インヴェストメント **1**-4）　大 14

同　　預金部（金融大辭典 III 卷 40 頁）　昭 9

*同　　預金部論　東京　改造社　昭 10　225 頁　四六〔現代金融經濟全集 21〕

I. 1. 預金部の沿革　2. 預金部の本質　3. 預金部の根據法　4. 預金部の組織　5. 預金部の概況　6. 預金部特別會計　7. 預金部資金　8. 預金部資金の運用　9. 預金部の金利政策　10. 預金部と政府の政策
II. 1. 改造前の預金部　2. 預金部の改造

大口喜六　大藏省預金部の概觀（ダイヤモンド **23**-30）　昭 10

笠信太郎　預金部資金運用論（中央公論 **47**-8/9）　昭 7

佐藤雄能　大藏省低利資金の融通に就て（鐵道軌道經營資料 153）　昭 6

杉山幹　財界の伏魔殿・預金部（改造 **9**-10）　昭 2

竹部政俊　預金部支部及同出張所事務に就て（大阪財務 182）　昭 8

田谷一郎　大藏省預金部の大擴張（稅 **10**-10）　昭 7

富田勇太郎　預金部の沿革と內容に就て（インヴェストメント **3**-4）　昭 1

同　　預金部定の改善〔財政上よりみたる好轉兆候〕（經濟往來 **5**-11）　昭 5

*富山縣內務部　預金部普通地方資金取扱手續　昭 9

常松三郎　大藏省預金部の資本（財政經濟時報 **10**-20）　大 12

同　　大藏省預金部の資力（財政經濟時報 **11**-11）　大 13

*山田幸太郎　大藏省預金部論　東京　巖松堂　大 14　226 頁　菊

1. 預金部ノ性質及沿革　2. 預金部ノ借方勘定　3. 預金部ノ貸方勘定　4. 預金部ノ損益勘定　5. 預金部ノ改造　6. 餘論

山根幸夫　大藏省預金部改造案を評す（金融研究 **1**-2/3）　大 13

米澤恒雄　低利資金の話（產業組合 351/52）　昭 10

非常時下の財經對策を視る—預金部資金運用の失態（エコノミスト **10**-12）　昭 7

佛國國庫の民間會社並外國政府に對する最近の資金融通（調査月報 **22**-5）　昭 7

インフレ補助機關としての預金部（エコノミスト **13**-18）　昭 10

改造後の預金部の內容—不良貸付の回收困難（東洋經濟新報 1349）　昭 3

改造の機運迫れる預金部制度（エコノミスト **3**-3）　大 14

國債と預金部（ダイヤモンド **10**-16）　大 11

大藏省預金部の話（金融知識 **4**-3）　昭 9

大藏省預金部の資金運用（財政經濟時報 **17**-10）　昭 5

大藏省預金部の役割（財界研究 **10**-5）　昭 6

大蔵省預金部融資狀態（財界觀測 **13**-3） 昭 7
亂脈な低利資金系統の調整（金融知識 **6**-5） 昭 10
産業組合を通じての預金部低資融通（台灣の産業組合 47） 昭 5
資金は如何に運用されて居るか—大蔵省預金部の資金（財政經濟時報 **17**-10） 昭 5
昭和八年度預金部資金の運用計畫と時局匡救關係資金（稅務相談所時報 120） 昭 8
特銀及大蔵省預金部の研究（東洋經濟新報 1523） 昭 7
預金部不良貸付の後始末（財政經濟時報 **12**-5） 大 14
預金部改造は不徹底（財政經濟時報 **12**-4） 大 14
預金部の現狀とインフレーションの必要（東洋經濟新報 1501） 昭 7
預金部の改造（ダイヤモンド **11**-24） 大 12
預金部の國債買入（ダイヤモンド **14**-33） 昭 1
預金部の資金及其の運用に就て（銀行通信錄 553） 昭 7
預金部の資金運用問題（藤本アナリスト **5**-6） 昭 6
預金部の低利（ダイヤモンド **12**-7） 大 13
預金部の運用（ダイヤモンド **12**-9） 大 13
預金部資金の借用申込調査に就て〔澁谷生〕（中京財務 **15**-2） 昭 8
預金部資金の運用方法（財政經濟時報 **10**-4） 大 12
預金部資金の融通の實績（東洋經濟新報 1516） 昭 7
預金部資金流用問題の正體〔特別議會と財經政策の吟味〕（エコノミスト **8**-10） 昭 5
預金部資金と其の運用（公民講座 68） 昭 5
預金部資金運用計畫と其財源整（東洋經濟新報 1436） 昭 6
預金部資金運用の失態（エコノミスト **10**-12） 昭 7
預金部資金は政府の私有物か（財政經濟時報 **12**-15） 大 14
預金部とその金融統制（藤本アナリスト **5**-9） 昭 6
預金部預金利下と貯蓄銀行の資金運用（金融知識 **3**-5） 昭 9
郵便貯金の減少と預金部の融資成績（東洋經濟新報 1551） 昭 8
郵貯の減少と預金部の前途（東洋經濟新報 1521） 昭 7
財務局金融課 預金部低利資金に就て（臺灣時報 182/83） 昭 10

XIII. 庶民金融及消費者金融

1. 庶民金融一般

a. 一 般

秋野 茂廣 過去及現在の下層的金融機關（庶民金融 **8**-4） 昭 7
青木 得三 庶民銀行論（勞働立法 **1**-1） 昭 9
荒木 秀一 小口金融の問題（大阪銀行通信錄 362） 昭 2
*朝日新聞社編 小額金融の話 東京 同社 昭 5 188 頁 四六〔朝日政治經濟叢書 3〕
淺野 研眞 ブルードンの民衆銀行論（無盡通信 **8**-4/6；**9**-1） 昭 7/8
淺野 信一 特殊庶民金融機關の研究（庶民金融 **8**-4/5, 7, 10；**9**-6） 昭 7/8
道家齊一郎 プロレタリアの金融機關（金融研究 **3**-1） 昭 1
濱田 德海 庶民金融機關に關する一二の考察（勞働立法 **1**-2） 昭 9
*樋口 麗陽 無資產者の銀行利用法 東京 榮文堂 大 8 226 頁
堀江 歸一 中產以下の社會と利息金融（改造 **9**-5） 昭 2
藤本 豐 中小業の金融機關に對する管見（無盡通信 **14**-2） 昭 10
*石坂 橘樹 農村庶民金融 東京 泰文館 昭 7 109 頁 菊
伊丹佐一郎 一圓銀行の考證（大阪銀行通信錄 438）
岩崎 尙夫 庶民金融改善の要（エコノミスト **4**-9） 昭 1
岩崎 靜也 庶民銀行に就て（銀行論叢 **3**-2） 大 13
*井關 孝雄 無產階級金融論 東京 クララ社 昭 4 144 頁 四六〔民衆政治講座 7〕
同 庶民金融に於ける無擔保貸付に關する債權確保の制度に對する歷史的變遷（銀行研究 **16**-1） 昭 4
*同 庶民金融の實際知識 東京 春陽堂 昭 6 400 頁 四六
*井關 孝雄 金融の魔術—高利貸，モリス，無盡，質屋等 東京 日本評論社 昭 8 394 頁 四六
*同 小額金融制度論 東京 東京書房 昭 8 392 頁 四六
1. 米國に於ける小額金融の現狀 2. 米國の小額金融機關 3. 小額金融機關の利息及び費用 4. 小額金融機關の利潤 5. 小額金融機關の現在と將來 6. 小額金融に關する法制
同 小額金融法の研究（庶民金融 **9**-2） 昭 8
同 庶民金融機關の歷史と金利の觀念（庶民金融 **9**-7） 昭 8
同 庶民金融の科學的決定方法（庶民金融 **9**-8/9） 昭 8
同 小額金融（金融大辭典 II 卷 13 頁） 昭 9
同 庶民金融機關の歷史と現況（庶民金融 **10**-7） 昭 9
同 庶民金融の範圍目的及其の特殊理論（庶民金融 **10**-8） 昭 9
*同 中小商工業庶民金融論 東京 改造社 昭 10 283 頁 四六〔現代金融經濟全集 5〕
神戶正雄 不動產金融と中下層金融（時事經濟問題 67） 昭 3
同 中下層金融（時事經濟問題 73） 昭 3
神田孝一 勤勞相互金融施設に關する實驗（社會政策時報 138） 昭 7
金子 泉 中小商工業者と庶民金融（無盡通信 **12**-3） 昭 9
春日井 薰 庶民金融自給論を排す—相互主義の必然的運命（銀行研究 **29**-1） 昭 10
川瀨和夫 所謂サラリーマン金融に就て（銀行論叢 **14**-3） 昭 5
河田嗣郎 庶民金融に就て（產業組合中央會兵庫支會報 154/56） 昭 2
小林丑三郎 庶民金融の眞諦（都市問題 **3**-6） 昭 1
黑正巖 統制經濟と庶民金融（無盡通信 **9**-6；**10**-1） 昭 8
小坂珠城 庶民金融は何故發達せぬか（金融知識 **4**-1） 昭 9
同 庶民金融の分野（金融知識 **4**-4） 昭 9
楠見一正 俸給者金融に就て（經濟時報 **1**-11） 昭 5

楠見一正　庶民金融機關（經濟學辭典 III 卷）1 頁）昭 6

同　庶民金融（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　庶民金融機關（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

*前田繁一　庶民金融難とその改善〔大思想エンサイクロペヂャー春秋社 — 16 の内 38 頁〕昭 4

*同　庶民金融　東京　日本評論社 3 版　昭 4　510 頁　四六
1. 庶民階級と金融　2. 我國金融機關の概況　3. 庶民金融機關の現狀　4. 庶民の負擔と金利　5. 庶民金融改善策　6. 歐米各國の庶民金融機關

同　庶民金融機關（重要諸外國の）（金融大辭典 II 卷 3 頁）昭 9

栃谷益蔵　庶民銀行論（日本法政新誌 **16**-1）大 8

松崎壽　俸給者の金融に就て（大大阪 **6**-6）昭 5

同　小額金融に對する保護制度（銀行研究 **21**-1）昭 6

中島久萬吉　庶民金融と產業（庶民金融 **5**-8）昭 4

小幡清金　庶民銀行の本質とその問題（都市問題 **1**-5）大 14

大林宗嗣　無產階級の金融機關の研究（社會事業研究 **18**-9）昭 5

緒方庸雄　無產者の金融問題に關して（社會事業研究 **18**-9）昭 5

大久保偵次　庶民金融改善の話（經濟知識 **10**-3）昭 8

島田德　庶民金融統制問題とモリス・プラン（法律時報 **5**-4）昭 8

*高橋渡　小口金融の話　東京　雄風館　昭 9　185 頁　四六

田中太郎　庶民銀行に就て（統計集誌 476/78）大 9

*東京市政調査會　小額信用制度の研究　大 12　菊〔市政調査資料 2〕

*同　都市金融の概況　同會　大 14　145 頁　菊〔都市庶民金融に關する調査 1〕
1. 都市及び庶民　2. 都市金融機關の概況　i. 有產者金融機關　ii. 庶民金融機關　3. 庶民金融機關の改造

*全國無盡集會所　庶民金融に就て（田中貢）〔不詳〕〔講演集 4〕

*時事新報社經濟部編　小口金融の利用法　東京　春陽堂　昭 6　430 頁　四六
1. 手輕に利用し得る銀行の小口金融　2. 信用組合の實情と資金貸付の方法　3. 個人金貸のいろいろ　4. 官吏軍人相手の恩給年金立替貸　5. 趣味と實益を兼ねた無盡金融の特色　6. 民衆金融の開祖質屋の話　7. 民衆的な保險證券擔保の金融　8. 簡易保險の加入者貸付

外國に於ける小額金融の話（金融知識 **6**-1）昭 10

不完全な庶民金融機關（エコノミスト **9**-11）昭 6

諸外國に於ける中小金融政策（エコノミスト **8**-12）昭 5

諸外國に於ける中小金融政策（庶民金融 **9**-1）昭 8

庶民金融の概念（金融三層 **6**-2）昭 10

中下層金融（時事經濟問題 73）昭 3

b. 各國別

日本

淺野信一　考課狀より見たる我國の庶民金融（庶民金融 **7**-11）昭 6

同　庶民金融改善私見（銀行研究 **12**-2）昭 2

同　庶民金融機關改善問題（銀行研究 **12**-2）昭 2

同　牧野氏の庶民金融私案に就て（庶民金融 **7**-10）昭 6

濱島勝　庶民金融の改善を論ず（東洋經濟新報 1597）昭 9

東浦庄治　農村の庶民金融問題（帝國農會報 **20**-3）昭 5

細矢祐治　庶民金融の現狀と其改善整備（銀行研究 **13**-4）昭 2

同　庶民金融の改善整備（庶民金融 **5**-9/10）昭 4

*福井縣學務部　小資融通共濟組合施設調　昭 3

藤野惠　社會的施設としての庶民金融機關概說（社會事業 **14**-10）昭 5

井上吉次郎　細民街金融の將來（社會事業研究 **18**-9）昭 5

井上準之助　庶民金融問題（無盡通信 **3**-5）昭 5

井關孝雄　日本の庶民金融の現狀（庶民金融 **5**-1/6）昭 4

同　庶民金融法規の改正及び新法規設定に關して當局に望む數點（庶民金融 **10**-9）昭 9

川戸藤吉　我が庶民金融の實情とモリスプランの出現（庶民金融 **8**-6）昭 7

末村秀太郎　庶民金融改善（大阪銀行通信錄 362）昭 2

*貴島桃隆　不動產金融とサラリーマン金融の仕方　東京　高瀨書房　昭 7　179 頁　四六

小坂珠城　庶民金融と利息制限法（金融三層 **4**-3）昭 8

同　庶民金融急施の必要（金融知識 **4**-2）昭 9

同　庶民金融改善問題（金融知識 **4**-5）昭 9

熊田克郎　俸給生活者金融と都市銀行（大大阪 **6**-6）昭 5

草間八十雄　細民金融の裏面（改造 **12**-3）昭 5

同　下層社會と金融の裏面（法律時報 **3**-8）昭 6

黒羽兵治郎　大阪市に於ける庶民金融機關發達の概要（經濟時報 **4**-12）昭 8

*前田繁一　庶民金融難と其の改善〔大思想エンサイクロペヂア — 春秋社 16 の内 38 頁〕昭 4

同　近く實現すべき東京市の細民銀行（改造 **12**-7）昭 5

牧野元次郎　政府は庶民金融部を設けよ（エコノミスト **8**-12）昭 5

*同　庶民金融私案　昭 6　4 頁　菊〔非賣〕

同　庶民金融私案（銀行論叢 **16**-6）昭 6

同　庶民金融私案並新案「國債償還法」（庶民金融 **7**-10）昭 6

松本伊織　小額生產資金貸付事業狀況（朝鮮 191）昭 6

松崎壽　下層階級保護と庶民金融政策（社會政策時報 65）昭 1

同　下層階級保護と庶民金融政策（庶民金融 **4**-4）昭 3

同　都市の庶民金融制度（大大阪 **6**-12）昭 5

同　庶民金融改善問題（銀行研究 **27**-1）昭 9

絲川光雄　小口信用貸付業務の將來（銀行論叢 **14**-3）昭 5

森德久　中小階級の金融問題（產業組合時報 89）昭 5

長沼弘毅　無產階級金融の緊急性（無盡通信 **10**-6；**11**-1）昭 8/9

中村孝太郎　無產者金融の不備に就て（社會事業研究 **18**-9）昭 5

中野間菊雄　庶民金融問題に就いて（無盡通信 **14**-2；大阪商工會議所月報 337；庶民金融 **11**-8）昭 10

*日本銀行　北海道に於ける庶民金融　昭 8　菊

*日本興業銀行調査課　小口貸付課　昭 8

小畑源之助　中小金融の具體案（工業 43）昭 5

小田忠夫　實施されたる俸給生活者簡易貸付制（都市問題 **10**-3）昭 5

岡野文之助　貯蓄銀行と庶民銀行の改善に就て（銀行論叢 **7**-5）昭 1

*岡山縣學務部　少額生業資金ニ依リ營ミ得ル職業調〔年刊〕

大久保偵次　農村に於ける庶民金融に就て（產業組合時代 **10**-8）昭 8

齋藤恂　中小金融の經驗（エコノミスト **8**-12）昭 5

佐々木唯遼　金融難の庶民階級（無盡通信 **5**-1）昭 6

佐々木辰夫　江戸末期の庶民金融に關する研究 — 主として佐藤信淵の農業經濟理論に對する部分的考證（無盡通信 **7**-5）昭 7

佐藤寛次　組合金融の改善に就きて（農業經濟研究 **5**-3）昭 4

畝川元夫　中小金融策として帳簿割引を提唱（エコノミスト **8**-12）昭 5

千石興太郎　都市の庶民金融に對する私見（財政經濟時報 **17**-10）昭 5

*白金光助　抵當なしの小額金融案內　言海書房　昭 10　118 頁　四六

末弘嚴太郎　庶民金融の法律問題（法律時報 **3**-8）昭 6

杉山元治郎　無產者の金融問題（社會事業研究 **18**-9）昭 5

高井藤之助　小口金融業の實際と正當利率の科學的考察（庶民金融 **10**-4/5）昭 9

高橋龜吉　我國資金の窮乏と無產階級の對策（解放 **4**-1）大 14

高松南海夫　新聞の庶民金融改善論の批評（庶民金融 **9**-10）昭 8

*東京府學務部社會課　細民金融に關する調査　昭 10〔社會調査資料 24〕

*東京市政調査會　都市庶民金融改善に關する意見　大 15

山根謙　朝鮮の庶民金融（產業組合 268）昭 3

非常時經濟に於ける政府の庶民金融原案（庶民金融 **8**-7）昭 7

下層金融機關の改善（工業評論 **5**-12）大 8

名古屋市庶民金融對策（庶民金融 **8**-8）昭 7

農村庶民金融（日本農業 **26**-8）昭 5

大藏省の新庶民金融制度案—小口貸付會社，預金部の低利貸付，公設小口貸付（金融知識 4-1）昭 9

サラリーマン金融の途開く（實業の日本 33-2）昭 5

地方救濟策としての低利資金融通の話（中外財界 5-9）昭 5

朝鮮に於ける庶民金融機關の功罪（金融組合 55）昭 8

中小金融の具體案現はる（エコノミスト 8-5）昭 5

中小金融の實情（エコノミスト 8-12）昭 5

アメリカ合衆國

長谷川　猛　米國に於ける庶民金融の最近の潮流（庶民金融 11-3）昭 10

井關孝雄　米國に於ける庶民金融機關の趨勢（銀行論叢 17-1）昭 6

同　米國に於ける庶民金融機關の營業費の研究（經濟集志 6-1）昭 8

同　米國の庶民金融機關の機能と其の現勢（銀行論叢 21-3/6）昭 8

西村勝太郎　米國に於ける小額貸付機構（大阪銀行通信錄 439, 443, 446, 448）昭 9

東京手形交換所調査　米國に於ける庶民金融機關と中小商工業金融（銀行通信錄 588/89）昭 10

アメリカに於ける小額金融制度（庶民金融 7-13）昭 6

アメリカの庶民金融機關（庶民金融 8-1/9; 9-1/2）昭 7/8

米國に於ける小額貸付問題（商工月報 6-1）昭 5

米國に於ける小額金融問題—小額金融法に依る金融會社及銀行の營む小口信用貸付に就て（工業 45）昭 5

ブルガリア

平　實　ブルガリアに於ける庶民銀行（經濟時報 4-11）昭 8

ドイツ

楠見一正　獨逸信用銀行の小額金融に於ける地位（經濟時報 3-7）昭 6

獨逸の庶民金融機關（國際パンフレット通信 768）昭 10

フランス

松岡孝兒　フランスに於ける庶民銀行に就て（經濟論叢 30-2）昭 5

同　相互保證會社（經濟學辭典 IV 卷 1 頁）昭 6

篠原武英　佛蘭西に於ける庶民金融（庶民金融 8-6/7）昭 7

滿洲國

井關孝雄　滿蒙に於ける庶民金融機關（東洋 35-7）昭 7

大連に於ける庶民金融の實情（經濟滿日 25）昭 9

滿洲國の庶民金融機關概觀（日本興業銀行調査月報）昭 9

民衆銀行設立案（奉天經濟旬報 7-13）昭 5

ロシア

向井俊郎　莫斯科人民銀行論（金融研究 2-6/8）大 14

平　實　モスカウ庶民銀行に就て（經濟時報 3-8）昭 6

支那

木村賢太郎　支那の庶民金融機關（金融研究 2-9）大 14

西山榮久　支那湖北地方の庶民金融（東亞經濟研究 11-2）昭 2

岡野一朗　支那の庶民金融機關（社會政策時報 98）昭 3

同　支那の庶民金融機關（庶民金融 7-12/13）昭 6

靜　如　限制利率與平民金融（銀行週報 514）民 16

北京に於ける下層社會の金融機關と各種の社會施設（北京滿鐵月報 5-1）昭 3

魯省救濟平民金融（銀行週報 838）民 23

青島貧民借款之近況（中外經濟週刊 221）民 16

2. 信用組合

a. 一　般

秋野茂廣　信用組合の資金運用（庶民金融 8-5）昭 7

天宅敬吉　信用組合の貯金業務（產業組合 203）大 11

同　信用組合と保險會社（庶民金融 5-8）昭 8

*バルー，エヌ　產業組合金融論　大熊良一 譯　東京產業組合中央會　昭 9　445 頁　菊

服部文四郎　中小商工業金融と信用組合（經濟法律論叢 4-1）昭 8

ヘリック，マイロン　協同信用論（金融組合 44/56）昭 7

東浦庄治　ウォルレンボルグ系信用組合（金融大辭典 I 卷 1 頁）昭 9

同　ハース系信用組合（金融大辭典 II 卷 1 頁）昭 9

同　シュルチェ式信用組合（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

同　信用組合（金融大辭典 II 卷 4 頁）昭 9

同　ライファイゼン式信用組合（金融大辭典 III 卷 3 頁）昭 9

同　ルザッチ系信用組合（金融大辭典 III 卷 1 頁）昭 9

*廣瀨豐作　市街地信用組合論　大13

細谷小麓　村落信用組合に就て（農政研究 1-8）大 12

*藤本ビルブローカー銀行調査部　產業組合と金融　大 14

井川忠雄　市街地信用組合（金融大辭典 II 卷 6 頁）昭 9

池川清　信用組合の基礎理論（連帶時報 15-11）昭 10

井關孝雄　組合金融の構成と其の基本原理（金融組合 74）昭 9

同　組合金融の構成と其の基本原理：將來の金融を支配すべき新構成（庶民金融 11-1）昭 10

何默　世界各國的合作運動（青年進步 146）民 20

春日井薫　相互組織金融の缺陷と其の救濟策（銀行研究 28-2）昭 10

勝本瑛　信用組合の外廓を巡りて（社會事業 14-10）昭 5

楠見一正　金融組合の機能（經濟時報 1-6）昭 4

同　信用組合（經濟學辭典 III 卷 2 頁）昭 6

同　シュルツェ・デーリッツ式信用組合（經濟學辭典 III 卷 1 頁）昭 6

同　ライファイゼン式信用組合（經濟學辭典 V 卷 2 頁）昭 7

楠見一正　ルツァッティ式信用組合（經濟學辭典 V 卷 1 頁）昭 7

松本富士秀　小農金融と信用組合（產業組合 261）昭 2

松岡孝兒　ウォルヘンベルク式信用組合（經濟學辭典 I 卷 1 頁）昭 5

松崎壽　銀行と信用組合の交涉（銀行研究 11-2）昭 1

南正樹　產業組合金融の統制（自治研究 11-8）昭 10

美濃部俊吉郎　信用組合は經濟機關か，道德機關か（三重斯民 22-8）昭 7

*森德久　市街地信用組合の精神とその事業　都市庶民銀行　大 15〔信用組合叢書〕

那須皓　信用組合の話（庶民金融 2-4）昭 3

名和巽　金融會社及金融組合の本質（金融研究 1-1）大 13

二宮丁三　庶民金融機關としての信用組合の特質（山口商學雜誌 7）昭 5

西脇庄次郎　運送信用組合論（海陸運 17-17）昭 2

野田兵一　信用組合の話（協同組合時代 2-6）昭 6

*農林省農務局　各國に於ける產業組合中央金融機關に關する統計　宮城孝治 譯　昭 1〔產業組合參考資料 11〕

*農商務省農務局　諸外國に於ける產業組合中央金融機關概要　大 12〔產業組合參考資料 5〕

緒方皓陽　バルー氏の協同組合金融論（產業組合 326）昭 7

岡田信　市街地信用組合の特色（產業組合 185/8）大 10

同　市街地信用組合の本質（產業組合 196）大 11

大竹虎雄　市街地信用組合に就て（自治研究 11-7, 9/10）昭 10

大谷省三　產業組合金融の自己否定（產業組合 356）昭 10

佐久間正春　庶民金融機關としての信用組合に就て（中央銀行會通信錄 377）昭 9

*產業組合中央會　產業組合の金融調節機關に關する理論的考察　東京 同會　大 12 42 頁

*同　信用組合事業の經營（佐藤寬次）大 14〔產業組合講習錄〕

同　信用組合貯金に關する調査（產業組合 282）昭 4

*同　產業組合講座（1/3）東京 同會　昭 5

*佐藤寬次　信用組合論　東京　西ヶ原刊行會　昭 5　1295 頁　菊

I. 總論 1. 本邦信用組合の沿革 2. 信用組合の概念 3. 信用組合の種類 4. 信用組合の構成 5. 資本及組織 6. 信用組合の管理 7. 信用組合の定款 8. 信用組合の解散及合併 9. 信用組合の監督及檢査
II. 信用組合事業の運用 1. 總說 2. 貸付業務 3. 割引業務 4. 貯金業務 5. 受信及與信業務の調和
III. 組合金融の聯絡 1. 總說 2. 信用組合聯絡の階段 3. 信用組合聯合會 4. 產業組合中央金庫 5. 組合金融の改善
附錄 產業組合關係法規

島田 德 組合金融の統制に就て（銀行研究 **15**-1） 昭 3

志村源太郎 市街地信用組合の特質（產業組合 196） 大 11

篠田七郎 シ氏及ラ氏信用組合の比較（產業組合 274/75） 昭 3

七森哲雄 トトミアンツ・ヴェ: 國際產業組合聯盟ウイン大會の感想（產業組合 305） 昭 6

*田口正也 譯 信用組合の淸算力及び淸算力政策 昭 4 〔產業組合調査資料 36〕

高田二平 信用組合の貿貸に關する研究（產業組合 288） 昭 4

高橋武美 市街地信用組合と經營者の責任（產業組合 266） 昭 2

德永一之 大 14 產業組合の爲替事業（產業組合 241）

*東京市政調査會 市街地信用組合 大 14 356 頁 菊 〔都市庶民金融に關する調査 3〕
I. 都市企業の概況
II. 市設貯蓄銀行の創設
III. 市街地信用組合の現況 1. 市街地信用組合の本質 2. 信用組合の沿革 3. 信用組合の現況 4. 諸外國に於ける庶民銀行の沿革及び現況 5. 市街地信用組合の問題
IV. 公設質舖の助成

鶴岡操 國際產業組合聯盟及國際產業組合金融委員會の起源及狀況並諸外國に於ける產業組合關係金融中央機關（產業組合 327） 昭 8

同 世界に於ける產業組合金融機構及狀況並國際產業組合銀行の使命（帝國農會報 **23**-2） 昭 8

仲明 合作與救災（合作月刊 **3**-8） 民 20

同 工人與合作（合作月刊 **3**-9） 民 20

上浦種一 信用組合に於ける「協同の原理」に就て（產業組合時報 92） 昭 5

矢留文雄 信用組合及重役理事に對する責任を決定したる判決に就て（中央銀行會通信錄 306/08） 昭 3

八木澤善次 ライファイゼン運動と報德主義（斯民 **30**-6） 昭 10

山本謙治 勞資協調主義の信用組合（產業組合 227） 大 13

合作討論（合作月刊 **3**-10） 民 20

國內外合作（合作月刊 **3**-7, 9） 民 20

組合金融に就いて（銀行通信錄 586） 昭 9

信用組合の特質と機能（銀行判例 **2**-4） 昭 4

小產者金融と產業組合〔K. M. 生〕（大阪銀行通信錄 360/62） 昭 2

村落信用組合に就て（農政研究 **1**-8） 大 11

b. 各國別

日本

安部賢之助 產業組合金融確立の好機（地方行政 **36**-2） 昭 3

相田岩夫 財界恐慌と信用組合（產業組合 262/63） 昭 2

同 銀行法と市街地信用組合（產業組合 279） 昭 4

青木誠一 產業組合中央金庫に就て（金融研究 **2**-1/2） 大 14

有元英夫 銀行信用組合間の預金爭奪と農村經濟に及ぼす影響（企業と社會 4） 昭 1

同 銀行信用組合間の預金爭奪と農村經濟に及ぼす影響（庶民金融 **8**-3） 昭 7

朝倉昇 朝鮮の金融組合事業の動向（金融組合 43/48） 昭 7

*同 金融組合の指導金融問題 昭 8

道家齊 市街地信用組合の現狀（產業組合 196） 大 11

同 產業組合中央金庫の成立に就て（產業時報 **3**-5） 大 12

後藤滋 信用組合の資金の貸付〔判批〕（內外研究 **7**-6） 昭 9

玉夫 金融組合運動に於ける求心力と遠心力（金融組合 78） 昭 10

林久四郎 產業組合金融取扱に關する一考察（產業組合 268） 昭 3

同 產業組合役員の損害賠償責任（產業組合 288） 昭 4

同 產業組合金融の系統機關關係に就て（產業組合 289） 昭 4

林繁藏 金融組合の統制機關設置に就て（朝鮮 220） 昭 8

*平安北道理財課 金融組合員の負債額調査資料 昭 7

東浦庄治 負債整理と產業組合（產業組合 307） 昭 6

廣瀨豐作 市街地信用組合の發達を希ふ（產業組合 196） 大11

同 市街地信用組合に關する諸問題（產業組合 210） 大 12

*廣島縣市街地信用組合協會 庶民金融と市街地信用組合（楠見一正）廣島 昭 10 54 頁 四六 〔市街地信組叢書 1〕

廣田金一 經濟恐慌による組合金融の梗塞（產業組合 343） 昭 9

本田秀夫 金融組合資金の季節的變化と朝金聯の金繰について（金融組合 79） 昭 10

本位田祥男 信用組合の辿るべき道（庶民金融 **5**-5） 昭 4

同 報德運動と產業組合（斯民 **30**-3） 昭 10

古澤常次 朝鮮金融組合制度の特質（金融組合 56） 昭 8

井川忠雄 市街地信用組合の將來に就いての考察（產業組合時代 **10**-8） 昭 8

稻田伸勝 金融組合の農村經濟更生策を樹立せよ（金融組合 58） 昭 8

磯邊秀俊 朝鮮金融組合 （經濟學辭典 IV 卷 2 頁） 昭 6

磯崎辰五郎 貸金利子の前年中の收入金額の意義 信用組合の配當金と戶數割, 貸金の辨濟期の認定 〔判批〕（法と經濟 **3**-4） 昭 10

伊藤連司 信用組合聯合會廢止說に就て（產業組合 288） 昭 4

井關孝雄 金融組合 （朝鮮の） （金融大辭典 1 卷 1 頁） 昭 9

泉芳德 農村市街地信用組合金融事情（臺灣時報 95/97） 昭 2

同 中小商工業金融と市街地信用組合（臺灣の產業組合 56; 臺灣時報 135） 昭 6

賀田直治 朝鮮產業の動向と金融組合（金融組合 74） 昭 9

角玄 農村金融上に於ける信用組合の發展と最近の動向（產業組合 344） 昭 9

神戶正雄 全國銀行及信用組合の狀況（時事經濟問題 79） 昭 4

金田爾郎 貸付の資源としての貯金（產業組合 305） 昭 6

片山茂美 信用組合を奬勵せよ （農政研究 **1**-8） 大 11

加藤正美 產業組合中央金庫の成立を顧みて（產業組合 221） 大 13

同 產業組合中央金庫に於て特別配當を爲したるに臨みて （產業組合 250） 昭 1

川畑政次 村落金融組合に於ける組合農園設置の提唱（金融組合 48） 昭 7

河田嗣郎 產業組合中央金庫に就て（經濟論叢 **16**-4） 大 12

同 中央金庫の前途難（エコノミスト **2**-7） 大 13

川崎勇 金融組合運動と人類愛善運動（金融組合 19） 昭 5

同 三十年後の金融組合（金融組合 28） 昭 6

*慶尙南道金融組合聯合會 金融組合の沿革と現況 昭 5

木村靖二 產業組合に於ける金融の問題（地方行政 **43**-4） 昭 10

*金融組合聯合會編 金融組合及金融組合聯合會概況（大 11 年度未現在） 京城 同會 大 14

岸田虎一 資金より見る六年後の金融組合の情勢に就て（金融組合 31） 昭 6

高弼杓 金融組合の能力を論ず（金融組合 36） 昭 6

高傑在 金融組合持分經理の管見（金融組合 34） 昭 6

小平權一 產業組合中央金庫に就て（產業組合 213） 大 12

同 組合中央金庫特別融通及損失補償法制定の主旨と其の要旨 （法律時報 **4**-11） 昭 7

同 產業組合關係法規の改正及產業組合中央金庫特別融通及損失補償法制定の主旨と其の要旨 （庶民金融 **9**-2） 昭 8

近藤康男 朝鮮の經濟に於ける金融組合の意義（產業組合 249） 昭 1

同 農業金融の現狀と組合金融の改善（產業組合 344） 昭 9

小坂珠城 信用組合と營業無盡との金融的異同（銀行研究 **21**-4） 昭 6

同 市街地信用組合と普通銀行の地位（銀行研究 **27**-3） 昭 9

兒島高信 朝鮮金融組合の本質と使命（金融組合 21） 昭 5

同 金融組合と農村指導（朝鮮 210） 昭 7

篷寺勉 市街地信用組合の現狀に就て（產業組合 230/31） 大 13/14

篷田角一 農業倉庫證券擔保貸出についての法律關係（產業組合 288） 昭 4

同 產業組合五ケ年計畫と組合金融（產業組合 352） 昭 10

窪田角一 産業組合の資金借入と府縣の保證又は損失補償（産業組合 358）昭 10

*車田篤 金融組合關係例規集 3 版 昭 2〔非賣〕

同 金融組合中央會一金庫業務を含む一問題に關する一二の考察（産業組合 299）昭 5

同 朝鮮の金融組合當面の諸問題（産業組合時報 89）昭 5

同 朝鮮の初期金融組合（朝鮮 205）昭 7

前田繁一 信用組合の分離が必要（産業組合 288）昭 4

前田稔靖 臺灣に於ける信用組合の効果（臺灣時報 13）大 9

眞鍋康太郎 朝鮮の金融組合（祖國 4-8）昭 6

眞下德藏 信用組合系統組織を如何にすべきか（産業組合 349）昭 9

松木節郎 金融組合に部落的團體を加入せしめざることについての一所見（金融組合 59）昭 8

松島喜作 産業組合中央金庫論（銀行研究 4-7）大 12

松下角治 惟神道と金融組合運動（金融組合 54）昭 8

松崎伊三郎 既設信用組合を無視せる小商工資金の融通（東洋經濟新報 1104）大 13

南正樹 産業組合中央金庫の特別融通に就て（斯民 30-6）昭 10

三谷尙乙 低金利と金融組合の將來（金融組合 73）昭 9

水谷武右衞門 相田氏の「財界恐慌と信用組合」を讀みて（産業組合 264, 266）昭 2

牟田口利彦 金融組合精神と實務（金融組合 4/21）昭 5

同 金融組合の長所と短所（金融組合 24）昭 5

同 進展せる朝鮮の金融組合（朝鮮 196）昭 6

*同 金融組合運動 京城 朝鮮金融組合協會 昭 7 288 頁 四六

村松文藏 二段制を辿る産業組合金融（産業組合 360）昭 10

村島茂樹 金融組合經費に就いて（金融組合 72）昭 9

村山道雄 金融組合令と朝鮮産業組合令（産業組合 288）昭 4

長滿欽司 産業組合中央金庫法の趣旨（産業組合 212）大 12

中橋一雄 金融組合持分計算の諸問題（金融組合 41/42）昭 7

*日本銀行調査局 信用組合の發達と産業組合中央金庫設立問題（北川昇）大 11

*日本勸業銀行調査課 農村産業組合金融調査（昭和四年四月中）昭 4 10 頁 菊

*同 農村産業組合金融調査（昭和四年六月中）昭 4 10 頁 菊

西田正次 中央金庫並に信聯の餘裕金處理運用に就て（産業組合 346）昭 9

西崎鶴司 金融組合の將來を惟ふ（金融組合 24）昭 5

野口清 産業組合と中央金庫（産業組合 221）大 13

*農林省農務局 産業組合ニ依ル農業資金融通狀況ニ關スル調査 昭 4〔産業組合參考資料 14〕

大橋多計三 信用組合の無盡兼營問題（無盡通信 11-3/4）昭 9

岡實 農村興廢と中央金庫の責務（エコノミスト 1-3）大 12

岡本英太郎 産業組合中央金庫の經營に就て（産業組合 221）大 13

同 産業組合制度と地方自治制度並に産業組合中央金庫に就て（地方 33-10）大 14

同 産業組合中央金庫の機能に就て（大日本農會報 538）大 14

同 産業組合中央金庫に就て（貿易 26-2）昭 1

同 産業組合中央金庫の機能（銀行論叢 6-5）昭 1

岡野文之助 貯蓄銀行と庶民銀行の改善に就て（銀行論叢 7-5）昭 1

奥田大造 信用組合に「貸付金回收月別明細表」の備付を爲すことの提案（會計 15-6）大 13

大熊良一 朝鮮金融組合の金利方策と將來の趨向（金融組合 72）昭 9

*大藏省銀行局 市街地信用組合概況〔年刊〕

大森繁治 産業組合中央金庫問題（銀行論叢 4-4）大 14

同 社會政策としての産業組合中央金庫問題（銀行論叢 4-6）大 14

大野龍太 市街地信用組合に對する要望（産業組合 266）昭 2

恩田俊夫 鳥取縣米子市有・信購販利組合伯耆農業倉庫（産業組合 319）昭 7

大里忠一郎 朝鮮の金融組合（産業組合 186, 188, 190）大 10

大里忠一郎 朝鮮金融組合聯合會（産業組合 199）大 11

同 組合相互間に於ける爲替取組の方法（産業組合 206）大 12

同 産業組合中央金庫理事長に望む（産業組合 222）大 13

同 信用組合聯合會の取扱店設置方法私案（産業組合 229）大 13

李成龍 農村經濟の眞相と金融組合の地位（金融組合 41）昭 7

眞廣敬介 金融組合の活動機構と指導的金融（金融組合 46）昭 7

崔昌烈 金融組合の時效問題とその中斷手續について（金融組合 58）昭 8

*齋藤清治 改正金融組合令要義 京城 朝鮮經濟協會 昭 6 188 頁 菊

阪倉松二郎 市街地信用組合の消長と爲替事務取扱に就て（産業組合 338）昭 8

左子清道 市街地信用組合の改善（産業組合 184）大 10

*産業組合中央會編 市街地信用組合經營事例 東京同會 昭 6〔産業組合調査資料 44〕

*産業組合中央金庫 産業組合中央金庫關係法規定款及業務細則 大 14

*同 産業組合中央金庫開業滿三ケ年業務經過概要 昭3

*同 産業組合中央金庫十年誌 東京 同金庫 昭 9 507 頁 四六倍

*同 吾等の信用組合を振ひ興せ 6 版（佐藤寬次）昭 10〔産業組合宣傳叢書 17〕

*同 産業組合中央金庫業務報告書〔年刊〕

*同 農村市街地信用組合金融事情調査〔年刊〕

*同 全國道府縣區域信用組合聯合會資金概況〔定期〕

佐野包治 分業主義の高調と對信用組合策（銀行論叢 3-6）大 13

更級學 産業組合金融と齎繭處理の問題（産業組合 347）昭 9

佐々木龍男 金融組合の金利管見（金融組合 76）昭 10

佐藤寬次 本邦信用組合聯合會の將來に就て（産業組合 269）昭 3

同 組合金融の變潮（産業組合 308）昭 6

千石興太郎 産業組合中央金庫（産業組合 211）大 12

同 神戸博士の「信用組合の預金協定加入問題」に就て（産業組合 249）昭 1

同 朝鮮の金融組合を視て（産業組合 266）昭 2

千石興太郎 朝鮮の金融組合と中央機關（農政研究 6-12）昭 2

瀨戸道一 農村振興並に小商工業者の救濟と金融組合（金融組合 46）昭 7

島田茂 都市金融と市街地信用組合（産業組合 247）昭 1

清水文之輔 産業組合中央金庫法案に對する質問（東京經濟雜誌 2126）大 12

清水福民 金融組合主要帳簿の改善を論ず（金融組合 48）昭 7

志村源太郎 産業組合中央金庫の設立（産業組合 211）大 12

同 本邦市街地信用組合の發達（産業組合 230）大 13

篠田七郎 都市金融組合の進むべき道（金融組合 78）昭 10

白石幸三郎 産業組合中央金庫（金融大辭典 II 卷 2 頁）昭 9

白玉光生 信用組合の減配と貸付金利息の利下げに就て（臺灣の産業組合 62）昭 6

管野盛次郎 資金貸出の聯合會經由に就て（産業組合 230）大 14

須鄕力三 府縣信用組合聯合會の經營費に關する一考察（農業と經濟 1-6）昭 9

鈴木穆 金融組合聯合會理事に對する演述（朝鮮彙報 48）大 8

鈴木平 産業組合中央金庫管見（金融研究 2-11）大 14

鈴木直八 金融組合の擔保地鑑定研究（金融組合 19）昭 5

周東英雄 信用組合の金利と其の餘裕金運用に關する一考察（産業組合 348）昭 9

同 農村經濟更生計畫と信用組合の地位（産業組合 356）昭 10

高橋武美 市街地信用組合の進むべき道（産業組合 278）昭 3

高松南海夫 組合金融の法律的對策（庶民金融 8-6）昭 7

谷多喜磨 金融組合の將來（金融組合 32）昭 6

立田信夫 信用組合の半封建的性格一日本に於ける産業組合の檢討（經濟評論一叢文閣 2-6）昭 10

*東京經濟學協會 産業組合金融狀況（岡本英太郎）昭 4

*東京帝大農學部農業經濟學教室 組合金融の改善に就て 昭 6

鶴岡三郎 産業組合中央金庫の長期貸付を繞る二三の問題（無盡通信 6-1）昭 6

張福堂 農村信用組合事業兼營の實際（臺灣の産業組合 80）昭 8

*朝鮮銀行京城總裁席 朝鮮に於ける都市金融組合の近狀竝之と普通銀行及產業組合との關係 昭8 25頁 菊
*朝鮮經濟協會 金融組合及金融組合聯合會概況 昭1
*朝鮮金融組合協會 金融組合令の金融組合業務監督規程 昭4
*同 朝鮮金融組合史 京城 同協會 昭4 747頁
*同 金融組合論策集 昭5
*同 金融組合の利用の仕方 昭6
*同 金融組合令要義改正 昭6
*同 農村振興と金融組合 昭7〔金融組合教育叢書 3〕
*同 金融組合の指導金融問題 (朝倉昇) 昭8〔金融組合パンフレット 7〕
*同 金融組合運動と自力更生 昭8 58頁 四六〔金融組合教育叢書 4〕
*朝鮮金融組合聯合會 朝鮮金融組合の概況 昭8
*同 創立一週年を迎えたる本會の情勢一般 昭9 40頁 四六
*同 朝鮮金融組合 (車田篤) 昭9
*同 朝鮮金融協會史 昭9 466頁 菊
*同 金融組合年鑑
*同 金融組合統計年報
*朝鮮總督府忠清北道理財課 本道金融組合の概況 附：金融統計〔年刊〕
*朝鮮總督府財務局 金融組合に關する逸話 朝鮮經濟協會 大12 192頁
*同 金融組合及同聯合會名稱表 昭5
*同 金融組合關係例規集 改訂 京城 朝鮮金融組合協會 昭7 706頁 菊
*同 金融組合要論〔年刊〕
*同 金融組合概況〔年刊〕
*朝鮮殖產銀行調査課 朝鮮金融組合協會史 昭9
植田俊吉 產業組合は中央金庫を活用せよ (地方 33-10) 大14
植野勳 金融組合の特色と其の發展の目標 (金融組合 18) 昭5
梅林卯之助 產業組合令の發布と地方金融組合 (朝鮮經濟雜誌 94) 大12
梅原寅之助 中央金庫設置の急務 (產業組合 203) 大11
同 信用組合革新策の檢策 (產業組合 314) 昭6
同 負債整理組合と信用組合との提携 (產業組合 360) 昭10
*宇佐美力 日本信用組合論 東京 產文館 大9 430頁 菊〔最近經濟問題 16〕
若林正臣 市街地信用組合の狀況 (產業組合 186/87, 207) 大10/12
同 中央金庫に對する希望 (產業組合 244/45) 昭1
同 產業組合中央金庫法の改正 (帝國農會報 21-7) 昭6
渡邊庸一郎 報德社 (金融大辭典 III 卷1頁) 昭9
八木芳之助 產業組合中央金庫 (經濟學辭典 III 卷2頁) 昭6
同 最近に於ける產業組合金融の動向 (經濟論叢 41-2) 昭10
矢作榮藏 產業組合中央金庫の經營に就て (國家學會雜誌 37-7) 大12
同 產業組合中央金庫に就て (產業組合 212) 大12
同 產業組合中央金庫の經營に關する意見 (產業組合 214) 大12
同 產業組合中央金庫設立の必要 (帝國農會報 13-3) 大12
同 產業組合中央金庫と農村振興策 (財政經濟時報 10-7) 大12
八尋生男 農山漁村振興計畫の實施と金融組合 (金融組合 54) 昭8
同 農家更生五年計畫の實施と金融組合事業との關係 (金融組合 74) 昭9
山田道兄・他四氏 新設信用組合批判 (協同組合時代 1-12) 昭5
山口等 東宮殿下 侍從御差遣の光榮に浴したる松原信用組合 (產業組合 233) 大14
山口正吾 朝鮮に於ける金融組合 (東亞 3-11) 昭5
山本謙治 中央金庫の資金問題に就て (產業組合 225) 大13
同 組合金融に於ける餘裕金の運用 (產業組合 346) 昭9
山根諟 金融組合貸出期間の合理性を論ず (金融組合 38) 昭6
*同 金融組合概論 改訂普及版 京城 朝鮮金融組合協會 昭8 257頁 四六
同 金融組合と地主の提携 (金融組合 59) 昭8
山浦友吉 金融組合原價計算原理 (金融組合 38) 昭6
同 金融組合の拂込未濟出資金と株式會社の拂込未濟資本金との異同性を論ず (金融組合 44) 昭7
同 金融組合經營の科學的管理法研究 (金融組合 77/78) 昭10

矢鍋永三郎 產業金融機關としての金融組合 (朝鮮 91) 大11
同 朝鮮金融組合制度の組織とその情勢 (金融組合 76) 昭10
同 朝鮮金融組合の組織と働き (東洋 38-2) 昭10
蓬見義隆 產業組合中央金庫に就て (產業組合 221) 大13
米倉龍也 農村金融と信用組合聯合會 (產業組合 269) 昭3
第九回全國市街地信用組合協議會 其他 (產業組合 314) 昭6
本邦信用組合の本質と機能 (金融知識 5-2) 昭10
福岡縣信用組合聯合會の行ふ更生貸付並に更生貯金規程に就て (產業組合時代 24-8) 昭8
京城に於ける金融組合 (朝鮮經濟雜誌 137) 昭2
金融組合の相互連帶保證制度 (金融組合 34) 昭6
金融組合の創立 (奉天商工月報 330) 昭8
金融組合事業に於ける共通性と特殊性〔竹郎〕(金融組合 81) 昭10
公社債の引受に信用組合が進出 (臺灣の產業組合 47) 昭5
組合金融機關系統利用狀況 (組合金融 4-4) 昭7
組合金融に於ける餘裕金問題の再檢討〔汗恒生〕(產業組合 349) 昭9
組合金融と銀行の法律的對策 (銀行判例 3-6) 昭5
組合職員の責任分界に就て〔青山生〕(金融組合 25) 昭5
農村經濟に於ける組合金融の現勢 (東洋經濟新報 1675) 昭10
產業組合中央金庫法案に就て (大阪銀行通信錄 307) 大12
產業組合中央金庫に就て (產業組合 224) 大13
產業組合中央金庫利下 (銀行通信錄 560) 昭7
產業組合中央金庫設立の必要と其根本問題 (東洋經濟新報 1039) 大12
產業組合中央金庫特別融通經過概要 (農務時報 69) 昭9
眞使命を沒却せる信用組合 (ダイヤグラム 2-1) 昭4
信用組合法改正要綱 (無盡通信 4-3) 昭5
信用組合の金利と證券投資に就て (山一證券時報 293) 昭3
信用組合を活用せよ (ダイヤグラム 1-1) 昭3
信用組合利用の年末金融 (經濟知識 4-5) 昭5
朝鮮金融組合業務概況 (朝鮮銀行月報 10-9) 大8
中央金庫定款 (農政研究 2-10) 大12
中小商業金融機關としての市街地信用組合 (京都經濟時報 62) 昭10
中小商業救濟に金融組合設立計畫 (國產奬勵 1-4) 昭5
遊資處分難に直面して組合金融の餘裕金を何うする (金融知識 4-4) 昭9

アメリカ合衆國

井川忠雄 米國に於ける住宅信用組合 (產業組合 324, 326/27) 昭7
同 アメリカ合衆國に於ける聯邦信用組合法の創定 (產業組合 348) 昭9
井關孝雄 米國に於ける信用組合の現勢 (產業組合 323, 326) 昭7
木下禎五郎 米國に於ける信用組合に就て (銀行研究 16-4) 昭4
黑川芳藏 米國に於ける信用組合に就て (同志社論叢 32) 昭5
*大藏省銀行局 米國に於ける信用組合 大13〔米國駐在財務官報告〕
米國に於ける信用組合 (產業組合 285) 昭4

ブルガリア

平實 ブルガリア農業銀行と協同組合 (經濟時報 4-10) 昭8

デンマーク

平實 デンマークに於ける協同組合金融 (經濟時報 4-5) 昭7

ドイツ

本位田祥男 ドイツ農村信用組合—インフレーションの影響 (經濟學論集 2-9) 昭7
石田隆一 クレディット・アンシュタルト崩壞の教訓 (銀行論叢 17-4) 昭6
柏塚辰雄 プロイセンの市街地金融組合 (經濟時報 2-2) 昭5

楠見一正 獨逸信用組合制度の整理（銀行研究 26-1） 昭 9

*農商務省農務局 獨逸に於ける產業組合及產業組合中央金庫狀況 大 14

*大藏省理財局 普魯西產業組合中央金庫概況（1895/1905） 昭 5

*產業組合中央會 普國產業組合中央金庫 東京 同會 大 12

*產業組合中央金庫 普國產業組合中央金庫 大 12〔產業組合調查資料 2〕

*同 普魯西產業組合中央金庫取引規定 大 13

*同 普魯西產業組合中央金庫概況 自 1895 至 1905 大 14

*同 譯 普魯西產業組合中央金庫概況—自設立當年至 1924 年 昭 1

*同 獨逸に於ける信用組合の振替取引聯合 昭 3

*同 獨逸の產業組合金融に於ける保證金額見込貸付制度 昭 3

平實 1931 年に於ける獨逸金融恐慌と農業信用組合（經濟時報 4-6） 昭 7

獨逸の賠償金支拂と信用組合法案（調查月報 12-4） 大 11

ハンガリー

平實 匈牙利協同組合金融の一齣—特に O. K. H. の活動を中心として（經濟時報 5-4） 昭 8

フィンランド

平實 芬蘭に於ける農村信用組合中央銀行（經濟時報 3-11） 昭 7

フランス

黒川芳藏 我國農業金融上の缺陷と佛蘭西の相互的農業信用制度に就て（同志社論叢 35） 昭 6

奥田光吉 佛國產業組合中央金庫の近況（產業組合 335） 昭 8

イギリス

村岡正樹 英蘭卸賣組合銀行に就いて（產業組合 351） 昭 10

インド

井口貞夫 印度の農業信用組合（產業組合 332, 335/36） 昭 8/9

平實 印度の協同組合金融に就て（經濟時報 2-12） 昭 6

同 印度に於ける市街地信用組合（經濟時報 4-1） 昭 7

イタリー

篠田七郎 ウオルレンボルグ博士と伊太利農村信用組合（產業組合 285） 昭 4

滿洲國

堂本貞一 滿洲に於ける金融合作社と滿洲人の特徵（金融組合 80） 昭 10

*滿洲金融組合聯合會 金融組合業務概況〔年刊〕

松本誠 銀建の廢止と金融組合（金融組合 85） 昭 10

塚越親四郎 北滿の一農村に於ける金融合作者の活動狀況（滿洲評論 9-20） 昭 10

張希曼 金融合作社與一般民衆之關係（北滿半月乘 5-23） 康德 1

*朝鮮銀行調查課 滿洲に於ける金融合作社に就て 昭 9〔昭 9 調查 21〕

*自治指導部 滿洲農民金融組合設立案〔大同元年〕

大同 2 年度金融合作社設立各縣事情調查書（金融合作月刊 6） 大同 2

復縣農民經濟金融及農民對於金融合作社之感想調查報告書（金融合作月刊 4） 大同 2

金融合作社之概要（金融合作月刊 1） 大同 2

金融組合の金利を左右する勢力の源泉〔資金係生〕（金融組合 87） 昭 10

金融組合の創立（奉天商工月報 330） 昭 8

既設金融合作社之業務概況（金融合作月刊 11） 康德 1

*滿洲金融組合 昭 7〔滿洲商工事情概要〕

滿洲金融組合の成績概要と資金增加問題（滿蒙事情 106） 昭 5

瀋陽縣農民經濟金融及農民對於金融合作社之感想調查報告書（金融合作月刊 3） 大同 2

ポーランド

波蘭に於ける信用組合（金融組合 58/59） 昭 8

ロシア

*バルー，エヌ ソヴエート・ロシアの協同組合銀行 藤田秀夫譯 京都 共生閣 昭 7 121 頁 菊

一樂照雄 最近露西亞に於ける農業信用組合（產業組合 312） 昭 6

向井俊郎 莫斯科人民銀行論（金融研究 2-6/8） 大 14

*西陣信用組合 露西亞協同組合銀行 昭 6 74 頁 菊

*產業組合中央會編 全露消費組合中央聯合會と全露產業組合銀行（齋田弘）〔產業組合調查資料 11〕

ルーマニア

平實 ルーマニア信用組合運動の發展史的考察（大阪商科大學經濟研究年報 4） 昭 8

支那

馬寅初 中國之合作社法原則（銀行週報 781） 民 21

徵明 救國運動與合作運動（合作月刊 3-10） 民 20

范振華 山西省合作事業的計畫（合作月刊 3-10） 民 20

千永滋 中國合作社之進展（東方雜誌 32-1） 民 24

葛稚霖 中國農民銀行之合作事業（合作月刊 7-9） 民 24

侯厚培 流通農村金融與合作事業（合作月刊 6-6） 民 23

候哲棻 現在中國之合作事業（社會雜誌 4-1） 民 21

君清 工會對於合作應抱之態度（合作月刊 3-9） 民 20

水田淳亮 支那農村と信用組合（東亞經濟研究 15-3） 昭 6

李廖炘 大規模鄉村信用消費產銷合作社之經營計劃（復興月刊 2-11） 民 23

廖兆駿 中國農村經濟與合作運動（商業月刊 1-5） 民 20

左與洪 旬容縣合作事業概況（合作月刊 4-9） 民 21

施克蘭 中國農村合作問題之探討（南開經濟週刊 82） 民 23

東捷麟 合作金融之現階段（銀行週報 901） 民 24

謝允莊 合作盈餘攤還金之處理（合作月刊 4-8） 民 21

同 合作社淨盈餘及淨虧損之處理（合作月刊 4-8） 民 21

謝澤 安徽合作事業の發輯（合作月刊 4-7） 民 21

章鼎峙 南京市合作社聯合社（合作月刊 3-10） 民 20

朱宇蒼 金融界與工商業合作之道（錢業月報 10-12） 民 19

修山 農村信用合作社與農村經濟（星期評論 4-28） 民 19

平實 中華民國農村の窮乏と信用合作社（經濟時報 2-9） 昭 5

陳維藩 信用合作社之需要（商業月刊 2-1） 民 21

陳鏡 濟南市合作運動一瞥（合作月刊 3-9） 民 20

陳立夫 十年來中國的合作運動概況（時事月報 3-2） 民 19

沈祖彝 江浙冀魯四省之信用合作社（錢業月報 12-3） 民 21

陳仲明 利用打會舊習來提倡合作社的儲蓄（合作月刊 3-8） 民 20

同 再談合作社兼營問題（合作月刊 3-8） 民 20

同 合作事業與市營（合作月刊 3-9） 民 20

同 國內合作事業調查報告（合作月刊 3-8, 10） 民 20

陶潤金 溧陽合作事業概況暨改進意見（合作月刊 4-7） 民 21

中國經濟月刊 支那農村信用組合（支那 24-1） 昭 8

徐蔭桐 鎭江縣合作事業進行之概況（合作月刊 4-8） 民 21

1 年來之合作事業及農村金融（工商半月刊 7-1） 民 24

各省合作事業概況報告（合作月刊 4-11） 民 21

江西省之農村合作事業（中央銀行月報 3-12） 民 23

農村信用合作經營論（工商半月刊 7-11） 民 24

支那農村に於ける信用組合運動に就て（北京滿鐵月報 5-2） 昭 3

中華民國に於ける農村信用組合（金融組合 84） 昭 10

中華民國の農村金融合作社（金融合作月刊 5） 大同 2